

KENWOOD

HDD/DVD/USB AV NAVIGATION SYSTEM

HDV-909DT

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

HDV-909DT HDD/DVD/USB AV NAVIGATION SYSTEM



このシンボルマークはケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
ナビダイヤル 0570-010-114 (一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です)
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8960
FAX 045-450-2287
住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00
土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)
- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。



正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

© B64-4179-00/01 (J)

「タウンページ」は、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。

本ソフトウェアに使用している抜け道情報は、株式会社昭文社のMAPPLEデジタルデータ「渋滞ぬけみちデータ」を使用しています。

「Microsoft」、「Windows」、「Windows NT」、「Windows Media」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

本機は、米国特許及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

SRS^{CS Auto}とSRS^{WOW HD}はSRS Labs, Inc.の商標です。
CS AutoとWOW HD技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and DTS 2.0 + Digital Out are registered trademarks and the DTS logos and Symbol are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2008 DTS, Inc. All Rights Reserved.

DVD is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
iPhoneは、Apple Inc.の商標です。
「Made for iPod」とは、iPod専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
「Works with iPhone」とは、iPhone専用で接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

DivX[®] is a registered trademark of DivX, Inc., and is used under license.

Built with Linter Database.
Copyright © 2006-2009 株式会社プライセン
Copyright © 1990-2003 Relex, Inc. All rights reserved

AMG © 2009 All Media Guide, LLC
Content and technology provided by All Media Guide[®].

JBlendは株式会社アプリックスの登録商標です。

HDV-909DTは、AVC PATENT PORTFOLIO LICENSEに基づきライセンスされており、本機のAVC機能は、お客様が以下のいずれか、または両方を行うための個人的利用および非商用利用目的に限るものとします。
(i) AVC規格に従いビデオを記録すること(以下「AVCビデオ」といいます)
(ii) 個人的、非商用的行為に従事する消費者により記録されたか、AVCビデオを提供するためにライセンスを受けたビデオ提供者から取得したAVCビデオを再生すること
他の使用および使用許諾に関する情報については、MPEG LA L.L.C.より取得できます。

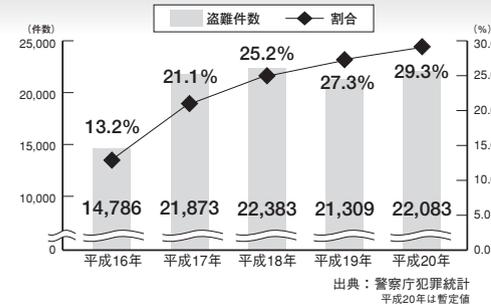
This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
HDV-909DT搭載のソフトウェアは、independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

今カーナビが危ない!

全国で24分に1台のカーナビが盗難被害に遭っています。

カーナビゲーションの盗難被害状況

部品ねらい被害におけるカーナビ盗難の件数と割合



製造番号があれば被害品の発見、返還がしやすくなります。



製造番号が記載された保証書類は大切に保管し、ハガキまたはWEBでユーザー登録を行いましょう。

盗難被害に遭わないように、防犯対策に気を付けましょう。



はじめに

0001	目次	3
0002	安全上のご注意	8
0003	使用上のご注意	11
0004	カーナビゲーションに関わる 個人情報について	17
0005	本書の読みかた	18
0006	ナビのナビ	20

共通操作

1001	各部の名称とはたらき	28
1002	電源を入れる/切る	30
1003	フロントパネルの角度を調整する	31
1004	B-CASカードについて	32
1005	B-CASカードを入れる/取り出す	33
1006	ディスクの出し入れ	34
1007	USB機器を接続する	35
1008	iPodを接続する	36
1009	ナビモードとAVモードを切り替える	37
1010	AVソースを切り替える	38
1011	トップメニューを表示する	40

地図の表示と操作

通常の地図

2001	現在の場所の地図を表示する	41
2002	スクロールしていろいろな場所の 地図を表示する	43
2003	サウンド切替ボタンで音声を切り替える	45
2004	地図画面でAVソースを操作する	46
2005	地図上のマークの情報を表示する	55
2006	ショートカットメニューを表示する	57
2007	地図を2画面表示する	58
2008	地図と映像をPinP表示する	59

ルート案内中の地図

2009	一般道でのルート案内	60
2010	高速道路でのルート案内	62
2011	案内ポイント付近での画面案内	66
2012	案内ポイント付近での音声案内	67
2013	目的地の情報を表示する	68
2014	ルートから外れたときは	69
2015	ルートを探索しなおす	70
2016	別の道路に自転車位置を変える	71
2017	渋滞していたら	72

ナビの操作

1	3001	ナビメニューを表示する	73
2	地点検索とドライブプランの設定		
3	3002	探すメニューを表示する	74
4	3003	いろいろな探しかた	75
5	3004	ジャンルで探す	76
6	3005	施設のジャンルの分類	78
7	3006	検索結果画面	79
	3007	住所で探す	80
	3008	電話番号で施設を探す	82
	3009	電話番号と名前で個人宅を探す	84
	3010	経緯度で探す	86
	3011	名称で探す	88
	3012	地図で探す	90
	3013	周辺から探す	91
	3014	メモリ地点から探す	93
	3015	過去の目的地から探す	94
	3016	ドライブプランに通過点として設定する	95
	3017	ドライブプランに目的地として設定する	96
	3018	メモリ地点として登録する	98
	3019	地点検索した場所の詳細情報を見る	99
	3020	地図から他の場所を探す	100
	3021	地点周辺の駐車場を探す	101
	3022	地点周辺の施設を探す	102
	3023	自宅へ帰る	103

ドライブプラン/ドライブルートの編集

	3024	ルート確認メニューを表示する	104
	3025	ドライブルート全体を表示する	105
	3026	ドライブルート全体図と ドライブルート詳細リスト	106
	3027	行き先の場所を変更する	108
	3028	行き先の順番を変更する	110
	3029	行き先を削除する	112
	3030	通過点を追加する	113
	3031	ドライブルートを削除する	115
	3032	ドライブをシミュレートする	116
	3033	ルート案内を中止する	117

VICS情報

3034	VICS情報とは	118
3035	VICS情報の自動表示	119
3036	情報メニューを表示する	121
3037	VICS情報を表示する	122
3038	VICS情報表示画面	123
3039	VICS FM局の選局方法を切り替える	124
3040	タッチゲームで遊ぶ	126

登録情報の編集

3041	ナビ編集メニューを表示する	127
3042	自宅を登録/変更する	128
3043	過去目的地をメモリ地点に登録する	130
3044	メモリ地点情報を表示する	132
3045	メモリ地点の名称や読み仮名を 変更する	133
3046	文字の入力	134
3047	メモリ地点に電話番号を設定する	136
3048	メモリ地点のマークを変更する	137
3049	メモリ地点にサウンドを設定する	138
3050	メモリ地点のサウンドを鳴らす 接近方向を設定する	139

AV の操作

ラジオ

4001	ラジオを聴く	140
4002	TUNERメニューで操作する	141
4003	FM/AM放送局をマニュアルで プリセットする	143

地デジ

4004	地デジを観る	144
4005	地デジをセットアップする	145
4006	地デジ操作ボタンで操作する	148
4007	プリセット番号順に選局する	151
4008	プリセットボタンで選局する	152
4009	プリセット一覧で選局する	153
4010	番組表で選局する	154
4011	番組表を操作する	155
4012	現在の番組の詳細情報を表示する	156
4013	チャンネル番号で選局する	157
4014	チャンネル順に選局する	158
4015	パナー表示やチャンネル表示を オン/オフする	159
4016	パナー表示とチャンネル表示	160
4017	番組の続きを観る	161
4018	データ放送を観る	162
4019	データ放送画面で操作する	163
4020	緊急放送を受信すると	165
4021	地デジメニューを表示する	166
4022	現在地を設定する	167
4023	番組表などを表示する	168
4024	プリセットされている放送局のリストを 初期化する	169
4025	データ放送を利用する地域を設定する	170
4026	パナー表示を設定する	171
4027	文字スーパーの表示方法を設定する	173
4028	ユーザー画面の表示方法を設定する	175
4029	画面の位置を調整する	176
4030	操作時のピープ音を設定する	178
4031	放送事業者領域を表示/削除する	179
4032	セットアップしなおす	181
4033	受信できるチャンネルを確認する	182
4034	自動受信モードの動作を設定する	184
4035	アンテナを設定する	186

4036	現在地で受信できる放送局を プリセットする	187
4037	B-CASカードをテストする	189
4038	放送局からの情報を見る	191
4039	ソフトウェアをバージョンアップする	193
4040	設定を初期化する	195
4041	お買い上げ時の状態に戻す	197

DVD

4042	DVDを観る	199
4043	DVD基本操作ボタンで操作する	200
4044	DVD拡張操作ボタンで操作する	201
4045	DVDメニューで操作する	202
4046	タイトル番号でシーンを探す	204
4047	映像をズームする	205
4048	ディスクメニューをダイレクト に操作する	206
4049	ディスクメニューをボタンで操作する	207

CD

4050	CDを聴く	209
4051	CDメニューで操作する	210
4052	アルバム情報を選択しなおす	212
4053	トラックリストで選曲する	213
4054	CDの曲を内蔵HDDに録音する	214

AVファイル

4055	AVファイルをプレイする	216
4056	ファイル操作ボタンで操作する	217
4057	圧縮ファイルメニュー/USBメニューで 操作する	219
4058	AVファイルをファイルリストで 選択する	221
4059	AVファイルを内蔵HDDに転送する	222

iPod

1	4060	iPodをプレイする.....	224
2	4061	iPodビデオ操作ボタンで操作する.....	225
	4062	iPodメニューで操作する.....	226
3	4063	カテゴリで選択する.....	228

内蔵HDD

5	4064	内蔵HDDをプレイする.....	230
6	4065	HDDビデオ操作ボタンで操作する.....	232
	4066	HDDメニューで操作する.....	233
7	4067	プレイするアルバムを関連するアーティスト で選択する.....	238
	4068	プレイする曲をカテゴリで選択する.....	240
	4069	プレイする曲を楽曲情報で検索する.....	242
	4070	静止画を表示する.....	244
	4071	プレイする動画を選択する.....	246
	4072	タイトル情報を編集する.....	247
	4073	プレイ中のAVファイルをプレイリストに 追加する.....	249
	4074	プレイ中の曲やアルバムなどを 削除する.....	251
	4075	表示中の静止画をアルバムアートとして 登録する.....	252

外部ソース

	4076	外部AVソースをプレイする.....	253
--	------	--------------------	-----

Bluetooth

	4077	Bluetoothオーディオをプレイする.....	255
	4078	電話をうける.....	257
	4079	プリセット電話帳で電話をかける.....	259
	4080	発着信履歴から電話をかける.....	260
	4081	電話帳で電話をかける.....	261
	4082	ダイヤルして電話をかける.....	263

サウンド調整

	5001	サウンド調整メニューを表示する.....	264
	5002	リスニングポジションを設定する.....	265
	5003	リスニングポジションに合わせて、 スピーカークの仮想位置を微調整する.....	266
	5004	プリセットイコライザーを使う.....	268
	5005	モーションイコライザーで設定する.....	269
	5006	SRS CS Automotiveを設定する.....	271
	5007	SRS WOW HDのユーザー設定を 作成する.....	273
	5008	バランスを調整する.....	275
	5009	ソースごとの音量バランスを調整する.....	276
	5010	圧縮オーディオファイルの音質を 補正する.....	277

セットアップ

セットアップ

	6001	セットアップメニューを表示する.....	278
	6002	各種の設定をする.....	279
	6003	設定項目とカテゴリ分類.....	280
	6004	キーイルミネーションの色を設定する.....	285
	6005	車両情報を設定する.....	287
	6006	スピーカークの仮想位置を調整する.....	288
	6007	スピーカーク構成を設定する.....	290
	6008	接続状態を確認する.....	292
	6009	現在地を補正する.....	294
	6010	地図に表示するランドマークを 設定する.....	296
	6011	DVDの優先言語を設定する.....	297
	6012	DVDの視聴制限レベルを設定する.....	299
	6013	楽曲データベースを更新する.....	301
	6014	楽曲データ管理アプリケーションを ダウンロードする.....	303
	6015	楽曲データベース未収録の情報を 取得する.....	304
	6016	USB機器やディスクからAVファイルを 転送する.....	306
	6017	内蔵HDD内のデータを編集する.....	308
	6018	内蔵HDD内のAVファイルを削除する.....	309
	6019	プレイリストの名前を変更する.....	311
	6020	プレイリストに曲や動画を追加する.....	313

6021	プレイリスト内の曲や動画の再生順を 変更する.....	315
6022	プレイリスト内の曲や動画を削除する.....	317
6023	プレイリスト内のすべての曲や動画を 削除する.....	319
6024	画質を調整する.....	320

オプションのセットアップ

6025	VICSビーコン情報の表示方法を 設定する.....	322
6026	Bluetoothを設定する.....	323
6027	PINコードを設定する.....	325
6028	Bluetooth機器を登録する.....	326
6029	ハンズフリーを設定する.....	328
6030	プリセット電話帳に電話帳から電話番号を 登録する.....	330
6031	プリセット電話帳に履歴やテンキーから 電話番号を登録する.....	333

付録

7001	リモコンの各部の名称とはたらき.....	336
7002	自転車位置の測位精度について.....	338
7003	地図記号の凡例.....	342
7004	地図データベースについて.....	343
7005	その他の資料.....	346
7006	VICSサービスの問い合わせ.....	347
7007	VICSリンクの更新について.....	348
7008	VICS情報有料放送サービス契約約款.....	349
7009	地上デジタルTVチューナー・ソフトウェア 使用許諾契約書.....	351
7010	チャンネル一覧.....	353
7011	DVDの言語コード.....	355
7012	AVファイルについて.....	357
7013	メディアについて.....	359
7014	故障かなと思ったら.....	362
7015	ナビ用語集.....	377
7016	AV用語集.....	378
7017	主な仕様.....	381
7018	保証とアフターサービス.....	384
7019	ケンウッド全国サービス網.....	385
7020	キーワードインデックス.....	386

- 本製品にはWindows CE Systemが搭載されています。ご使用前に、以下の注意事項と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。取扱説明書に記載されている注意事項が守られなかった場合は、事故などの深刻な問題が発生する可能性があります。
- お読みになった後は、いつでも見られる場所（たとえば、車のグローブボックスなど）に必ず保管してください。

絵表示による注意

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 禁止	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。
 禁止	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
 実施	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。


警告
**禁止**

交通事故防止のため、運転中は本製品の操作を行わないでください。運転中に本製品の操作を行うと、ハンドルから手が離れたり、道路状況への注意力が散漫になるなどして、交通事故などの原因になります。本製品を操作するときは、必ず安全な場所に車を止めてから行ってください。

**禁止**

運転者は、ナビゲーションの画面に気を取られないでください。交通事故などの原因になります。運転中に画面を見るときは必要最小限とし、注視するのは避けてください。

**実施**

運転中の音量は、車外の音や緊急車両などの音が聞こえる程度で使用してください。外部の音が聞こえない状態で運転することは事故の原因となります。

**実施**

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

**実施**

修理は必ずお買い上げの販売店、またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

**禁止**

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

**実施**

緊急時に使用する場合は、本製品の情報のみに頼らず、警察や消防署、病院などに連絡をして、場所などの確認を行ってください。

**実施**

探索したルートは、ルート上の安全性を考慮して探索されていません。危険な地域への誘導がされている場合は、運転者はそのときの状況を判断して回避してください。

**実施**

本製品の地図は、実際の道路状況や交通規制などと異なる場合があります。これは収録された時点の地図データ、交差点情報、交通規制情報などと、現在のものとで差異が生じているためです。走行時には、常に実際の道路状況や交通規制などに従って運転してください。

 **警告****実施**

一方通行表示については、常に実際の交通規制に従って運転してください。本製品の地図には、全ての一方通行道路が表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも、実際にはその一部が両面通行の場合があります。

**禁止**

画面が表示されない、音声が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。

**実施**

ナビゲーションシステムで探索された経路はあくまでも参考ルートで、実際の道路状況や交通規制などと一致しない場合があります。常に実際の道路状況や交通規制に従って運転してください。

**実施**

万一、異物が入った、水や飲み物がかかった、煙が出てくる、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用を続けると、事故、火災、感電の原因となります。

**実施**

規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。

**実施**

本機の取り付け、取り外し、周辺機器の追加などを行う際は、安全のため、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。取り付け作業には専門技術が必要です。

**実施**

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

 **注意****禁止**

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

**禁止**

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

**禁止**

操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。



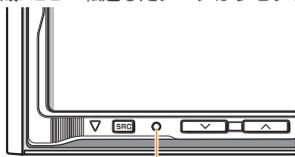
安全走行のために

本製品は、目的までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、取扱説明書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

走行中はフロント映像出力に接続されたテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず **7014** を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットキーをペン先などで押してください。本機をお買い上げ時の状態に戻します。ただし、自転車位置、車速/パルスの学習状態、登録した自宅情報、メモリ地点、ルート学習、走行軌跡、および内蔵HDDへ転送したデータはリセットされません。



リセットキー

リセットキーを押しても正常に戻らないときは、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

傷が付いたり文字が消えることがあります。

モニター画面について

モニターの画面に保護用フィルムなどを貼ると、タッチ操作時に誤動作する場合があります。

本機でコントロールできるiPodについて

別売品のiPod接続ケーブル (KNA-i909) を使用して、Dockコネクタを装備したiPod (市販品) を接続すると、本機からiPodのコントロールが行えます。

本機からコントロールできるiPodは以下のとおりです。

Made for

- iPod nano (1st generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod with video
- iPod classic
- iPod touch (1st generation)
- iPod touch (2nd generation)

Works with

- iPhone 3G



iPhone 3G
8GB 16GB

なお、本書では上記iPodおよびiPhoneをまとめて「iPod」と呼びます。

iPodを本機に接続してご使用の場合は、iPodのソフトウェアをあらかじめ最新状態にアップデートしておいてください。

本機に表示できる文字の種類は、ISO8859-1、半角カタカナ、および全角文字です。

ただし、正しく表示できない文字もあります。

本機に別売品のiPod接続ケーブル (KNA-i909) を使用してiPodを接続すると、iPodに電源を供給し、音楽を再生中でも充電ができます。ただし、本機の電源がオンになっている必要があります。

使用できるディスク

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。



記録面 (レーベル面の反対側) が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。

インクジェットプリンタでレーベル面に印刷可能なCD-R/RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

本機で再生できるディスク

本機では、下表「ディスク再生対応一覧表」で「○」が表示されているディスクを再生できます。

本機で再生可能な音楽CDは    マークの入ったCDだけです。

前記マークの入っていないディスクは、正しく再生できない場合があります。

また、ファイナライズ処理を行っていないCD-R/RWおよびDVD-R/RWは再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。

その他、CD-R/RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWは、記録状態によっては再生できない場合があります。

ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	備考
DVD	DVDビデオ	○	—
	DVDオーディオ	×	—
	DVD-R	○	
	DVD-RW	○	MP3/WMA/AAC/JPEG*/MPEG/DivX (バージョン3.11、4.x、5.xに対応)再生
	DVD+R	○	VRモード対応 (DVD-R/RWのみ)
	DVD+RW	○	マルチボーダー/マルチセッション非対応
	DVD+R DL (2層)	○	CPRM対応
	DVD-R DL (2層)	○	オーサリング状態によっては再生不可
CD	DVD-RAM	×	—
	音楽CD	○	8cmディスク対応
	CD-ROM	○	MP3/WMA/AAC/JPEG*/MPEG/DivX再生
	CD-R	○	MP3/WMA/AAC/JPEG*/MPEG/DivX再生
	CD-RW	○	マルチセッション非対応 パケットライト非対応
	DTS-CD	○	—
	ビデオCD、スーパービデオCD	×	—
	フォトCD	×	—
	HDCD	△	通常の音楽CDの音質
	CCCD	×	—
その他	デュアルディスク	×	—
	スーパーオーディオCD	△	CD層のみ再生可能

○：再生できます △：一部のみ再生できます ×：再生できません

*：ディスクに保存されているJPEGファイルは、本機の内蔵HDDに転送してから表示してください。ディスクからは表示できません。

レンズクリーナーについて

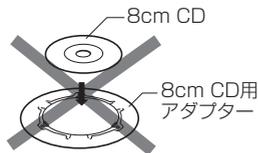
レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

ディスク用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDアダプターは使用しないでください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が働いてディスクの再生ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、再生ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットキーを押してください。

リージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または2を含むもの）と「ALL」です。

DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

DVDディスクのマーク

記号	内容
	リージョン番号を表します。このマークが付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。
	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で見ることができます。
	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ（4:3）で見えた場合、ワイド映像（16:9）は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

操作規制マークについて

DVDは、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは下記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。

禁止マーク



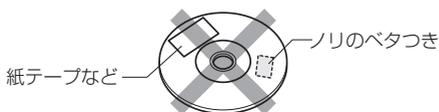
はじめに ディスクの取り扱いについて

- 1 ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。
- 2 取り扱いは記録面に触れないようにしてください。
- 3 (レーベルが印刷されていない面が記録面です。)



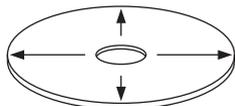
- 4 CD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。
- 5 詳細な注意事項がディスクのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

- 6 記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
- 7 ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。



ディスクのお手入れ

- ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
- 従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



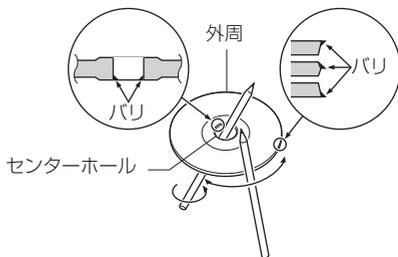
ディスクの保存

- 直射日光が当たる場所(シートやダッシュボードの上)など、温度が高くなる場所には置かないでください。
- 特にCD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクに比べて高温、多湿の環境に弱く、車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

- 長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。
- キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

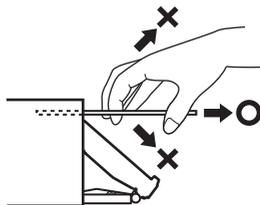
新しいディスクを使うときは

- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。
- "バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



ディスクの取り出しかた

- 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。
- 下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



Bluetoothの対応プロファイル

本機に接続できるBluetoothユニットKCA-BT200 (別売品)は、以下のプロファイルに対応しています。

対応プロファイル

- HFP (ハンズフリープロファイル)
- HSP (ヘッドセットプロファイル)
- OPP (オブジェクトプッシュプロファイル)
- PBAP (フォンブックアクセスプロファイル)
- SYNC (同期プロファイル)
- A2DP (高度オーディオ配信プロファイル)
- AVRCP (オーディオビデオリモート制御プロファイル)

対応バージョン

Bluetooth標準規格Ver.1.2準拠

- HFPはハンズフリー通話をかけるためのプロファイルです。
- OPPは機器間で電話帳などのデータを転送するためのプロファイルです。
- A2DPはオーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
ただし、BluetoothユニットKCA-BT200 (別売品)は、コンテンツ保護方式(SCMS-T)には対応していません。
- AVRCPはオーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。

番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルテレビチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。これらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声か乱れたり雑音かはいる場合があります。

- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声か乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声か乱れる場合があります。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴すると正常に受信できません。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないでください。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車向電装品を作動させると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 本機は、双方向データサービスには対応していません。

以下の点にご注意ください。

- メールなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。
- 本機はARIB (電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- ビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったりそれに関与してはいけません。
- 本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）につきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 添付の保証書は、本機を業務用の車両（タクシー・トラック・バス・商用車など）に使用した場合、適用対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に登録した情報（プリセット登録など）の取り扱い、管理（消去など）は、必ずお客様の責任において行ってください。
- 本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラムなどが消失・変化した場合、また修理によってプリセット登録など、登録した内容が消去された場合は補償できません。

説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取扱わなかった場合や常識を超えた使い方をされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

本機にメモリーされた個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合には、本機に記録された情報（例：メモリ地点や自宅情報等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。

消去のしかたは本取扱説明書をご覧ください。

1001（リセットキー）、3042（自宅情報消去）、3043（過去目的地消去）、3044（メモリ地点消去）、

4041（地デジ設定消去）、6003（走行軌跡消去、学習ルート消去）、6008（パルス情報消去）、

6018（内蔵HDDデータ消去）

弊社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

弊社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。

該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、以下の窓口までご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

ケンウッド・カスタマーサポートセンター

ナビダイヤル 0570-010-114

（一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます）

携帯電話・PHS・IP電話：045-450-8960

FAX 045-450-2287

住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

すでに製造済みの製品での情報の削除や変更には応じられませんので、予めご了承ください。

車両運転中における携帯電話やPHS等の使用は、非常に危険であり、改正道路交通法（法第71条5号の5）により禁止されています。車両等から携帯電話やPHS等で弊社にお電話または電子メールをいただく場合は、安全な場所に停車された上でご連絡くださるようお願い申し上げます。

この取扱説明書で用いられている表記方法について説明します。

本書の構成

本書は、HDD/DVD/USB AV NAVIGATION SYSTEM HDV-909DT (以降、「本機」)のすべての機能の操作を説明したリファレンスマニュアルで、本機の機能とメニューに従って構成されています。

- 1xxx：目次およびはじめにお読みいただきたいことが記載されています。
- 2xxx：地図の表示や操作に関することが記載されています。
- 3xxx：カーナビゲーション(以降、「ナビ」)の操作に関することが記載されています。
- 4xxx：オーディオ&ビジュアル(以降、「AV」)に関することが記載されています。
- 5xxx：サウンド調整に関することが記載されています。
- 6xxx：本機のセットアップ(各種の設定)に関することが記載されています。
- 7xxx：関連する資料や用語解説などが記載されています。

3 031

ドライブルートを削除する

目的地や通過点を含めたルート全体を削除します。

- ドライブルートも削除すると、設定されている目的地や通過点の設定(ドライブプラン)も削除されます。この方法は、案内中止 [3033] と異なり、行き先を固定しなおさないでルート探索ができます。



1 [ルート情報/編集]にタッチします。



2 [ルート削除]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

3 [はい]にタッチします。

ドライブルートが削除され、現在地画面に戻ります。

- ドライブプランを残しておきたい場合は、ドライブルートも削除せず、ルート案内を中止してください。 [3033] ルート案内を中止してもドライブプランは削除されませんので、必要になったときにルート探索して案内を再開できます。 [3033]

● トピック番号

本書中での参照先は、すべてこの番号で示されています。

● リード

この項に記載されている機能が簡潔に説明してあります。

● 注意



操作上で特に気をつけていただきたいことが記載されています。

● 準備



下で説明する操作を始める前に、ここに記載されている操作を行ってください。

● 操作完了/次のページへ続く



次のページへ続きます。



ここで操作完了です。

● 補足/ヒント



補足説明や制限事項などが記載されています。



使いかたのヒントが記載されています。

● つづく

次のページに説明の続きがあります。

説明ページの探し方

本書には次の2種類のインデックスが用意されています。

目次 0001

本書に記載されている順に、見出しとページ番号が記載されています。

キーワードインデックス 7020

ナビやAVで使われる機能の名称や用語から、その説明ページを探せます。たとえば、「イコライザー」で探せば、本機のイコライザー調整に関する説明個所の番号が記載されています。

キーワードインデックスは、巻末にあります。

タッチパネルでの操作

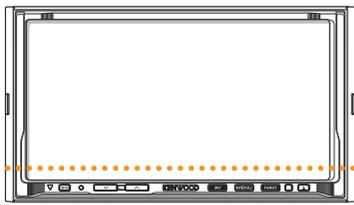


- このボタンにタッチします。

本書では「[××]にタッチします」と表記されています。

操作するボタンには  マークがつけてあります。複数のボタンのうちのいずれかにタッチする場合は、ボタンを囲んであります。

ハードキーの操作



- このハードキーを押します。

本書では「[××]を押します」と表記されています。また、操作によっては、ハードキーを約2秒間以上押し続ける場合があります。

この場合、本書では、「[××]を長押しします」と表記されています。

本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。実際の画面と異なる場合や、実際には行えない例が記載されている場合があります。

ルート案内を開始するには

ナビの電源がオンになると、現在地付近の地図が表示されます。03P 2001



MENU を押します。03P 1011



ナビメニューが表示されます。



にタッチします。03P 3002



探すメニューが表示されます。

探しかたのボタンにタッチします。037 3003



いろいろな方法で、行き先を探します。

目的地にタッチします。037 3017



案内開始にタッチします。037 3017



さあ、ナビの案内を参考にしながら、出発!!



- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときやバッテリーを交換した場合などには、現在地の算出に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示や時計表示に多少時間がかかります。2回目以降はすぐに表示されます。
- 地図が表示されていないときは **NAVI** を押してください。どんな画面が表示されていても、**NAVI** を押すと現在地図画面が表示されます。

ナビを便利に使うために

ナビ関係の多くの設定は、お買い上げ時に標準的な状態に設定されていますので、そのままお使いいただけます。車両によって異なる項目だけを設定してください。

適切な通行料金が表示されるように、車両情報の設定

車両の大きさなどの設定 **6005**

ラジオを聴いていないときでも、VICS FM情報を受信するために

オートアンテナの設定 (オートアンテナ装着車のみ) **6003** (オートアンテナ)

地図画面は見やすいように設定できます。

地図の色 **6003** (地図色)

昼用画面と夜用画面の切り替え方法 **6003** (地図色)

2D/3D表示の切り替え **6003** (地図の角度)

1画面/2画面表示の切り替え **6003** (地図表示)

抜け道表示の切り替え **6003** (ぬけみち表示)

VICS情報の表示の設定 **6003** (VICS規制情報表示、VICS駐車場表示、VICS表示、VICS渋滞情報表示)



● 2D/3D表示切替および1画面/2画面表示切替は、ショートカットメニュー **2006** でも切り替えることができます。

キーイルミネーションの色を変える

色の設定 **6004**

各種ケーブルの接続状態やGPS衛星からの電波の受信状態を確認するときは

接続状態の確認 **6008**

バーチャル3Dマップについて

地図を3D表示しているときには、周囲の建物のように上空からの視点で表示できます (バーチャル3Dマップ)。

バーチャル3Dマップ表示 **6003** (バーチャル3Dマップ)



別売品を使うときは

光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99

光・電波ビーコンVICSユニットを接続すると、VICSビーコン情報を受信できます。VICSビーコンは、VICS FMよりも安定して受信できます。

電波ビーコンは、主に高速道路でのVICS情報の提供に使用されています。

また、光ビーコンは、一般道でのVICS情報の提供に使用されています。

VICS情報の表示方法  **6025**

VICS情報  **3034**

BluetoothユニットKCA-BT200

ナビをBluetooth対応携帯電話のハンズフリーユニットとして使用できます。

Bluetoothユニットの設定  **6026**、 **6027**

Bluetooth機器の登録  **6028**

プリセット電話帳の登録  **6030**、 **6031**

電話の受けかた  **4078**

電話のかけかた  **4079** ～  **4082**

Bluetoothユニットが接続されているときは、

Bluetooth対応ポータブルオーディオプレーヤー(市販品)をプレイできます。

プレイ方法  **4077**



- Bluetoothユニットを接続するためには、変換ケーブルKNA-BT909(別売品)が必要です。

リアビューカメラCCD-2000

ギアをバックに入れると、リアビューカメラの映像がナビの画面に表示されます。

カメラの設定  **6003** (カメラ設定)

サブウーファー

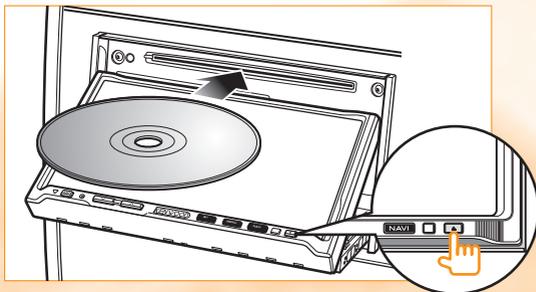
サブウーファーの接続設定  **6003** (サブウーファー・リア出力切替)

外部アンブ

外部アンブの接続設定  **6003** (アンブデリートサーキット)

ディスクをプレイする

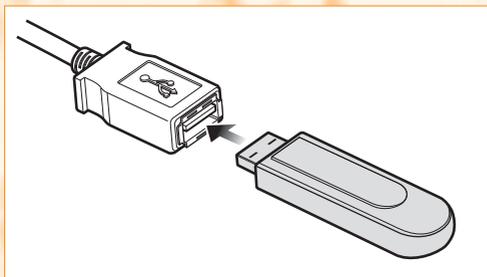
DVDやCD、またはムービーや曲などが保存されているディスクを入れると、自動的にプレイされます。



- 対応しているディスクについては **0003** および **7013**、プレイできるファイルについては **7012** をご覧ください。
- ディスクによってはメッセージが表示される場合があります。

USB機器内のファイルをプレイする

USB機器を本機に接続すると、プレイまたは内蔵HDDへの転送を選択できます。

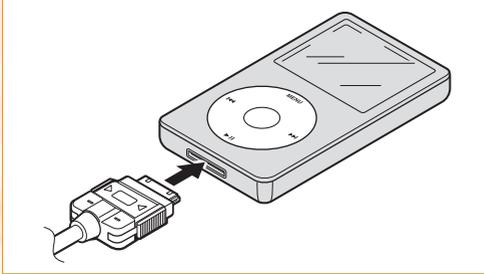


再生

にタッチすると、ファイルがプレイされます。

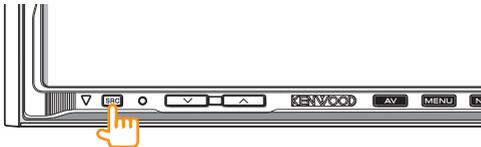
iPodをプレイする

iPodを接続すると、iPodをナビの画面で操作してプレイできます。



- iPodを接続するためには、iPod接続ケーブルKNA-i909（別売品）が必要です。
- 対応しているiPodについては [030003](#) をご覧ください。

内蔵HDDまたはセットされているメディアをプレイするときは
ソースメニューで、プレイするソースを選択すると、そのソースがプレイされます。



- ナビの地図の画面を表示したままでソースを切り替えることもできます。（音声のみ） [032003](#)
- 左上の[DVD]は、本機に挿入されているディスクの種類に応じて名前が変わります。
- [ハンズフリー]は、BluetoothユニットKCA-BT200（別売品）が変換ケーブルKNA-BT909（別売品）で接続され、携帯電話が正しくセットアップされている [6026](#) ときに表示されます。
- [BT AUDIO]は、BluetoothユニットKCA-BT200（別売品）が変換ケーブルKNA-BT909（別売品）で接続され、Bluetooth対応オーディオプレーヤーが正しくセットアップされている [6026](#) ときに表示されます。

ソースの操作

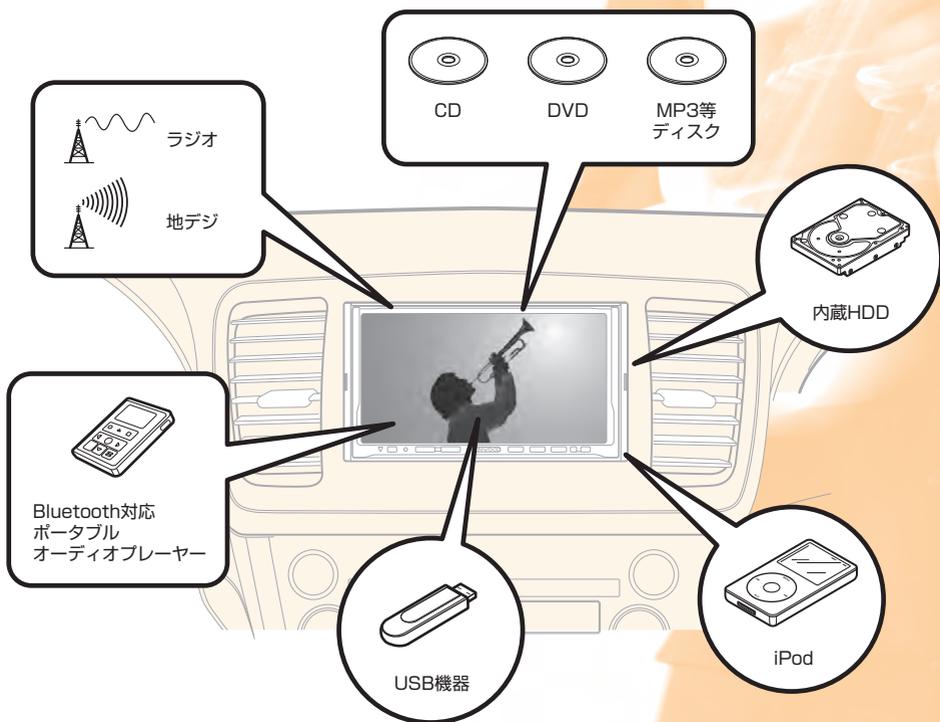

ハードディスク (内蔵HDD) の録音とプレイ

 CDから内蔵HDDへ録音 [037](#) [4054](#)

 AVファイル (オーディオ/ビジュアルファイル) を内蔵HDDへ選択転送 [037](#) [4059](#)

 USB機器内のすべてのAVファイルの内蔵HDDへ転送 [037](#) [4059](#)、[6016](#)

 ディスク (CD-Rなど) 内のすべてのAVファイルの内蔵HDDへ転送 [037](#) [4059](#)、[6016](#)

 内蔵HDDのプレイ [037](#) [4064](#) ~ [4071](#)

ディスクをプレイするときは

 DVDのプレイ [037](#) [4042](#) ~ [4049](#)

 CDのプレイ [037](#) [4050](#) ~ [4053](#)

ディスクやUSB機器内のAVファイルをプレイするときは

 ファイルのプレイ [037](#) [4055](#) ~ [4058](#)

 プレイできるファイル形式 [037](#) [7012](#)

 プレイできるディスクやUSB機器 [037](#) [7013](#)



● ラジオを聴くときは
ラジオを聴く **4001**



● 地デジを見るときは
B-CASカードのセット **1005**
最初のチャンネルスキャン **4005**
地デジの操作 **4006** ~ **4041**



● 初めて地デジに切り替えたときには、画面の指示(かんたんセットアップ)に従って、チャンネルスキャンを行ってください。これを完了しないと、地デジは受信できません。



● iPodをプレイするときは
iPodのプレイ **4060** ~ **4063**



● iPodを接続するためには、iPod接続ケーブルKNA-i909(別売品)が必要です。



● 地図の画面が表示されているときでも、AVソースの簡単な操作はできません。**2004**
● 走行中は、地デジやDVDなどの映像は映りません。安全な場所に駐車してお楽しみください。

サウンドの調整

サウンド環境は、車両によって異なります。お好みのサウンドに設定してください。

スピーカーの口径と数の設定 **6007**

リスニングポジションの設定 **5002**

スピーカーの仮想位置の調整 **5003**

ジャンルに合わせたイコライザーの調整 **5004** (プリセットイコライザー)、**5005** (ユーザーイコライザー)

サラウンドと音場の調整 **5006** (SRS Circle Surround II、Mix to Rear、SRS WOW HD)、

5007 (SRS WOW HDのユーザー設定)

ソースごとの音量バランス **5009**



● サウンドは、ソースごとに設定できます。ただし、ラジオでは設定できない項目もあります。



1 001 各部の名称とはたらき

0

1 共通操作

2

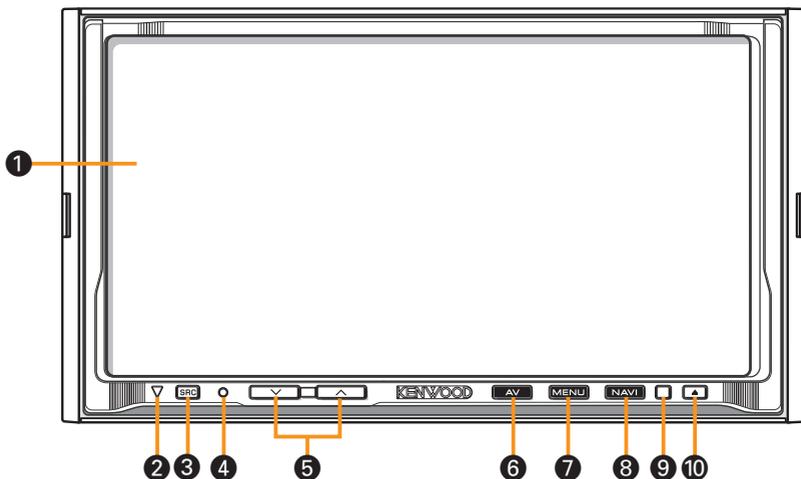
3

4

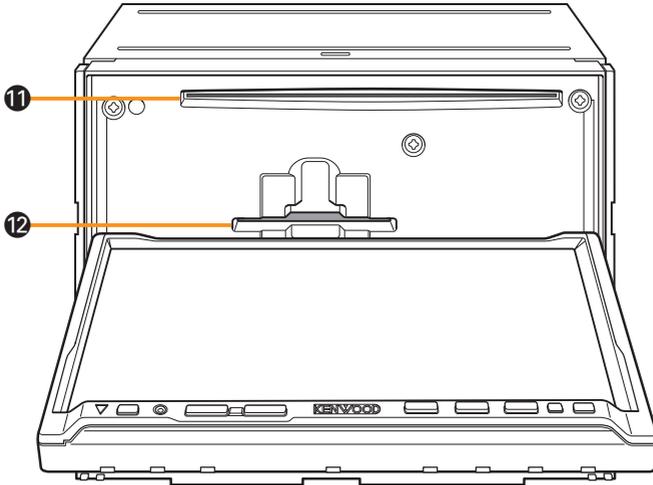
5

6

7



- 1 画面
ナビの地図やDVDの映像などが表示されます。
画面にタッチするだけで、ほとんどの機能を操作
できます。
- 2 セキュリティインジケーター
セキュリティインジケーターをオンに設定 ( **6003**)
としておくと、本体の電源オフ時に点滅しま
す。
セキュリティインジケーターが点滅することによ
り、盗難を抑制する効果が期待できます。
- 3 **[SRC]** (ソースキー)
AVソースを切り替えます。
[SRC]を押すと、ソースメニューが表示され、出力
するAVソースを選択できます。  **1010**
- 4 リセットキー
本機をお買い上げ時の状態に戻します。
- 5  /  (ボリュームキー)
AVソースの音量を調整します。
- 6 **[AV]** (エーブイキー)
ナビモードからAVモードに切り替えます。
 **1009**
AVモード時に押すと、現在のソースのメニュー
や映像が表示されます。
長押しするとUSBオフモードになり、USB機器
を取り外せるようになります。  **1007**
- 7 **[MENU]** (メニューキー)
ナビまたは現在のAVソースのメニュー画面を表
示します。  **1011**
長押しするとタッチ位置の補正が行えます。
 **6003** (タッチパネル)
- 8 **[NAVI]** (ナビキー)
AVモードからナビモードに切り替えます。
ナビモード時に押すと、現在地図画面を表示しま
す。  **2001**
長押しすると画面をオフにします。
- 9 リモコン受光部
リモコンNA-R909 (別売品)の受光部です。
リモコンを使用するときは、ここにに向けて操作し
てください。
- 10  (イジェクトキー)
フロントパネルを開きます。  **1006**
ディスクが入っているときに押すと、フロントパ
ネルが開き、ディスクがイジェクトされます。
もう一度押すと、フロントパネルが閉じます。
また、長押しすると画面(フロントパネル)の角度
を調整できます。  **1003**



⑪ ディスク挿入口
ディスクを挿入します。☞ 1006

⑫ B-CASカード挿入口
B-CASカードを挿入します。☞ 1005



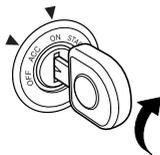
- 画面に表示されている[戻る]にタッチすると、前の画面に戻ります。また、☒にタッチすると、上に重なって表示されている画面が消えて、現在のソース(ナビまたは映像ソース)の画面に戻ります。
- リセットキーを押しても、現在の自転車位置、車速パルスの学習状態、登録した自宅情報、メモリ地点、ルート学習、走行軌跡、および内蔵HDDに転送したデータはリセットされません。
- ナビの音声案内の音量は、ボリュームキーではなく、ナビのくるくるボタンの[ナビ音量]で調整します。☞ 2001

0

電源オン

1

共通操作



車両のイグニッションキーを“ACC”または“ON”にすると、本機の電源がオンになります。

2

3

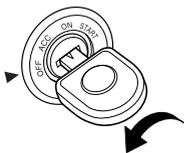
4

5

電源オフ

6

7



車両のイグニッションキーを“OFF”にすると、本機の電源がオフになります。



- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときやバッテリーを交換した場合などには、測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示や時計表示に多少時間がかかります。2回目以降はすぐに表示されます。
- 使用状況や電源電圧の変動等によって、本機の実取り付け後に初めて電源をオンにしたときと同じ状態になる場合があります。

1

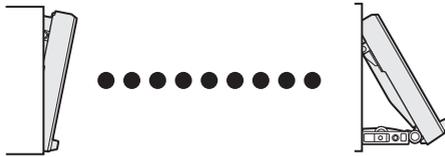
003

フロントパネルの角度を調整する

見やすいように画面の角度を調整できます。



- フロントパネルの動作中やオープン状態のときには、無理な力をかけないでください。故障の原因になります。



共通操作

0

1

2

3

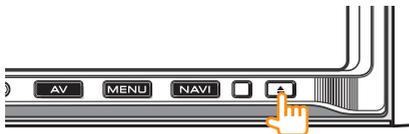
4

5

6

7

1



 を長押しします。

2



目的の角度のボタンにタッチします。

3



[戻る]にタッチします。

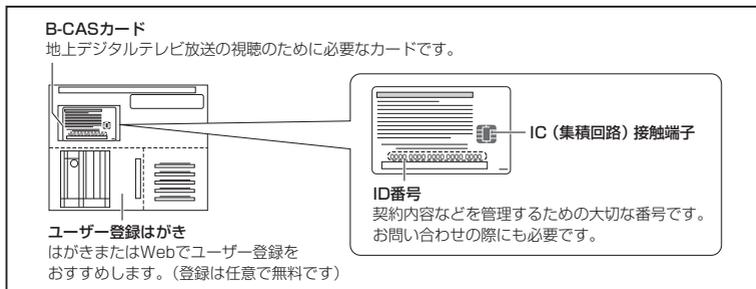


- ナビの電源をオフにするとフロントパネルは'0'の位置に戻ります。しかし、設定したフロントパネルの角度は記憶されており、再び電源をオンにすると設定した角度になります。
- 2で、各角度のボタンにタッチするたびにフロントパネルの角度が変わります。
- ディスクをイジェクトしたときの状態では、フロントパネルの角度の調整はできません。
- B-CASカードを出し入れするときは、[フルオープン]にタッチしてフロントパネルをフルオープンにしてください。

B-CASカードは地上デジタルテレビ放送を受信するうえで必ず必要なカードです。

1 共通操作

本機に付属のB-CASカードには1枚ごとに異なる番号（ID番号）が付与されています。ID番号は大切な番号です。（株）ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。



- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。
- B-CASカード取り扱い時には、次の点に留意してください。
 - B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
 - B-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
 - B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
 - B-CASカードのIC（集積回路）接触端子には手をふれないでください。
 - B-CASカードの分解加工は行わないでください。
 - B-CASカードはカード挿入口に正しく挿入してください。☎ 1005
 - ご使用中にB-CASカードの抜き差しはしないでください。地上デジタルテレビ放送が視聴できなくなる場合があります。
 - 付属のB-CASカードの所有権は、（株）ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で譲渡できません。
 - 破損・紛失などB-CASカードの再発行には手数料がかかります。
 - B-CASカードのユーザー登録や、受信契約については、B-CASカードの台紙に記載されている事項やB-CASカード使用許諾契約約款などをよくお読みください。
 - 付属のB-CASカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。
 - B-CASカードを破損・紛失などされた場合は、お客様より（株）ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへお問い合わせください。
 - 本機の修理を依頼されるときは、本機よりB-CASカードを抜いてお客様が保管してください。

B-CASカードに関するお問い合わせ先について

付属のB-CASカードや、B-CASカードのユーザー登録についてご不明な点は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

（株）ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
電話番号 0570-000-250 受付時間 10：00～20：00（年中無休）

※電話番号はお間違えないようお願いいたします。

※携帯電話、PHSなどの移動体通信機器および各種LCRや交換機の設定によってはかからない場合があります。

- B-CASカードの台紙に記載されている「ビーキャスト(B-CAS)カード使用許諾契約約款」は、よくお読みになった上、「取扱説明書」「保証書」とともに大切に保管してください。
- 放送局などへのお問い合わせで、B-CASカードのID（識別）番号の告知が必要になる場合があります。お客様のB-CASカードのID番号は控えておいてください。

1 005

B-CASカードを入れる/取り出す

本機を使用するときには、B-CASカードを差し込んでおきます。必要に応じて、B-CASカードを取り出します。

- B-CASカードは、本機を修理に出すときや画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
- カード挿入口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。

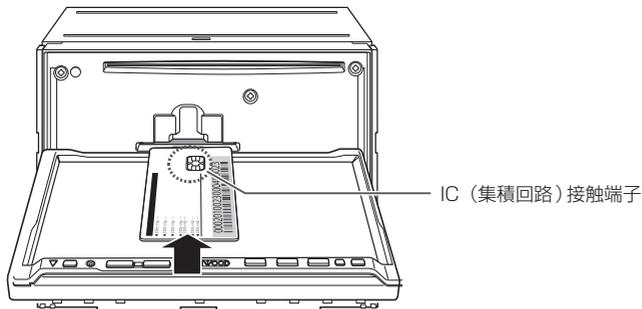
▶ 1003 (パネル角度調整画面を表示)

B-CASカードをセットするときは

1. [フルオープン]にタッチします。



2. IC (集積回路) 接触端子のある面を上にして、B-CASカードを差し込みます。



B-CASカードは、突き当たるまで、奥までしっかりと差し込みます。

3.  を押します。

B-CASカードを取り出すときは

1. [フルオープン]にタッチします。
2. B-CASカードを引き抜きます。
3.  を押します。

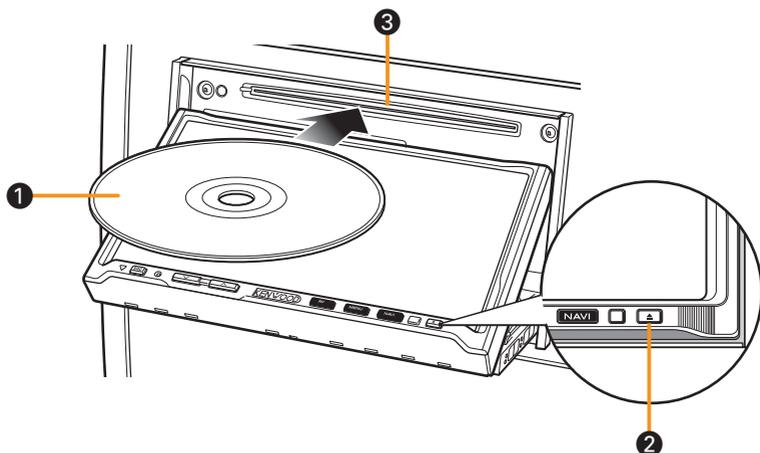
- 地デジを観るときには、B-CASカードが正しくセットされている必要があります。
- B-CASカードは、正しい向き (表裏や前後) で差し込んでください。向きが間違っていると、B-CASカードは機能しません。
- B-CASカードを抜き差ししたときは、約3秒以上待ってから、B-CASカードテスト (ICカードテスト) を実行してください。

037 4037

1 006 ディスクの出し入れ

0 DVD、音楽CD、またはAVファイルのディスクを出し入れします。

1 共通操作



1 ディスク

本機では、DVD、音楽CD、およびAVファイルディスクをプレイできます。

DVDを挿入すると、自動的にDVDのプレイが始まり、映像/音声ともにDVDに切り替わります。音楽CDを挿入すると、自動的にプレイが始まります。

AVファイルディスクを挿入すると、操作を選択するポップアップ画面が表示されます。

ただし、ポップアップ画面が表示されない場合もあります。

2 (イジェクトキー)

一度押すと、フロントパネルが開きます。ディスクが入っているときに押すと、フロントパネルが開き、ディスクがイジェクトされます。もう一度押すと、フロントパネルが閉じます。

3 ディスク挿入口

ディスクを挿入します。



● フロントパネルが開いているときは、(イジェクトキー)と(ボリュウムキー)以外のキーは操作できません。

● 本書では、MP3、WMA、またはAACファイルを「オーディオファイル」と呼び、それらが保存されたディスクを「オーディオファイルディスク」と呼びます。また、MPEGファイル、DivXファイル、またはJPEGファイル、BMPファイル、GIFファイル、PNGファイルが保存されたディスクを「ビジュアルファイル」と呼び、それらが保存されたディスクを「ビジュアルファイルディスク」と呼びます。

さらに、オーディオファイルとビジュアルファイルをまとめて「AVファイル」と呼び、AVファイルが保存されたディスクをAVファイルディスクと呼びます。

● 走行中は、DVDなどの映像は映りません。

● 本機で使用できるディスクについては **0003** および **7013** をご覧ください。

● AVファイルディスクのポップアップ画面で、「選択転送」にタッチした場合は、**6016** の3から操作してください。

1 007 USB機器を接続する

AVファイルを保存したUSB機器を本機に接続すると、AVファイルをプレイしたり、内蔵HDDに転送したりできます。

共通操作

0

1

2

3

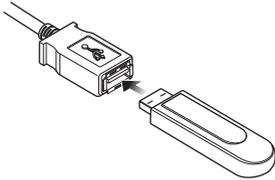
4

5

6

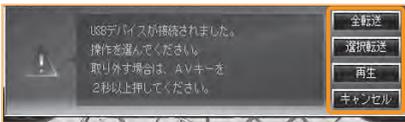
7

1



USB機器を接続します。

2



操作を選択します。

[全転送]：USB機器内のすべてのAVファイルやプレイリストを内蔵HDDに転送します。

[選択転送]：選択した曲を内蔵HDDに転送します。

[再生]：先頭のファイルからプレイします。

[キャンセル]：操作選択の画面を閉じます。

ただし、この画面は表示されない場合もあります。

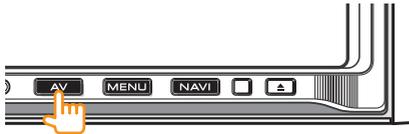


USB機器を取り外すときは



- USB機器を取り外す場合は、必ず **AV** を長押しして、USBオフモードにしてください。これを行わないと、USB機器内のファイルが破壊される場合があります。

1



AV を長押しします。

USBオフモードになり、USB機器を取り外せる状態になります。



- 本機で利用できるUSB機器については、**7013** をご覧ください。
- 「[USBが接続されていません]」と表示されているときに接続すると、再生が自動的に始まります。
- 転送時の注意などについては、**6016** をご覧ください。
- 2で、「[選択転送]」にタッチした場合は、**6016** の3から操作してください。
- AVファイルを内蔵HDDに転送しても、USB機器内のファイルは削除されません。
- 楽曲データベース管理ソフトウェアKENWOOD Music Editor-EX（以降、「KME-EX」 **6014**）で楽曲データを保存したUSB機器を接続した場合は、2の画面の[選択転送]は表示されません。

iPodをプレイするときは、iPod接続ケーブルKNA-i909（別売品）を使ってiPodを本機に接続します。



- iPodをiPod接続ケーブルKNA-i909(別売品)に接続する前に、iPodのEQ機能がオフにしてください。iPodのEQ機能をオンにしたままiPod接続ケーブルKNA-i909(別売品)に接続すると、音が歪むことがあります。
- iPod接続ケーブルKNA-i909(別売品)に接続する前に、iPodに取り付けているヘッドフォンなどのすべての機器を取り外してください。機器を取り付けたままiPod接続ケーブルKNA-i909(別売品)に接続すると、iPodのコントロールがなくなる場合があります。



正しく接続すると、「ピッピッ」と音が鳴ります。
音が鳴らない場合は、もう一度接続しなおしてください。

iPodを取り外すときは、iPodの画面に接続解除可能であることを示すメッセージが表示されているときに行ってください。



- iPodを取り外すときには、iPod Dockコネクタの両側のリリースボタンをしっかりと押しながらかけてください。無理に引き抜くと破損の原因になります。
- iPodを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、iPodが故障する場合があります。
- リピートをオフにすることはできません。



- 本機の取り付け時に、iPod接続ケーブルKNA-i909（別売品）は本機に接続しておいてください。
- iPodを本機に接続している間、iPod側では操作できません。本機の画面で操作してください。
- iPodの画面に表示される接続解除可能のメッセージは、iPodの表示言語の設定によって異なります。
- 操作音がオフに設定されているとき（0337 6003）には、iPodを接続すると「ピッ」と音が鳴ります。

ナビモード → AVモード

ナビモード時に **AV** を押すとAVモードに切り替わります。
AVモードに切り替わったとき、映像のあるソースでは画面も映像に切り替わります。



- 走行中に映像のあるソースに切り替えると、音声は切り替わりますが、映像は映りません（ソースの映像に切り替わりますが、注意が表示されるだけです）。

AVモード → ナビモード

AVモード時に **NAVI** を押すとナビモードに切り替わります。
ナビモードに切り替えると、画面はナビの現在地図画面が表示されます。
音声は、AVモード時と同じソースのままです。



1

010

AVソースを切り替える

本機でプレイするAVソースを切り替えます。

1
2
3
4
5
6
7
共通操作

1



[SRC] を押します。

2



プレイするAVソースのボタンにタッチします。



選択したAVソースにより、映像と音声は次のように切り替わります。

画面	DVD 03分 4042	CDメニュー 03分 4051	圧縮ファイル メニュー 03分 4057	HDDメニュー 03分 4066	USBメニュー 03分 4057
音声	DVD	CD	圧縮ファイル	HDD	USB
画面	TUNERメニュー 03分 4002	地デジ 03分 4004	外部ビデオ	なし (壁紙)	iPodメニュー 03分 4062
音声	TUNER	TV	外部ビデオ	外部オーディオ	iPod

			
画面	ナビ	Bluetoothメニュー [DISC] 4077	電話発信 [DISC] 4079 ~ 4082
音声	なし (ナビ音声のみ)	Bluetooth オーディオ	

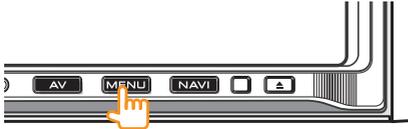


- 左上のボタンは、挿入されているディスクによって次のように変わります。
[DVD] : DVD
[CD] : 音楽CD
[圧縮ファイル] : AVファイルのディスク
[DISC] : 何もディスクが挿入されていません。
- プレイ可能な状態になっていないAVソースはグレーで表示され、選択できません。たとえば、本機にiPodが接続されていないときは、iPodのボタンはグレー表示になります。
- [HDD]は、曲の転送中や削除中は編集中のアイコンに変わり、操作できません。
- 内蔵HDDの編集中や曲の転送中は、[USB]、[DISC] (DVD、CD、圧縮ファイル、HDD)は選択できません。
- ハンズフリー通話中は、各ソースのボタンは操作できません。
- [オートアンテナを伸ばす]または[オートアンテナをしまう]は、車両にオートアンテナが装備され、**6003** の「オートアンテナ」を[あり]に設定しているときに表示されます。
[オートアンテナを伸ばす]または[オートアンテナをしまう]にタッチすると、オートアンテナを伸ばまたは収納できます。
- [ハンズフリー]は、BluetoothユニットKCA-BT200 (別売品)が変換ケーブルKNA-BT909 (別売品)で接続され、携帯電話が正しくセットアップされている **6026** ときに表示されます。
- [BT AUDIO]は、BluetoothユニットKCA-BT200 (別売品)が変換ケーブルKNA-BT909 (別売品)で接続され、Bluetooth対応オーディオプレーヤーが正しくセットアップされている **6026** ときに表示されます。
- 走行中は、DVDなどのビジュアルソースに切り替えても、映像は映りません。
- 音声ソースを選択しているときのナビの音声案内の有無は、**6003** の「音声案内割り込み」の設定によります。
- 車両のアンテナが格納されている場合、VICS FMが受信できなくなったり、受信感度が悪くなる場合があります。

本機の多くの機能はトップメニューから操作します。

1 共通操作

1



MENU を押します。



トップメニューの画面が表示されます。
左端のタブでは、現在のモード(ナビモード/AVモード)に応じて、ナビメニューまたは現在のAVソースのメニュー画面が表示されま
す(画面例はナビモード)。



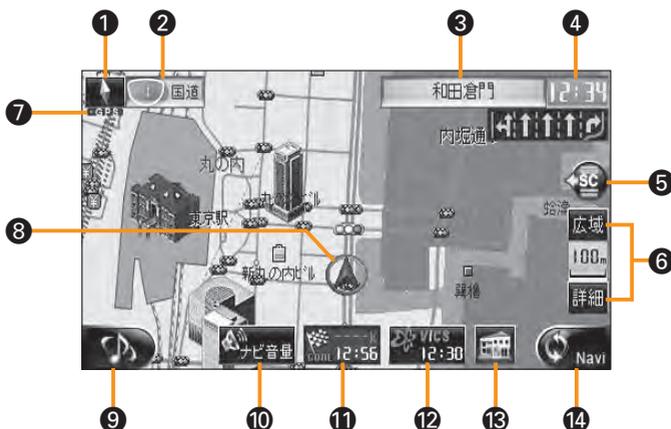
トップメニューに表示されるタブは次のとおりです。

タブ	機能	
ナビメニュー (または各ソース名のタブ)	ナビおよび各AVソースの操作や設定を行います。	—
サウンド調整	AVソースのプレイ時の音質や音場を調整します。	5001
ビットアップ	本機の各種の設定を行います。	6001



- 走行中は、メニューは操作できません。安全な場所に停車してから操作してください。
- ナビモードとAVモードの切り替えについては **1009** をご覧ください。

今いる場所（現在地）の地図が表示されます（現在地図画面）。



- 1 コンパスボタン**
地図の方位を示します。
タッチすると、地図の向き（ヘディングアップ/ノースアップ）が切り替わります。
ヘディングアップでは、進行方向が画面の“上”になるように地図が表示されます。走行中に地図を見るときに便利です。
ノースアップでは、地図の“北”が画面の“上”になるように地図が表示されます。ロードマップと同じ感覚で見ることが出来ます。
- 2 道路種別**
現在地の道路の種別や名称（番号）を表示します。
- 3 次交差点案内**
次の交差点の名称が表示されます。ただし、交差点に名称がない場合は、表示されません。
- 4 時計**
現在の時刻が表示されます。
時刻合わせの必要はありません。
- 5 ショートカットメニューボタン**
ショートカットメニューを表示します。 **2006**
- 6 広域ボタン/詳細ボタン**
地図の縮尺を変えて、より広域または詳細な地図を表示します。
使用できる縮尺は、200km～10mスケールです。
- 7 GPSマーク**
GPS衛星からの電波を受信しているときに表示されます。
- 8 自転車マーク**
現在地を示します。
- 9 サウンド切替ボタン**
ナビモードのままAVの音声を切り替えます。
 2003
- 10 ナビ音量ボタン**
ナビの音声案内の音量を調整します。
- 11 目的地情報ボタン**
ルート案内中に、目的地までの距離と到着予想時刻が表示されます。
- 12 VICS情報ボタン**
地図に表示されているVICS情報の提供時刻を表示します。情報があるときにタッチすると、最新のVICS情報が表示されます。 **3035**
- 13 自宅ボタン**
自宅に帰る道を案内します。 **3023**
- 14 くるくるボタン（簡易操作モード）**
ナビの操作ボタン、現在選択されているAVソースの操作ボタン、操作ボタン表示オフを順に切り替えます。
AVソースのボタンに切り替えると、ナビの画面を表示したまま、AVソースを操作できます。
 2004





- 地図が表示されていないときは **NAVI** を押してください。どんな画面が表示されていても、**NAVI** を押すと現在地図画面が表示されます。
- 10m~50mのスケールでは、市街地図が表示されます。50mスケールでは、通常の地図と市街地図の両方表示できます。ただし、市街地図は、収録されていない地域もあります。
- 設定した縮尺の地図が収録されていない地域に入ると、表示できる縮尺が自動的に切り替わります。
- 10mスケールでは、道路によっては、自車位置が道路の中央や右側に表示されることもあります。
- 現在地図画面の縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面で縮尺を変えても、現在地図画面に戻ったときには、直前の現在地図画面と同じ縮尺で表示されます。
- 地図の向きがノースアップのときには、自車マークは画面のほぼ中央に表示されます。また、ヘディングアップ時には、自車マークは画面の下から1/3の位置に表示され、進行方向の地図が広く表示されます。
- 地図を3Dで表示することもできます。**03※ 2006**
ただし、3Dで表示しているときには、地図の向きはヘディングアップに固定されます。
- 現在地図画面の地図の向きは記憶されます。このため、スクロール地図画面で地図の向きを変えても、現在地図画面に戻ったときには、直前の現在地図画面と同じ向きで表示されます。
- 表示される道路は、地図の縮尺によって異なります。
- 細街路（幅員5.5m未満の道路）は、走行中は自車位置が細街路上にあるときに表示されます。細街路を走行していないときには、地図のスケールにかかわらず表示されません。市街地図（10m~50mスケール）表示時には、停車中/走行中にかかわらず表示されます。
- 地図に表示するランドマークは、変更することができます。**03※ 6010**
お買い上げ時の状態では、ガソリンスタンド、カー用品店が表示されています。
- 3Dランドマークの表示をオン/オフできます。**03※ 6003**（3Dランドマーク）
- 方面看板情報のある交差点に近づくと、方面看板が表示されます。



方面看板を表示しないように設定することもできます。**03※ 6003**（方面看板）

- 実際の道路に複数の方面看板があっても、画面に表示されるのは1つだけです。
- 広域、詳細、自宅、VICs情報、目的地情報、およびナビ音量の各ボタンは、くるくるボタンがナビに切り替わっているときに表示されます。
- くるくるボタンで操作ボタンの表示をオフにすることもできます。



（くるくるボタン表示オフ）

- ルート案内中の現在地図画面については **2009** ~ **2011** をご覧ください。

地図をスクロールすると、必要な場所を表示できます(スクロール地図画面)。

ポイントスクロール

地図にタッチすると、タッチした場所がカーソルに合うように地図をスクロールできます。

1



画面の□内にタッチします。



スクロール地図画面に変わり、タッチした場所が地図画面の中央に位置するように地図が表示されます(ポイントスクロール)。



連続スクロール

地図にタッチし続けると、タッチしている方向に地図をスクロールできます。

1





- | | |
|---|---|
| <p>① コンパスボタン 2001</p> <p>② 時計</p> <p>③ ショートカットメニューボタン 2006</p> <p>④ 広域ボタン/詳細ボタン 2001</p> <p>⑤ カーソル</p> <p>⑥ 住所表示
カーソル位置のおよその住所が表示されます。</p> | <p>⑦ マークボタン
情報を表示するマークを選択します。 2005</p> <p>⑧ 情報ボタン
カーソル位置の情報を表示し、行き先(目的地または通過点)として設定できます。 3016、3017
また、選択したマークの情報を表示します。
 2005</p> <p>⑨ 距離・方向表示
カーソル位置から現在地への方向と距離が表示されます。</p> |
|---|---|



- スクロール地図画面から現在地図画面に戻るときは **NAVI** を押してください。
- スクロール地図画面と現在地図画面の縮尺は、別々に設定できます。
現在地図画面から切り替えた直後のスクロール地図画面の縮尺は、現在地図画面と同じです。
- スクロール地図画面と現在地図画面の地図の向きは、別々に設定できます。
現在地図画面から切り替えた直後のスクロール地図画面の地図の向きは、現在地図画面と同じです。
- 現在地図画面からスクロール地図画面に切り替えた直後のスクロール地図画面の地図の表示方法(2D/3D)は、現在地図画面と同じです。スクロール地図画面では3D表示しないように設定しておくこともできます。 6003 (地図スクロール)
- マークが重なっている場所では、下のマークが見えなくなる場合があります。
- 走行中でもスクロール地図画面は表示できますが、地図のスクロールはポイントスクロールのみです。
- 子画面(2007)にスクロール地図画面を表示することはできませんが、スクロールすることはできません。
- 市街地図(10m~50mスケール)で[情報]にタッチすると、カーソル位置の施設の情報が表示される場合があります。

画面はナビのまま、音声だけを他のAVソースに切り替えることができます。

1



にタッチします。

2



プレイするソースのボタンにタッチします。



- サウンド切替ボタンとくるくるボタンは、現在地図画面にのみ表示されます。これら进行操作するときには、**NAVI** で画面を現在地図画面に切り替えてください。
- サウンド切替ボタンのメニューは、約3秒間何も操作しないと自動的に閉じます。
- 表示されるボタンは入っているディスクの種類や設定によって変わります。
- プレイ可能な状態になっていないAVソースはグレーで表示され、選択できません。たとえば、本機にiPodが接続されていないときは、iPodのボタンはグレー表示されます。
- 内蔵HDDの編集中や曲の転送中は、[USB]、[DISC] (DVD、CD、圧縮ファイル)、[HDD]は選択できません。
- ハンズフリー通話中は、現在のソース以外のボタンは操作できません。
- 地デジやDVDなどの映像のあるAVソースを選択しても、上記の操作で切り替わるのは音声だけです。映像は切り替わりません。映像を観るときは、**AV** を押してください。**U3P 1009**
- 音声ソースを選択しているときでも、ナビの音声案内を聴くことができます。AVソースのプレイ時にはナビの案内音声は出力されないように設定することもできます。**U3P 6003** (音声案内割込)

0

1

2

3

4

5

6

7

くるくるボタンでAVソースの簡易操作モードボタンを表示すると、現在地を表示したままで現在のAVソースを操作できます。

DVDを操作する

DVDを選択しているときには、現在地図画面のくるくるボタン(5)でDVDの簡単な操作ができます。



1 プレイ情報

DVDの情報(ディスクタイトル、チャプター番号、タイムコード、再生状態など)が表示されます。



1 プレイ状態

表示例：

- ▶：プレイ中
- ||：ポーズ中
- R：レジュームストップ中
- ：ストップ中

2 チャプター番号

3 プレイ時間

4 ディスクタイトル

2 ■ (ストップ)

DVDのプレイをストップします。
▶で再びプレイできます。

3 ◀◀ (チャプターダウン)、▶▶ (チャプターアップ)

チャプターを選択します。

4 || (プレイ/ポーズ)

プレイ/一時停止します。

5 DVD (くるくるボタン)

簡易操作ボタンを切り替えます。



- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、[NAVI]で現在地図画面に切り替えてください。
- DVDがすでに挿入されているときは、[SRC]でDVDソースを選択できます([DIS] 1010)。また、[DVD]([DIS] 2003)で切り替えることもできます。
- ■でストップしたときには、そのシーンは記憶されており、▶▶にタッチするとストップしたシーンからプレイされます(レジューム機能)。
- ■に2回タッチすると、レジューム機能が解除されます。

CDを操作する

CDを選択しているときには、現在地図画面のくるくるボタン(5)でCDの簡単な操作ができます。



1 プレイ情報

CD情報が次のように表示されます。



1 プレイ状態

表示例：

- ▶：プレイ中
- ⏸：ポーズ中
- ⏹R：レジュームストップ中
- ：ストップ中

- ② トラック番号
- ③ プレイ時間
- ④ トラックタイトル

2 (ストップ)

CDのプレイをストップします。
⏹ で再びプレイできます。

3 (トラックダウン)、(トラックアップ)

トラックを選択します。

4 (プレイ/ポーズ)

プレイ一時停止します。

5 (くるくるボタン)

簡易操作ボタンを切り替えます。



- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、NAVI で現在地図画面に切り替えてください。
- CDがすでに挿入されているときは、SRC でCDソースを選択できます (F3F 1010)。また、(F3F 2003) で切り替えることもできます。
- 2回タッチすると、レジューム機能が解除されます。



AVファイルディスクを操作する

AVファイルディスクを選択しているときには、現在地図画面のくるくるボタン(7)でディスクの簡単な操作ができます。



① ▼ (フォルダダウ)、▲ (フォルダアップ)
フォルダを選択します。

② フォルダ番号
現在選択されているフォルダの番号が表示されます。

③ プレイ情報
ディスク情報が次のように表示されます。



① プレイ状態
表示例：

- ▶：プレイ中
- ||：ポーズ中
- R：レジュームストップ中
- ：ストップ中

② ファイル番号
③ プレイ時間
④ 曲名/ファイル名

④ ■ (ストップ)
ファイルのプレイをストップします。
▶ で再びプレイできます。

⑤ ◀ (ファイルダウン)、▶ (ファイルアップ)
ファイルを選択・プレイします。

⑥ || (プレイ/ポーズ)
プレイ一時停止します。

⑦ くるくるボタン (くるくるボタン)
簡易操作ボタンを切り替えます。



- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、[NAVI] で現在地図画面に切り替えてください。
- ▼ または ▲ にタッチ (フォルダサーチ) したときのファイルのプレイ順や、◀ または ▶ にタッチ (ファイルサーチ) したときのファイルのプレイ順については、7013 をご覧ください。
- ■ でストップしたときには、その位置は記憶されており、▶ にタッチするとストップした位置からプレイされます (レジューム機能)。
- ■ に2回タッチすると、レジューム機能が解除されます。

地デジを操作する

地デジを選択しているときには、現在地図画面のくるくるボタン (2) で地デジの簡単な操作ができます。



- ① ▼ (チャンネルダウン)、▲ (チャンネルアップ)
チャンネルを選局します。
長押しすると、受信できるチャンネルを探して受信します。

- ② くるくる (くるくるボタン)
簡易操作ボタンを切り替えます。



- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、**NAVI** で現在地図画面に切り替えてください。
- 走行中は、地デジの映像は映りません。



0

ラジオを操作する

1

ラジオを選択しているときには、現在地図画面のくるくるボタン(6)でラジオの簡単な操作ができます。

2

地図の表示と操作

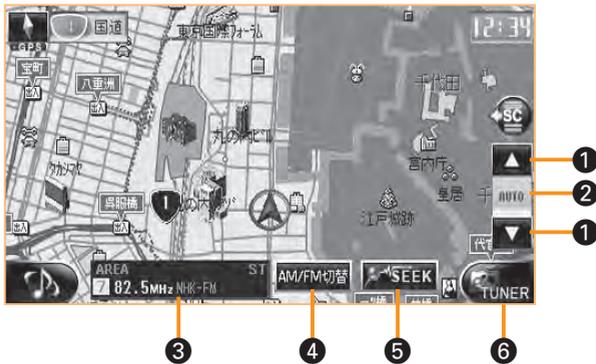
3

4

5

6

7



- 1 ▼ (シークダウン)、▲ (シークアップ)
放送局を選局します。

- 2 選局情報
現在のシークモードが表示されます。

- 3 プレイ情報
ラジオ情報が次のように表示されます。



- 1 エリアモード
2 ステレオ/モノラル
3 プリセットボタン番号
4 周波数
5 放送局名

- 4 AM/FM切替
バンド (FM/AM) を切り替えます。

- 5 SEEK
▼ または ▲ にタッチしたときの選局方法 (シークモード) を切り替えます。
シークモードについては、4002 をご覧ください。

- 6 TUNER (くるくるボタン)
簡易操作ボタンを切り替えます。



- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、[NAVI] で現在地図画面に切り替えてください。
- 車両のアンテナが格納されている場合、VICS FMが受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。
- ラジオを聴いているときにフロントパネルの開閉や角度調整を行うと、フロントパネルが動いている間、音声は一時的に消えます。フロントパネルの動作が終わると、元の音量に戻ります。

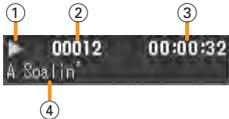
iPodを操作する

iPodを選択しているときには、現在地図画面のくるくるボタン(4)でiPodの簡単な操作ができます。



1 プレイ情報

iPod情報が次のように表示されます。



1 プレイ状態

表示例：

▶：プレイ中
 ||：ポーズ中

- 2 曲番号
- 3 プレイ時間
- 4 曲名

2 ◀◀ (曲ダウン)、▶▶ (曲アップ)
 曲を選択します。

3 || (プレイ/ポーズ)
 プレイ一時停止します。

4 iPod (くるくるボタン)
 簡易操作ボタンを切り替えます。



- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、[NAVI] で現在地図画面に切り替えてください。
- iPodは、iPod接続ケーブルKNA-i909 (別売品) で接続します。



0

USB機器を操作する

1

USB機器を選択しているときには、現在地図画面のくるくるボタン(7)でUSB機器の簡単な操作ができます。

2

地図の表示と操作

3

4

5

6

7



- ① ▼ (フォルダダウ)、▲ (フォルダアップ)
フォルダを選択します。

- ② フォルダ番号
現在選択されているフォルダの番号が表示されます。

- ③ プレイ情報
ソース情報が次のように表示されます。



- ① プレイ状態
表示例：
▶ : プレイ中
|| : ポーズ中
■R : レジュームストップ中
■ : ストップ中

- ② ファイル番号
③ プレイ時間
④ 曲名/ファイル名

- ④ ■ (ストップ)
ファイルのプレイをストップします。
▶ で再びプレイできます。

- ⑤ ◀ (ファイルダウン)、▶ (ファイルアップ)
ファイルを選択します。

- ⑥ || (プレイ/ポーズ)
プレイ一時停止します。

- ⑦ USB (くるくるボタン)
簡易操作ボタンを切り替えます。



- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、[NAVI] で現在地図画面に切り替えてください。
- ▼ または ▲ にタッチ (フォルダサーチ) したときのファイルのプレイ順や、◀ または ▶ にタッチ (ファイルサーチ) したときのファイルのプレイ順については、7013 をご覧ください。
- ■ でストップしたときには、その位置は記憶されており、▶ にタッチするとストップした位置からプレイされます (レジューム機能)。
- ■ に2回タッチすると、レジューム機能が解除されます。

ハードディスクを操作する

内蔵HDDを選択しているときには、現在地図画面のくるくるボタン(5)で内蔵HDDの簡単な操作ができます。



① ソース情報

ソース情報が次のように表示されます。



① プレイ状態

表示例：

- ▶：プレイ中
- ||：ポーズ中
- R：レジュームストップ中
- ：ストップ中

- ② ファイル番号
- ③ プレイ時間
- ④ 曲名/ファイル名

② ■ (ストップ)

ファイルのプレイをストップします。
▶|| で再びプレイできます。

③ ◀◀ (ファイルダウン)、▶▶ (ファイルアップ)

ファイルを選択します。

④ ▶|| (プレイ/ポーズ)

プレイ/一時停止します。

⑤ HDD (くるくるボタン)

簡易操作ボタンを切り替えます。



- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、[NAVI] で現在地図画面に切り替えてください。
- 静止画 (HDD-photo) を表示している場合には、②~④は操作できません。
- ■ でストップしたときには、その位置は記憶されており、▶|| にタッチするとストップした位置からプレイされます (レジューム機能)。
- ■ に2回タッチすると、レジューム機能が解除されます。



Bluetoothオーディオを操作する

Bluetoothオーディオを選択しているときは、現在地図画面のくるくるボタン(4)でBluetoothオーディオの簡単な操作ができます。



1 (ファイルダウン)、 (ファイルアップ)
ファイルを選択します。

2 (プレイ)
プレイします。

3 (ポーズ)
一時停止します。

4 (くるくるボタン)
簡易操作ボタンを切り替えます。



- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、 で現在地図画面に切り替えてください。
- 接続しているBluetoothオーディオプレーヤーによっては、上記のボタンで操作できないものもあります。

地図上に表示されている各種のマーク(ランドマーク、VICSマーク、メモリ地点)の情報を表示できます。



2002 (スクロール地図画面を表示)

1



情報を表示するマークのある場所を表示します。

2



[マーク]にタッチします。

3



目的のマークが選択されるまで、
◀ または ▶ にタッチします。



4



[情報]にタッチします。



選んだマークの詳細情報が表示されます。



- マーク情報は、800mスケールよりも詳細な地図で表示できます。
- 2画面表示時 (E3 2007) およびPinP表示時 (E3 2008) には、マークは選択できません。
- 4 の検索結果画面で、カーソルの位置を目的地 (E3 3017)、通過点 (E3 3016)、またはメモリ地点 (E3 3018) に設定することもできます。
- マークが重なっている場所では、下のマークが見えなくなる場合があります。
- 市街地図 (10m~50mスケール) を表示しているときには、目的の施設にカーソルを合わせて[情報]にタッチしても、その施設の情報を表示できる場合があります。
- [詳細]にタッチすると、駐車場などのVICS情報も表示されます (情報がある場合)。

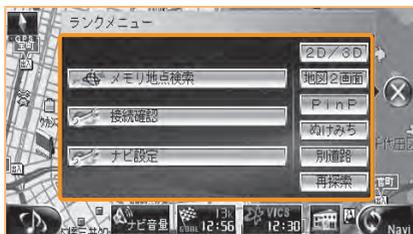
ショートカットメニューを表示します。
ショートカットメニューは、走行中でも使用できます。

1



SC にタッチします。

2



使いたいショートカットボタンやラ
ンキングショートカットボタンに
タッチします。



ショートカットメニューに表示されるショートカットボタンは次のとおりです。

ボタン	説明	
	地図の表示方法(2D/3D)を切り替えます。 3D表示の角度は3段階で調整できます。U3 TM 6003 (地図の角度)	—
	地図の1画面表示と2画面表示を切り替えます。	2007
ショート カット メニュー	映像のあるソースを選択中に、地図と映像を2画面表示します。	2008
	抜け道を考慮したルート探索を行います。	—
	現在地の道路種別(一般道/高速道路)を変えます。	2016
	ルート案内中に、ルート探索しなおします。	—
ランキングショートカットボタン	使用頻度の高い上位3つの機能が自動的に登録されます。	—



- ショートカットメニューは、現在地図画面とスクロール地図画面のどちらでも利用できます。
- ランキングショートカットボタンの登録は自動的に行われ、変更できません。お買い上げ時には、ランキングショートカットボタンには何も登録されていません。
- ランキングショートカットボタンの登録は、バッテリーを取り外したり、リセットキーを押すとクリアされます。
- ランキングショートカットボタンにタッチすると、すぐにその機能が実行されるか、必要な画面が表示されます。
- ランキングショートカットボタンは停車中のみ表示され、走行中には表示されません。走行中は、ショートカットボタンだけが表示されます。

0

ショートカットメニューの[地図2画面]にタッチすると、子画面を表示して、2つの地図を同時に表示できます。

1

2

地図の表示と操作

3

4

5

6

7



子画面

親画面



- 1画面/2画面表示の切り替えは、走行中でも操作できます。
- 2画面表示中にショートカットメニューの[地図1画面]にタッチすると、1画面表示に切り替えることができます。
- 子画面にタッチすると、子画面と親画面の地図を入れ替えることができます。
- 子画面にスクロール地図画面を表示することはできません。
- 子画面の縮尺や地図の向きを変えることはできません。変更したい場合は、一度親画面と入れ替えて変更し、再び子画面と入れ替えてください。
- スクロール地図画面が表示されているときに、2画面表示に切り替えたり、親画面と子画面を入れ替えたりすると、自車マークが正しく表示されない場合や、自車マークが表示範囲よりも外に出てしまって表示されなくなる場合があります。このようなときは、**[NAVI]** を押して現在地図画面を表示させてください。なお、親画面と子画面を入れ替えている場合は、元の状態に戻してから **[NAVI]** を押してください。

映像のあるソースが選択されているときにショートカットメニューの[PinP]にタッチすると、子画面にソースの映像を表示できます。



子画面

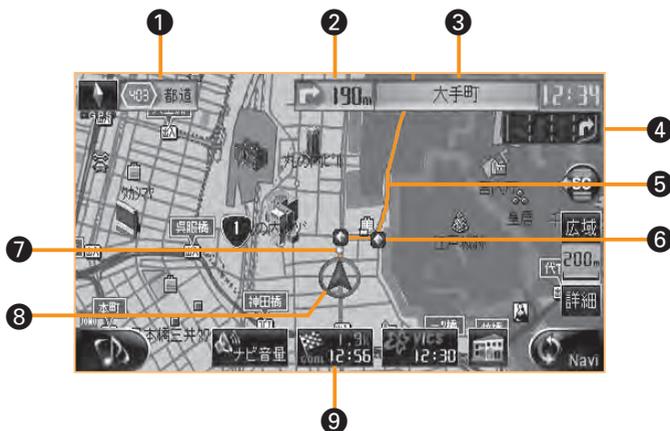


- AVファイルの転送中はPinP表示できません。
- PinP表示時に子画面にタッチすると、子画面の大きさを変更できます。
- 走行中には、映像は映りません。
- 映像のないソースに切り替ええると、PinP表示は解除されます。

一般道でのルート案内中には次の情報が表示されます。



● 本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。



- ① 道路種別
現在地の道路の種類や名称(番号)を表示します。
- ② 次の案内ポイントでの進行方向
次に画面や音声で案内のある場所までの距離と、そこでの進行方向が表示されます。
- ③ 次交差点案内
次の交差点の名称が表示されます。ただし、交差点に名称がない場合は、表示されません。
- ④ レーン案内
次の交差点での通行区分と推奨通過レーンが表示されます。
水色：推奨レーン
白色：通過可能なレーン
灰色：不適切なレーン
- ⑤ ドライブルート
ドライブルートが水色(細街路では青色)で表示されます。
- ⑥ 案内ポイント
近づくと画面表示や音声で案内のある場所です。
2011、2012
- ⑦ 目的地の方向
目的地の大まかな方向を示します。
- ⑧ 自転車マーク
- ⑨ 目的地情報ボタン
目的地までの距離と予想到着時刻が表示されます。



- 目的地情報ボタンやVICS情報ボタンなどが表示されていないときは、くるくるボタンがナビ以外に切り替わっています。くるくるボタンに何回かタッチして、ナビに切り替えてください。
- 学習ルートは明るい水色、抜け道はピンク色で表示されます。
なお、学習ルートや抜け道については **6003** (ルート学習やぬげみち表示) をご覧ください。
- 目的地に近づくと、自動的にGOALプレートが表示されます。自動的に表示されないように設定することもできます。
☞ **6003** (GOALプレート)
- [GOAL]にタッチすると、GOAL到達度画面が表示されます。



GOAL到達度の画面で[GOALプレート]にタッチするとGOALプレートが表示され、目的地情報を見ることができます。

☞ **2013**

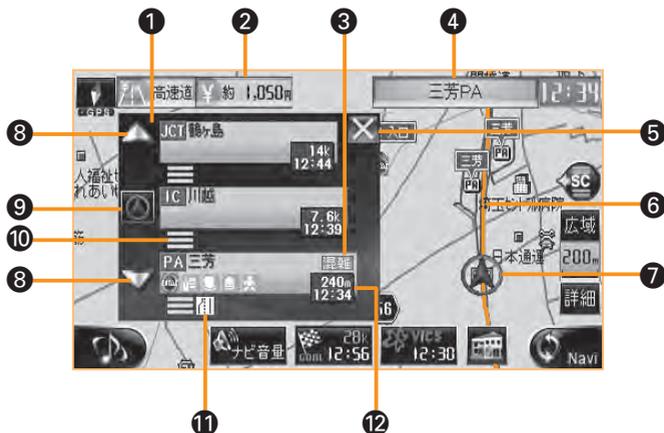
また、[ルート情報/詳細]にタッチすると、ルート情報・編集画面が表示されます。☞ **3027**

- 通過点や目的地が到達できない場所に設定されているときは、走行できる最も近い地点まで案内されます。
- 細街路を走行中の場合や、マップマッチングが正しく行われていない場合などは、道路名称は表示されません。
- レーン案内で、推奨レーン情報がない場合には、通行可能なレーンが水色で表示されます。
- [NAVI]を押すと、音声案内をもう一度聞きなおせます。ただし、繰り返して案内できないこともあります。
- ドライブルートは、実際には水色(細街路では青色)で表示されます。

有料道路(高速道路)でのルート案内中には次の情報が表示されます。



- 本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。



- 1 ハイウェイモード画面**
高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。
- 2 料金案内**
料金所に近づくと、音声案内とともに、通行料金が表示されます。
- 3 SA/PA混雑状況**
SA/PAの混雑状況が表示されます。
- 4 次施設案内**
次のインターチェンジ/ジャンクション、サービスエリア/パーキングエリアの名称が表示されます。
- 5 クローズボタン**
ハイウェイモード画面を閉じます。
ハイウェイモード画面を閉じた後で、 (ハイウェイモード復帰ボタン) にタッチすると、ハイウェイモード画面が再び表示されます。
- 6 ドライブルート**
- 7 自転車マーク**
- 8 スクロールボタン**
ハイウェイモード画面内の施設情報表示をスクロールします。
- 9 現在地復帰ボタン**
ハイウェイモード画面をスクロールしているときに表示され、現在地の表示までスクロールを戻します。
- 10 交通情報表示**
施設間の交通情報が表示されます。
緑色：順調・不明
橙色：混雑
赤色：渋滞
- 11 規制情報表示**
車線規制等の情報(VICS情報規制表示)が4件までマークで表示されます。マークについては **3035** をご覧ください。
- 12 次施設案内表示**
進行方向にあるインターチェンジ(IC)/ジャンクション(JCT)、サービスエリア(SA)、パーキングエリア(PA)までの距離、通過予想時刻、および各施設の設備が表示されます。

サービスエリア (SA) やパーキングエリア (PA) などの施設の設備は次のマークで表示されます。

記号	名称	記号	名称	記号	名称
	FAX		コーヒー		身障者施設
	インフォメーション		ドラッグ		授乳室
	お風呂		ハイウェイ情報ターミナル		宝くじ
	温泉		宿泊施設		名産
	銀行		郵便局		トイレ
	コインシャワー		郵便ポスト		公衆電話
	コインランドリー		レストラン		身障者用トイレ
	コイン洗車機		休憩所		
	スマートIC出口		軽食・自動販売機		

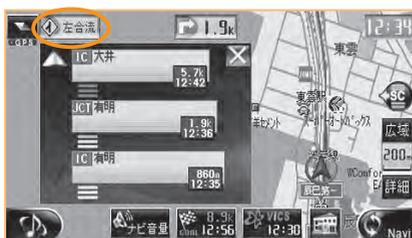
※ ガソリンスタンドのマークは、元売り各社のロゴで表示されます。



- ハイウェイモード画面は、ルート案内中であるかどうかにかかわらず、高速道路を走行中に表示されます。ただし、高速道路によっては表示されない場合があります。また、ルート案内していないときは、ハイウェイモード画面が表示されない場合もあります。
- クローズボタンでハイウェイモード画面を閉じて、本機の電源をオフにした後に再びオンにしたときには再度表示されます。
- 料金情報が収録されている料金所では、通過時に通行料金が案内されます。料金は、**6005** で設定した情報に従って算出されます。ただし、1ナンバーが設定されているときには中型車の料金が案内されます。
- すべての有料道路の通行料金を表示できるわけではありません。表示できる通行料金は、都市高速道路(首都高速道路など)、都市間高速道路(東名高速道路など)、および本機の地図データベースに料金情報が収録されている有料道路だけです。
- 案内される料金には、各種ETC割引、夜間料金等は考慮されていません。
- 表示される通行料金は地図データベース作成時点のもので、データ整備の状況により、古い料金が表示される場合があります。
- 有料道路の通行中にルート探索または再探索を行った場合には、料金が案内されないことがあります。
- 施設の設備のマークは最大6個まで表示されます。
- ドライブルートは、実際には水色で表示されます。

合流があるときは

高速道路を走行中に進行方向に右または左から合流があるときには、画面と音声で案内があります。



- ジャンクションなどの加速車線から本線に合流する前には「この先、合流があります」とアナウンスされます。

料金所に近づくと



料金所に近づくと、通行料金が画面表示と音声で案内されます。

料金所レーン案内 (ETC 6003) で [ETC] を選択しているときには、料金所ゲートのETCレーンが案内されます。

矢印 (白) : ETCで通過可能

矢印 (灰) : 時間によっては通行不可

矢印なし : 一般レーン

同様に、料金所レーン案内で [一般] を選択しているときには、料金所ゲートの一般レーンが案内されます。

矢印 (白) : ETCなしで通過可能

矢印 (灰) : 時間によっては通行不可

矢印なし : ETC専用レーン



- 料金データが地図データベースに収録されていない料金所では、通行料金は案内されません。
- 地図データベース作成後の料金変更は反映されていません。また、ETC割引や夜間割引等の各種の割引は考慮されていません。このため、案内される通行料金と実際の通行料金が異なる場合があります。
- 有料道路 (高速道路) の通行中にルート探索や再探索を行った場合には、通行料金は案内されないことがあります。
- 通行料金は、設定された車両情報 (車両種別) に基づいて算出されます。ただし、車両種別が「1ナンバー」に設定されているときは中型車の料金が案内されます。
- 料金所の先の方面看板のデータが収録されていない場合、模式図で案内される場合や何も表示されない場合があります。
- 表示される通行料金は、地図データベース作成時点のもので、実際の通行料金と異なる場合があります。

案内ポイントに近づくと、進行方向が画面で案内されます。

一般道の交差点

一般道では、案内ポイントの約300m手前に近づくと、交差点拡大図が表示されます。



【3D表示】



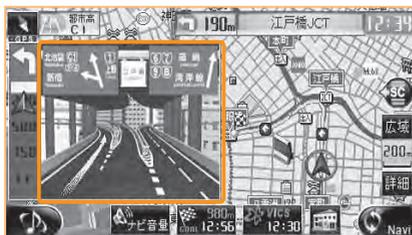
【2D表示】

都市高速道路の入口



都市高速道路の入口に近づくと、入口付近の拡大図(3D)が表示されます。

高速道路のインターチェンジ(IC) /ジャンクション(JCT)

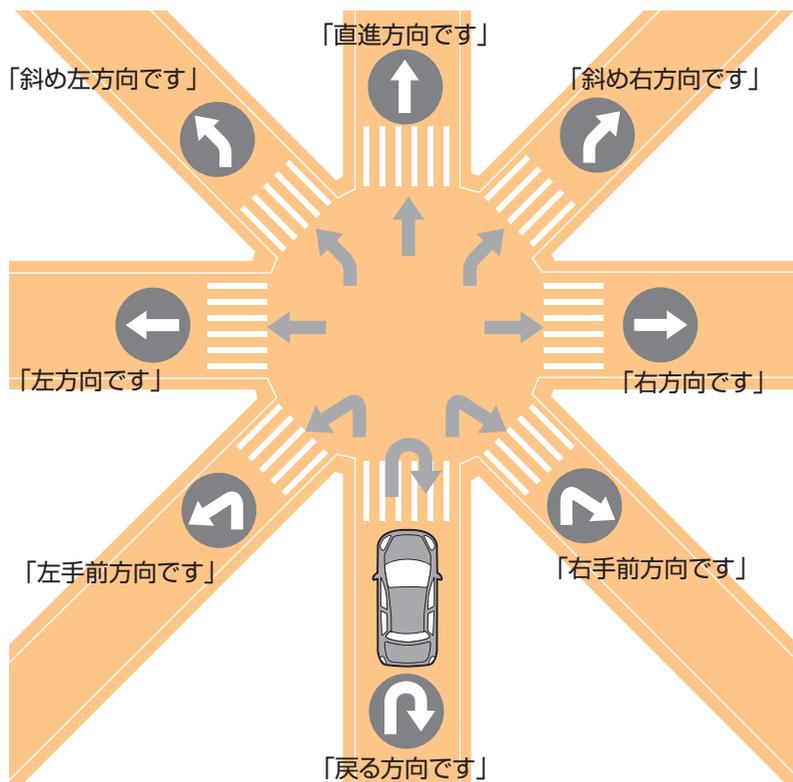


高速道路では、案内ポイントの約1km手前に近づくと、IC/JCT拡大図が表示されます。



- 一般道の交差点拡大図の2D表示と3D表示の切り替え方法については、**6003** (交差点拡大図) をご覧ください。ただし、3D表示に設定していても、場所によっては2D表示になる場合があります。
- 拡大図は、案内ポイントを通過すると自動的に消えます。通過前に消したいときは、拡大図の枠内(□)にタッチしてください。ただし、一度消した拡大図は再表示できません。

案内ポイントに近づくと、進行方向が音声で案内されます。



- 本線を直進する場合でも、左（または右）に分岐路があると「斜め右（または斜め左）方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。
- 案内ポイントの直前では、ポンポンと音が鳴ります。

2 013

目的地の情報を表示する

0

1

2

3

4

5

6

7

地図の表示と操作

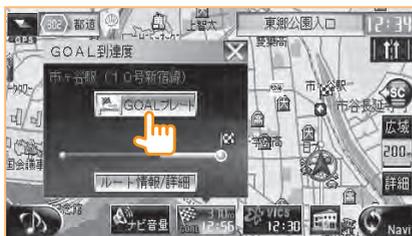
ルート全体の中での現在の到達度をメーターで見ることができます (GOAL到達度)。また、目的地の詳細情報を見ることもできます (GOALプレート)。

1



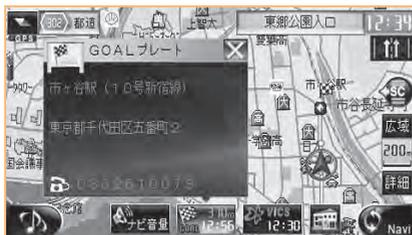
[GOAL]にタッチします。

2



[GOALプレート]にタッチします。

全行程での進行度合いがバー表示されます。自動車マークが現時点での到達度です。



目的地の情報が表示されます。



● [ルート情報/詳細]にタッチするとルート情報・編集画面が表示されます。036 3027

2 014 ルートから外れたときは

案内中のルートから外れても、何も操作する必要はありません。自動的に新しいルートが探索され（オートリルート）、案内が再開されます。



ルートから外れると



自動的にルート探索しなおされます。



- ルートから外れていると、常にオートリルートが行われます。意図的にルートを外れるときなど、オートリルートを中止したいときは、ルート案内を中止してください。037 3033
- 中止したルート案内を再開するには、ルート情報/編集画面の[探索]を使用してください。037 3027
- いつも同じ場所でルートをはずれ、異なる道を通っていると、その道筋が学習されてルート探索に反映されます（学習ルート）。ただし、通常のルートと比較して、そのルートの距離があまりに長かったり、右左折回数が多い等、メリットが少ないと判定された場合には、学習されません。ルート学習させるためには、「ルート学習」を[する]に設定してください。037 6003（ルート学習）
- ドライブルートは、実際には水色（細街路では青色）で表示されます。

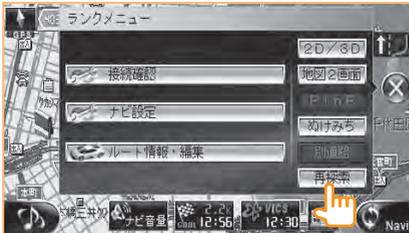
現在地から残りの通過点を通して目的地に行くルートを探しなおすことができます(再探索)。オートリルートで探索されたルートが効率的でないときなどに使用すると便利です。

1



◀ SC にタッチします。

2



[再探索]にタッチします。



新しいルートで案内が開始されます。



- 再探索時にはルートの種類(標準/距離など)は選択できません。元のルートと同じ種類のルートとなります。ルートの種類を変えて再探索する場合は、ルート情報・編集画面(☰ 3027)の[探索]を使用してください。
- 有料道路を走行中にルートを再探索すると、該当区間の料金表示がされなくなる場合があります。
- ドライブルートは、実際には水色(細街路では青色)で表示されます。



- ルートから外れると、オートリルートされます。このオートリルートでは、元のルートに戻るようにルート探索されます。このため、意図的にルートから外れていくときには、オートリルートで探索されるルートが最適ではない場合があります。再探索では、それまでのルートをいったん消去し、現在地から残りの通過点を通して目的地に行くルートが新しく探索されます。このため、再探索以前に比べて最適なルートになる場合があります。

高速道路と一般道が並行している場所などで、自車位置を強制的に変えます。

1



◀ SC にタッチします。

2



[別道路]にタッチします。



自車位置が別の道路に変わります。



- 並行している道路がないとき、または並行している道路が離れているときには、[別道路]にはタッチできません。
- ルート案内中に別道路に自車位置を変えると、しばらく走行してから自動的にルート探索が行われます。
- 別道路に自車位置を変えた直後には、自車マークが不安定になる場合があります。
- ドライブルートは、実際には水色（細街路では青色）で表示されます。



- 一般道を走行しているのに頭上の高速道に自車位置がマップマッチングされているとき、またはその逆の場合など、自車位置を正しい道路に戻すときに使用できます。

2 017

渋滞していたら

0

VICSで渋滞情報や通行規制情報を受信すると、それらの交通情報を考慮したルートが自動的に探索されます(最適時間考慮探索)。

1

2

地図の表示と操作

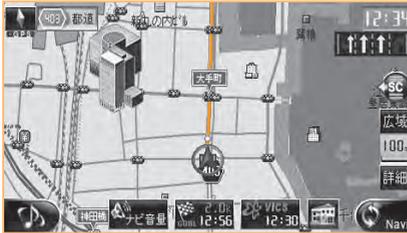
3

4

5

6

7



交通情報を考慮したルートが自動的に探索されて案内されます。



- この機能を使用するためには、光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99(別売品)が必要です。ただし、光・電波ビーコンVICSユニットを接続していても、VICS渋滞情報や通行規制情報を受信しないと再探索は行われません。
- この機能を使用するためには、セットアップメニューの「最適時間考慮」をオンに設定しておいてください。IC303 6003
- 渋滞を進んだほうが早いときや渋滞を回避するルートがないときは、再探索後のルートが同じになる場合や再探索を行わない場合もあります。
- ルートの種類を[距離]にしている(IC303 3017)場合は、本機能は使用できません。
- ドライブルートは、実際には水色(細街路では青色)で表示されます。

3 001

ナビメニューを表示する

ナビの各種の操作を行うナビメニューを表示します。



NAVI (ナビモードに切り替え)

1



MENU を押します。



ナビメニューが表示されます。



ナビメニューに表示されるボタンは次のとおりです。

ボタン	機能	
	いろいろな方法で、行き先やメモリ地点として本機に記憶させる場所を探します。	3002
	ルートを確認・編集します。	3024
	VICS渋滞情報を表示します。 また、タッチゲームで遊ぶこともできます。	3036
	本機に記憶させた場所(メモリ地点)などを編集します。	3041

ナビの操作

0

1

2

3

4

5

6

7

3

002

探すメニューを表示する

探すメニューで、行きたい場所(目的地/通過点)やナビに記憶させておく場所(メモリ地点)をいろいろな方法で探します。



NAVI



MENU

(ナビメニューを表示)

3

ナビの操作

1



[探す]を押します。



探すメニューが表示されます。



- 本機では、行きたい場所は6か所まで登録できます。このうち、最後に行く場所を目的地、それ以外の5か所を通過点と呼びます。また、通過点1～通過点5および目的地の並びをドライブプランと呼びます。
- 本機では、メモリ地点は100か所まで登録できます。

3

003

いろいろな探しかた

本機では、次の方法で、行きたい場所(目的地/通過点)やナビに記憶させておく場所(メモリ地点)を探せません(地点検索)。

ボタン	説明	
	食事や買い物など、施設のジャンルで場所を探します。 エリア(県、市区町村)で絞り込むこともできます。	3004
	住所で場所を探します。 建物番号までわかると、ピンポイントで場所を探せます。	3007
	電話番号で場所を探します。 電話番号と名字がわかれば、個人宅も探せる場合があります。	3008 3009
	経度と緯度で場所を探します。	3010
	施設名やキーワードで場所を探します。 エリア(県、市区町村)およびジャンルで絞り込むこともできます。	3011
	地図をスクロールしながら場所を探します。	3012
	現在地、目的地、またはドライブルート周辺の施設の場所を探します。	3013
	本機に保存した場所(メモリ地点)の中から探します。	3014
	以前に到達した目的地(過去の目的地)の中から探します。	3015

3

004

ジャンルで探す

食事できる場所や買い物できる場所など、目的のジャンルを絞り込みながら場所を探します(ジャンル検索)。



ナビの操作

3

1



[ジャンル検索]にタッチします。

2



ジャンルの大分類のボタンにタッチします。

大分類の内容については **3005** をご覧ください。

3



ジャンルの中分類のボタンにタッチします。

4



ジャンルの小分類のボタンにタッチします。

目的の分類が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。



5



目的の施設にタッチします。

目的の施設が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。



検索結果画面が表示されます。

ナビの操作

0

1

2

3

4

5

6

7



- 2 で、[緊急施設検索]にタッチすると、現在地付近の警察署、病院、ドラッグストア、トイレ、駐車場、ガソリンスタンド、ロードサービス、レッカーサービスの場所を探せます。
- 4 で、選択した小分類に該当する件数が多い場合は、5 の前に住所から探す画面が表示されます。
- 5 で、[50音]または[近い順]にタッチすると、50音順または距離の近い順に並べ替えることができます。
- 5 で、[住所で絞り込む]にタッチすると、施設の住所を指定して絞り込むことができます。037 3007
- 5 の画面で、ボタン内に名称等を表示しきれない場合は、右側に [] が表示されます。このボタンにタッチすると、文字をスクロールできます。
- 5 で、[マッピング]にタッチすると、検索された施設のうち、現在地から半径20km以内の施設の位置関係がポジションマップ上に表示されます。



- 5 の検索結果画面については 3006 をご覧ください。

ジャンル検索は次のように分類されています。
また、最寄りの病院や警察署、ガソリンスタンドなどを簡単に探すこともできます。

大分類	中分類
	和食、洋食、中華、テイクアウト、ラーメン、カレー、焼き肉、ファーストフード、 多国籍料理、ファミレス
	食料品、日用品、子供用品、ドラッグストア、ファッション、デパート、 ショッピングモール、コンビニ
	ビデオ&CD&本、リサイクル&レンタル、車用品、ペット用品、インテリア用品、 スポーツ&アウトドア用品、その他
	IC・SA・PA、ガソリンスタンド、駐車場、車用品、ディーラー、中古車販売、 カーレスキュー、レンタカー&バイク、免許、ケンウッドサービス
	美容院、理容店、エステティック、ネイルサロン、ペット美容院
	カフェ、スイーツ、その他
	スポーツ、娯楽、観光、宿泊&温泉、ドライブ
	病院、公共&生活、交通機関、金融機関
	警察署、病院、ドラッグストア、トイレ、駐車場、ガソリンスタンド、ロードサービス、 レッカーサービス



- [緊急施設検索]は現在地周辺から検索されます。
- [食事]～[暮らし]は、収録されている全データから検索されます。必要に応じて、住所で絞り込んでください。

場所が見つかりと検索結果画面が表示され、場所の住所や電話番号などの情報が表示されます。また、この画面で、探し出した場所を行き先などに設定できます。



ボタン	説明	
通過点	地点検索した場所を通過点に設定します。 通過点は5か所まで設定できます。	3016
目的地	地点検索した場所を目的地に設定します。	3017
詳細	地点検索した施設のテナント情報を表示します。	3019
地図表示	地点検索した場所周辺の地図を表示します。	3020
駐車場	地点検索した施設の駐車場を探します。	3021
周辺検索	地点検索した場所周辺で最寄り検索します。	3022
発信	地点検索した施設に電話をかけます。	
登録	地点検索した場所をメモリ地点として登録します。 メモリ地点は100か所まで登録できます。	3018



- [駐車場]は、地点検索した施設と提携している駐車場がある場合にタッチできます。
- [発信]は、Bluetoothで携帯電話が接続されており、地点情報に電話番号が登録されているときに表示されます。
なお、Bluetoothで携帯電話を接続するためには、BluetoothユニットKCA-BT200（別売品）および変換ケーブルKNA-BT909（別売品）が必要です。

住所で場所を探します(住所検索)。指定できる住所は、都道府県、市区町村、地名、番地(丁目、番、号)です(例:「東京都千代田区丸の内3丁目4番1号」)。



1



【住所検索】にタッチします。

2



市区町村名のボタンにタッチします。

市区町村名は、[あ]～[わ]で頭出しできます。目的の市区町村名が表示されていない場合は、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。

3



地名のボタンにタッチします。

地名は、[あ]～[わ]で頭出しできます。目的の地名が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。



4



画面に従って、住所の続き(番地など)を入力します。



検索結果画面が表示されます。



- 現在地と異なる都道府県の住所を指定する場合は、2の前に都道府県を選択します。近隣の都道府県は、画面下部のボタンで選択できます。それ以外の都道府県は、[他の県]にタッチし、表示される都道府県リストで選択してください。



- [〇〇主要部]や[〇〇周辺]にタッチすると、それ以降の指定を省略して地点検索できます。この場合、都道府県や市区町村の主要な役場やそこまでに指定されている住所の中央部が検索されます。
- 「郡」の指定は不要です。都道府県名に続いて町村名を指定してください。
- 住所の表記は場所によって異なります。
4では、画面の表示に従って、住所の続きを入力してください。
- 4で[番号入力]が表示されているときは、そのボタンにタッチすると、番地などを画面に表示されるテンキーで指定できます。
- 4の検索結果画面については **3006** をご覧ください。

0

1

2

3

4

5

6

7

ナビの操作

3 008

電話番号で施設を探す

電話番号で施設の場所を探します(電話番号検索)(例:「03-3213-8775」)。



ナビの操作

1



[番号検索]にタッチします。

2



電話番号を市外局番から入力します。

3



[決定]にタッチします。



検索結果画面が表示されます。





- 3 で、[消去]にタッチすると、最後の1文字を削除できます。
- 電話番号は、市外局番から6桁以上入力すると検索できます。
- 指定した電話番号がデータベースに収録されていない場合は、市外局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 電話番号がデータベースに収録されていても、ピンポイントで検索できない場合があります。
- データベースの整備状況によっては、一部のデータが検索できない場合があります。
- 3 の検索結果画面については **3006** をご覧ください。
- 個人宅を電話番号で検索する場合は **3009** をご覧ください。



- 会社の場所を電話番号検索するときには、代表番号を指定すると比較的確実です。直通番号はデータベースに収録されていない場合が多く、検索できない場合があります。

3

009

電話番号と名字で個人宅を探す

電話番号と名字で個人宅の場所を探します(電話番号検索)(例:「0332511791」の「あんどう」)。



NAVI

MENU



ナビの操作

1



[番号検索]にタッチします。

2



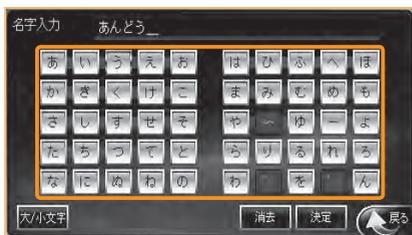
電話番号を市外局番から入力します。

3



[個人宅]にタッチします。

4



名字(かな)を入力します。



5



[決定]にタッチします。



検索結果画面が表示されます。

ナビの操作

0

1

2

3

4

5

6

7



- 文字の入力方法については **3046** をご覧ください。
- **2** と **4** で、[消去]にタッチすると、最後の1文字を削除できます。
- 個人宅を探す場合は、**2** で電話番号は10桁以上入力してください。10桁以上入力されるまで[個人宅]にはタッチできません。
- 電話番号がデータベースに収録されていても、ピンポイントで検索できない場合があります。
- 名字とは電話帳に記載されている名前で、電話の名義人や世帯主とは異なる場合があります。
- データベースの整備状況によっては、一部のデータが検索できない場合があります。
- 個人宅を検索した場合には、検索結果画面に住所や漢字名などの個人情報には表示されません。
- **5** の検索結果画面については **3006** をご覧ください。

3

010

経緯度で探す

東経と北緯で場所を探します(経緯度検索)(例:北緯35度40分06秒/東経139度45分55秒)。



NAVI

MENU



3

ナビの操作

1



[番号検索]にタッチします。

2



[緯度・経度]にタッチします。

3



[緯度]にタッチし、緯度を入力します。

例の場合は、35[度]40[分]06[秒]と入力します。

4



[経度]にタッチし、経度を入力します。

例の場合は、139[度]45[分]55[秒]と入力します。



5



[決定]にタッチします。



検索結果画面が表示されます。



- 経緯度は、日本測地系の座標値を指定してください。
- 指定できる範囲は、北緯12度0分0秒/東経104度0分0秒～北緯54度39分59秒/東経167度59分59秒です。
- 経度の度は3桁、その他は2桁で入力してください。たとえば北緯40度1分6秒の場合、[4][0][度][0][1][分][0][6][秒]とタッチします。
- 5の検索結果画面については **3006** をご覧ください。

3

011

名称で探す

会社や施設の場所を名称で探します(50音検索)(例:「ケンウッド」)。
探し出された場所が多い場合には、エリア(所在地)やジャンル(施設の種類)で絞り込むことができます。



ナビの操作

1



[50音検索]にタッチします。

2



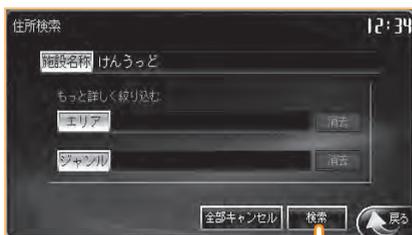
施設名(かな)を入力します。

3



[決定]にタッチします。

4



[検索]にタッチします。

件数が多い場合は、エリアやジャンルで絞り込むことができます。



5



目的の施設にタッチします。

目的の施設が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。



検索結果画面が表示されます。

ナビの操作

0

1

2

3

4

5

6

7



- 文字の入力方法については **3046** をご覧ください。
- 2 で、[消去]にタッチすると、最後の1文字を削除できます。
- 5 のリストの各ボタンには、その施設までの距離と方向が表示されます。
- 5 の画面で、ボタン内に名称等を表示しきれない場合は、右側に  が表示されます。このボタンにタッチすると、文字をスクロールできます。
- 検索結果が1件だけの場合、5 のリストは省略されて検索結果画面が表示されます。
- 5 の検索結果画面については **3006** をご覧ください。



- 2 で、名称をすべて入力する必要はありません。「現在の絞り込み件数」に表示されているヒット件数が少なくなるまで入力、あとは 5 でリストから選択するほうが簡単な場合があります。

3 012 地図で探す

場所を知っているときなどは、地図上で探した(地図検索)ほうが早い場合があります。



ナビの操作

1



[地図検索]にタッチします。

2



地図をスクロールして、目的の位置にカーソルを合わせます。

3



[決定]にタッチします。



検索結果画面が表示されます。



- 2の地図は、スクロール地図画面と同様に操作できます。0302 2002
- 2で、[マーク]にタッチするとマークの情報が表示されます。0303 2005
- 情報のある施設のマークがスクロール地図画面上に表示されている場合は、そのマークを選択して情報を確認したり、目的地などに設定したりすることもできます。0304 2005
- 3の検索結果画面については 3006 をご覧ください。



3 013 周辺から探す

基準地（現在地、目的地、またはルート）周辺の施設をジャンル別に探します（周辺検索）。



1



[周辺検索]にタッチします。

ナビの操作

3

2



基準とする場所のボタンにタッチします。

目的地が設定されていないときには[目的地周辺]はタッチできません。
また、ルート案内が開始されていないときには[ルート周辺]はタッチできません。

3



目的のジャンル（大分類）にタッチします。

4



目的のジャンル（小分類）にタッチします。

目的のジャンルが表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。



0

1

2

3

ナビの操作

4

5

6

7

5



[検索]にタッチします。

6



目的の施設にタッチします。

目的の施設が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。



検索結果画面が表示されます。



- 2 または 3 で、[緊急施設検索]にタッチすると、現在地付近の警察署、病院、ドラッグストア、トイレ、駐車場、ガソリンスタンド、ロードサービス、レッカーサービスの場所を探せます。
- 4 で、ジャンル(小分類)のボタンにタッチすると、そのジャンルが選択されます。同じボタンにもう一度タッチすると、選択が解除されます。ジャンルは、同時に5種類まで選択できます。
- 4 または 5 で、[全解除]にタッチすると、すべてのジャンル選択を解除できます。
- 6 で、[50音]または[近い順]にタッチすると、50音順または距離の近い順に並べ替えることができます。
- 6 の画面で、ボタン内に名称等を表示しきれない場合は、右側に [] が表示されます。このボタンにタッチすると、文字をスクロールできます。
- 6 で、[マッピング]にタッチすると、検索された施設をポジションマップ上に表示できます。036 3004
- 6 で[さらに先も探す]にタッチすると、検索エリアを広げて再検索できます。再検索は、2回まで、検索結果の施設が100件になるまで行えます。
- 2 で[ルート周辺]を選択した場合、検索エリアは目的地の方向に広がります。この場合、検索エリアが目的地付近に到達するまで検索でき、検索の回数に制限はありません。ただし、ルートから外れているときには再検索できません。また、検索エリアが目的地まで及んだ場合は、[さらに先も探す]はタッチできません。
- 目的のジャンル(小分類)を選んだ段階で該当件数が100件以上ある場合には、[さらに先も探す]はタッチできません。
- 6 の検索結果画面については 3006 をご覧ください。

本機に記録した場所から探します（メモリ地点検索）。



1



【メモリ地点検索】にタッチします。

ナビの操作

3

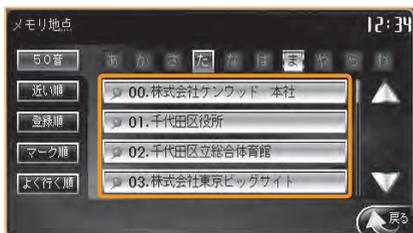
4

5

6

7

2



目的のメモリ地点にタッチします。

目的のメモリ地点が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。



検索結果画面が表示されます。



● メモリ地点が1か所も登録されていないときは、【メモリ地点検索】にはタッチできません。

● 2で、メモリ地点のリストを便利な順に並べ替えることができます。

[50音]：メモリ地点の読み仮名を使って、50音順に並べ替えます。

50音順で表示すると上部に[あ][か][さ]などのボタンが表示され、このボタンで頭出しできます。

ただし、メモリ地点に読み仮名が設定されていないと、正しく並べ替えることはできません。035- 3045

[近い順]：現在地からの距離が近い順に並べ替えます。

[登録順]：メモリ地点の登録時期が新しい順に並べ替えます。

[マーク順]：メモリ地点に付けられているマークごとに並べ替えます。

[よく行く順]：目的地に設定して、到着した回数の多い順に並べ替えます。

● メモリ地点の登録方法については、3018 をご覧ください。

● 2の検索結果画面については、3006 をご覧ください。

3

015

過去の目的地から探す

本機で目的地に設定し、実際に到達した場所（過去目的地）は、古いものから順に20か所が自動的に記憶されています。それらの過去目的地から場所を探します（過去目的地検索）。



ナビの操作

1



[過去の目的地検索]にタッチします。

2



目的の過去の目的地にタッチします。

目的の過去の目的地が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。



検索結果画面が表示されます。



- 過去目的地が1か所もないときは[過去の目的地検索]にはタッチできません。
- 目的地として設定してルート探索しただけでは過去目的地として記憶されません。
- 最新の20か所よりも古い過去目的地は自動的に消去されます。
- 2の検索結果画面については **3006** をご覧ください。

地点検索した場所をドライブプランの通過点に設定します。



3004 ~ 3015 (場所を検索)

1



[通過点]にタッチします。

ナビの操作

3

4

5

6

7



- 通過点は5か所まで設定できます。
- すでに5か所の通過点が設定されているときには、[通過点]にはタッチできません。他の場所を通過点に設定したいときは、先に不要な通過点を削除してください。📍 3029
- 通過点は、設定した順に“通過点1”、“通過点2”… “通過点5”となり、この順に通るルートが探索されます。
- 設定した通過点の場所や順番を変更することができます。📍 3027 ~ 3028
- たとえば、トンネルの上に一般道があるような場所で、トンネルと一般道が交差する場所を通過点に指定した場合など、通過点に指定した場所に異なる種類の道路が存在するときには、道路の種類を選択する画面が表示されます。



この画面で、通過点を設定する道路を選択してください。

なお、指定した通過点付近に存在しない道路のボタンは選択できません。

- 通過点を設定したときにすでに目的地が設定されていると、自動的にルート探索が開始されます。📍 3017

地点検索した場所をドライブプランの目的地に設定してルート探索し、ルート案内を開始します。このとき、ドライブルートの種類を選択できます。



3004 ~ 3015 (場所を検索)

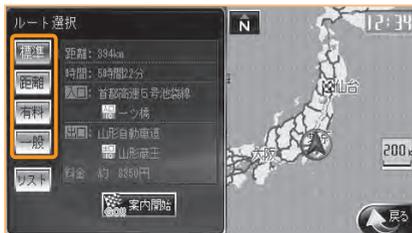
ナビの操作

1



[目的地]にタッチします。

2



ルートの種類のボタンにタッチします。

- 推奨** : お奨めのルートです。
- 距離** : 距離の短さを優先したルートです。ただし、最短距離のルートにならない場合もあります。
- 有料** : 有料道路(高速道路)を優先的に使うルートです。ただし、有料道路だけでは目的地に到達できない場合は、一般道も通るルートとなります。
- 一般** : 一般道を優先的に使うルートです。ただし、距離が長くなる場合や途中で回避しにくい有料道路がある場合は、有料道路を通るルートとなる場合があります。

3



[案内開始]にタッチします。

現在地図画面に戻り、ルート案内が開始されます。





- 本書では、ドライブプランに従って本機が算出した道筋をドライブルートと呼びます。
- 目的地を設定すると自動的にルート探索が開始されます。このため、目的地のほかに通過点もあるルートを探査する場合には、先に通過点を設定することをお勧めします。**038** **3016**
- スクロール地図画面で施設やマークにカーソルを合わせて[情報]にタッチしても、**7**と同じ検索結果画面を表示でき、目的地を設定できます。**038** **2005**
- 目的地として設定できるのは1か所だけです。すでに目的地が設定されているときにさらに目的地を設定すると、先に設定した目的地が消去され、後から設定した目的地が有効になります。
- たとえば、近接する高速道路と一般道に場所を目的地に指定した場合など、目的地に指定した場所付近に異なる種類の道路が存在するときには、道路の種類を選択する画面が表示されます。



この画面で、目的地を設定する道路を選択してください。

なお、指定した目的地付近に存在しない道路のボタンは選択できません。

- ルート案内開始後に新しい目的地を設定すると、通過点がある場合は、すべての通過点を削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。
削除する場合は[はい]にタッチしてください。
通過点を削除せずに目的地を設定すると、現在地からそれらの通過点を通して新しい目的地へ到達するルートが探索されます。
- 目的地や通過点が鉄道や高速道路、河川の近くなどに設定されていると、ルート探索できない場合があります。近くの別の場所（幹線道路上）などに設定しておいてください。
- 出発地から探索対象道路までの間と探索対象道路から通過点/目的地の間では、探索対象外道路（幅員5.5m未満の細街路等）もルート探索の対象になります。ただし、探索対象外道路での交通規制（一方通行や時間通行止等）は考慮されません。そのような道路を通行するときには、実際の交通規則に従って通行してください。
- 所要時間は予測であり、実際の所要時間と異なる場合があります。
- 適切な通行料金を表示するためには、車両種別を正しく設定してください。**038** **6005**
- 期間限定や往復などの割引料金が設定されているルートでは、通行料金が正しく表示されない場合があります。
- 本機の地図データベースには、フェリー航送料金は収録されていません。
- **2**で、[リスト]にタッチすると、4種類のドライブルートの比較表が表示されます。



- ルート案内の画面や音声については **2009** ~ **2017** をご覧ください。
- ルート案内の開始前に[戻る]にタッチしたり本機の電源をオフにすると、探索されたルートは消去されます。ただし、目的地や通過点の設定（ドライブプラン）は消去されませんので、**3027** の[探索]でルート探索できます。
- ルート案内開始後は、本機の電源をオフにしてもドライブルートは消去されません。

3 018

メモリ地点として登録する

地点検索した場所を本機に記憶させます(メモリ地点)。



3004 ~ 3015 (場所を検索)



[登録]にタッチします。

メモリ地点に マークがつきます。

ナビの操作

3

4

5

6

7



- メモリ地点は100か所まで登録できます。
- すでにメモリ地点が100か所登録されている場合、[登録]にはタッチできません。新しくメモリ地点を登録したいときは、先に不要なメモリ地点を削除してください。033 3044
- 登録したメモリ地点に名前やマークをつけるなど、各種の編集をすることができます。033 3045 ~ 3050

地点検索した場所のテナント情報などの詳細情報を表示します。



3004 ~ 3015 (場所を検索)

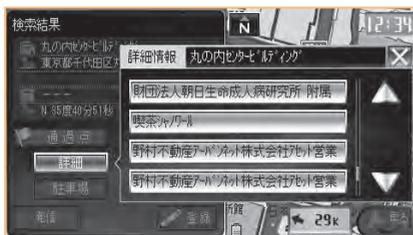
1



[詳細]にタッチします。

検索結果画面で[詳細]にタッチできない場合は、[地図表示]でスクロール地図画面を表示し、50mよりも詳細な市街地図にスケールを変えて[決定]にタッチしてください。検索結果画面に戻り、[詳細]にタッチできる状態になります。

2



目的のテナントにタッチします。

目的のテナントが表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。



検索結果画面にテナント情報が表示されます。



- スクロール地図画面から探した場合、テナント情報は50m～10mスケールの市街地図で表示できます。
- 指定した場所に詳細情報がない場合は[詳細]はタッチできません。
- 表示されたテナントリストの ☒ にタッチすると、詳細情報を閉じることができます。
- 地図上でVICSマークを選択して検索結果画面を表示した場合 (i35⁺ 2005)、VICSの詳細情報が表示されます。



- 表示されたテナントリストから行き先(目的地または通過点)を選ぶこともできます。

0

1

2

3

ナビの操作

4

5

6

7

3

020

地図から他の場所を探す

0 地点検索した場所から、地図上でさらに他の場所を探します。



3004 ~ 3015 (場所を検索)

3

ナビの操作

1



[地図表示]にタッチします。

2

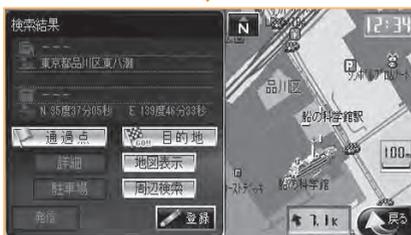


地図をスクロールして、目的の場所にカーソルを合わせます。

3



[決定]にタッチします。



検索結果画面が表示されます。



● [地図表示]で表示される地図では、マークを選択 (030 2005) することはできません。



● 本機のデータベースに収録されていない場所を探すときには、その近所の目標となる場所を地点検索し、そこから地図を表示して本来の目的の場所を探すということもできます。



3 021

地点周辺の駐車場を探す

地点検索した施設等の付属駐車場や提携駐車場を探すことができます。



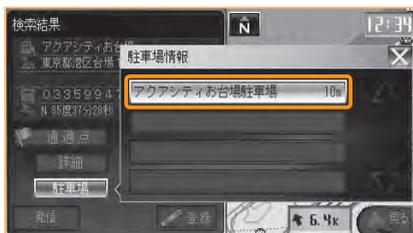
3004 ~ 3015 (場所を検索)

1



[駐車場]にタッチします。

2



目的の駐車場にタッチします。

目的の駐車場が表示されていない場合は、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。



検索結果画面が表示されます。



- 指定した施設に駐車場情報がない場合は、[駐車場]はタッチできません。
- 表示された駐車場リストの ✕ にタッチすると、駐車場情報を閉じることができます。



- この機能を使って駐車場を行き先(目的地または通過点)として設定しておく、現地に着いてから駐車場を探す手間が省けます。

0

1

2

3

4

5

6

7

ナビの操作

3 022 地点周辺の施設を探す

地点検索した場所付近で周辺検索できます。



3004 ~ 3015 (場所を検索)

ナビの操作

1



[周辺検索]にタッチします。

2



目的のジャンルにタッチします。

3



画面に従って絞り込みます。

3013 の4以降と同じです。



検索結果画面が表示されます。



● この機能を使うと、任意の地点の周辺検索ができます。



3

023

自宅へ帰る

現在地から自宅に帰るルートは、ワンタッチで案内を開始できます。

- !! ● あらかじめ自宅の場所を登録しておいてください。自宅が登録されていないときは、 にタッチすると自宅を登録する画面が表示されます。033* 3042
- 探索されたルートがある場合、確認のメッセージが表示されます。

1



 にタッチします。

2



ルートの種類のボタンにタッチして、ルートを選択します。

3



[案内開始]にタッチします。
自宅へのルート案内が始まります。



-  が表示されていないときは、くるくるボタンで操作ボタンをナビに切り替えてください。033* 2001
- 4種類のルートから選択できます。033* 3017

ナビの操作

0

1

2

3

4

5

6

7

3

024

ルート確認メニューを表示する

ルート案内の開始後に、ルートの詳細確認や変更を行います。



NAVI



MENU

(ナビメニューを表示)

3

ナビの操作

1



[ルート確認]にタッチします。



ルート確認メニューが表示されます。



ルート確認メニューに表示されるボタンは次のとおりです。

ボタン	説明	
	出発地から目的地までのルート全体を地図上に表示します。	3025
	使用する道路やICの名称等、ルートの詳細な情報を表示します。	3027 ~ 3031
	出発地から目的地までのルートを実況走行(模擬走行)します。ドライブの道筋をあらかじめ確認するのに便利です。	3032
	ルート案内を中止します。	3033



- ルート案内中にルートを変更/削除すると、ルート案内は中止されます。ルートの変更後に、ルートを探索しなおしてください。

ドライブルート全体を地図やリストで表示します。



1



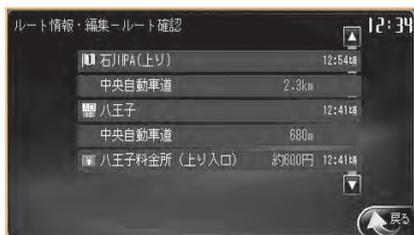
[ルート全体図]にタッチします。

2



[確認]にタッチします。

ドライブルート全体図については **3026** をご覧ください。



ドライブルートの詳細情報が表示されます。
ドライブルート詳細リストについては **3026** をご覧ください。



0

1

2

3

4

5

6

7

ナビの操作

ドライブルート全体を地図やリストで確認できます。



3025 (ドライブルート全体を表示)

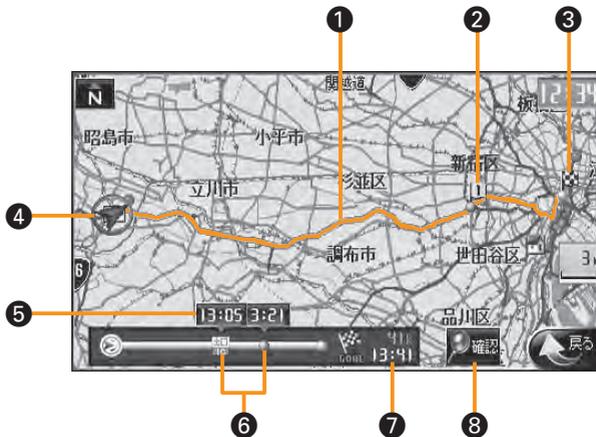
3

ナビの操作

ドライブルート全体図

ドライブルート全体図では、ルート全体が画面上の地図に表示されます。

また、画面下端には、GOAL到達度がバーグラフで表示されます。このグラフでは、バー全体の長さが目的地までの残距離を表し、通過点などがそれとの比例で表示されます。つまり、行程が進むと通過点などが左に移動していき、通過すると消えます。



- | | |
|--|---|
| <p>① ルート
ルートが水色(細街路では青色)で表示されます。</p> <p>② 通過点
設定されている通過点が表示されます。</p> <p>③ 目的地</p> <p>④ 現在地</p> <p>⑤ 通過点などの予想到着時刻
通過点や主な案内ポイント(ICなど)の予想到着時刻が表示されます。</p> | <p>⑥ 通過点など
通過点や主な案内ポイント(ICなど)の全行程中での位置と距離の割合で表示されます。</p> <p>⑦ 目的地予想到着時刻</p> <p>⑧ ルート確認ボタン
ドライブルート詳細リストを表示します。</p> |
|--|---|



- ドライブルート全体図では、地図の縮尺は自動的に調整されます。変更することはできません。
- ICや通過点がない場合は、目的地までの残り時間が表示されます。

ドライブルート詳細リスト

ドライブルート詳細リストでは、通過点や主な案内ポイントが予想通過時刻とともにリストで表示されます。また、案内ポイント間で走行する道路名や距離なども表示されます。



- | | |
|--|---|
| <p>1 通過点/ガイドポイント
通過点と主なガイドポイント、およびそこへの到着予想時刻が表示されます。</p> <p>2 走行道路と走行距離
走行する道路の名称と距離が表示されます。</p> <p>3 料金所と料金
通過する料金所と通行料金が表示されます。</p> | <p>4 スクロールダウン
リストを出発地の方向にスクロールします。</p> <p>5 スクロールアップ
リストを目的地の方向にスクロールします。</p> |
|--|---|



- ドライブルート詳細リストを出発前に表示したときには、出発地から目的地までの通過点やガイドポイントなどが表示されます。また、出発後に表示したときには、現在地以降の通過点やガイドポイントなどが表示されます。
- すべての有料道路の通行料金を表示できるわけではありません。表示できる通行料金は、都市高速道路（首都高速道路など）、都市間高速道路（東名高速道路など）、および本機の地図データベースに料金情報が収録されている有料道路だけです。
- 表示される通行料金は地図データベース作成時点のもので、データ整備の状況により、古い料金が表示される場合があります。
- 表示される通行料金には、各種ETC割引、夜間料金等は考慮されていません。
- ドライブルートは、実際には水色（細街路では青色）で表示されます。

3

027

行き先の場所を変更する

行き先(目的地/通過点)を変更します。



ナビの操作

1



[ルート情報/編集]にタッチします。

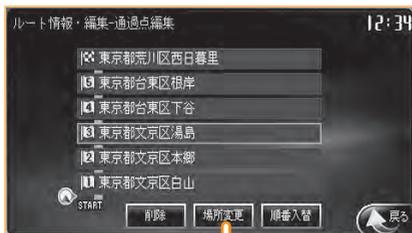
2



変更する行き先の[編集]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。
場所を変更する行き先が表示されていない場合は、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。

3



[場所変更]にタッチします。

4



地図をスクロールして、カーソルを新しい場所に合わせます。



5



[決定]にタッチします。



行き先の情報が変更されたドライブプランが表示されます。



- 3でルート案内は中止されています。ルート案内を再開する場合は、[戻る]で2に戻り、[探索]にタッチしてルート探索しなおしてください。



- この機能は、通過点や目的地を少しずらす場合などに便利です。新しい場所を探す場合は、3030の方法で新しい通過点を追加し、不要になった通過点を3029で削除したほうが簡単です。
- 2の画面(ルート情報・編集画面)の[探索]は、行き先の場所を変更しなくてもタッチできます。これは、ルート案内を中止した後に、ルートを探探し、ルートの種類を選択して、ルート案内を再開するときに利用できます。

行き先(通過点/目的地)の順番を変更します。



ナビの操作

1



[ルート情報/編集]にタッチします。

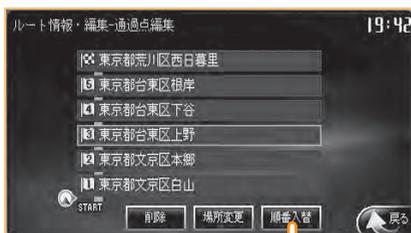
2



順番を変える行き先の[編集]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。
順番を変更する行き先が表示されていない場合は、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。

3



[順番入替]にタッチします。

4



挿入先の ◀ にタッチします。



5



[決定]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

6

[はい]にタッチします。

行き先の順番が変更されたドライブプランが表示されます。



0

1

2

3

4

5

6

7

ナビの操作



- 3でルート案内は中止されています。ルート案内を再開する場合は、[戻る]で2に戻り、[探索]にタッチしてルート探索しなおしてください。

3

029

行き先を削除する

行き先(目的地/通過点)を削除します。



NAVI

MENU



ナビの操作

1



[ルート情報/編集]にタッチします。

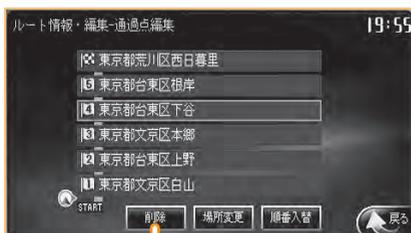
2



削除する行き先の[編集]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。
削除する行き先が表示されていない場合は、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。

3



[削除]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

4

[はい]にタッチします。

選択した行き先(目的地/通過点)が削除されたドライブプランが表示されます。



- 3 でルート案内は中止されています。ルート案内を再開する場合は、[戻る]で 2 に戻り、[探索]にタッチしてルート探索しなおしてください。
- 目的地を削除すると、最後の通過点自動的に目的地に設定されます。

3

030 通過点を追加する

ドライブプランに通過点を追加します。

- ❗ ●すでに5か所の通過点が設定されているときには[通過点追加]にはタッチできません。他の場所を通過点として追加したいときは、不要な通過点を先に削除してください。



ナビの操作

0

1

2

3

4

5

6

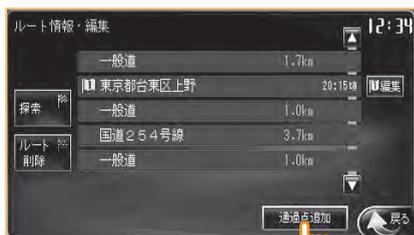
7

1



[ルート情報/編集]にタッチします。

2



[通過点追加]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

3

[はい]にタッチします。

4

追加する場所を探します。

場所の検索方法については、[3004](#) ~ [3015](#) をご覧ください。



0

1

2

3

ナビの操作

4

5

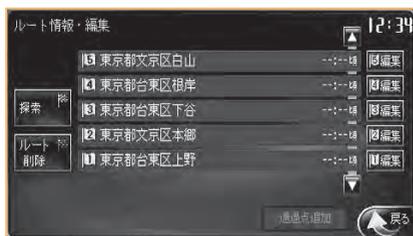
6

7

5



[通過点]にタッチします。



通過点が追加されたドライブプランが表示されます。



- 3 でルート案内は中止されています。ルート案内を再開する場合は、[戻る]で 2 に戻り、[探索]にタッチしてルート探索しなおしてください。
- 追加した通過点は、最後の通過点として挿入されます。必要に応じて、通過点の順番を変更してください。030 3028

目的地や通過点を含めたルート全体を削除します。

- !! ● ドライブルートを削除すると、設定されている目的地や通過点の設定（ドライブプラン）も削除されます。この方法は、案内中止 3033 と異なり、行き先を設定しなおさないとルート探索できません。



NAVI



MENU

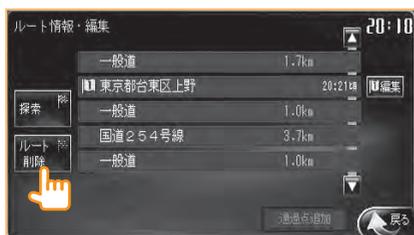


1



[ルート情報/編集]にタッチします。

2



[ルート削除]にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。

3

[はい]にタッチします。

ドライブルートが削除され、ルート確認画面に戻ります。



- ドライブプランを残しておきたい場合は、ドライブルートを削除せず、ルート案内を中止してください。033 3033
ルート案内を中止してもドライブプランは削除されませんので、必要になったときにルート探索して案内を再開できます。
033 3027

0

1

2

3

4

5

6

7

ナビの操作

出発地から目的地までのドライブルートをシミュレーション走行します。



NAVI

MENU



3

ナビの操作

1



[デモ走行]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

2

[はい]にタッチします。



ドライブシミュレーションが開始されます。

ドライブシミュレーションが終了すると、ルート確認メニューに戻ります。



- ルート案内が開始されていないと[デモ走行]は選択できません。032 **3017**
- ドライブシミュレーション時には、実際の走行時と同様に、画面表示および音声で案内されます。
- **×1** (標準速度、時速約50km)、**×2** (2倍速)、**×3** (3倍速) で、走行速度を選択できます。
- ドライブシミュレーション中に[戻る]にタッチすると、ルート確認メニューに戻ります。
- ドライブシミュレーションは、約300km程度で自動的に終了します。
- 車が動いたときや、**SRC**、**AV**、**MENU**、または **NAVI** が押されたときにはドライブシミュレーションは自動的に中止され、各々の該当画面が表示されます。

3

033

ルート案内を中止する

ルート案内を中止し、ドライブルートを消去します。ドライブプラン(目的地/通過点)は消去されません。



1



[案内中止]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

ナビの操作

3

4

5

6

7



- 目的地や通過点の設定(ドライブプラン)を残しておきたい場合は、この方法でルート案内を中止してください。ルート案内を中止してもドライブプランは削除されないため、必要になったときにルート探索して案内を再開できます。[0327](#)
ドライブプランも削除する場合は、ドライブルートを削除してください。[0301](#)

VICIS (Vehicle Information and Communication System) は、財団法人日本道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。

VICIS情報を受信すると、現在地の地図画面上にVICIS情報が自動的に表示されます。道路交通情報などのVICIS情報の表示、受信FM局の選局などの設定はVICISメニュー画面から行います。

■ VICIS情報の内容と種類

渋滞情報、事故情報、臨時交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供されるVICISは次の3つのレベルの種類があります。

レベル1 (文字型情報) : 情報が文字で表示されます。

レベル2 (簡易図形型情報) : 道路地図の模式図で情報が表示されます。

レベル3 (地図表示型情報) : ナビゲーション画面の地図上に情報が表示されます。

■ VICIS情報の提供方法

VICIS情報は、FM多重放送(NHK-FM)、電波ビーコン、光ビーコンの3通りの方法で提供されています。



- VICIS FM局から送られてくるVICIS情報 (VICIS FM情報) は、本機だけで受信できます。

電波/光ビーコンで送られるVICIS情報 (VICISビーコン情報) を受信するためには、光・電波ビーコンVICISユニットVF-M99 (別売品) が必要です。

■ VICIS情報利用上のご注意

以下の点に注意して利用してください。

FM多重放送

- ・ 各FM放送局のサービスエリア内で受信できます。
- ・ サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所 (雑音、マルチパスなどによる) では、受信困難になることがあります。
- ・ 情報は一定周期で更新しています。更新中は情報を蓄積するまで、時間がかかります (情報によっては最大5分周期でデータを更新する場合があります)。
- ・ 放送時間外は利用できません。

電波ビーコン

- ・ 主に高速道路に設置されています。
- ・ 高速道路の高架下の一般道を走行中に、電波ビーコンを受信してしまうことがあります。
- ・ 通信エリア外や外来雑音、大型車並走等で走行環境が良くないとき、ビーコンアンテナ付近に電波を遮断するものがあるとき、法定速度以上で走行しているときは受信が困難になります。
- ・ 低速で走行中は、反対車線のビーコンを受信してしまうことがあります。

光ビーコン

- ・ 主に一般道に設置されています。
- ・ 通信エリア外、雨や雪の影響がある場合、大型車両の併走などでビーコン発信器の光が遮られた場合、ビーコンアンテナ付近に光ビーコンをさえぎる物がある場合、アンテナ受光面が汚れている場合、直射日光がアンテナ受光面に当たっている場合などは受信困難になることがあります。

VICIS情報を受信すると、地図画面に表示されます。

■ 地図表示型(レベル3)情報の表示

FM多重放送(標準)または電波・光ビーコン(別売)で受信した地図表示型(レベル3)情報は、自動的に地図上に表にされます。



① 駐車場情報

- 赤色：満車
- 橙色：混雑
- 青色：空車
- 黒色：不明

② 渋滞情報

- 赤色：渋滞
- 橙色：混雑
- 緑色：順調
- 灰色：不明

規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは次のとおりです。

イベント	チェーン規制	火災	故障車	工事	作業	事故	車線規制	路上障害	出口制限
徐行	進入禁止	速度規制	対面通行	大型通行止め	注意	通行止め/閉鎖	凍結	入り口制限	入り口閉鎖
片側交互通行	駐車場空き	駐車場満車	駐車場混雑	駐車場不明	駐車場閉鎖	SA/PA空き	SA/PA満車	SA/PA混雑	SA/PA不明
	背景青色	背景赤色	背景橙色	背景黒色		背景青色	背景赤色	背景橙色	背景黒色

※ 車線規制や入口/出口マークの形状は実際の道路と異なります。



- VICISのマークは変更・追加される場合があります。詳しくは、財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ (<http://www.vics.or.jp/>) をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM多重放送によるVICIS情報を受信/表示できない場合があります。
- 規制情報および駐車場情報を表示しないように設定することもできます。☞ **6003** (VICIS規制情報表示)、(VICIS駐車場表示)
- 渋滞情報の表示方法(たとえば渋滞のみを表示)を設定することができます。☞ **6003** (VICIS渋滞情報表示)
- VICIS情報を表示する道路(たとえば高速道路のみ)を設定することができます。☞ **6003** (VICIS表示)
- 地図表示型(レベル3)情報を表示できる地図の縮尺は50m~800mです。ただし、市街地図では表示できません。
- 車両のアンテナが格納されている場合VICIS FMが受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。
- VICISビーコン情報を受信するためには、光・電波ビーコンVICISユニットVF-M99(別売品)が必要です。



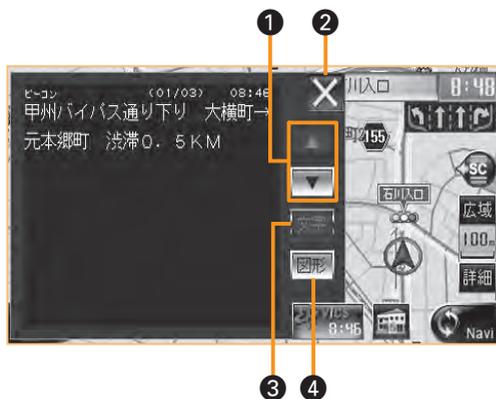
■ 簡易図形型(レベル2) /文字型(レベル1)情報の表示

電波・光ビーコン(別売)で受信した簡易図形型(レベル2) /文字型(レベル1)情報は、地図画面に割り込み表示されます。

ナビの操作



- 1  表示ページを切り替えます。
- 2  VICS情報表示を閉じて、元の地図の画面に戻ります。
- 3  文字型(レベル1)情報の表示に切り替えます。
- 4  簡易図形型(レベル2)情報の表示に切り替えます。



- ナビモードでは、文字型情報または簡易図形型情報は、地図の画面以外(たとえばメニュー画面など)が表示されているときには割り込み表示されません。
- FM多重放送による文字情報および簡易図形情報は、緊急情報のみが割り込み表示されます。通常の文字情報および簡易図形情報は、[3037](#)の方法をご覧ください。
- 緊急情報を受信すると、文字情報または簡易図形情報の表示方法の設定([035](#) [6025](#))にかかわらず、割り込み表示されます。
- 文字型情報または簡易図形型情報の割り込み表示時間を設定できます。[035](#) [6025](#)
- 文字型情報または簡易図形型情報を割り込み表示しないように設定することもできます。[035](#) [6025](#)
- VICS情報をAVソースの画面に割り込み表示するように設定することもできます。[035](#) [6025](#)
- 車両のアンテナが格納されている場合、VICS FMが受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。
- VICSビーコン情報を受信するためには、光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99(別売品)が必要です。

3

036

情報メニューを表示する

VICS情報を表示します。



NAVI



MENU

(ナビメニューを表示)

1



[情報]にタッチします。

ナビの操作

3

4

5

6

7



情報メニューが表示されます。

情報メニューに表示されるボタンは次のとおりです。



ボタン

説明



受信したVICS情報を表示します。

3037 ~ 3039



タッチゲーム(リバーシブル/神経衰弱)で遊べます。

3040



● VICSビーコン情報を受信するためには、光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99(別売品)が必要です。

受信したVICs情報（文字型情報または簡易図形型情報）を表示します。



3

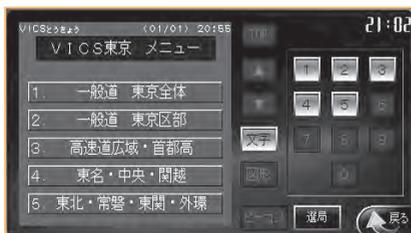
ナビの操作

1



[VICS]にタッチします。

2



表示する情報のボタンにタッチします。



選択した情報の詳細が表示されます。

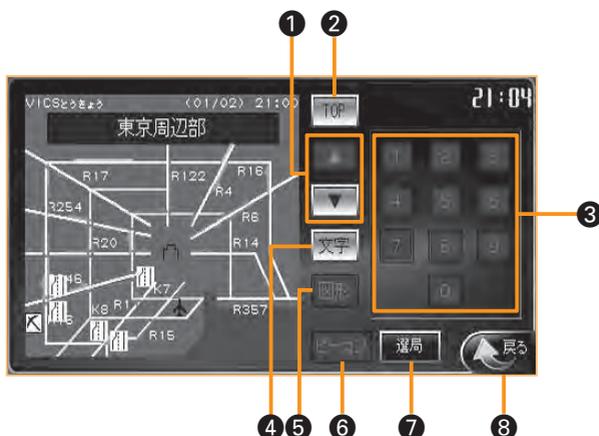


- 簡易図形型または文字型のVICs FM情報は、緊急情報以外は自動表示されません。必要に応じて、上記の方法で表示してください。
- 電波の受信状態が良くないときには、VICs FM情報を受信/表示できない場合があります。

FM文字多重放送で受信したVICIS情報（文字型情報または簡易図形型情報）を表示します。



3037 (VICIS 情報を表示)



複数のページがあるときに、ページを切り替えます。



VICIS情報のトップ画面を表示します。



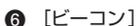
VICIS情報の内容を番号で選択できるときに表示されます。



文字型情報表示に切り替えます。



簡易図形型情報表示に切り替えます。



VICISビーコン情報表示に切り替えます。
VICISビーコン情報を表示中は[FM]に変わります。



VICIS FM局の選局方法を切り替えます。

3039



1つ前の画面に戻ります。



● 電波の受信状態が良くないときには、VICIS FM情報を受信/表示できない場合があります。

VICS FM局の選局方法（自動またはエリア固定）を切り替えます。



3

ナビの操作

1



[VICs]にタッチします。

2



[選局]にタッチします。

3



[自動]または[エリア固定]にタッチします。

[自動]にタッチしたときは、続いて にタッチしてVICs FM情報画面に戻ります。

[エリア固定]にタッチしたときは、4に進みます。

4



固定するエリア（都道府県）のボタンにタッチします。

目的の都道府県名が表示されていないときは、表示されるまで または にタッチしてください。



5



✕ にタッチします。

VICS情報画面に戻ります。



ナビの操作

0

1

2

3

4

5

6

7



- 選局方法を「自動」に設定すると、現在地の都道府県に合わせてVICS FM局が自動的に選局されます。「エリア固定」に設定すると、選択した都道府県のVICS FM局に固定されます。



- 広域で移動する場合は「自動」の方が便利です。「エリア固定」に設定していると、選択したエリア以外ではVICS情報を受信できなくなります。
- エリア固定は、県境付近を走行中でVICS FM局を自動変更されたくない場合などに便利です。

タッチゲーム(リバーシブル/神経衰弱)で遊べます。



NAVI

MENU



3

ナビの操作

1

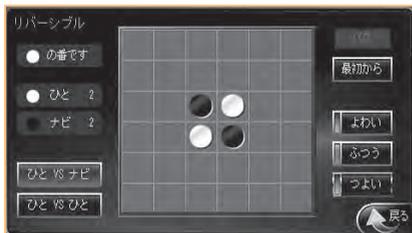


[タッチゲーム]にタッチします。

2



遊ぶゲームのボタンにタッチします。



選んだゲームが始まります。



- ゲームの対戦方法や強さを選択することもできます。

3 041

ナビ編集メニューを表示する

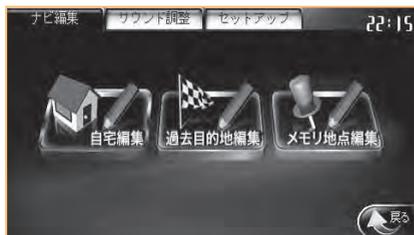
メモリ地点など、本機に記憶させた情報を編集します。



1



[ナビ編集]にタッチします。



ナビ編集メニューが表示されます。



情報メニューに表示されるボタンは次のとおりです。

ボタン	説明	
	自宅の場所やマークを編集します。	3042
	過去に目的地に設定した到達場所(過去目的地)を編集します。	3043
	メモリ地点を編集します。	3044 ~ 3050



- 過去目的地が1か所もないときは、[過去目的地編集]にはタッチできません。
- メモリ地点が1か所も登録されていないときは、[メモリ地点編集]にはタッチできません。

ナビの操作

0

1

2

3

4

5

6

7

3

042

自宅を登録/変更する

自宅の位置を新規登録します。また、登録されている自宅の位置やマークを変更することもできます。



NAVI

MENU



3

ナビの操作

1



[自宅編集]にタッチします。

2



[現在地]または[探す]にタッチします。

自宅に停車しているときは[現在地]にタッチします。

自宅以外に停車しているときは[探す]にタッチします。3へ進みます。

3



自宅の場所を探します。

4



[決定]にタッチします。





- 2で[現在地]にタッチすると確認のメッセージが表示されます。
[[はい]にタッチすると、現在地が自宅として登録されます。
- 3で選択できる地点検索の方法は次のとおりです。
[地図検索]：地図上で探します。 3012
[住所検索]：住所で探します。 3007
[番号検索]：電話番号  3008  3009 または経緯度  3010 で探します。
- 自宅を登録しておく、現在地図画面の[自宅]にタッチするだけで、現在地から自宅に帰るルートが探索/案内されます。
- すでに自宅が登録されている場合、2でマークにタッチすると自宅のマークを変更できます。
また、[自宅情報消去]にタッチすると、自宅の登録を消去できます。



- 可能であれば、車を自宅として登録する場所に止め、2で[現在地]にタッチして登録する方法が最も簡単です。

3

043

過去目的地をメモリ地点に登録する

今までに行った目的地（過去目的地）をメモリ地点に登録します。



NAVI

MENU



3

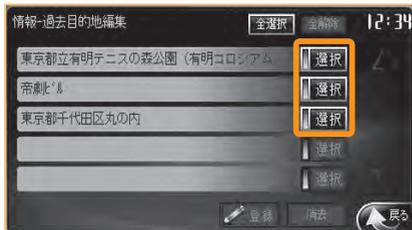
ナビの操作

1



[過去目的地編集]にタッチします。

2



メモリ地点に登録する過去目的地の [選択] にタッチします。

目的の過去目的地が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。

3



[登録]にタッチします。

4



[決定]にタッチします。





- 目的地として設定してルート探索し、ルート案内を受けながら到達した目的地が過去目的地として記憶されます。ルート探索しても到達していない目的地は記憶されません。
- 2 で選択した過去目的地にはピンク色のインジケーターが点灯します。同じボタンにもう一度タッチすると、選択が解除されてピンク色のインジケーターが消灯します。[全解除]にタッチしても選択を解除できます。
- 2 で、[全選択]にタッチすると、すべての過去目的地を選択できます。
- 3 で、[消去]にタッチすると、選択した過去目的地を消去できます。



- 本機に記憶される過去目的地は最新の20か所だけで、20か所を超えると、古い順に消去されます。メモリ地点に過去目的地を登録しておく、残しておくことができます。

登録されているメモリ地点のリストと登録情報を表示します。



NAVI

MENU



3

ナビの操作

1



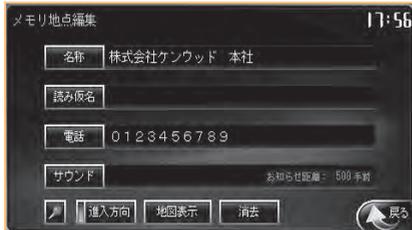
[メモリ地点編集]にタッチします。

2



目的のメモリ地点のボタンにタッチします。

目的のメモリ地点が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。



選択したメモリ地点の情報が表示されます。



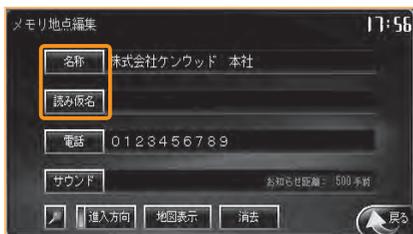
- 2で、[消去]にタッチすると、選択したメモリ地点を消去できます。
- 2で、[地図表示]にタッチすると、選択したメモリ地点周辺の地図を表示できます。ただし、このスクロール地図画面では、メモリ地点の位置は変更できません。変更したいときは、新しいメモリ地点を登録してください。

登録したメモリ地点の名称をわかりやすいものに変更します。読み仮名を名称に合わせて変更します。



3044 (メモリ地点情報を表示)

1



[名称]または[読み仮名]にタッチします。

2



名称または読み仮名を入力します。

文字入力の詳細については [3046](#) をご覧ください。

3



[決定]にタッチします。

1の画面に戻ります。



- 名称には、漢字、ひらがな/カタカナ、英字、数字/記号で20文字まで入力できます。また、読み仮名には、カタカナで20文字まで入力できます。
- メモリ地点を登録したときは、「名称」には地図データベースに収録されている名称または付近の名称が設定されます。必要に応じて、消去してから新しい名前を入力してください。
- メモリ地点名称を地図に表示するときは、「メモリ地点名称表示」を“ON”に設定してください。 [0337](#) [6003](#)
- メモリ地点を50音順に並べ替えたときには、読み仮名の順になります。読み仮名が設定されていないと、正しい順番に並べ替えることはできません。



- 読み仮名を設定しておくと、メモリ地点に近づいたときのお知らせサウンドでメモリ地点の名称をアナウンスさせることができます。 [0337](#) [3049](#)

0

1

2

3

4

5

6

7

ナビの操作

メモリ地点の名称や読み仮名の文字を入力します。

ひらがな/カタカナ/英字/数字/記号を入力する

文字は次の画面で入力します。

3

ナビの操作



- 文字の入力が完了したら、必ず[決定]にタッチして戻ってください。[戻る]で元の画面に戻ると、入力した文字は無効になります。



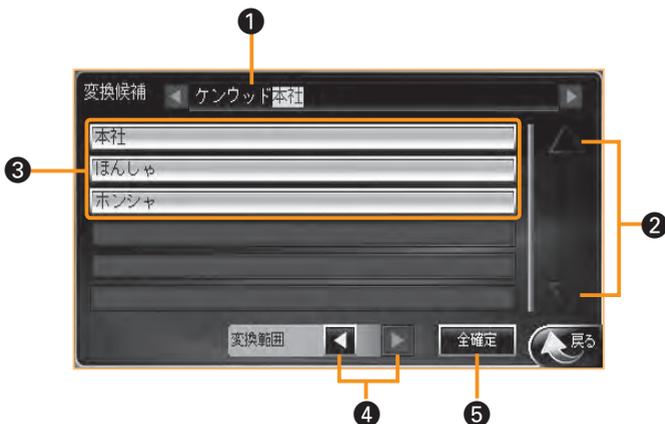
- 1 カーソルを移動します。
- 2 **表示エリア**
入力した文字が表示されます。
- 3 **文字カーソル**
文字を入力する位置を示します。
- 4
入力する文字の種類を切り替えます。
- 5
大文字/小文字を切り替えます。
- 6
入力したひらがな(未確定)を漢字に変換します。文字種がひらがな以外の際にはタッチできません。
- 7
入力したひらがなをそのまま確定させます。文字種がひらがな以外の際にはタッチできません。
- 8
1文字分のスペースを入力します。
- 9
カーソル上の文字または最後の1文字を消去します。
- 10
文字列の入力を終了して、元の画面に戻ります。元の画面には、ここで入力した文字が表示されます。
- 11
文字列の入力を中止して、元の画面に戻ります。



- [大/小文字]、[変換]、[無変換]は、使用可能なときに表示されます。たとえば、読み仮名は文字種がカタカナに固定されているので[変換]は表示されません。
- 漢字に変換する文字は、ひらがなで入力してください。カタカナは漢字に変換できません。

漢字に変換する

[変換]にタッチすると、変換候補画面に漢字の変換候補が表示されます。



1 表示エリア

文字を入力する位置を示します。

2 ▲ ▼

変換候補のリストをスクロールします。

3 変換候補

漢字の候補が表示されます。

4 ◀ ▶

うまく漢字に変換されていないときに、変換する範囲を変更します。

5 全確定

表示エリアに表示されている文字列を確定し、ひらがなを入力する画面に戻ります。



- 入力する名称に漢字が含まれている場合(例:「株式会社ケンウッド」)、漢字にする部分をひらがなで入力して[変換]で漢字に変換した後、[カタカナ]などで次に入力する文字の文字種に切り替えてください。

3

047

メモリ地点に電話番号を設定する

登録したメモリ地点に電話番号を設定します。

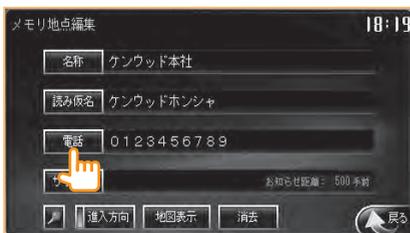


3044 (メモリ地点情報を表示)

3

ナビの操作

1



[電話]にタッチします。

2



電話番号を入力します。

3



[決定]にタッチします。

1の画面に戻ります。



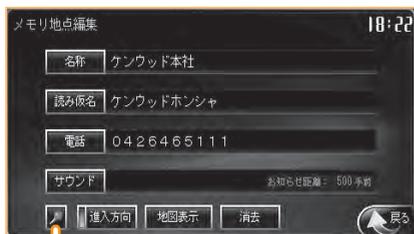
- 2 または 3 で[消去]にタッチすると、最後の1桁の数字を消去できます。
- メモリ地点に電話番号を設定しておくで、本機にBluetoothで接続した携帯電話で電話をかけることができます。ただし、Bluetoothで携帯電話を接続するためには、BluetoothユニットKCA-BT200 (別売品) および変換ケーブルKNA-BT909 (別売品) が必要です。

登録したメモリ地点のマークを変更します。メモリ地点のマークは地図上に表示されます。



3044 (メモリ地点情報を表示)

1



 にタッチします。

2



設定するマークのボタンにタッチします。

3



[決定]にタッチします。

1の画面に戻ります。



- メモリ地点を登録したときには  が設定されています。

0

1

2

3

ナビの操作

4

5

6

7

メモリ地点に近づいたときに鳴らすサウンド(お知らせサウンド)を設定します。サウンドを鳴らす距離(お知らせ距離)も設定できます。

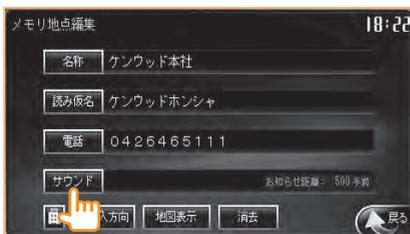


3044 (メモリ地点情報を表示)

ナビの操作

3

1



[サウンド]にタッチします。

2



設定するサウンドのボタンにタッチします。

目的のサウンドが表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチします。

3



◀ または ▶ にタッチして、サウンドを鳴らす距離を設定します。

4



[決定]にタッチします。

1 の画面に戻ります。



- お知らせサウンドを「登録名称」に設定すると、メモリ地点名称(読み)がアナウンスされます。読み仮名が設定されていないときには、アナウンスされません。なお、読み仮名の設定方法については、[3045](#) をご覧ください。
- すでに設定されているサウンドを取り消すときは[サウンドなし]にタッチします。
- メモリ地点に特定の方向から近づいたときのみお知らせサウンドを鳴らすように設定することもできます。[0350](#)

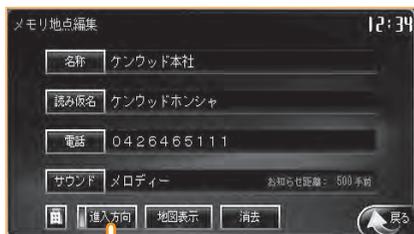
メモリ地点のサウンドを鳴らす 接近方向を設定する

メモリ地点にサウンドを設定しているときに、特定の方向から近づいたときだけにそれを鳴らすように設定できます。



3044 (メモリ地点情報を表示)

1



[進入方向]にタッチします。

2



または [戻る] にタッチして、自転車マークを進入方向に合わせます。

3



[決定]にタッチします。

1の画面に戻ります。



- すでに進入方向が設定されている場合は、[進入方向]の赤色のインジケーターが点灯しています。設定されている進入方向を取り消すときは、3で[解除]にタッチします。
- メモリ地点に設定されている進入方向と実際に近づく方向が異なる場合は、設定されているお知らせ距離以内に近づいてもお知らせサウンドは鳴りません。ただし、設定されているお知らせ距離以内であれば、メモリ地点に近づく方向がメモリ地点に設定されている進入方向と一致した時点でお知らせサウンドが鳴ります。
- メモリ地点に進入方向が設定されていない場合は、どの方向から近づいても、設定されているお知らせ距離以内に近づくとお知らせサウンドが鳴ります。
- 一度お知らせサウンドが鳴った後は、いったん一定距離以上離れるまで、同じメモリ地点に近づいてもお知らせサウンドは鳴りません。

0

1

2

3

4

5

6

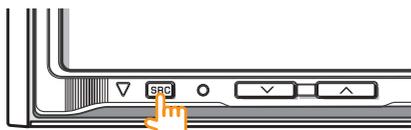
7

ナビの操作

4 001 ラジオを聴く

内蔵のチューナーでFM/AM放送を聴きます。

1



[SRC] を押します。

2



[TUNER] にタッチします。

音声はラジオに切り替わり、TUNERメニューが表示されます。



① **[VOLUME]** / **[UP]** (ボリュームキー)
ラジオの音量を調整します。

② **[AV]** (エーバイキー)
TUNERメニューを表示します。P.37 **4002**

③ **[NAVI]** (ナビキー)
映像をナビの画面に切り替えます。音声はラジオのまま変わりません。

TUNERメニューでは、ラジオの受信状態の情報が表示されます。また、ラジオの各種の操作が行えます。

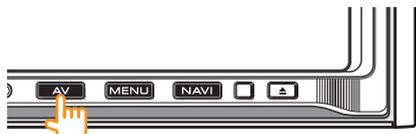


- エリアモードがオンのときには、オートプリセットは行えません。エリアモードをオフにしてからオートプリセットを行ってください。



4001 (ラジオを聴く)

1



AV を押します。



- 1 プレイ情報**
受信中の放送局名と周波数が表示されます。
- 2 交通情報**
交通情報を受信します。
交通情報の周波数 (1620kHz/1629kHz) を切り替えることもできます。
- 3 ▼ (シークダウン)、▲ (シークアップ)**
放送局を選局します。
- 4 選局情報**
現在のシークモードが表示されます。
- 5 プリセットボタン**
現在記憶されている放送局のリスト (プリセットステーションリスト) が表示されます。
プリセットボタンにタッチすると、その放送局に変わります。



0

1

2

3

4

A
V
の
操
作

5

6

7

6 MONO

FM放送をモノラルで受信します。
モノラル受信時には、インジケータが点灯します。

7 AREA

エリアモードをオン/オフします。
エリアモードがオンのときには、現在地の市区町村ごとに登録されているデータに基づいて、プリセットボタンに放送局を表示します。
エリアモードがオンのときには、インジケータが点灯します。

8 AME

電波の受信状態の良い放送局を探して、8つのプリセットボタンに次々に設定します(オートプリセット)。
8つのプリセットボタンすべてにチャンネルがプリセットされたとき、またはラジオ放送の周波数帯を一巡したときにオートプリセットは終了します。
エリアモードがオフのときに、このボタンは有効になります。

9 AM/FM切替

バンド(FM/AM)を切り替えます。
プリセットステーションリストも切り替わります。

10 SEEK

▼ または ▲ にタッチしたときの選局方法(シークモード)を切り替えます。

11 VISUALIZER (背景切り替え)

TUNERメニューの背景(ビジュアルライザ/静止画/スぺアナ)を切り替えます。



- 本機では、[SEEK]にタッチして、次の3種類のシークモードを切り替えることができます。

シークモード	選局動作
AUTO (オート)	▲ (シークアップ) または ▼ (シークダウン) にタッチするたびに、電波の受信状態の良い放送局を探して受信します。放送局の周波数がわからないときに便利です。
PRESET (プリセット)	▲ (シークアップ) または ▼ (シークダウン) にタッチするたびに、TUNERメニュー画面に表示されるプリセットステーションリストのチャンネルを順に受信します。
MANUAL (マニュアル)	▲ (シークアップ) または ▼ (シークダウン) にタッチするたびに、周波数を変えて受信します。電波の受信状態の良くない放送局も受信できます。

- オートプリセットは、受信中の放送局から開始されます。
- FM放送とAM放送を別々にプリセットできます。オートプリセットするときは、先に[FM/AM切替]でバンドを選択してください。
- エリアモードでプリセットボタンに放送局が表示されていても、電波状態によっては受信できない場合があります。



- オートプリセットで希望の放送局がプリセットされなかったときは、マニュアルでプリセットできます。☎ 4003

オートプリセット (03 4002) で登録されなかった放送局を手動で登録します (マニュアルプリセット)。



4002 (TUNER メニューを表示)

1

プリセットする放送局を受信します。

2



記憶させるプリセットボタンを長押しします。



タッチしたプリセットボタンに受信していた放送局が登録されます。

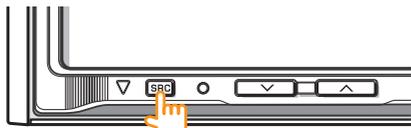


- マニュアルプリセットするときには、エリアモードはオフにしておいてください。
- 現在地によっては、放送局名が異なっていたり、表示されない場合があります。

4 004 地デジを観る

内蔵の地デジTVチューナーで地上デジタル放送を観ます。

1



SRC を押します。

2



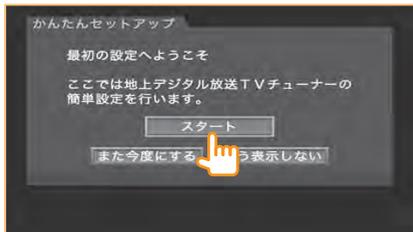
[地デジ]にタッチします。

映像と音声在地デジに切り替わります。



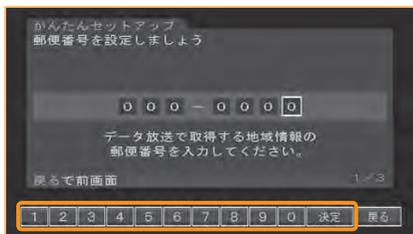
取り付け後、初めて地デジに切り替えるとかんたんセットアップ画面が表示されます。
かんたんセットアップでは、地デジを観るための最低限の設定を行います。

1



[スタート]にタッチします。

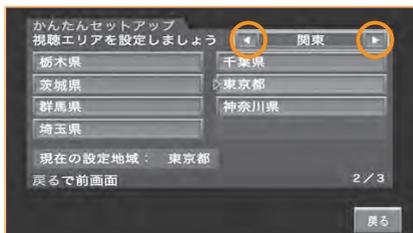
2



1 ~ **0** にタッチして7桁の郵便番号を入力し、[決定]にタッチします。

ここでは、データ放送を受信する地域を指定します。

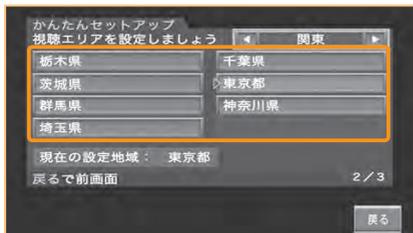
3



◀ または ▶ にタッチして地域を選択します。

ここでは、現在地の都道府県のある地域を指定します。

4



現在地の都道府県のボタンにタッチします。



0

1

2

3

4

5

6

7

0

1

2

3

4

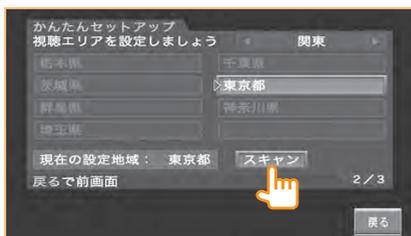
A
Vの
操作

5

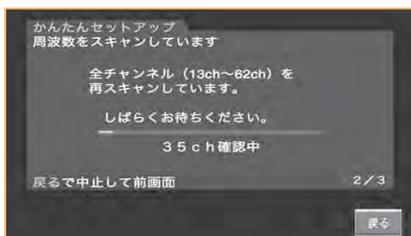
6

7

5

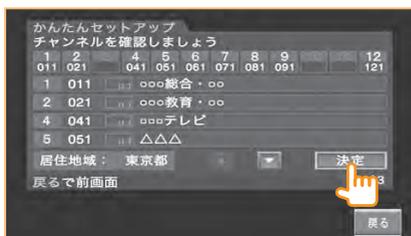


[スキャン]にタッチします。



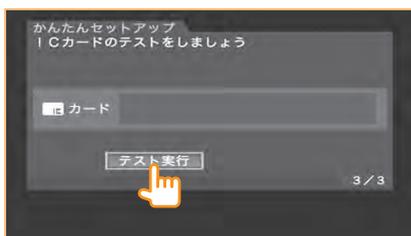
放送局がスキャンされ、受信できた放送局がプリセットボタンに割り当てられます。

6



受信できた放送局を確認し、[決定]にタッチします。

7



[テスト実行]にタッチします。

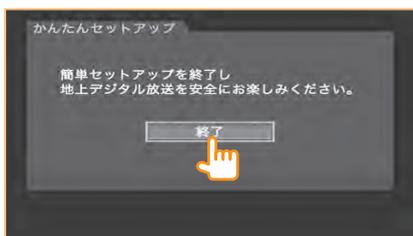


8



[終了]にタッチします。

9



[終了]にタッチします。



- かんたんセットアップは、本機をお買い上げ時の状態に初期化 **4041** したあとに初めて電源をオンにしたときにも表示されます。
- かんたんセットアップをやり直すこともできます。 **4032**
- 7 で[また今度にする]または[もう表示しない]を選択した場合には受信できるチャンネルのスキャンは行われていません。実際に受信できるチャンネルをスキャンしてプリセットしてください。 **4036**
- データ放送の受信地域が設定されている場合には、4 の画面に現在の設定が表示されます。
- 3 の画面に現在の設定地域が表示されます。お買い上げ時の状態では、現在地は東京都に設定されています。

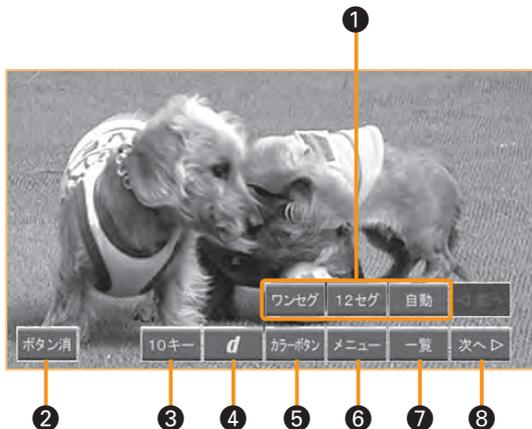
4 006

地デジ操作ボタンで操作する

地デジの各種の操作は地デジ操作ボタンで行います。



4004 (画面の中央部にタッチ)



4 AVの操作

1 受信モード切替ボタン

[ワンセグ] :

ワンセグモードでの受信に切り替えます。
ワンセグモードでは、12セグモードよりも広い
地域で安定した画面でご覧いただけます。

[12セグ] :

12セグモードでの受信に切り替えます。
12セグモードでは、ワンセグモードよりもきれ
いな画面でご覧いただけます。

[自動] :

受信モードを自動受信モードに切り替えます。
受信モードの設定 **4034** に従って、ワンセグモー
ドと12セグモードを自動的に切り替えます。

2 ボタン消

地デジ操作ボタンの表示を消します。

3 10キー

テンキーを表示します。テンキーでチャンネル番
号を指定して選局します。 **4013**

4 d

データ放送画面に切り替えます。 **4018**

5 カーボタン

データ放送の視聴時に、番組からの指示に応じて
使用します。 **4019**

6 メニュー

地デジメニューを表示します。 **4021**

7 一覧

プリセットの一覧を表示します。
プリセット一覧で選局することもできます。
4009

8 次へ>

地デジ操作ボタンを次ページに切り替えます。

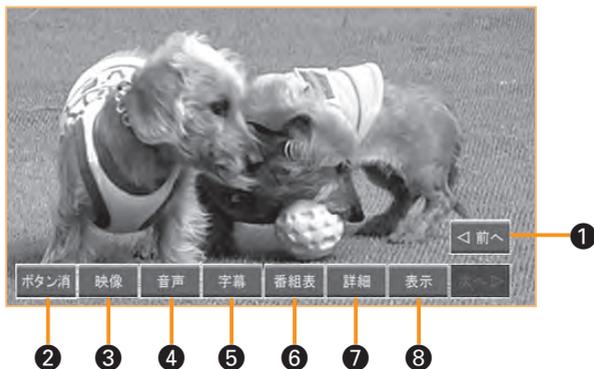


- ①  (シークボタン)
上のチャンネルまたは下のチャンネルを選局します。
- ② 
地デジ操作ボタンを前ページに切り替えます。
- ③ 
地デジ操作ボタンを次ページに切り替えます。
- ④ 
地デジ操作ボタンの表示位置(上/下)を切り替えます。
- ⑤ 
地デジ操作ボタンの表示を消します。
- ⑥  (プリセットボタン)
プリセットボタンに割り当てられている放送局を選局します。



- プリセットボタンによる選局では、1つのチャンネルで複数の番組が放送されているときには、3桁のチャンネル番号のもっとも小さい番組が受信されます。
- シークボタンによる選局では、プリセットされていない放送局も選局できます。





1 < 前へ

地デジ操作ボタンを前ページに切り替えます。

2 ボタン消

地デジ操作ボタンの表示を消します。

3 映像

同じチャンネルで複数の映像が放送されているときに、表示する映像を切り替えます。

4 音声

出力する音声を設定します。

5 字幕

画面に表示する字幕を設定します。

6 番組表

番組表を表示します。[P.38](#) [4010](#)

7 詳細

番組詳細情報を表示します。[P.38](#) [4012](#)

8 表示

バナー表示/チャンネル表示をオン/オフします。

[P.38](#) [4015](#)



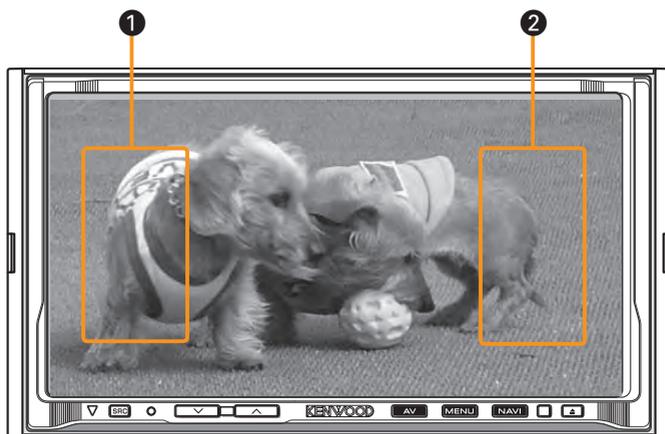
- [映像]にタッチするたびに、放送されている映像が順に切り替わります。この機能は複数の映像が放送されているときのみ動作します。1つのチャンネルで複数の映像が放送されているときには、バナーに または が表示されます。[P.38](#) [4016](#)
- [音声]にタッチするたびに、スピーカーに出力する音声(主音声/副音声、ステレオ/モノラルなど)が順に切り替わります。この機能は、複数の音声が放送されているときのみ動作します。1つのチャンネルで複数の音声が放送されているときには、バナーに が表示されます。[P.38](#) [4016](#)
- [字幕]にタッチするたびに、画面に表示される字幕が切り替わります。ただし、字幕の表示位置や大きさは設定できません。字幕が放送されているときには、バナーに が表示されます。[P.38](#) [4016](#)
なお、字幕が放送されていない場合は、表示する字幕の設定のみが切り替わります。
- バナーの表示方法を設定することもできます。[P.38](#) [4026](#)

4

007

プリセット番号順に選局する

プリセットされているチャンネルを、プリセット番号の順に選局します。



① プリセットダウン

すぐ下のプリセット番号のチャンネルを選局します。
長押しすると、受信可能な放送局を選局します。

② プリセットアップ

すぐ上のプリセット番号のチャンネルを選局します。
長押しすると、受信可能な放送局を選局します。



● 上記の方法以外に、次の5つの方法でも選局できます。

- プリセットボタンで選局 **033° 4008**
- プリセット一覧で選局 **033° 4009**
- 番組表で選局 **033° 4010**
- 3桁のチャンネル番号で選局 **033° 4013**
- チャンネル番号順に選局 **033° 4014**

0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作

4 008

プリセットボタンで選局する

プリセットされているチャンネルを、プリセットボタンで選局します。



4006 (地デジ操作ボタンを表示する)

1



1 ~ **12** にタッチして、プリセット番号を指定します。



AVの操作

● 上記の方法以外に、次の5つの方法でも選局できます。

- プリセット番号順に選局 **4007**
- プリセット一覧で選局 **4009**
- 番組表で選局 **4010**
- 3桁のチャンネル番号で選局 **4013**
- チャンネル番号順に選局 **4014**

プリセットされている放送局の一覧を表示して、ダイレクトに選局します。



4006 (地デジ操作ボタンを表示する)

1



[一覧]にタッチします。

2



目的の放送局のボタンにタッチします。

選択した放送局に切り替わります。



● 上記の方法以外に、次の5つの方法でも選局できます。

- プリセット番号順に選局 4007
- プリセットボタンで選局 4008
- 番組表で選局 4010
- 3桁のチャンネル番号で選局 4013
- チャンネル番号順に選局 4014

4 010 番組表で選局する

番組名を見ながら選局します。

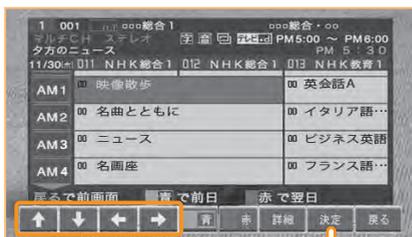


4006 (地デジ操作ボタンを表示する)



[番組表]にタッチします。

2



↑ ↓ ← → で番組を選択し、[決定]にタッチします。

選択した番組のチャンネルに切り替わります。



● 上記の方法以外に、次の5つの方法でも選局できます。

- プリセット番号順に選局 4007
- プリセットボタンで選局 4008
- プリセット一覧で選局 4009
- 3桁のチャンネル番号で選局 4013
- チャンネル番号順に選局 4014

● まだ放送開始時刻になっていない番組を選択しても、チャンネルは切り替わります。

● 番組表の詳細については 4011 をご覧ください。

● データを受信するために、番組表を表示するのに時間がかかる場合があります。番組表示データの受信中には、背景の画像(番組の画面)が表示されない場合があります。

● 番組表に直接タッチして選局することはできません。

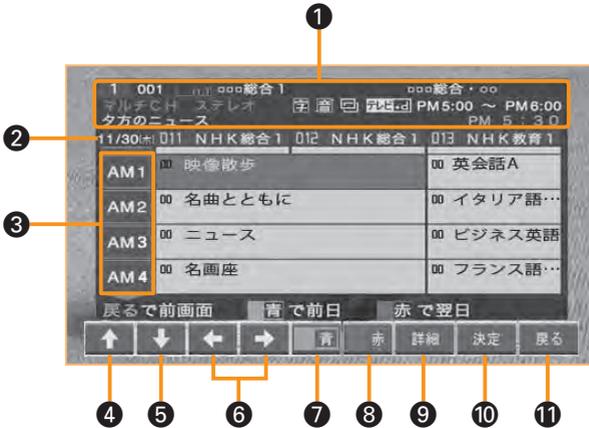
4 011

番組表を操作する

他局や他の時間帯の番組表を表示します。



4010 (番組表を表示する)



1 バナー 4016

2 番組表の日付

3 時間帯



上の番組を選択します。
また、番組表を上スクロールします。ただし、現在の時刻以前へはスクロールできません。



下の番組を選択します。
また、番組表を下スクロールします。



他局の番組を選択します。
また、番組表を左右にスクロールします。



前日の同時刻の番組表を表示します。



翌日の同時刻の番組表を表示します。



選択している番組の詳細情報を表示します。
 4012



選択している番組のチャンネルに切り替えます。



番組表を消します。



● 番組表で番組情報が未受信の部分は空欄になります。その欄を選択して[決定]を選択すると、番組情報の受信が開始されます。

4 012

現在の番組の詳細情報を表示する

現在受信中の番組の詳細情報を表示します。



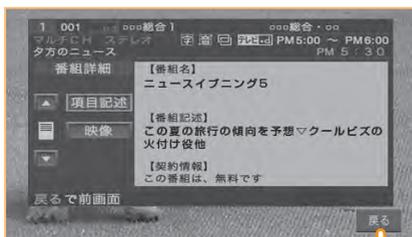
4006 (地デジ操作ボタンを表示する)、**4010** (番組表を表示する)

1



[詳細]にタッチします。

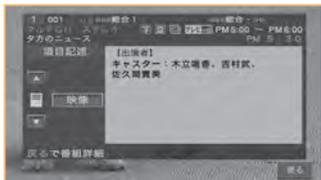
2



詳細情報を見終わったら、[戻る]にタッチします。



- 2の番組詳細画面で[項目記述]にタッチすると、番組の内容等の追加情報が表示されます。



この画面では、▼ または ▲ にタッチすると、情報表示をスクロールできます。
[映像]にタッチすると、詳細情報を表示している番組の映像が表示されます。

4

013

チャンネル番号で選局する

3桁のチャンネル番号をテンキーで指定して選局します。



4006 (地デジ操作ボタンを表示する)

1



[10キー]にタッチします。

2



1 ~ **0** にタッチして、3桁のチャンネル番号を指定します。

指定したチャンネルに切り替わります。



● 上記の方法以外に、次の5つの方法でも選局できます。

- プリセット番号順に選局 **033** **4007**
- プリセットボタンで選局 **033** **4008**
- プリセット一覧で選局 **033** **4009**
- 番組表で選局 **033** **4010**
- チャンネル番号順に選局 **033** **4014**

0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作

4 014

チャンネル順に選局する

0
1
2
3
4
5
6
7

AVの操作



4006 (地デジ操作ボタンを表示する)

1



▲ または ▼ にタッチします。



- この方法では、プリセットされていない放送局も選局できます。
- 上記の方法以外に、次の5つの方法でも選局できます。
 - プリセット番号順に選局 **4007**
 - プリセットボタンで選局 **4008**
 - プリセット一覧で選局 **4009**
 - 番組表で選局 **4010**
 - 3桁のチャンネル番号で選局 **4013**
- 物理チャンネルについては、**7016** をご覧ください。

バナー表示/チャンネル表示をオン/オフします。



4006 (地デジ操作ボタンを表示する)

1



[表示]にタッチします。

バナー表示/チャンネル表示が切り替わりま
す。



バナーの表示方法の設定状態により、上記の操作を行うたびに、バナー表示/チャンネル表示は次のように切り替わります。

設定状態	説明
大 (ch名、番組名)	表示オフ → バナー表示 → チャンネル表示 → 表示オフ ただし、バナー表示状態で5秒間何も操作しないと、チャンネル表示に自動的に変わります。
小 (ch番号、ロゴ)	バナー表示 → 表示オフ → バナー表示 ただし、バナー表示状態で5秒間何も操作しないと、表示は自動的に消えます。



- バナー表示およびチャンネル表示については **4016** をご覧ください。
- バナー表示およびチャンネル表示の設定については **4026** をご覧ください。

0

1

2

3

4

5

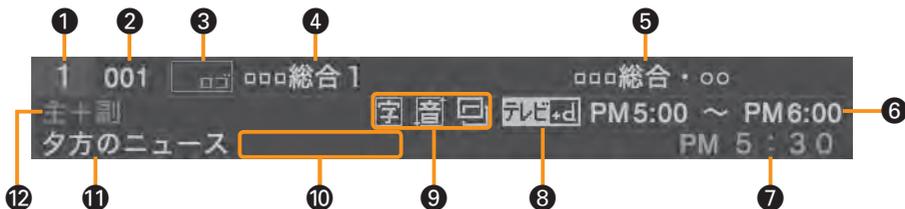
6

7

AVの操作

0 バナーに表示される情報について説明します。

1 バナー表示



4 AVの操作

2 チャンネル表示



- 1 プリセット番号
- 2 3桁のチャンネル番号
同じチャンネル番号に複数のサービスがある場合には、4桁目に番号が追加されます。
- 3 チャンネルのロゴ
- 4 チャンネル名
- 5 放送事業者名
- 6 放送時間
- 7 現在の時刻
- 8 放送の種類
放送の種類が次のマークで表示されます。
 - テレビ： テレビ放送
 - テレビ/d： 番組とは連動していないデータ放送があります。4018
 - テレビ+d： 番組と連動したデータ放送があります。4018
 - テレビ： 独立型データ放送 4018
- 9 サービス
字幕および複数映像/音声があるときに次のマークで表示されます。
 - 字： 字幕サービスがあります。4006
 - 音： 複数音声があります。4006
 - 画/音： 複数映像/音声があります。4006
- 10 放送の種類
放送の種類が次のマークで表示されます。
 - ア： 番組連動データ放送
 - 音： 音声多重放送
 - W： ワイド放送
 - 2ヶ： 2ヶ国語放送
 - 字： 字幕放送
 - B： 圧縮Bモードステレオ音声
 - 音： サラウンドステレオ放送
 - 再： 再放送
 - ステレオ： ステレオ放送
 - 音解： 音声解説
 - 吹替： 吹き替え
 - マルチ： マルチビューテレビ放送
 - 劇映： 劇映画
 - HV： HDTV（ハイビジョン放送）
- 11 番組名
- 12 音声の種類
現在出力されている音声の種類が表示されます。



● バナー表示およびチャンネル表示の設定については 4026 をご覧ください。

4 017

番組の続きを観る

番組が予定時刻に終わらない場合、他のチャンネルで番組の続きが放送される場合があります。このような場合、ワンタッチで続きのチャンネルを選局できます(リレーサービス)。

1



[選局する]にタッチします。

続きが放送されるチャンネルに切り替わり
ます。



0

1

2

3

4

5

6

7

AVの
操作

4 018 データ放送を観る

データ放送は、バナーに **フルHD** (番組非連動型データ放送)、**フルHD・d** (番組連動型データ放送)、または **データ** (独立型データ放送) が表示されているときに観ることができます。



4007、**4008**、**4009**、**4010**、**4013**、**4014** (データ放送のあるチャンネルを受信する)

1



[d]にタッチします。



2

必要な操作をします。

詳しくは、**4019** をご覧ください。

3

データ放送画面を見終わったら、地デジ操作ボタンを表示して、[d]にタッチします。

元の画面に戻ります。

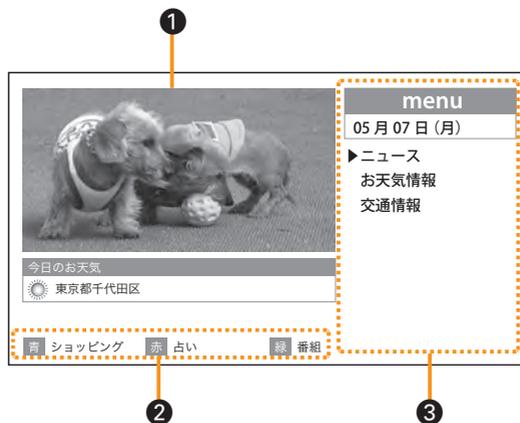


- データ放送は12セグモードでのみ受信できます。
- データ放送画面上の項目の操作に必要なボタンは、タッチ操作時には、地デジ操作ボタンの[カラーボタン]にタッチすると表示されます。**039** **4019**
- 放送電波からデータを取得している間は“データ取得中”と表示されます。“dボタンを押してください”と表示される番組もあります。
- 受信時に“dボタンを押してください”と表示される番組では、[d]にタッチすると自動的にデータ放送のチャンネルに変わります。このとき、チャンネル番号が変わる場合があります。
- データ放送画面上の項目を選んだときに別のチャンネルに変わる場合があります。このとき、チャンネル番号が変わる場合があります。
- 地デジ操作ボタンの[d]にタッチしなくても自動的にデータ放送画面が表示される場合もあります。

データ放送画面での操作によって、表示する情報を選択できます。



4018 (データ放送画面を表示する)



① 番組の映像

③ 矢印ボタンと決定ボタンでの選択項目

② カラーボタンでの選択項目

0

1

2

3

4

5

6

7

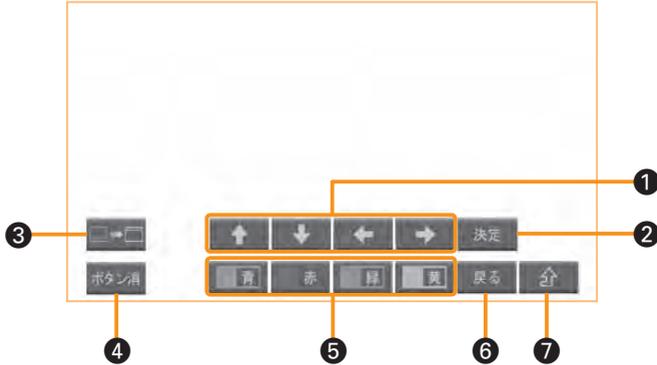
AVの操作



● 上記のデータ放送画面は一例です。実際の画面は、放送局や番組によって異なります。



タッチ操作では、データ放送画面での操作に使用するボタンは、画面の中央をタッチした後に[カラーボタン]にタッチすると表示されます。



項目を選択します。



選択した項目の画面を表示します。



地デジ操作ボタンの表示位置(上下)を切り替えます。



地デジ操作ボタンの表示を消します。



データ放送画面に表示された各色のカラーボタンに対応します。



前の画面に戻ります。



1階層上の地デジ操作ボタン([d]があります)を表示します。

緊急放送は、災害などの発生をいち早く知らせるシステムです。

緊急放送が始まると



緊急放送を受信すると、メッセージが表示された後、緊急放送のチャンネルに自動的に切り替わります。

緊急放送が終了すると

緊急放送が終了すると、メッセージが表示された後、元のチャンネルに自動的に切り替わります。



- 緊急放送は、地域別に異なることがあります。今いる場所で適切に緊急放送を受信できるようにするために、必ず現在地を設定しておいてください。**UHF 4022**
- 地デジ以外の画面が表示されているときには、緊急放送を受信すると割り込み画面で通知されます。ソースを地デジに切り替えて、緊急放送を見てください。

4 021 地デジメニューを表示する

地デジの各種の設定は地デジメニューで行います。



4006 (地デジ操作ボタンを表示する)

1



[メニュー]にタッチします。



地デジメニューが表示されます。



地デジメニュー画面に表示される項目は次のとおりです。

項目	説明	
現在地設定	現在地を設定します。	4022
番組関連	番組表やプリセットチャンネル一覧を表示したり、番組を選択したりします。 また、プリセットチャンネル一覧を初期化します。	4023 4024
ユーザー設定	画面の表示方法などを設定します。	4025 ~ 4032
システム設定	本機の動作を設定します。	4033 ~ 4041



- 地デジメニューの各画面では、[戻る]に何回かタッチすると、前の画面に戻ります。

地上デジタルテレビ放送の放送局をプリセットするために、現在地（都道府県）を設定します。



4021 (地デジメニューを表示する)

1



地デジメニュー画面で、[現在地設定]にタッチします。

2



◀ または ▶ にタッチして、地域を選択します。

3



現在地の都道府県のボタンにタッチします。

現在地が設定され、地デジの受信画面に戻ります。



- 現在地を変更すると、プリセットには指定した現在地での放送局が設定されます。DSE 7010
- 現在地を変更したあと、実際に受信できる放送局をプリセットする場合は 4036 をご覧ください。
- お買い上げ時の状態では、現在地は「東京都」に設定されています。

4 023 番組表などを表示する

現在の時刻以降の番組表などを表示します。



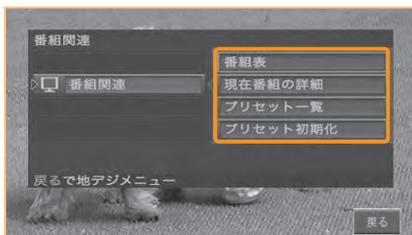
4021 (地デジメニューを表示する)

1



地デジメニュー画面で、[番組関連]にタッチします。

2



使用する項目にタッチします。



地デジメニュー画面に表示される項目は次のとおりです。

項目	説明	
番組表	番組表を表示します。	4010
現在番組の詳細	現在視聴している番組の詳細情報を表示します。	4012
プリセット一覧	現在設定されているプリセットの一覧を表示します。	4009
プリセット初期化	プリセット設定を初期化します。	4024



- 地デジ操作ボタンの[番組表]にタッチしても、番組表画面を表示できます。[03](#) 4010
- 番組表をスクロールしたり、チャンネルを切り替えることもできます。[03](#) 4011
- データを受信するために、番組表を表示するのに時間がかかる場合があります。番組表示データの受信中には、背景の画像(番組の画面)が表示されない場合があります。

4 024

プリセットされている放送局のリストを初期化する

プリセットされている放送局のリストを初期化します。



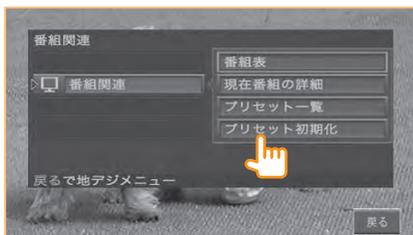
4021 (地デジメニューを表示する)

1



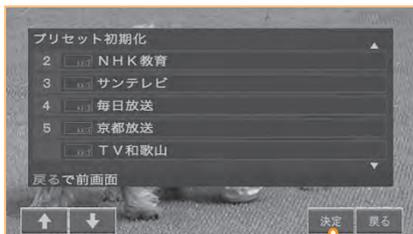
地デジメニュー画面で、[番組関連]にタッチします。

2



[プリセット初期化]にタッチします。

3



[決定]にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。

4

[はい]にタッチします。
すべてのプリセットボタンへの放送局の割り当てが初期状態に戻されます。

0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作



● プリセットボタンへの割り当てを初期化すると、設定されている現在地でのデフォルト状態になります。CS* 7010

4 025

データ放送を利用する地域を設定する

データ放送の情報（たとえば、天気予報、イベント情報、選挙情報など）が地域ごとに違うときに、表示する情報の地域を郵便番号で設定します。



4021（地デジメニューを表示する）

4
A
V
の
操
作

1



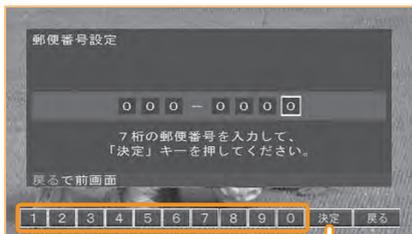
地デジメニュー画面で、[ユーザー設定]にタッチします。

2



[郵便番号設定]にタッチします。

3



1 ~ 0 にタッチして7桁の郵便番号を入力し、[決定]にタッチします。

データ放送の受信地域が設定され、ユーザーメニュー画面に戻ります。



- 本項での設定は、設定されている現在地以外の地域のデータ放送を受信する場合には、同じ地域のデータ放送を受信する場合は、設定する必要はありません。
- 上記の操作では、現在地の設定やプリセットボタンへの放送局の割り当ては変更されません。

4 026 バナー表示を設定する

番組が変わったときなどに自動的に表示されるバナーの表示方法(大/小/表示しない)を設定します。

▶ 4021 (地デジメニューを表示する)

1



地デジメニュー画面で、[ユーザー設定]にタッチします。

2



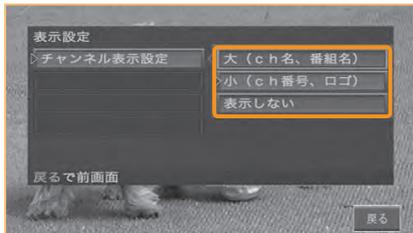
[表示設定]にタッチします。

3



[チャンネル表示設定]にタッチします。

4



目的の表示サイズのボタンにタッチします。

AVの操作

0
1
2
3
4
5
6
7



0

上記の操作を行うたびに、バナー表示/チャンネル表示は次のように切り替わります。

1

項目	説明
大 (ch名、番組名)	5秒間バナー表示された後、チャンネル表示に変わります (表示され続けます)。
小 (ch番号、ロゴ)	チャンネル表示が表示され続けます。
表示しない	5秒間バナー表示された後、表示は自動的に消えます。

2

3

4

AVの操作

5

6

7



- バナーは、地デジ操作ボタンの[表示]にタッチすると表示できます。
- 必要に応じて、手動でバナーまたはチャンネル表示を表示できます。[4015](#)
- お買い上げ時の状態では、「大 (ch名、番組名)」に設定されています。
- バナー表示とチャンネル表示の詳細については [4016](#) をご覧ください。

臨時ニュースなどの受信告知の表示方法（第1言語/第2言語/表示しない）を設定します。



4021 (地デジメニューを表示する)

1



地デジメニュー画面で、[ユーザー設定]にタッチします。

2



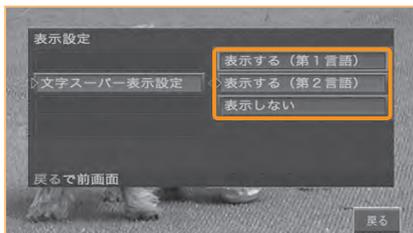
[表示設定]にタッチします。

3



[文字スーパー表示設定]にタッチします。

4



表示方法のボタンにタッチします。

0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作



0

1

2

3

4

AVの
操作

5

6

7



- この機能は、12セグで有効です。
- この機能の対象は、番組の字幕とは無関係です。番組の字幕の設定は、地デジ操作ボタンの[字幕]で行います。 4006
- お買い上げ時の状態では、「表示する(第1言語)」に設定されています。

メニュー画面などの表示方法(透過/不透過)を設定します。



4021 (地デジメニューを表示する)

1



地デジメニュー画面で、[ユーザー設定]にタッチします。

2



[表示設定]にタッチします。

3



[ユーザー表示色設定]にタッチします。

4



目的の表示方法のボタンにタッチします。

0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作



4 029

画面の位置を調整する

画面の位置を調整します。



4021 (地デジメニューを表示する)

1



地デジメニュー画面で、[ユーザー設定]にタッチします。

2



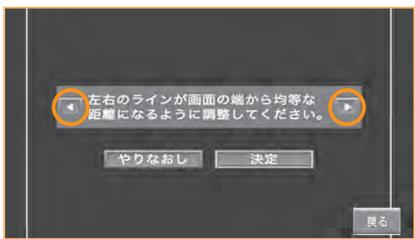
[表示設定]にタッチします。

3



[画面位置設定]にタッチします。

4

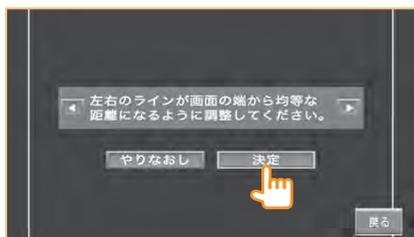


◀ または ▶ にタッチして、画面の位置を調整します。



4 AVの操作

5



[決定]にタッチします。



0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作



- 5で、[やりなおし]にタッチすると、調整をやりなおせます。

4 030

操作時のビーブ音を設定する

地デジの操作時のビーブ音(オン/オフ)を設定します。



4021 (地デジメニューを表示する)

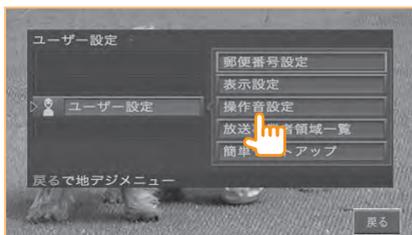
4 AVの操作

1



地デジメニュー画面で、[ユーザー設定]にタッチします。

2



[操作音設定]にタッチします。

3



[ON]または[OFF]にタッチします。



● データ放送受信時のビーブ音は放送局から送出されているもので、オン/オフできません。

異なる地域で何度もチャンネルスキャンをしたり、データ放送を受信すると、得られた情報は地デジ用のメモリに記憶されます。メッセージが表示されたときには、放送事業者領域を削除します。



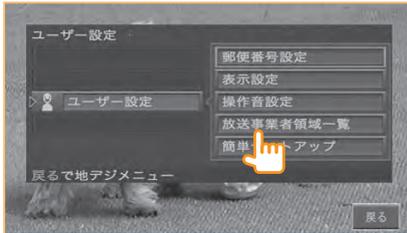
4021 (地デジメニューを表示する)

1



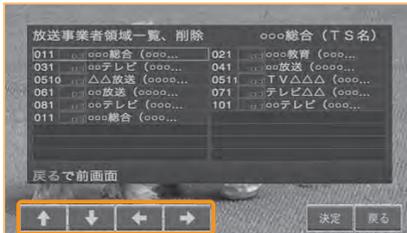
地デジメニュー画面で、[ユーザー設定]にタッチします。

2



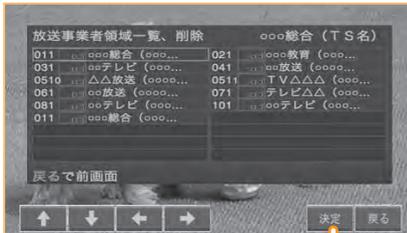
[放送事業者領域一覧]にタッチします。

3



↑ ↓ ← → にタッチして、削除する放送事業者を選択します。

4



[決定]にタッチします。



0

1

2

3

4

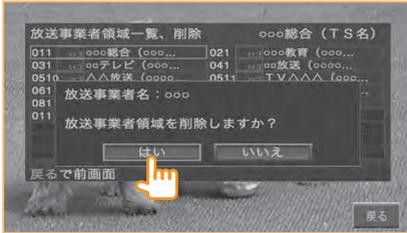
A
Vの
操作

5

6

7

5



[はい]にタッチします。



- 地デジ用のメモリがいっぱいになったときには「放送事業者の領域が確保できません。メニューですべての事業者領域を削除してください。」というメッセージが表示されます。

現在地やプリセットを設定しなおします。



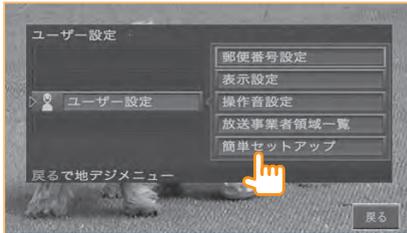
4021 (地デジメニューを表示する)

1



地デジメニュー画面で、[ユーザー設定]にタッチします。

2



[簡単セットアップ]にタッチします。

3

以降の手順はかんたんセットアップと同じです。

詳しくは、**4005** をご覧ください。



0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作

4

033

受信できるチャンネルを確認する

物理チャンネルの受信レベルを確認します。



4021 (地デジメニューを表示する)

1



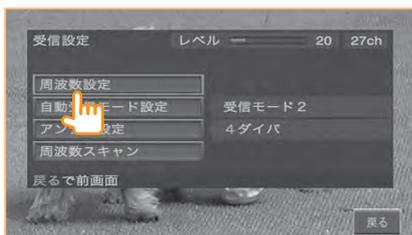
地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。

2



[受信設定]にタッチします。

3



[周波数設定]にタッチします。

4

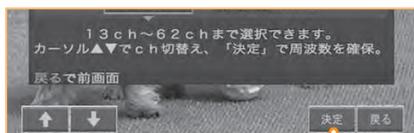


↑ または ↓ にタッチして、確認するチャンネルを指定します。

受信可能なチャンネルでは、対応する周波数が表示されます。



5



[決定]にタッチします。

6

[決定]にタッチします。

受信設定画面に戻ります。

7

[戻る]にタッチします。

システム設定画面に戻ります。



0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作



- 3の受信設定画面には、現在視聴しているチャンネルとレベル(電波の強さ)が表示されます。また、6の受信設定画面には、4で指定したチャンネルのレベルが表示されます。
- 物理チャンネルについては、AV用語集 **7016** をご覧ください。

4 034

自動受信モードの動作を設定する

自動受信モード(受信モード1/受信モード2)の動作を設定します。



4021 (地デジメニューを表示する)

4 AVの操作

1



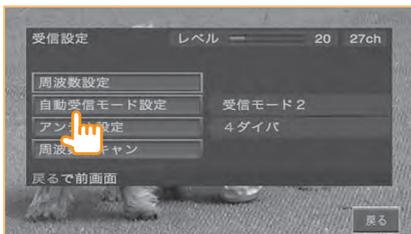
地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。

2



[受信設定]にタッチします。

3



[自動受信モード設定]にタッチします。

4



設定する受信モードのボタンにタッチします。



設定できる受信モードは次のとおりです。

項目	説明
受信モード1	可能な限り12セグを受信します。 12セグの受信状態が非常に悪いときのみワンセグ受信に切り替え、12セグの受信状態が回復したら12セグ受信に切り替えます。 画質の良い放送を楽しめます。
受信モード2	12セグとワンセグの切替回数をなるべく少なくします。 安定的に放送を楽しめます。

0

1

2

3

4

A
V
の
操
作

5

6

7



- ここで設定する受信モードは、受信モードを「自動」に切り替えた( 4006) ときの動作です。
- お買い上げ時の状態では、「受信モード1」に設定されています。

4 035 アンテナを設定する

接続しているアンテナ数(ダイバシティのチャンネル数)を設定します。



4021 (地デジメニューを表示する)

4 AVの操作

1



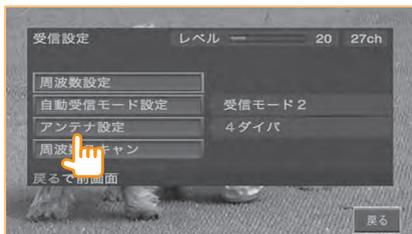
地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。

2



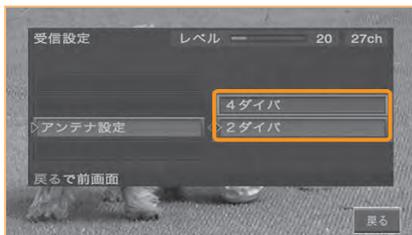
[受信設定]にタッチします。

3



[アンテナ設定]にタッチします。

4



接続されているアンテナ数のボタンにタッチします。



- 「2ダイバ」に設定されているときは、本機のアンテナ接続端子のメインアンテナのみが有効となります。
- お買い上げ時の状態では、「4ダイバ」に設定されています。

現在地で受信できる地デジ放送局をスキャンし、プリセットに割り当てます。



4021 (地デジメニューを表示する)

1



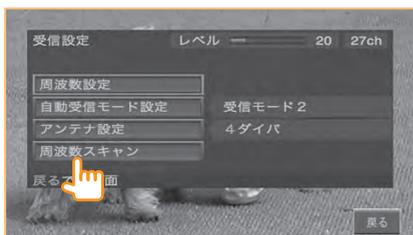
地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。

2



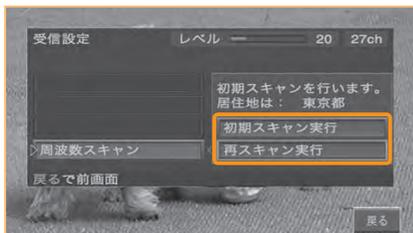
[受信設定]にタッチします。

3



[周波数スキャン]にタッチします。

4



[初期スキャン実行]または[再スキャン実行]にタッチします。

スキャンが開始されます。

0

1

2

3

4

5

6

7



5



スキャンが完了したら[決定]にタッチします。

地デジの画面に戻ります。

4

A Vの操作



実行できるスキャン方式は次のとおりです。

項目	説明
初期スキャン実行	すべてのチャンネルをスキャンします。 それまでプリセットに割り当てられていたチャンネルをすべてクリアし、受信できたチャンネルをプリセットに新たに割り当てます。
再スキャン実行	すべてのチャンネルをスキャンします。 それまでプリセットに割り当てられていたチャンネルはそのまま、受信できたチャンネルをプリセットに追加して割り当てます。



- 初期スキャンを実行すると、スキャン実行前のプリセットへのチャンネル割り当てはクリアされます。クリアしたくないときは再スキャンを実行してください。

B-CASカード(ICカード)をテストします。また、B-CASカードの情報を表示します。



4021 (地デジメニューを表示する)

1



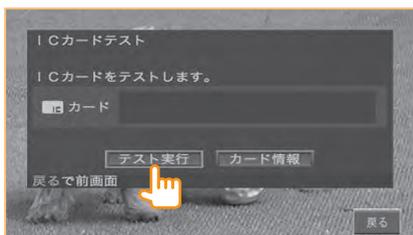
地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。

2



[ICカードテスト]にタッチします。

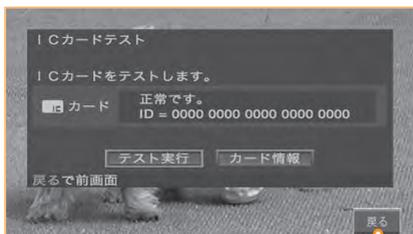
3



[テスト実行]にタッチします。

B-CASカードのテストが開始されます。終了すると、テスト結果が表示されます。

4



結果を確認し、[戻る]にタッチします。

システム設定画面に戻ります。

0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作



0

1

2

3

4

AVの
操作

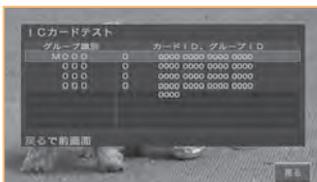
5

6

7



- 本操作は、B-CASカードの抜き差ししたときに実行して、カードが正しいことを確認してください。
- 本操作は、B-CASカードの抜き差し後、約3秒以上経過してから実行してください。
- 3で[カード情報]にタッチすると、B-CASカードに書き込まれている情報が表示されます。



放送局からのお知らせ(メール)を見ることができます。



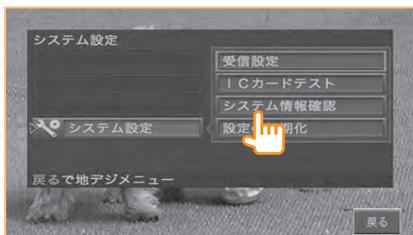
4021 (地デジメニューを表示する)

1



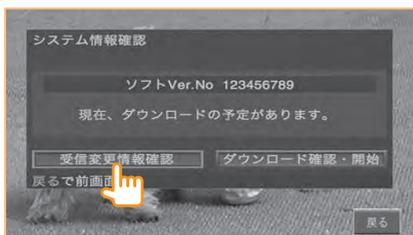
地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。

2



[システム情報確認]にタッチします。

3



[受信変更情報確認]にタッチします。

4



タッチして確認するメールを選択します。

0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作



0

1

2

3

4

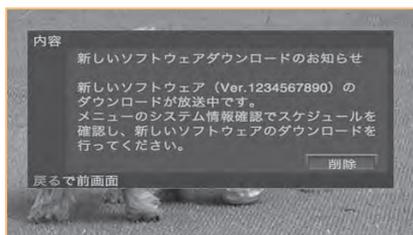
AVの操作

5

6

7

5



内容を確認します。



- 5 で、メールの内容が画面に表示しきれていない場合は、▼または▲にタッチしてスクロールさせることができます。
- 5 で、[削除]にタッチすると、表示されているメールを削除できます。

地デジ関係のデータやソフトウェアをバージョンアップします。

- 本操作は、エンジンを停止する必要があります。受信状態が良く、安全な場所に駐車して操作を開始してください。
- ダウンロード完了のメッセージが表示されるまで、他の操作を一切行わないでください。



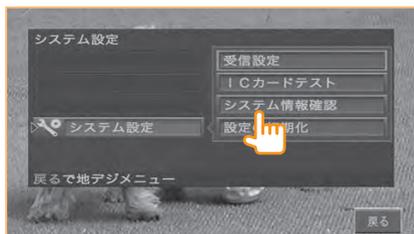
4021 (地デジメニューを表示する)

1



地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。

2



[システム情報確認]にタッチします。

3



[ダウンロード確認・開始]にタッチします。



0

1

2

3

4

5

6

7

A
V
の
操
作

0

1

2

3

4

A
Vの
操作

5

6

7

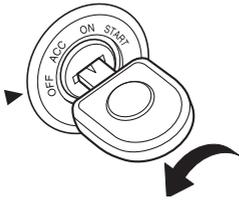
4



[ダウンロード開始]にタッチします。

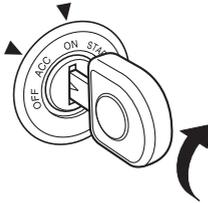
ダウンロードが開始されます。
終了すると、メッセージが表示されます。

5



ダウンロードが終了したら、イグニッションスイッチをオフにします。

6



イグニッションスイッチをオンにします。

ダウンロードしたデータによって、本機がバージョンアップされます。



- 4の画面で、[スケジュール確認]にタッチすると、ダウンロードスケジュールを表示できます。
- 4の画面で、[内容確認]にタッチすると、最も新しいダウンロードの内容を表示できます。

4

040

設定を初期化する

地デジ関係の設定を初期化します。



- 初期化完了のメッセージが表示されるまで、他の操作を一切行わないでください。



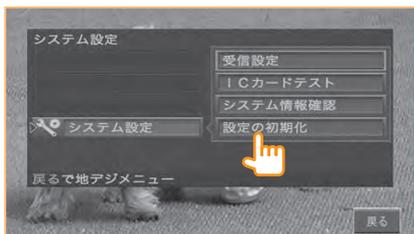
4021 (地デジメニューを表示する)

1



地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。

2



[設定の初期化]にタッチします。

3



[設定値初期化]にタッチします。
確認の画面が表示されます。



0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作

0

1

2

3

4

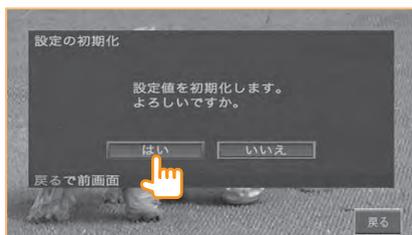
A
Vの
操
作

5

6

7

4



[はい]にタッチします。

設定が初期状態に戻されます。

初期化が完了すると、メッセージが表示されます。



- 初期化される設定は次のとおりです。
 - 郵便番号設定(ユーザー設定) 4025
 - 文字スーパー設定(ユーザー設定) 4027
 - 表示設定(ユーザー設定) 4028
 - 操作音設定(ユーザー設定) 4030
 - 自動受信モード設定(システム設定-受信設定) 4034
 - アンテナ設定(システム設定-受信設定) 4035

4

041

お買い上げ時の状態に戻す

地デジ関係のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。



● 本操作は、エンジンを停止する必要があります。安全な場所に駐車して操作を開始してください。



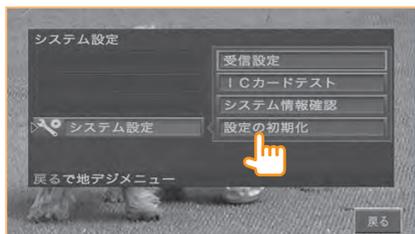
4021 (地デジメニューを表示する)

1



地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。

2



[設定の初期化]にタッチします。

3



[工場出荷設定]にタッチします。
確認の画面が表示されます。



0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作

0

1

2

3

4

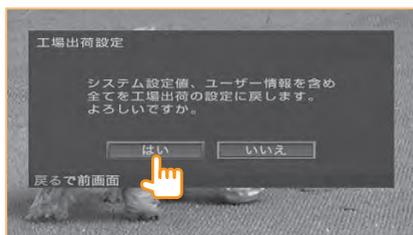
AVの操作

5

6

7

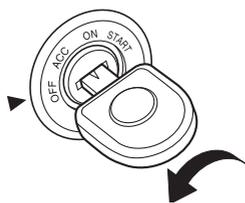
4



[はい]にタッチします。

設定が初期状態に戻されます。
初期化が完了すると、メッセージが表示されます。

5



イグニッションスイッチをオフにします。

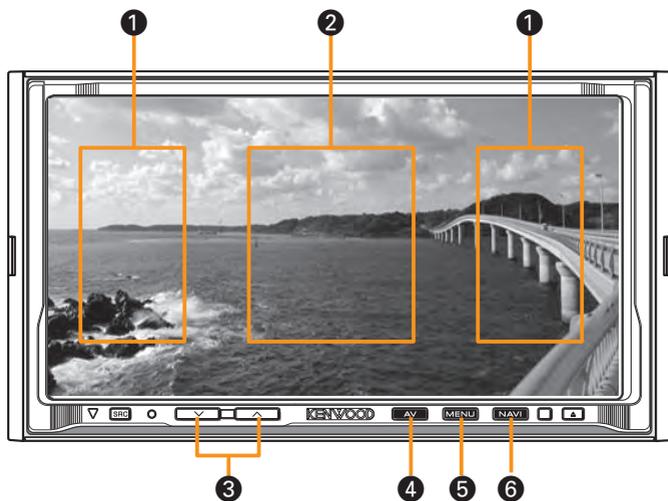


- 次回、本機の電源をオンにしたときには、お買い上げ後に初めて地デジに切り替えたときと同様に、かんたんセットアップの画面が表示されます。
かんたんセットアップからやり直してください。038 4005

DVDを挿入すると、DVDのプレイが始まります。



1006 (DVDの挿入)

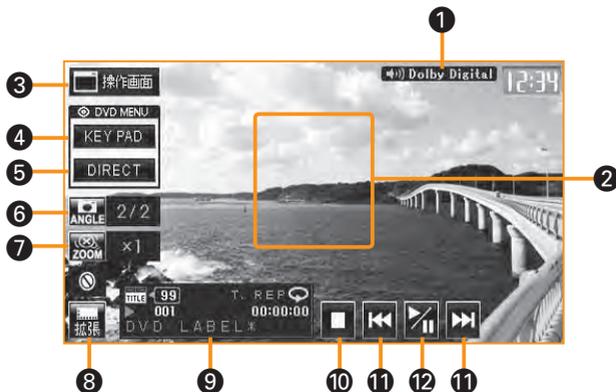


- 1 チャプターアップ/チャプターダウン
チャプターを選択します。
- 2 DVD操作ボタン表示
DVD操作ボタンを表示します。☞ 4043
- 3 / (ボリュームキー)
DVDの音量を調整します。
- 4 (エーブイキー)
DVD基本操作ボタンを表示します。☞ 4043
DVD操作ボタン、DVDメニュー、またはナビの
画面を表示しているときに押すと、DVDの映像
画面に切り替わります。
- 5 (メニューキー)
DVDメニューを表示します。☞ 4045
- 6 (ナビキー)
映像をナビの画面に切り替えます。音声はDVDの
まま変わりません。



- 走行中は、DVDの映像は表示されません。
- すでにDVDが挿入されているときは、 でAVソースをDVDに切り替えてください。☞ 1010
- プレイできるDVDメディアについては [0003](#) をご覧ください。

0 DVDのプレイ中に画面の中央部にタッチするか **AV** を押すと、DVD基本操作ボタンが表示されます。



4 AVの操作

1 音声モード

現在の音声モードが表示されます。

2 ボタン消去

DVD基本操作ボタンが表示されているときにタッチすると、ボタンが消えます。

3 操作画面

DVD VIDEOメニュー画面を表示します。

☞ 4045

4 KEYPAD

本機が表示する操作ボタンで操作します。

☞ 4049

5 DIRECT

メニューをタッチパネルからダイレクトに操作します。☞ 4048

6 ANGLE

アングル切り替えが可能なシーンでカメラアングルを切り替えます。

アングル切り替えが可能なシーンで[ANGLE]が表示されるように設定できます。☞ 6003 (DVDアングルマーク)

7 ZOOM

ズーム画面を表示し、画面をズームします。ズーム中は、表示位置を移動できます。☞ 4047

8 拡張

DVD拡張操作ボタンを表示します。☞ 4044

9 DVD情報

DVD情報が次のように表示されます。



① プレイ状態

表示例：

▶：プレイ中

||：ポーズ中

■R：レジュームストップ中

■：ストップ中

② チャプター番号

③ タイトルリポートのオン/オフ

④ プレイ時間

⑤ ディスクタイトル

10 ■ (ストップ)

一度タッチすると、DVDのプレイがストップします(レジュームストップ)。もう一度タッチすると、レジュームが解除されます。

11 ◀◀ (チャプターダウン)、▶▶ (チャプターアップ)

チャプターを選択します(チャプターサーチ)。

12 ■ (プレイ/ポーズ)

プレイ/一時停止します。



- [KEYPAD]および[DIRECT]は、ズーム倍率が「×1」のときのみ操作できます。
- レジュームストップ中に ■ にタッチすると、ストップした位置からプレイが再開されます。レジュームが解除されているときは、先頭からプレイされます。
- [ANGLE]は、アングル切り替え可能なディスクおよびシーンでのみ表示されて操作できます。

DVD基本操作ボタンの[拡張]にタッチすると、DVD拡張操作ボタンが表示されます。

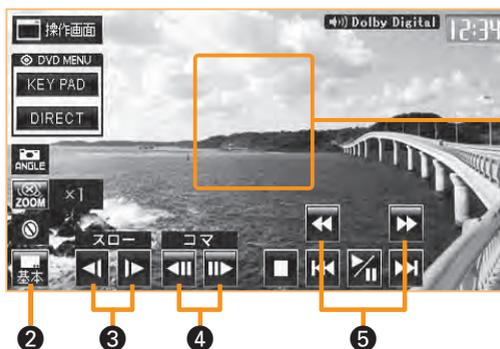


4043 (DVD 基本操作ボタンを表示)

1



[拡張]にタッチします。



1 ボタン消

DVD拡張操作ボタンを消します。

2 基本

DVD基本操作ボタンの表示に戻ります。

4043

3 (スロー戻し)、 (スロー送り)

タッチすると、映像はスロー戻し/スロー送りされます。

通常再生するときは にタッチします。

4 (コマ戻し)、 (コマ送り)

一度タッチすると、映像は停止します。さらにタッチすると、タッチするたびに、コマ戻し/コマ送りされます。

通常再生するときは にタッチします。

5 (早戻し)、 (早送り)

早戻し/早送りします。繰り返しタッチすると、早戻し/早送りのスピードが変わります。

通常再生するときは にタッチします。



4 045 DVDメニューで操作する

DVDメニューでは、DVDや再生状態の情報が表示されます。また、DVDの各種の操作が行えます。



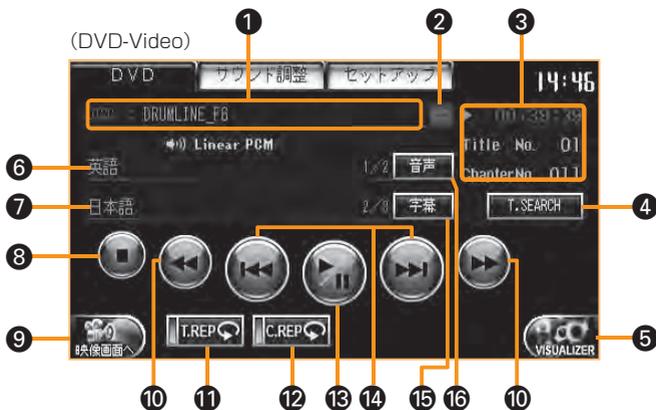
4042 (DVDをプレイ)

1



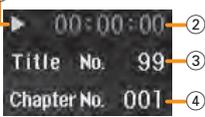
MENU を押します。

4 AVの操作



(DVD-VR)



- 1 ディスク情報
ディスク名称が表示されます。
- 2  (スクロール)
ディスク名称をスクロールします。
ディスクタイトルが長くて表示しきれないときにタッチできます。
- 3 プレイ情報
DVDの情報が次のように表示されます。

 - ① プレイ状態
表示例：
▶：プレイ中
||：ポーズ中
■R：レジャーームストップ中
■：ストップ中
 - ② プレイ時間
 - ③ タイトル番号
 - ④ チャプター番号
- 4  T-SEARCH
タイトルサーチします。DST 4046
- 5  VISUALIZER (背景切り替え)
DVDメニューの背景の映像(ビジュアルライザ/静止画/スペアナ)を切り替えます。
- 6 音声情報
現在の音声に関する情報が表示されます。
- 7 字幕情報
現在の字幕に関する情報が表示されます。
- 8  (ストップ)
一度タッチすると、DVDのプレイがストップします(レジャーームストップ)。もう一度タッチすると、レジャーームが解除されます。
- 9 
映像の画面に切り替えます。
- 10  (早戻し)、 (早送り)
早戻しまたは早送りします。
早戻しまたは早送り中にタッチすると、早戻しまたは早送りのスピードが変わります(3段階)。
- 11  T-REP
現在のタイトルを繰り返しプレイします。
タッチするたびに、タイトルリピートのオン/オフが切り替わります。
タイトルリピートがオンのときには、インジケータが点灯します。
- 12  C-REP
現在のチャプターを繰り返しプレイします。
タッチするたびに、チャプターリピートのオン/オフが切り替わります。
チャプターリピートがオンのときには、インジケータが点灯します。
- 13  (プレイ/ポーズ)
プレイ/一時停止します。
- 14  (チャプターダウン)、 (チャプターアップ)
チャプターを選択します(チャプターサーチ)。
次のチャプター、または現在のチャプターの先頭(もう一度タッチすると前のチャプター)からプレイします。
- 15  字幕
タッチするたびに字幕の言語が切り替わります。
- 16  音声
タッチするたびに音声の言語が切り替わります。
- 17  PLST (DVD-VRのみ)
通常の再生とプレイリストの再生を切り替えます。
プレイリストの再生中にはインジケータが点灯します。



- レジャーームストップ中に  にタッチすると、ストップした位置からプレイが再開されます。レジャーームが解除されているときは、先頭からプレイされます。
- DVD-VRディスクを再生中は、AV-OUTの音声は主音声のみとなります。

4 046

タイトル番号でシーンを探す

タイトル番号を指定してプレイします。



4045 (DVD メニューを表示)

4 AVの操作

1



[T.SEARCH]にタッチします。

2



[-1]、[-10]、[+1]、[+10]にタッチして、タイトル番号を入力します。

3



[決定]にタッチします。

指定したタイトル番号からプレイが始まります。



4

047

映像をズームする

DVDの映像を拡大して観ます。



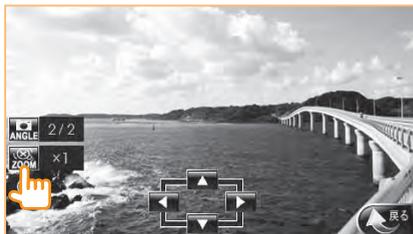
4043 (DVD 基本操作ボタンを表示)

1



[ZOOM]にタッチします。

2



[ZOOM]にタッチします。

タッチするたびに、×2、×3、×4、×1の順に倍率が切り替わります。

3



▲、▼、◀、▶ にタッチして、表示する位置を選択します。



- 2 または 3 で、[戻る]にタッチすると、前画面 (DVD基本操作画面またはDVD拡張操作ボタン)に戻ります。
- ▲ ▼ ◀ ▶ は、ズーム倍率が「×1」以外のときに操作できます。

0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作

4 048

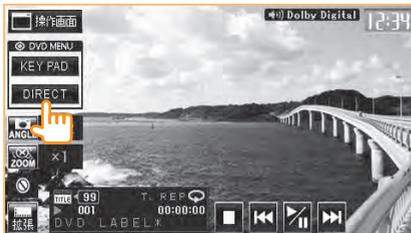
ディスクメニューをダイレクトに操作する

DVD固有のディスクメニューをダイレクトに操作します。



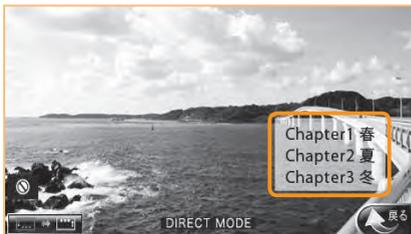
4043 (DVD 基本操作ボタンを表示)

1



[DIRECT]にタッチします。

2



ディスクメニューにタッチして操作します。



- 表示されるディスクメニューはプレイしているDVDに固有のもので、操作できる内容はDVDによって異なります。
- 2で、[戻る]にタッチすると、前画面 (DVD基本操作画面またはDVD拡張操作ボタン)に戻ります。

DVD固有のディスクメニューを、本機が表示するボタンで操作します。



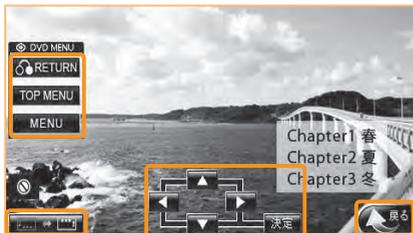
4043 (DVD 基本操作ボタンを表示)

1



[KEY PAD]にタッチします。

2



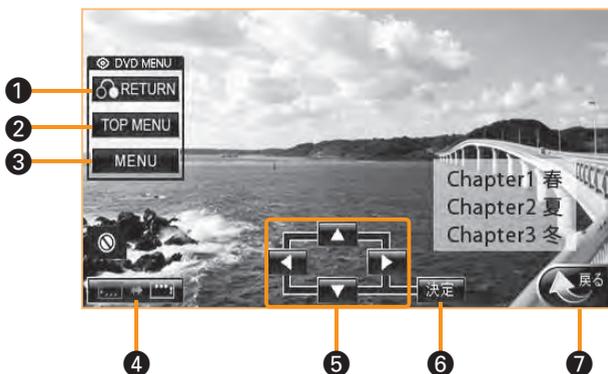
各ボタンにタッチして操作します。

各ボタンについては、次ページをご覧ください。



- 表示されるディスクメニューは、プレイしているDVDに固有のもので、操作できる内容はDVDによって異なります。
- 2で、[戻る]にタッチすると、前画面 (DVD基本操作画面またはDVD拡張操作ボタン) に戻ります。





- 1 RETURN
ディスクメニューの階層を1つ上に移動します。
- 2 TOP MENU
ディスクメニューのトップに戻ります。
- 3 MENU
ディスクメニューを消します。
もう一度タッチすると、再度ディスクメニューを
表示します。
- 4
操作ボタン(コントロール)の表示位置を変えます。
- 5
項目ディスクメニューの項目を選択します。
- 6 決定
項目の選択を決定します。
- 7 戻る
DVD基本操作ボタンに戻ります。



- 表示されるディスクメニューはプレイしているDVDに固有のもので、操作できる内容はDVDによって異なります。
- ディスクメニューの操作ボタン(コントロール)が表示されているときは、ディスクメニューに直接タッチしても操作できません。



- が背景の映像と重なって見にくいときに で表示位置を変えると、見やすくなる場合があります。

4

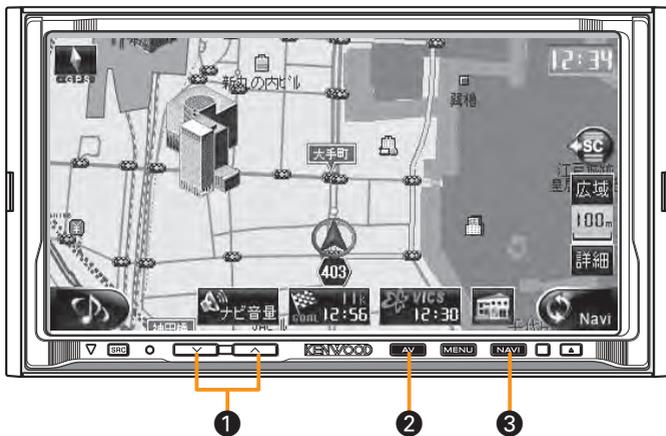
050

CDを聴く

CDを挿入すると、CDのプレイが始まります。



1006 (CDを挿入)



①  /  (ボリュームキー)
CDの音量を調整します。

②  (エーブイキー)
CDメニューを表示します。038 4051

③  (ナビキー)
映像をナビの画面に切り替えます。音声はCDのまま変わりません。



●すでにCDが挿入されているときは、 でAVソースをCDに切り替えてください。038 1010

4 051

CDメニューで操作する

CDメニューでは、CDのプレイ状態の情報が表示されます。また、CDの各種の操作が行えます。



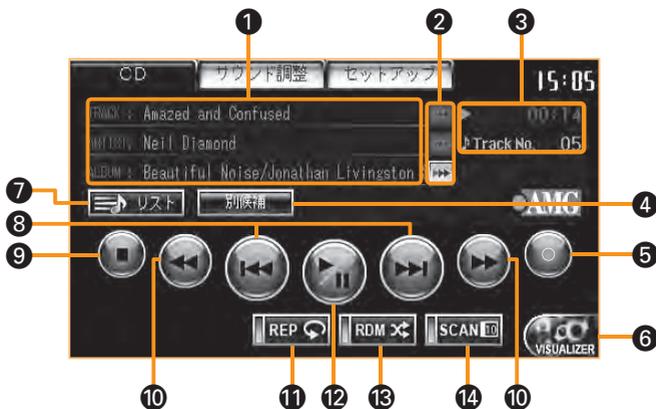
4050 (CDをプレイ)

1



AV を押します。

AVの操作



1 トラック情報

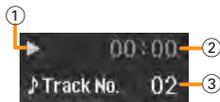
CDを挿入したときに楽曲データベースが参照され、楽曲データベースから得られた曲名、アーティスト名、およびアルバム名が表示されます。

2 (スクロール)

曲名(トラックタイトル)をスクロールします。トラックタイトルが長くて表示しきれないときにタッチできます。

3 プレイ情報

プレイ状態およびプレイ時間が表示されます。



① プレイ状態

表示例：

▶：プレイ中

||：ポーズ中

■R：レジュームストップ中

■：ストップ中

② プレイ時間

③ トラック番号

- 4  (別収録)
他のアルバム情報を選択します。P.37 4052
- 5  (録音)
CDの曲を内蔵HDDに録音します。P.37 4054
- 6  (背景切り替え)
CDメニューの背景(ビジュアライザ/静止画/ス
ペアナ)を切り替えます。
- 7  リスト
CD内の曲のリスト(トラックリスト)を表示/選
曲します。P.37 4053
なお、停止中およびランダムプレイ中には操作で
きません。
- 8  (トラックダウン)、 (トラックアップ)
トラックを選択します(トラックサーチ)。
次のトラック、または現在のトラックの先頭(も
う一度タッチすると前のトラック)からプレイし
ます。
- 9  (ストップ)
一度タッチすると、CDのプレイがストップしま
す(レジュームストップ)。もう一度タッチする
と、レジュームが解除されます。
- 10  (早戻し)、 (早送り)
曲を早戻し/早送ります。
- 11  (トラックリピートプレイ)
現在の曲を繰り返しプレイします。
タッチするたびに、トラックリピートのオン/オ
フが切り替わります。
トラックリピートがオンのときには、インジケー
ターが点灯します。
- 12  (プレイ/ポーズ)
プレイ/一時停止します。
- 13  (トラックランダムプレイ)
CD内の曲をランダムな順でプレイします。
タッチするたびに、ランダムプレイのオン/オフ
が切り替わります。
トラックランダムプレイ中は、インジケーターが
点灯します。
- 14  (トラックスキャンプレイ)
CD内の曲の先頭部分を約10秒間ずつプレイし
ます。
もう一度  にタッチすると、スキャンが解
除されてその曲からプレイされます。
トラックスキャンプレイ中は、インジケーターが
点灯します。



- CDによっては、楽曲データベースから楽曲情報を取得するのに時間がかかったり、取得できなかつたりする場合があります。
- レジュームストップ中に  にタッチすると、ストップした位置からプレイが再開されます。レジュームが解除されているときは、先頭からプレイされます。
- ノンストップ音楽CDのプレイ中に、トラック間に無音部分が挿入される場合があります。

4 052

アルバム情報を選択しなおす

CDのアルバム情報を楽曲データベースから選択しなおします。



4051 (CD メニューを表示)

1



[別候補]にタッチします。

2



アルバムのボタンにタッチします。

CDメニューに戻り、選択したアルバム情報が表示されます。
目的のアルバム名が表示されていない場合は、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチします。



4 AVの操作

CDメニューからトラックリストを表示して選曲します。



4051 (CD メニューを表示)

1



[リスト]にタッチします。

2



曲名のボタンにタッチして選曲します。

目的の曲が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチします。
選択した曲のプレイが始まります。



- リストの右のスクロールバーの位置が、選択した曲のCD内での位置を表します。スクロールバーにタッチすると、その位置の曲を選択できます。
ただし、トラックランダムプレイ (4051) 中は、トラックリストは表示できません。

0

1

2

3

4

5

6

7

A V の操作

4 054

CDの曲を内蔵HDDに録音する

CD内の曲のうち、選択した曲を内蔵HDDに録音します。



- 本機は、音楽CDを挿入するだけで全曲が録音されるという自動録音機能には対応していません。以下に示した操作で、内蔵HDDに録音する曲を選択して録音を開始してください。



4051 (CD メニューを表示)

4 A
Vの
操作

1



● にタッチします。

2



録音する曲の[選択]にタッチします。

目的の曲名が表示されていない場合は、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチします。

3



[標準速録音]または[高速録音]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

4

[はい]にタッチします。

録音が始まります。

録音が終了すると、結果が表示されます。



5

[[はい]]にタッチします。

標準速録音の場合は録音中画面に、高速録音の場合はナビの画面に戻ります。



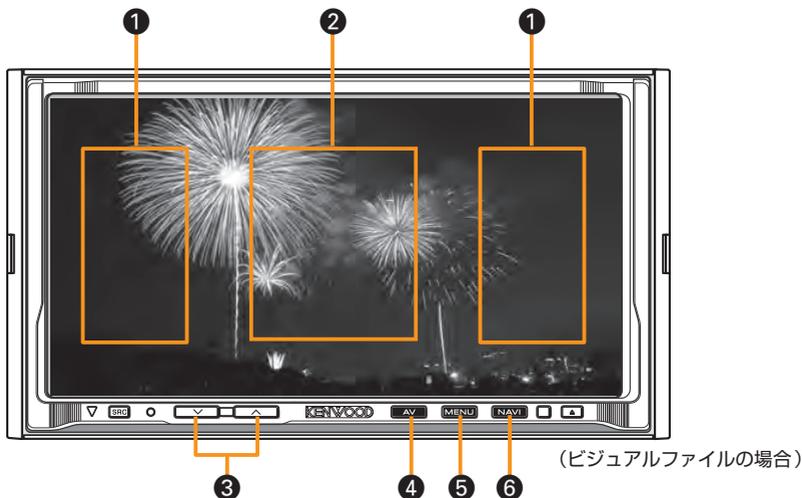
- 本機はSCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に対応しており、デジタル録音された複製ディスク内の曲を内蔵HDDに録音することはできません。
- 楽曲情報を取得中には  にはタッチできません。
- トラックリストで、録音状態は次のアイコンで示されます。
 - ：録音済み
 - ：録音中
 - ：録音がスキップされました。
 - ：録音中にエラーが発生して、録音されませんでした。
- 録音速度は、プレイしながら録音する場合は標準録音、プレイしない場合は高速録音が可能です。プレイ中に高速録音を開始すると、プレイは中止されます。
- 楽曲データベースに録音する曲の情報がある場合、録音したファイルに曲名等の楽曲情報が付加されます。楽曲情報がない場合には、楽曲データベース管理ソフトウェアKME-EXで、インターネット上の最新の楽曲データベースから楽曲情報を取得することができます。[035](#) **6015**
また、本機の楽曲データベースを更新することもできます。[035](#) **6013**
- オーディオデータのファイル形式はMP3です。
また、録音音質は **6003**（CD録音音質）で設定できます。
- 録音中に本機の電源がオフになっても、それまでに録音が完了している曲は残っています。
- 2で、[全選択]にタッチするとすべての曲が選択されます。また、[全解除]にタッチすると、すべての選択が解除されます。
- 内蔵HDDに録音されたオーディオデータは、他のメディアに書き出すことはできません。
- すでに録音されている曲を選択しても、曲は上書きされません。

4 055 AVファイルをプレイする

ディスクやUSB機器に保存されているAVファイルをプレイします。



1006 (AV ファイルディスクの挿入)、1007 (USB 機器を接続)



- 1 **ファイルダウン/ファイルアップ**
1つ前のファイルまたは次のファイルをプレイします。
- 2 **ファイル操作ボタン**
ファイル操作ボタンを表示します。☞ 4056
- 3 **▼ / ▲ (ボリュームキー)**
音量を調整します。
- 4 **AV (エービキー)**
ファイル操作ボタンを表示します。☞ 4056
- 5 **MENU (メニューキー)**
圧縮ファイルメニューまたはUSBメニューを表示します。☞ 4057
- 6 **NAVI (ナビキー)**
映像をナビの画面に切り替えます。音声はAVファイルのまま変わりません。

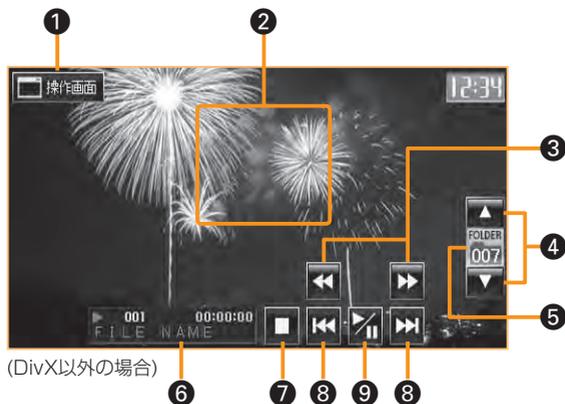


- ディスクがすでに挿入されている場合は **SRC 1010** で[圧縮ファイル]を選んでプレイすることができます。また、ナビモード中は **▶ 2003** で[圧縮ファイル]を選んでプレイすることもできます。
- USB機器がすでに接続されている場合は **SRC 1010** で[USB]を選んでプレイすることができます。また、ナビモード中は **▶ 2003** で[USB]を選んでプレイすることもできます。
- 本機でプレイできるAVファイルの形式については **7012** をご覧ください。
また、本機が対応しているディスクメディアについては **0003** および **7013** をご覧ください。
- 本機でプレイするAVファイルには、正しい拡張子がつけられている必要があります。
- ディスクを挿入したりUSB機器を接続したときには、ルートディレクトリからの先頭のファイルからプレイされます。ルートディレクトリにファイルがない場合は、先頭のフォルダの先頭のファイルからプレイされます。
- 静止画ファイルは、内蔵HDDに転送してから表示してください。☞ 4059
- 走行中は、ビジュアルファイルの映像は表示されません。
- USB機器の容量が大きかったり、フォルダやファイル数が多い場合、プレイが始まるまでに時間がかかる場合があります。また、再生できない場合もあります。この場合、内蔵HDDに転送してからプレイしてください。

AVファイルのプレイ中に画面の中央部にタッチするか **AV** を押すと、ファイル操作ボタンが表示されます。



4055 (画面の中央部にタッチ)



- 1 **操作画面**
圧縮ファイルメニューまたはUSBメニューを表示します。▶▶▶ 4057
- 2 ファイル操作ボタン消
ファイル操作ボタンを消します。
- 3 ◀▶ (早戻し)、▶▶ (早送り)
ファイルを早戻し/早送りします。
- 4 ▼ (フォルダダウン)、▲ (フォルダアップ)
フォルダを選択します (フォルダサーチ)。
- 5 フォルダ番号
現在選択されているフォルダの番号が表示され
ます。



6 プレイ情報

プレイ情報が次のように表示されます。

① プレイ状態
表示例：

▶：プレイ中

||：ポーズ中

■R：レジュームストップ中

■：ストップ中

② ファイル番号

③ プレイ時間

④ ファイル名

7 ■ (ストップ)

一度タッチすると、AVファイルのプレイがストップします(レジュームストップ)。もう一度タッチすると、レジュームが解除されます。

8 ◀▶ (ファイルダウン)、▶▶ (ファイルアップ)

ファイルを選択します(ファイルサーチ)。次のファイル、または現在のファイルの先頭(もう一度タッチすると前のファイル)からプレイします。

9 ■ (プレイ/ポーズ)

プレイ/一時停止します。

10 字幕 (DivXのみ)

字幕の言語を切り替えます。

11 音声 (DivXのみ)

音声の言語を切り替えます。



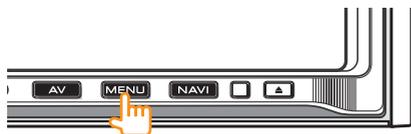
- レジュームストップ中に ■ にタッチすると、ストップした位置からプレイが再開されます。レジュームが解除されているときは、先頭からプレイされます。

圧縮ファイルメニューまたはUSBメニューでは、AVファイルのプレイ状態の情報が表示されます。また、AVファイルの各種の操作が行えます。

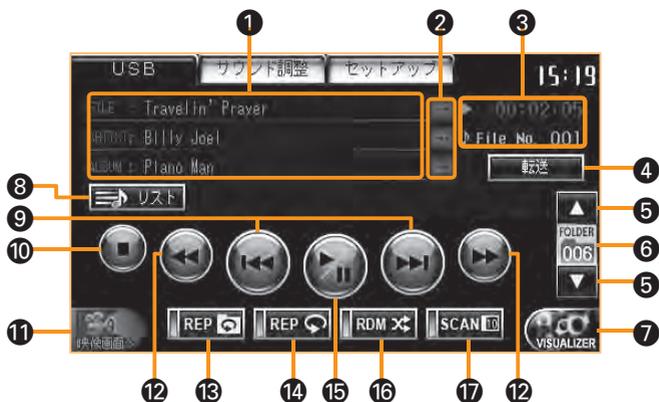


4055 (AV ファイルをプレイ)

1



MENU を押します。



1 ファイル情報

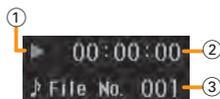
オーディオファイルの場合は曲名、アーティスト名、およびアルバム名、ビジュアルファイルの場合はファイル名およびフォルダ名が表示されます。

2 (スクロール)

各項目をスクロールします。フォルダ名やファイル名などが長くて表示しきれないときにタッチできます。

3 プレイ情報

プレイ情報が次のように表示されます。



- ① プレイ状態
表示例：
▶：プレイ中
||：ポーズ中
■R：レジュームストップ中
■：ストップ中
- ② プレイ時間
- ③ ファイル番号



0

1

2

3

4

A
V
の
操
作

5

6

7



- 4 ディスクまたはUSB機器から内蔵HDDにAVファイルを転送します。038 4059

- 5 (フォルダダウン)、 (フォルダアップ) フォルダを選択します (フォルダサーチ)。

- 6 フォルダ番号
現在選択されているフォルダの番号が表示されます。

- 7 (背景切り替え)
圧縮ファイルメニューまたはUSBメニューの背景 (ビジュアライザ/静止画/スベアナ) を切り替えます。

- 8 リスト
現在プレイ中のファイルのある階層のリストを表示します。038 4058
ただし、ファイルランダムプレイ中は操作できません。

- 9 (ファイルダウン)、 (ファイルアップ)
ファイルを選択します (ファイルサーチ)。
次のファイル、または現在のファイルの先頭 (もう一度タッチすると前のファイル) からプレイします。

- 10 (ストップ)
一度タッチすると、AVファイルのプレイがストップします (レジュームストップ)。もう一度タッチすると、レジュームが解除されます。

- 11
ビジュアルファイルのプレイ時に、映像の画面に切り替えます。

- 12 (早戻し)、 (早送り)
ファイルを早戻し/早送りします。

- 13 (フォルダリピートプレイ)
現在のフォルダ内のファイルを繰り返しプレイします。
タッチするたびに、フォルダリピートのオン/オフが切り替わります。
フォルダリピートがオンのときには、インジケータが点灯します。

- 14 (ファイルリピートプレイ)
現在のAVファイルを繰り返しプレイします。
タッチするたびに、ファイルリピートのオン/オフが切り替わります。
ファイルリピートがオンのときには、インジケータが点灯します。

- 15 (プレイ/ポーズ)
プレイ/一時停止します。

- 16 (ファイルランダムプレイ)
ディスクまたはUSB機器内のAVファイルをランダムな順でプレイします。
タッチするたびに、ランダムプレイのオン/オフが切り替わります。
ランダムプレイがオンのときには、インジケータが点灯します。

- 17 (ファイルスキャンプレイ)
ディスクまたはUSB機器内の各AVファイルの先頭部分を約10秒間ずつプレイします。
もう一度 にタッチすると、スキャンが解除されてそのAVファイルからプレイされます。
ファイルスキャン中は、インジケータが点灯します。



- レジュームストップ中に にタッチすると、ストップした位置からプレイが再開されます。レジュームが解除されているときは、先頭からプレイされます。

ディスク内またはUSB機器内のプレイするAVファイルをリストで選択します。



4057 (圧縮ファイルメニュー / USB メニューを表示)

1



[リスト]にタッチします。

2



ファイルのボタンにタッチして、プレイするファイルを選択します。

選択したファイルがプレイされます。目的のファイルが表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチします。

リストの右のスクロールバーにタッチしても、リストをスクロールできます。



- 各ファイルのボタンには、ファイルの種類がマークで表示されます。

- : MP3ファイル
- : WMAファイル
- : AACファイル
- : JPEGファイル
- : BMPファイル
- : GIFファイル
- : PNGファイル
- : MPEGファイル
- : AVIファイル
- : DivXファイル

ディスクやUSB機器内に記録されている静止画ファイルは、内蔵HDDに転送してから表示してください。

- 各フォルダのボタンには、フォルダの内容が次のマークで表示されます。

- : フォルダあり、ファイルあり
- : フォルダあり、ファイルなし
- : フォルダなし、ファイルあり
- : フォルダなし、ファイルなし

- フォルダのボタンにタッチすると、フォルダの内容がリストで表示されます。

- 2で、 にタッチすると、現在プレイ中のファイルのあるフォルダの内容が表示されます。

2で、 にタッチすると、1階層上のフォルダの内容が表示されます。

2で、 にタッチすると、ディスクやUSB機器内のルート(最上位)フォルダの内容が表示されます。

0

1

2

3

4

AVの操作

5

6

7

4 059

AVファイルを内蔵HDDに転送する

ディスク内またはUSB機器内のAVファイルを内蔵HDDに転送します。



4057 (圧縮ファイルメニュー / USB メニューを表示)

1



[転送]にタッチします。

2



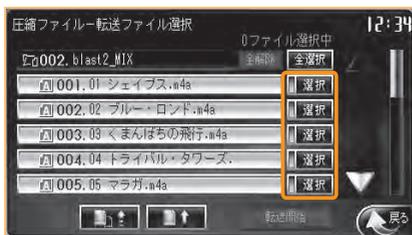
転送方法を選択します。

[全ファイル]：メディア内のすべてのAVファイルを転送します。**5**へ進みます。

[選択ファイル]：転送するAVファイルを選択します。**3**へ進みます。

[現在のファイル]：現在プレイ中のファイルを転送します。すぐに転送が開始されます。

3



転送するAVファイルの[選択]にタッチします。

目的のファイル名が表示されていない場合は、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチします。

4



[転送開始]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。



5

[[はい]]にタッチします。

転送が開始されます。
転送が終了すると、結果が表示されます。

6

[[はい]]にタッチします。

1の画面に戻ります。



0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作



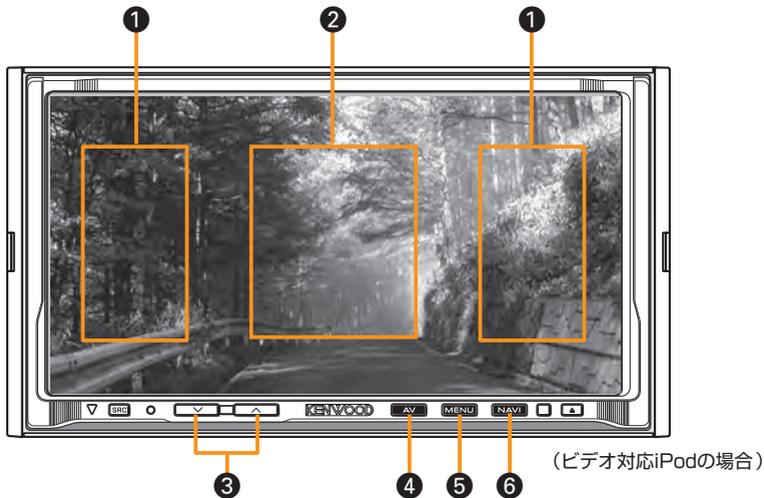
- 3で、[[全選択]]にタッチするとすべての曲が選択されます。また、[[全解除]]にタッチすると、すべての選択が解除されます。
- 3で、[[1階層]]にタッチすると、1階層上のフォルダの内容が表示されます。
3で、[[ルート]]にタッチすると、ディスクやUSB機器内のルート(最上位)フォルダの内容が表示されます。
- 3で、表示されている階層内で複数のファイルを選択することはできませんが、階層を移動するとそれらの選択は解除されます。
- 転送できるAVファイルのサイズは、1ファイルにつき700MBまでです。
- 内蔵HDDに転送されたAVファイルは、他のメディアに書き出すことはできません。
- USB機器から曲を転送するとき、曲のタグ情報にアルバムアートが設定されている場合は、曲といっしょにアルバムアートも転送されます。
- KME-EX (OSVer 6014) で楽曲情報を更新した楽曲を内蔵HDDに転送すると、本機の楽曲データベースも当該データが更新されます。

4 060 iPodをプレイする

ソースメニューでAVソースをiPodに切り替えると、iPodをプレイできます。☞ 1010



1008 (iPod を接続)



- 1 ファイルダウン/ファイルアップ
前または次のファイルをプレイします。
- 2 iPodビデオ操作ボタン表示
iPodビデオ操作ボタンを表示します。☞ 4061
- 3 / (ボリュームキー)
iPodの音量を調整します。
- 4 (エーバイキー)
iPodビデオ操作ボタンを表示します。☞ 4061
- 5 (メニューキー)
iPodメニューを表示します。☞ 4062
- 6 (ナビキー)
映像をナビの画面に切り替えます。音声はiPodのまま変わりません。

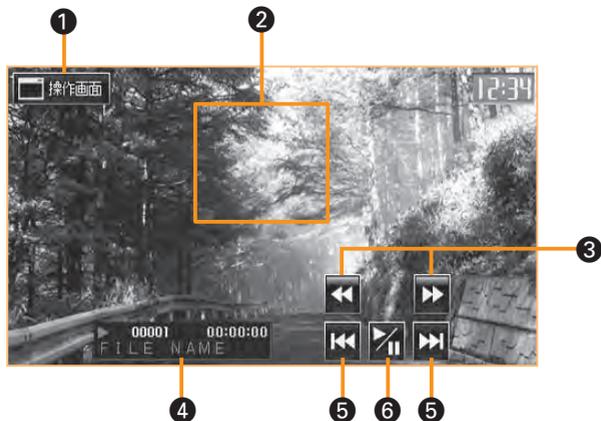


- ソースをiPodに切り替えたとき、ビデオ対応iPodが接続されていて、直前の再生が「ビデオ」カテゴリだった場合は、画面はiPodの映像に切り替わります。これ以外の場合は、iPod-musicメニューが表示されます。

iPodでビデオのプレイ中に画面の中央部にタッチすると、iPodビデオ操作ボタンが表示されます。



4060 (画面の中央部にタッチ)



- 1 操作画面
iPodメニューを表示します。 **4062**
- 2 iPodビデオ操作ボタン消
iPodビデオ操作ボタンを消します。
- 3 (早戻し)、 (早送り)
タイトルのプレイを早戻し/早送りします。
- 5 (タイトルダウン)、 (タイトルアップ)
タイトルを選択します (タイトルサーチ)。
次のタイトル、または現在のタイトルの先頭 (もう一度タッチすると前のタイトル) からプレイします。
- 6 (プレイ/ポーズ)
プレイ/一時停止します。

- 4 プレイ情報
プレイ情報が次のように表示されます。



- 1 プレイ状態
表示例：
▶ : プレイ中
|| : ポーズ中
▶▶ : 早送り
◀◀ : 早戻し
- 2 トラック番号
- 3 プレイ時間
- 4 タイトル名

4 062

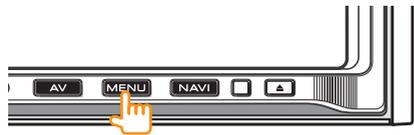
iPodメニューで操作する

iPod-musicメニューまたはiPod-videoメニューでは、iPodの再生状態の情報が表示されます。また、iPodの各種の操作が行えます。



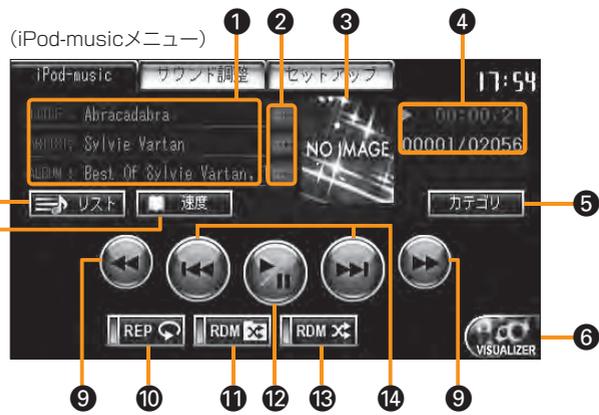
4060 (iPodをプレイ)

1



MENU を押します。

4 AVの操作



- ① 曲情報
タイトル、アーティスト名、アルバム名が表示されます。
- ② [スクロール]
各項目をスクロールします。
タイトルやフォルダ名などが長くて表示しきれないときにタッチできます。
- ③ アルバムアート
- ④ プレイ情報
プレイ状態およびプレイ時間が表示されます。
- ⑤ カテゴリー
iPodのトップカテゴリを表示します。
iPodで操作するのと同様に、カテゴリで曲を絞り込んでプレイできます。
- ⑥ VISUALIZER (背景切り替え)
iPodメニューの背景(ビジュアライザ/静止画/スベアナ)を切り替えます。
- ⑦ リスト
現在のカテゴリのタイトルをリストで表示し、選曲/プレイします。
ただし、タイトルランダムプレイ中は操作できません。
- ② プレイ時間
- ③ ファイル番号(ファイル番号/全ファイル数)
- ⑧ [リスト]
- ⑨ [カテゴリー]
- ⑩ [速度]
- ⑪ [REP]
- ⑫ [RDM]
- ⑬ [RDM]
- ⑭ [カテゴリー]



- ① プレイ状態
表示例：
▶ : プレイ中
|| : ポーズ中

8  (iPod-musicのみ)
オーディオブックの読み上げ速度を調整します。

9  (早戻し)、 (早送り)
タイトルを早戻し/早送りします。

10  (タイトルリピートプレイ)
現在のタイトルを繰り返しプレイします。
タッチするたびに、タイトルリピートのオン/オフが切り替わります。
タイトルリピートがオンのときには、インジケータが点灯します。

11  (アルバムランダムプレイ)
(iPod-musicのみ)
現在のカテゴリ内のアルバムをランダムな順でプレイします。
アルバムランダムプレイでは、アルバム内の曲は収録されているとおりの曲順でプレイされます。
タッチするたびに、アルバムランダムプレイのオン/オフが切り替わります。
アルバムランダムプレイがオンのときには、インジケータが点灯します。

12  (プレイ/ポーズ)
プレイ/一時停止します。

13  (タイトルランダムプレイ)
(iPod-musicのみ)
現在のカテゴリ内のタイトルをランダムな順でプレイします。
タッチするたびに、タイトルランダムプレイのオン/オフが切り替わります。
タイトルランダムプレイがオンのときには、インジケータが点灯します。

14  (タイトルダウン)、 (タイトルアップ)
タイトルを選択します(タイトルサーチ)。
次のタイトル、または現在のタイトルの先頭(もう一度タッチすると前のタイトル)からプレイします。



15 プレイ情報
タイトル名が表示されます。

16 
映像画面に切り替えます。



- アルバムランダムプレイでは、iPod内のアルバムがランダムな順でプレイされますが、アルバム内のタイトルのプレイ順はランダムではありません。
- オーディオブック読み上げ速度調整8はオーディオブック再生中のみ有効です。

4 063 カテゴリで選択する

iPodのトップカテゴリからカテゴリを選択してプレイします。



● iPod Videoメニューのプレイリストの操作には対応していません。



4062 (iPod メニューを表示)

4

A
V
の
操
作

1



[カテゴリ]にタッチします。

2



トップカテゴリを選択します (ビデオ対応iPodのみ)。



3



(ミュージックを選択した場合)



(ビデオを選択した場合)

4



以降、iPodでの操作と同様にカテゴリを選択します。

プレイするカテゴリの[再生]にタッチします。

選択したカテゴリ内の先頭の曲からプレイされます。

目的のカテゴリが表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチします。

リストの右のスクロールバーにタッチしても、リストをスクロールできます。

0
1
2
3
4
5
6
7

A/Vの操作



- 3以降で表示されるカテゴリおよびサブカテゴリは、iPod-videoとiPod-musicで異なります。また、iPod-videoのサブカテゴリは、接続するiPodによって異なります。
- 3で、カテゴリのボタンにタッチすると、そのカテゴリ内のサブカテゴリのリストが表示されます。ただし、最下層のリストでは、ボタンにタッチするとプレイされます。
- にタッチすると、トップカテゴリに移動できます。また、 にタッチすると、選択したカテゴリのリストに移動できます。なお、ボタンのデザインは、カテゴリによって異なります。

4 064 内蔵HDDをプレイする

内蔵HDD内のAVファイルをプレイします。



SRC (ソースメニューを表示)

1

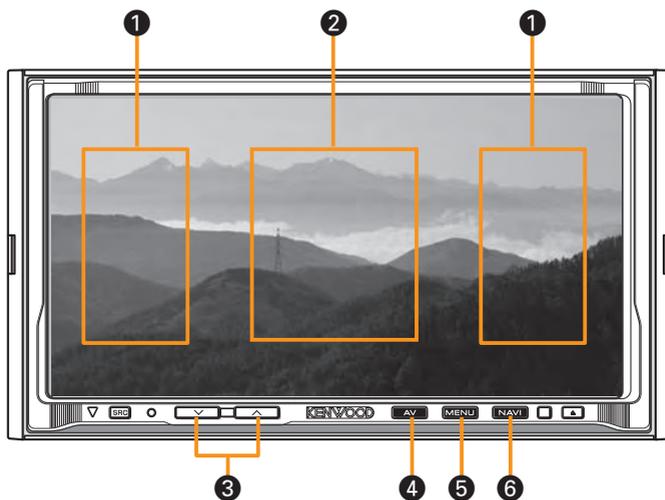


[HDD]にタッチします。



ソースが内蔵HDDに切り替わり、HDDメニューが表示されます。**4066**
ただし、直前のプレイが動画だった場合は、画面はその映像に切り替わります(次ページ)。





- ① ファイルダウン/ファイルアップ
前または次のファイルをプレイします。
- ② HDDビデオ操作ボタン表示
HDDビデオ操作ボタンを表示します。☞ 4065
- ③  /  (ボリュームキー)
内蔵HDDの音量を調整します。
- ④  (エービーキー)
HDDビデオ操作ボタンを表示します。☞ 4065
- ⑤  (メニューキー)
HDDメニューを表示します。☞ 4066
- ⑥  (ナビキー)
映像をナビの画面に切り替えます。音声は内蔵HDDのまま変わりません。



- 本機の楽曲データベースへのアクセスが完了するまで、操作できないボタンがあります。
- 本機でプレイできるAVファイルについては [7012](#) をご覧ください。
- 本機でプレイできるAVファイルには、正しい拡張子がつけられている必要があります。

4 065

HDDビデオ操作ボタンで操作する

0

1

2

3

4

5

6

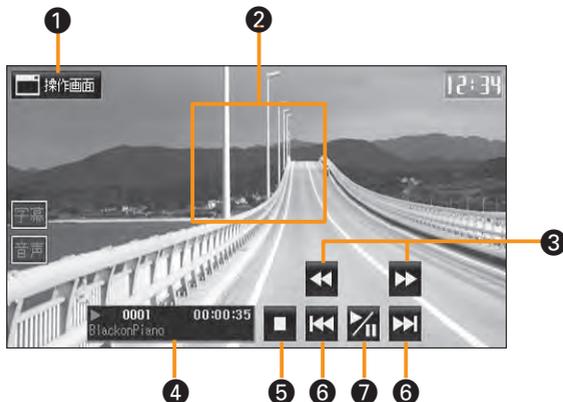
7

A
Vの
操
作

HDD内の動画ファイルのプレイ中に画面の中央部にタッチするか **AV** を押すと、HDDビデオ操作ボタンが表示されます。



4064 (画面の中央部にタッチ)



- 1 **操作画面**
HDD-videoメニューを表示します。037 4066
- 2 HDDビデオ操作ボタン消
HDDビデオ操作ボタンを消します。
- 3 **◀ (早戻し)**、**▶ (早送り)**
ファイルを早戻し/早送りします。
- 4 **プレイ情報**
プレイ情報が次のように表示されます。
 - 1 **プレイ状態**
表示例：
▶：プレイ中
||：ポーズ中
■R：レジュームストップ中
■：ストップ中
 - 2 **ファイル番号**
 - 3 **プレイ時間**
 - 4 **ファイル名**
- 5 **■ (ストップ)**
一度タッチすると、動画ファイルのプレイがストップします (レジュームストップ)。もう一度タッチすると、レジュームが解除されます。
- 6 **◀ (ファイルダウン)**、**▶ (ファイルアップ)**
ファイルを選択します (ファイルサーチ)。次のファイル、または現在のファイルの先頭 (もう一度タッチすると前のファイル) からプレイします。
- 7 **|| (プレイ/ポーズ)**
プレイ/一時停止します。



- レジュームストップ中に **||** にタッチすると、ストップした位置からプレイが再開されます。レジュームが解除されているときは、先頭からプレイされます。
- DivXファイルの場合、字幕および音声の言語を切り替えることができるときには、それぞれのアイコンが表示されます。

4

066

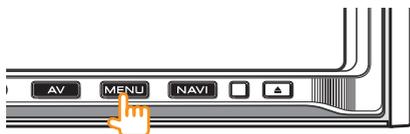
HDDメニューで操作する

HDDメニューでは、AVファイルのプレイ状態が表示されます。また、各種の操作を行えます。



4064 (内蔵 HDD をプレイ)

1



MENU を押します。



0

1

2

3

4

5

6

7

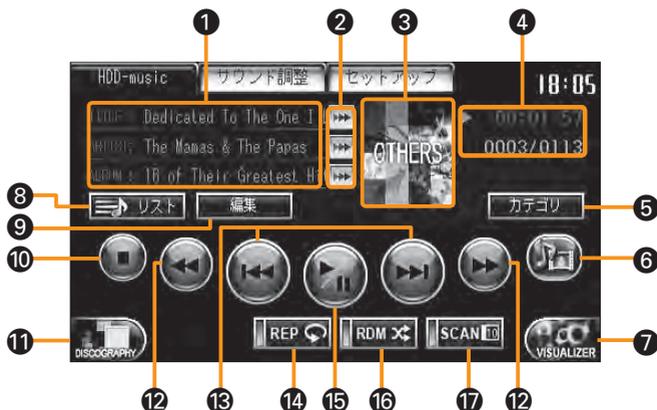
AVの操作



- HDDメニューには、プレイするファイルタイプ(オーディオファイル/静止画ファイル/動画ファイル)によって、HDD-musicメニュー、HDD-photoメニュー、HDD-videoメニューの3種類があります。本書では、それらを区別する必要がある場合には上記の3種類のメニュー名で呼びます。また、区別する必要のない場合には、単に「HDDメニュー」と呼びます。



オーディオファイルのプレイ中の場合 (HDD-musicメニュー)



① 曲情報

タイトル、アーティスト名、およびアルバム名が表示されます。

② 左右 (スクロール)

各項目をスクロールします。
曲名やアーティスト名などが長くて表示しきれないときにタッチします。

③ アルバムアート

アルバムの画像などが表示されます。
本機で録音した曲にはアルバムアートは設定されていません。
別途アルバムアートを設定する **4075** か、KME-EX **6014** で設定してください。
タッチすると、関連するアーティストでアルバムを選択できます。 **4067**

④ プレイ情報

プレイ状態およびプレイ時間が表示されます。



① プレイ状態

表示例：

- ▶：プレイ中
- ||：ポーズ中
- ⏸：レジュームストップ中
- ：ストップ中

② プレイ時間

③ ファイル番号 (ファイル番号/全ファイル数)

⑤ カテゴリ

カテゴリでファイルを探します。

4068、**4069**



- USB機器から曲を転送するとき、曲のタグ情報にアルバムアートが設定されている場合は、曲といっしょにアルバムアートも転送されます。

- 6  (ファイルタイプ切り替え)
 プレイするファイルの種類(オーディオファイル/静止画ファイル/動画ファイル)を切り替えます。
- 7  (背景切り替え)
 HDDメニューの背景(ビジュアルイザ/静止画/アルバムアート拡大図/スぺアナ)を切り替えます。
- 8  リスト
 現在プレイしているファイルが含まれるリストを表示します。
- 9  編集
 プレイ中のファイルのタイトル情報の編集 [4072](#)、プレイリストへの登録 [4073](#)、ファイルまたはアルバムの削除 [4074](#) を行います。
- 10  (ストップ)
 プレイをストップします。
 一度タッチすると、HDDのプレイがストップします(レジュームストップ)。もう一度タッチすると、レジュームが解除されます。
- 11  (ディスコグラフィ)
 現在プレイ中のアーティストの他のアルバムを、本機の楽曲データベースから取得して紹介します。
- 12  (早戻し)、 (早送り)
 ファイルを早戻し/早送ります。
- 13  (ファイルダウン)、 (ファイルアップ)
 ファイルを選択します(ファイルサーチ)。
 次のファイル、または現在のファイルの先頭(もう一度タッチすると前のファイル)からプレイします。
- 14  (ファイルリピートプレイ)
 現在のファイルを繰り返しプレイします。
 タッチするたびに、ファイルリピートのオン/オフが切り替わります。
 ファイルリピートがオンのときには、インジケータが点灯します。
- 15  (プレイ/ポーズ)
 プレイ/一時停止します。
- 16  (ファイルランダムプレイ)
 現在のカテゴリ内のファイルをランダムな順でプレイします。
 タッチするたびに、ファイルランダムプレイのオン/オフが切り替わります。
 ファイルランダムプレイがオンのときには、インジケータが点灯します。
- 17  (ファイルスキャンプレイ)
 内蔵HDD内の各ファイルの先頭部分を約10秒間ずつプレイします。
 もう一度  にタッチすると、スキャンが解除されてそのファイルからプレイされます。
 ファイルスキャン中は、インジケータが点灯します。



- レジュームストップ中に  にタッチすると、ストップした位置からプレイが再開されます。レジュームが解除されているときは、先頭からプレイされます。
- CDから録音した曲には、アルバムアートは設定されていません。この場合、ジャンルに合わせた既成のイメージが表示されますが、ユーザー独自の静止画を対応付けることもできます。[D3](#) [4075](#)
- KME-EX ([D3](#) [6014](#)) でアルバムアートを関連付けておくと、曲の転送時に一緒に転送されます。詳しくは、KME-EXのヘルプをご覧ください。
- ディスコグラフィはアルバムアートで紹介されます。

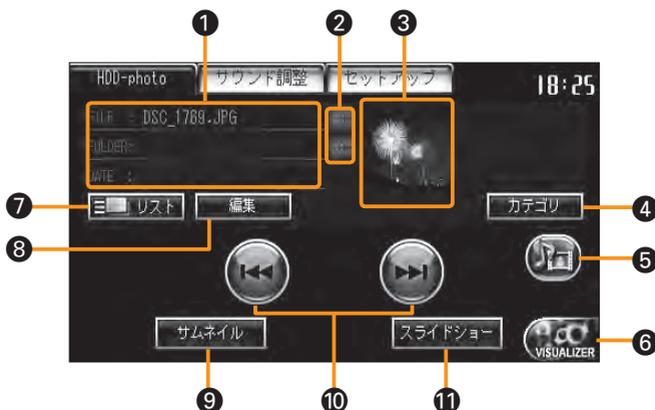


ただし、各アルバムに関連付けられたアルバムアートの画像データが内蔵HDD内がない場合、デフォルトのデータで表示されます。

また、該当するアルバムが内蔵HDD内がない場合には「No Image」が表示されます。

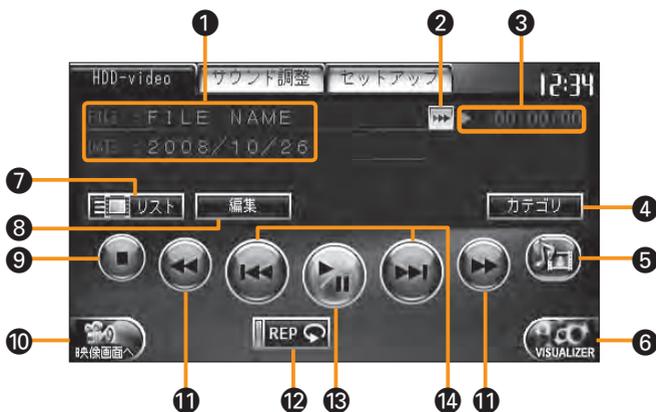


0 静止画ファイルの表示中の場合 (HDD-photoメニュー)



- 1 **ファイル情報**
ファイル名、フォルダ名、および日付が表示されます。
- 2 **▶▶ (スクロール)**
各項目をスクロールします。
ファイル名またはフォルダ名が長くて表示しきれないときにタッチします。
- 3 **サムネイル**
サムネイルが表示されます。
- 4 **カテゴリ**
カテゴリでファイルを探します。D3 4070
- 5 **(ファイルタイプ切り替え)**
プレイするファイルの種類(オーディオファイル/静止画ファイル/動画ファイル)を切り替えます。
- 6 **VISUALIZER (背景切り替え)**
HDDメニューの背景(ビジュアライザ/静止画/スベアナ)を切り替えます。
- 7 **☰ リスト**
現在表示しているファイルが含まれるリストを表示します。
- 8 **編集**
表示中のファイルのファイル名の編集 4072、
ファイルの削除 4074、アルバムアートの設定 4075 を行います。
- 9 **サムネイル**
静止画をサムネイル表示します。
- 10 **◀◀ (ファイルダウン)、▶▶ (ファイルアップ)**
前のファイルまたは次のファイルを表示します(ファイルサーチ)。
- 11 **スライドショー**
静止画をスライドショー表示します。

動画ファイルのプレイ中の場合 (HDD-videoメニュー)



- 1 **ファイル情報**
ファイル名および日付が表示されます。
- 2 **▶▶ (スクロール)**
ファイル名をスクロールします。
ファイル名が長くて表示しきれないときにタッチします。
- 3 **プレイ状態**
プレイ状態およびプレイ時間が表示されます。
- 4 **カテゴリ**
カテゴリでファイルを探します。P.37 4071
- 5 **📁 (ファイルタイプ切り替え)**
プレイするファイルの種類 (オーディオファイル/静止画ファイル/動画ファイル) を切り替えます。
- 6 **🎨 (背景切り替え)**
HDDメニューの背景 (ビジュアルライザ/静止画/スペアナ) を切り替えます。
- 7 **📄 リスト**
現在プレイしているファイルが含まれるリストを表示します。
- 8 **✎ 編集**
プレイ中のファイルのファイル名の編集 4072、プレイリストへの登録 4073、ファイルの削除 4074 を行います。
- 9 **⏹ (ストップ)**
プレイをストップします。
一度タッチすると、内蔵HDDのプレイがストップします (レジュームストップ)。もう一度タッチすると、レジュームが解除されます。
- 10 **📺**
動画の映像に切り替えます。
- 11 **⏮ (早戻し)、⏭ (早送り)**
ファイルを早戻し/早送ります。
- 12 **🔄 (ファイルリピートプレイ)**
現在のファイルを繰り返しプレイします。
タッチするたびに、ファイルリピートのオン/オフが切り替わります。
ファイルリピートがオンのときには、インジケータが点灯します。
- 13 **⏸ (プレイ/ポーズ)**
プレイ/一時停止します。
- 14 **⏪ (ファイルダウン)、⏩ (ファイルアップ)**
次のファイル、または現在のファイルの先頭 (もう一度タッチすると前のファイル) からプレイします。(ファイルサーチ)。



- レジュームストップ中に ⏸ にタッチすると、ストップした位置からプレイが再開されます。レジュームが解除されているときは、先頭からプレイされます。

4 067

プレイするアルバムを 関連するアーティストで選択する

現在プレイしている曲のアーティストに影響を受けたアーティストや、似ているアーティストのアルバムを選択します。



4066 (HDD-music メニューを表示)

1



アルバムアートにタッチします。

2



関連性のボタンにタッチします。

- : 影響を受けたアーティスト
- : 似ているアーティスト

3



アーティストを選択します。

丸枠の中には、2 で選択したアーティストの代表的なアルバムアートが表示されます。目的のアーティストが表示されていない場合は、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチします。

4

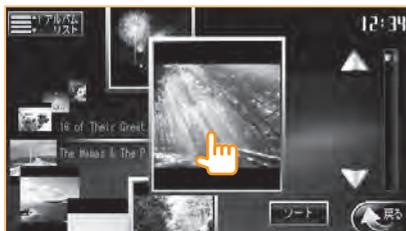


プレイするアルバムを中央に表示させます。

枠の中には、3 で選択したアーティストのアルバムアートが表示されます。目的のアルバムが表示されていない場合は、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチします。



5



アルバムアートにタッチします。

選択したアルバムがプレイされます。



0

1

2

3

4

5

6

7

A V の操作



- 2 および 3 では、中央の大きな丸枠には現在プレイ中のアルバムのアルバムアートが、他の丸枠には関連するアーティストのアルバムのアルバムアートが表示されます。
- アーティストの関連性情報は、楽曲データベースによります。
- 関連性があっても本機の内蔵HDDに保存されていないアーティストは表示されません。
- アルバムアートが設定されていない場合は、本機のデフォルトデータで表示されます。

プレイする曲をカテゴリで選択する

内蔵HDD内のオーディオファイルをカテゴリで探してプレイします。



4066 (HDD-music メニューを表示)

1



[カテゴリ]にタッチします。

2



プレイしたい曲のカテゴリを選択します。



サブカテゴリのリストが表示されます。
[再生]にタッチすると、そのサブカテゴリの先頭の曲からプレイされます。

サブカテゴリのボタンにタッチすると、その下位のサブカテゴリのリストが表示されます。サブカテゴリの階層数は、カテゴリによって異なります。

目的のサブカテゴリが表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチします。



4 AVの操作



サブカテゴリを選んでゆくと、曲のリストが表示されます。

曲のボタンにタッチすると、曲がプレイされます。

目的の曲が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチします。

リストの右のスクロールバーにタッチしても、リストをスクロールできます。



0

1

2

3

4

AVの操作

5

6

7



- 各ファイルのボタンに表示されるマークについては **4058** をご覧ください。なお、ボタンのデザインは、カテゴリによって異なります。
- 2 で、**10** や **15** にタッチすると、それぞれのカテゴリのリストが表示されます。なお、ボタンのデザインは、2 で選択したカテゴリの種類によって変わります。
- 2 で、[ソート]にタッチすると、50音順や発売年順などで並べ替えることができます。
- 2 で、「アルバム」を選択した後に **10** にタッチすると、アルバムアートがモーションピクチャで表示されます。モーションピクチャでは、最も大きなアルバムアートにタッチするとプレイされます。



プレイする曲を楽曲情報で検索する

楽曲情報 (曲名やアルバム名など) を指定して、内蔵HDD内にある曲を検索してプレイします。



4066 (HDD-music メニューを表示)

4 AVの操作

1



[カテゴリ]にタッチします。

2



[検索]にタッチします。

3



指定するカテゴリのボタンにタッチします。

4



検索する文字列などを指定し、[決定]にタッチします。

文字の入力方法については **3046** をご覧ください。



5

カテゴリを変えながら、3 と 4 を繰り返します。

6



[検索リスト表示]にタッチします。

7



プレイする曲のボタンにタッチします。

選択した曲がプレイされます。



- 検索条件のうち、「ジャンル」と「発売年」は表示されるリストから選択し、完全に一致する曲が検索されます。その他の条件では、4 で入力した文字列が含まれる曲が検索されます。
- 4 で、[消去]にタッチすると、入力した検索文字列を削除できます。
- 6 で、[消去]にタッチすると、そのカテゴリの入力済みの文字列が消去されて「すべて」になります。
- 6 の[検索リスト表示]は、100件以下に絞込まないとタッチできません。

0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作

4 070 静止画を表示する

内蔵HDD内の静止画をリストで選択して表示します。



4066 (HDD-photo メニューを表示)

4 AVの操作

1



[カテゴリ]にタッチします。

2



表示する静止画ファイルのボタンにタッチします。

プレビューが表示されます。目的のファイル名が表示されていない場合は、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチします。フォルダが表示されている場合には、目的のファイルのあるフォルダにタッチします。

3



[選択]にタッチします。

HDD-photoメニューに戻ります。



4



[サムネイル]または[スライドショー]にタッチします。



(画面例はスライドショー)



- 静止画を表示しているときに[設定]にタッチすると、スライドショーの表示方法を設定できます。



0

1

2

3

4

5

6

7

A
V
の
操
作

4 071

プレイする動画を選択する

内蔵HDD内の動画を選択してプレイします。



4066 (HDD-video メニューを表示)

1



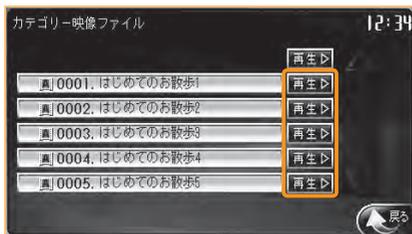
[カテゴリ]にタッチします。

2



[プレイリスト]または[ファイル]にタッチします。

3



プレイする動画ファイルの[再生]にタッチします。

選択した動画ファイルがプレイされます。
目的の動画ファイル名が表示されていない場合は、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチします。



- プレイ中の動画ファイルのプレイリストへの登録については 4073 をご覧ください。

オーディオファイルのタイトル情報(曲名やアーティスト名など)を編集します。また、ビジュアルファイルのファイル名を変更することもできます。



4066 (HDD メニューを表示)

1



[編集]にタッチします。

2



[タイトル情報編集] (オーディオファイル) または [ファイル名編集] (動画/静止画) にタッチします。
(画面例はオーディオファイル)



(静止画の場合)



(動画の場合)

3



変更する項目のボタンにタッチします。
(画面例はオーディオファイル)



0

1

2

3

4

5

6

7

0

1

2

3

4

AVの操作

5

6

7

4



新しい文字列を入力します。

5



[決定]にタッチします。

6

必要に応じて 3 ~ 5 を繰り返し、他の項目を編集します。



- 現在プレイ中のファイルの種類（オーディオファイル/静止画ファイル/動画ファイル）によって、1のHDDメニューの画面は異なります。画面例は、オーディオファイルの場合です。
- 3で、[楽曲DB別候補]にタッチすると、楽曲DBが検索されて、別候補の楽曲情報が表示されます。
- 3で、[詳細情報]にタッチすると、作曲家、読み、ジャンル、発売年を編集できます。また、アルバムアートの設定/変更も行えます。



- ビジュアルファイル(静止画/動画)の場合は、ファイル名のみを変更できます。

プレイ中のAVファイルを プレイリストに追加する

プレイ中のAVファイル(曲または動画)をプレイリストに登録します。



4066 (HDD-music メニューまたは HDD-video メニューを表示)

1



[編集]にタッチします。

2



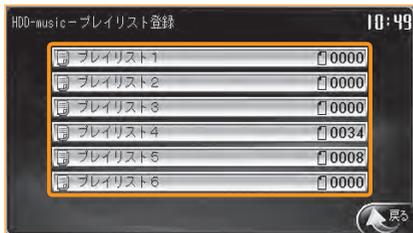
[プレイリスト登録]にタッチします。

(画面例はオーディオファイル)



(動画の場合)

3



追加先のプレイリストのボタンに
タッチします。

確認のメッセージが表示されます。



0

1

2

3

4

AVの
操作

5

6

7

4

[はい]にタッチします。

プレイリストに追加され、HDDメニューに戻ります。



- 現在プレイ中のファイルの種類（オーディオファイル/動画ファイル）によって、1のHDDメニューの画面は異なります。画面例は、オーディオファイルの場合です。
- 新しいプレイリストを作成することはできません。プレイリストは、お買い上げ時の状態で6個用意されています。
- プレイリストの編集については 6019 ~ 6023 をご覧ください。
- プレイ中以外のオーディオファイルや動画ファイルのプレイリストへの登録については 6020 をご覧ください。
- すでに同じ曲または動画がプレイリストにある場合は追加されません。

現在再生中のAVファイルまたはアルバムを削除します。



4066 (HDD メニューを表示)

1



[編集]にタッチします。

2



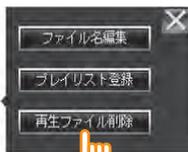
削除する項目にタッチします。

(画面例はオーディオファイル)

確認のメッセージが表示されます。



(静止画の場合)



(動画の場合)

3

[はい]にタッチします。

再生中の曲などが内蔵HDDから削除され、HDDメニューに戻ります。



- 現在再生中のファイルの種類(オーディオファイル/静止画ファイル/動画ファイル)によって、1のHDDメニューの画面は異なります。画面例は、オーディオファイルの場合です。
- 削除したAVファイルなどを元に戻すことはできません。間違いのないように、慎重に操作してください。
- 3で、[いいえ]にタッチすると、削除を中止できます。
- 再生中以外のファイルを削除する場合は、6018をご覧ください。

4 075

表示中の静止画を アルバムアートとして登録する

現在表示中の静止画を選択したアルバムのアルバムアートとして登録します。



4066 (HDD-photo メニューを表示)

1



[編集]にタッチします。

2



[アルバムアート設定]にタッチします。

3



登録先のアルバムのボタンにタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

4

[はい]にタッチします。



4 AVの操作

4

076

外部AVソースをプレイする

外部入力に接続した外部ビデオ機器または外部オーディオ機器をプレイします。

1



[SRC] を押します。

2



[AV in]にタッチします。

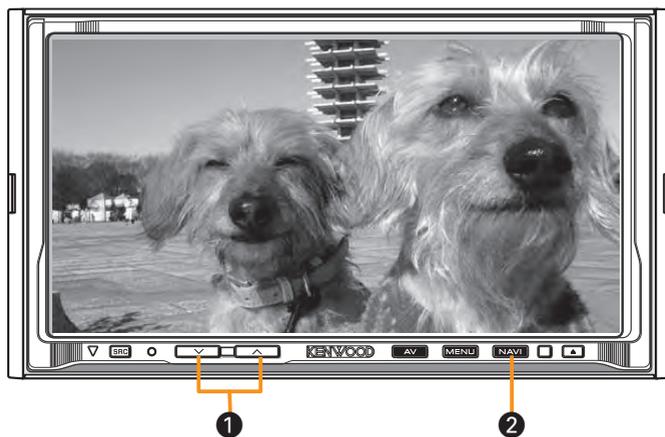
映像と音声は外部入力ソースに切り替わります。



AVの操作

0
1
2
3
4
5
6
7





0

1

2

3

4

AVの操作

5

6

7

①  /  (ボリュームキー)

外部AVソースの音量を調整します。

②  (ナビキー)

映像をナビの画面に切り替えます。
音声は変わりません。



- 外部ビデオソースをプレイするためには、AV-IN設定を外部ビデオ機器 (VIDEO) に設定しておいてください。また、外部オーディオソースをプレイするためには、AV-IN設定を外部オーディオ機器 (AUX) に設定しておいてください。
 **6003** (AV-IN設定)
- 外部ビデオ/オーディオ機器は、本機から操作できません。外部機器側で操作してください。
- 走行中は、外部ビデオソースの映像は映りません。

Bluetoothオーディオ（携帯電話に保存されている曲など）をプレイします。

1



SRC を押します。

2



[BT AUDIO] にタッチします。

音声 Bluetoothオーディオに切り替わりま
す。

0

1

2

3

4

5

6

7

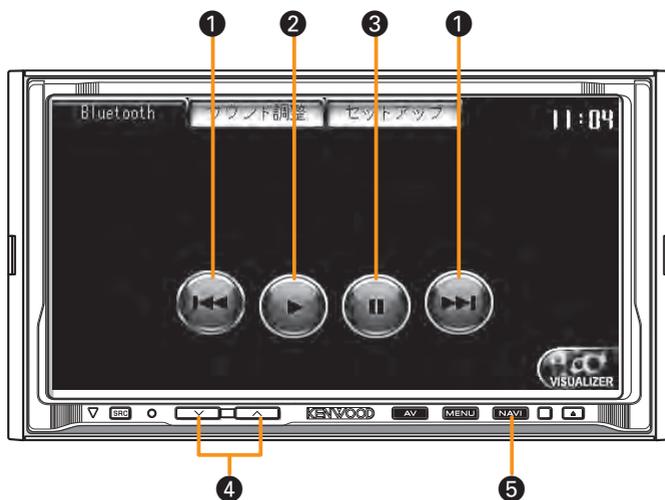
AVの
操作



- BluetoothユニットKCA-BT200（別売品）は、コンテンツ保護方式（SCMS-T）には対応していません。このため、Bluetooth対応プレーヤーの機種によっては、音が出ない場合があります。ご使用のプレーヤーの取扱説明書をご確認ください。



Bluetoothオーディオをプレイする



① ◀▶ (ファイルサーチ)

次のファイル、または現在のファイルの先頭(もう一度タッチすると前のファイル)からプレイします。

② ▶ (プレイ)

プレイを開始します。

③ ⏸ (ポーズ)

一時停止します。

④ ▼ / ▲ (ボリュームキー)

Bluetoothオーディオソースの音量を調整します。

⑤ NAVI (ナビキー)

映像をナビの画面に切り替えます。
音声は変わりません。



- Bluetooth対応オーディオプレーヤーの機種によっては、①～⑤で操作できないものもあります。このような場合は、オーディオプレーヤー側で操作してください。
- Bluetoothオーディオは、BluetoothユニットKCA-BT200 (別売品)が変換ケーブルKNA-BT909 (別売品)で接続され、Bluetooth機器が正しくセットアップされている **6026** ときにプレイできます。

4 078 電話をうける

電話がかかってくると、ポップアップで通知されます。

1



 にタッチします。

2



通話します。

3



通話が終わったら、 にタッチします。



0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作





- 電話がかかってくると、常に現在地図画面に切り替わります。その後、電話を切っても、元の画面には戻りません。
- 受話音量は、AVの音量と独立して、ボリュームキー（ / ）で調整できます。
- 本機で電話をうけるためには、BluetoothユニットKCA-BT200（別売品）が変換ケーブルKNA-BT909（別売品）で接続され、携帯電話が正しくセットアップされている **6026** 必要があります。
- 通話中に  にタッチすると、ハンズフリー通話とプライベート通話（携帯電話）を切り替えることができます。
- 通話中に[トーン]にタッチすると、トーン（ビップ音）を送出できます。



また、この画面で、携帯電話の状態を確認できます。

DL：携帯電話から本機へ電話帳をダウンロード中に表示されます。

HOLD：三者通話時で保留中の通話先があるときに表示されます。

Ψ：電波の受信状態が表示されます。

AUTO：自動応答機能 **6029** がオンに設定されているときに表示されます。

：携帯電話のバッテリー残量が表示されます。

- お使いの携帯電話が割り込み通話に対応していれば、本機で割り込み通話を受けることができます。たとえばAさんと通話中にBさんから割り込み着信があった場合、 にタッチするとBさんと通話状態になり、Aさんは保留状態になります。このときに、もう一度  にタッチするとBさんが保留状態になってAさんと通話状態になります。また、 にタッチすると、Bさんとの通話を終了してAさんとの通話に戻ります。
- お使いの携帯電話の機種や契約等によっては、割り込み通話ができない場合があります。

4

079

プリセット電話帳で電話をかける

プリセット電話帳から電話をかけます。



SRC (ソースメニューを表示)

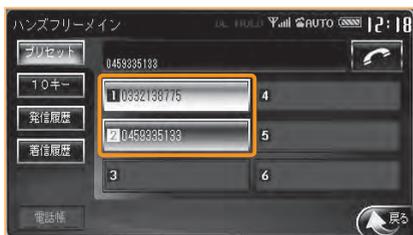
1



[ハンズフリー]にタッチします。



2



発信先のボタンにタッチします。

3

 にタッチします。

相手が出ると通話できます。



- 本機で電話をかけるためには、BluetoothユニットKCA-BT200 (別売品) が変換ケーブルKNA-BT909 (別売品) で接続され、携帯電話が正しくセットアップされている **6026** 必要があります。
- プリセット電話帳への登録については **6030**、**6031** をご覧ください。

0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作

4 080

発信履歴から電話をかける

発信履歴または着信履歴から電話をかけます。



SRC (ソースメニューを表示)



[ハンズフリー]にタッチします。



[発信履歴]または[着信履歴]にタッチします。



発信先のボタンにタッチします。

目的の発信先が表示されていない場合は、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。

4

にタッチします。

相手が出ると通話できます。



- 本機で電話をかけるためには、BluetoothユニットKCA-BT200 (別売品) が変換ケーブルKNA-BT909 (別売品) で接続され、携帯電話が正しくセットアップされている **6026** 必要があります。
- 着信の種類は、次のアイコンで示されます。
 - ☎ : 通常着信
 - ☎ : 不在着信
- 着信履歴は、不在着信→通常着信の順に表示されます。各々の着信種別の中では着信の新しい順に表示されます。

電話帳から電話をかけます。



SRC (ソースメニューを表示)

1



[ハンズフリー]にタッチします。



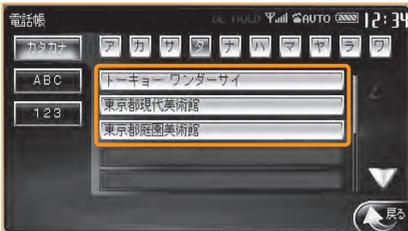
2



[電話帳]にタッチします。



3



発信先のボタンにタッチします。

目的の発信先が表示されていない場合は、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。

[カタカナ]、[ABC]、[123]で、リストを並べ替えることもできます。



0

1

2

3

4

5

6

7

0

1

2

3

4

A Vの操作

5

6

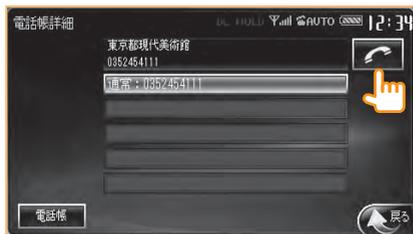
7

4



発信先の電話番号のボタンにタッチします。

5



 にタッチします。

相手が出ると通話できます。



- 本機で電話をかけるためには、BluetoothユニットKCA-BT200（別売品）が変換ケーブルKNA-BT909（別売品）で接続され、携帯電話が正しくセットアップされている **6026** 必要があります。
- 携帯電話の電話帳は、携帯電話を本機に接続したときにコピー/更新されます。ただし、携帯電話の機種によっては、自動的にコピー/更新されないものもあります。この場合、携帯電話側から電話帳データをBluetooth送信しておく必要があります。
- 電話帳を使う場合には、ハンズフリーセットアップの「携帯電話 電話帳使用」を[ON]に設定しておいてください。 **6029**
- リストの上の文字のボタンにタッチすると、当該文字で頭出しできます。
- 携帯電話の機種によっては、本機と携帯電話でリスト内の並び方が異なる場合があります。
- 4 で、[電話帳]にタッチすると、3 の電話帳に戻れます。

ダイヤルして電話をかけます。



SRC (ソースメニューを表示)

1



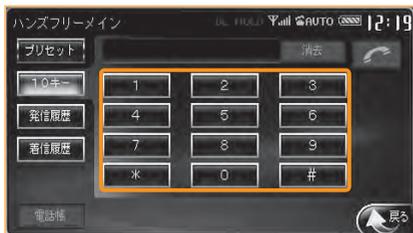
[ハンズフリー]にタッチします。

2



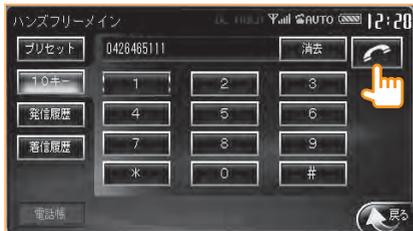
[10キー]にタッチします。

3



発信先の電話番号をダイヤルします。

4



 にタッチします。

相手が出ると通話できます。

0

1

2

3

4

5

6

7

AVの操作



- 本機で電話をかけるためには、BluetoothユニットKCA-BT200 (別売品) が変換ケーブルKNA-BT909 (別売品) で接続され、携帯電話が正しくセットアップされている **6026** 必要があります。



5

001

サウンド調整メニューを表示する

サウンドの各種の調整を行うサウンド調整メニューを表示します。

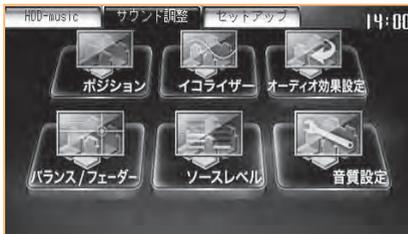


1010 (ソース選択) MENU

1



[サウンド調整]にタッチします。



サウンド調整メニューが表示されます。



サウンド調整メニューに表示されるボタンは次のとおりです。

ボタン	説明	
	リスニングポジションとスピーカーの仮想位置を設定します。	5002 5003
	音楽のジャンルに合わせた音質を設定します。 また、グラフィックイコライザーで、ユーザー独自の音質調整をすることもできます。	5004 5005
	サラウンドと音場の設定、およびSRS WOW HDのユーザー設定を行います。	5006 5007
	左右および前後の音量バランスを調整します。	5008
	AVソースごとの音量の違いを調整します。	5009
	圧縮オーディオファイルの音質補正機能 (Supreme) をオン/オフします。	5010



- サウンド調整は、AVソースごとに行うことができます。
サウンド調整するAVソースを選択してから各種の調整を行ってください。

リスニングポジションを設定します。



- ここでの設定を行う前に、車両のタイプ **6005** を必ず設定してください。



1010 (ソース選択)

MENU

サウンド調整

1



[ポジション]にタッチします。

2



リスニングポジションのボタンにタッチします。



- リスニングポジションの選択は、車両のタイプの設定 **6005** の後で行ってください。
- 2で、[ADJUST]にタッチすると、選択したリスニングポジションを基準としたDTA (Digital Time Alignment) を微調整できます。037 **5003**
- リスニングポジションの設定を行った場合は、バランス/フェーダーの調整 **5008** は“CENTER” (中央) で使用してください。
- AVソースがスタンバイの場合は、設定できません。

0

1

2

3

4

5

6

7

サウンド調整

5 003

リスニングポジションに合わせて、 スピーカーの仮想位置を微調整する

リスニングポジションから各スピーカーまでの距離が等しくなるように、スピーカーの仮想位置を微調整します。



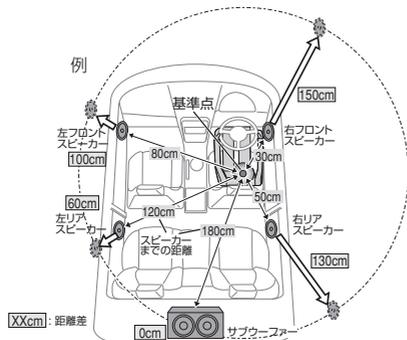
● ここでの設定を行う前に、車両のタイプ **6005** を必ず設定してください。



5002 (リスニングポジション選択)

サウンド調整

1



(運転席をリスニングポジションに設定している場合)

リスニングポジションから各スピーカーまでの距離を測り、最も遠いスピーカーとの距離差を求めます。

2



[ADJUST]にタッチします。

3



調整するスピーカーのボタンにタッチします。

(画面は右フロントスピーカーを選択した場合)



リスニングポジションに合わせて、スピーカーの仮想位置を微調整する

4



◀ または ▶ にタッチします。

「TOTAL DTA」の値が 1 で求めた距離差になるように調整します。

5

3 と 4 を繰り返して、すべてのスピーカーを設定します。



0

1

2

3

4

5

6

7

サウンド調整



- ここでは、DTA (Digital Time Alignment) を設定することにより、リスニングポジションから各スピーカーまでの距離が等しくなるように微調整しています。
- サブウーファー・リア出力切替 **6003** で「リア」が選択されている場合は、サブウーファースのDTAは調整できません。
- リアスピーカーおよびサブウーファースの口径 **6007** が「None」に設定されている場合は、当該スピーカーのDTAは調整できません。
- DTAの調整で効果があるものはDVDの音声です。音楽CDでは、効果が感じられない場合があります。これは、DVDの音声は、サラウンドで、かつ等距離に配置されたスピーカーで再生することを前提に録音されているのに対し、音楽CDは左右フロントスピーカーで再生されることを前提に録音されていることによります。

音楽のジャンルに合わせて音質を設定します。



1010

(ソース選択)

MENU

サウンド調整

1



[イコライザー]にタッチします。

2



ジャンルのボタンにタッチします。



設定できるジャンルは次のとおりです。

ボタン	説明
NATURAL	自然でフラットなサウンドを再現します。
ROCK	スピーディーで力強いアタック音を再現します。
POPS	中高域をメインにしたリズムカルな音を再現します。
EASY	中低域をベースにした味わいの深いサウンドを再現します。
JAZZ	ウッドベースの音階やボーカルの質感を鮮明に再現します。
USER	ユーザーが設定したイコライザーカーブに設定します。



- ユーザー独自のイコライザーカーブの設定については **5005** をご覧ください。
- AVソースがスタンバイの場合は、設定できません。
- イコライザーは、AVソースごとに個別に設定できます。設定を始める前に設定するAVソースを選択してください。ただし、HDD、圧縮ファイル、およびUSB、iPodとAV-INは同じ設定になります。なお、設定するAVソース名は画面に表示されます。

ユーザー独自のイコライザーカーブを画面をなぞって設定します(モーショントライザー)。モーショントライザーは、フロントスピーカーとリアスピーカーを独立して設定できます。



1010 (ソース選択)

MENU

サウンド調整

1



[イコライザー]にタッチします。

2



[ADJUST]にタッチします。

3



[フロント]または[リア]にタッチして、調整するスピーカーを選択します。

4



設定したいイコライザーカーブを画面でなぞります。



5

3 と 4 を繰り返して、フロント/リアの両方について設定します。



5

サウンド調整



- ◀ および ▶ で中心周波数を選択し、▲ および ▼ でレベルを設定することもできます。
- 3 で、[FLAT]にタッチすると、イコライザーカーブをフラットにできます。
- 3 で、[元に戻す]にタッチすると、[USER]の直前の設定に戻ります。
- 3 で、[エフェクト]にタッチすると、低域のエフェクトをオン/オフできます。
オンにすると、62.5Hz以下の低域のレベルが62.5Hzのレベルに合わされます。
オフにすると、低域は0dBにむかってなだらかなカーブになるように減衰/増幅されます。
- ここで設定したイコライザーカーブは、2 の画面の[USER]で呼び出すことができます。
- スピーカー構成 **6007** でリアスピーカーの口径を「None」に設定しているときには、リアスピーカーのイコライザー設定はできません。

サラウンドと音場を設定します。



1010 (ソース選択)

MENU

サウンド調整

1



[オーディオ効果設定]にタッチします。

2



[CS Auto/WOW HD]にタッチします。

3



◀ または ▶ にタッチして、SRS Circle Surround IIの種類を選択します。

4



◀ または ▶ にタッチして、MIX to Rearのレベルを選択します。



5



[LOW]、[MID]、[HIGH]または
[USER]にタッチして、SRS
WOW HD音場を選択します。



5

サウンド調整



- SRS Circle Surround IIは、マルチチャンネルサラウンドの音場を作る機能です。MIX to Rear (FRONT) は、フロントスピーカーの音をリアスピーカーからも出す機能です。SRS WOW HDは、立体的な音場や迫力のある低音を作る機能です。詳しくは、**7016** をご覧ください。
- SRS Circle Surround IIおよびMIX to Rear (FRONT) は、AVソースごとに個別に設定できます。設定を始める前に設定するAVソースを選択してください。なお、設定するAVソース名は画面に表示されます。
- SRS Circle Surround IIの設定がオフのときには、「MIX to Rear (FRONT)」は設定できません。
- **2** で、[広帯域モード]にタッチすると、オーバーサンプリング機能をオン/オフできます。[OFF]にタッチすると、CS Auto/WOW HDおよびオーバーサンプリング機能をオフにできます。
- AVソースがスタンバイの場合は、設定できません。
- スピーカー構成 **6007** でリアスピーカーの口径を「None」に設定しているときには、SRS Circle Surround IIとMIX to Rear (Front) は設定できません。
- **5** で、[USER]にタッチした場合は、**5007** に進んでユーザー設定を作成してください。
- CS Automotiveを有効にするためには、**5** でOFF以外を選択する必要があります。

5

007

SRS WOW HDのユーザー設定を作成する

SRS WOW HDのユーザー独自の設定を作成します。

SRS WOW HDは、フロントスピーカーとリアスピーカーを独立して設定できます。



1010 (ソース選択)

MENU

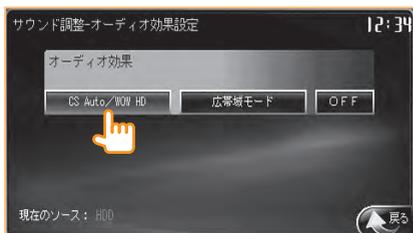
サウンド調整

1



[オーディオ効果設定]にタッチします。

2



[CS Auto/WOW HD]にタッチします。

3



[USER]にタッチします。

4



[ADJUST]にタッチします。

0

1

2

3

4

5

6

7





▲ または ▼ にタッチして、各項目のレベルを調整します。



- SRS 3Dは、立体的で広がりのある音場を作ります。
SRS 3D SPACEは、音の広がり感を調整します。
SRS 3D CENTERは、ボーカルなどのセンターの音の定位を調整します。
FOCUSは、音像を上移動します。
TruBassは、重低音を再現します。
Definitionは、高域の音質を改善して明瞭にします。
詳しくは、7016 をご覧ください。
ここでの設定は、3 の[USER]で呼び出すことができます。
- AVソースがラジオの場合、SRS 3D SPACEとSRS 3D CENTERは設定できません。
- SRS Circle Surround IIの設定がオフのときは、リアのSRS 3D SPACEとSRS 3D CENTER、およびFOCUS（リア）は設定できません。
- フロントスピーカーの位置やツイーターの有無設定を変更 6007 すると、FOCUS（フロント）の値が変わることがあります。
- スピーカーの口径の設定 6007 を変更すると、TruBassの値が変わることがあります。
- スピーカー構成 6007 でリアスピーカーの口径を「None」に設定しているときには、リアは設定できません。
- SRS 3D SPACEを「OFF」にすると、SRS 3D CENTERは設定できません。
- AVソースがスタンバイの場合は、設定できません。

左右および前後の音量バランスを調整します。また、サブウーファーのレベルも調整できます。



1010 (ソース選択)

MENU

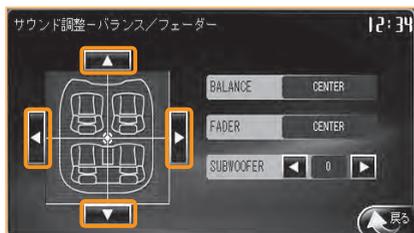
サウンド調整

1



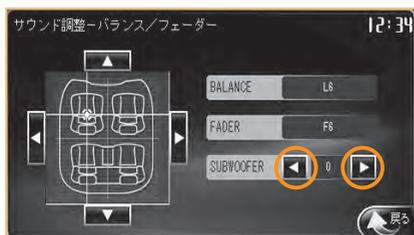
[バランス/フェーダー]にタッチします。

2



◀、▶、▲、▼ にタッチして、左右および前後の音量バランスを調整します。

3



◀ または ▶ にタッチして、サブウーファーのレベルを設定します。



- ポジション調整 **5002**、**5003** をしている場合は、バランス/フェーダーは“CENTER”（中央）（お買い上げ時の状態）でお使いください。
- サブウーファー・リア出力切替 **6003** で「リア」が選択されている場合は、サブウーファーのレベルは調整できません。
- スピーカー構成 **6007** でサブウーファーの口径が「None」に設定されている場合は、サブウーファーのレベルは調整できません。
- 2 で、画面のシートの部分をタッチしても調整できます。
- AVソースがスタンバイの場合は、設定できません。

0

1

2

3

4

5

6

7

サウンド調整

AVソースごとの音量の違いを調整します。音量の基準はCDソースです。



MENU



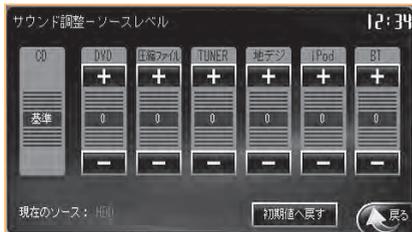
サウンド調整

1



[ソースレベル]にタッチします。

2



各ソースの **+** または **-** にタッチして、CDソースとの音量の差を調整します。



- 2で、[初期値へ戻す]にタッチすると、全ソースの設定を“0”に戻せます。
- Bluetoothオーディオのレベルは、Bluetooth対応オーディオプレーヤーを接続した状態で調整してください。
- iPodのレベルは、iPodを接続した状態で調整してください。
- AV-INソースのレベルは調整できません。常にiPodと同じになります。
- 内蔵HDDとUSB機器のオーディオファイルは「圧縮ファイル」の音量レベルになります。
- AVソースがスタンバイの場合は、設定できません。

圧縮オーディオファイルの音質補正機能 (Supreme) を設定します。



1010 (ソース選択)

MENU

サウンド調整

1



[音質設定]にタッチします。

2



[ON]または[OFF]にタッチします。



- Supremeは、圧縮ファイル、USB、HDDソースを選択しているときに設定できます。

6

001

セットアップメニューを表示する

本機の各種の設定を行うセットアップメニューを表示します。



NAVI



MENU

1



[セットアップ]にタッチします。

セットアップ



セットアップメニュー画面が表示されます。



セットアップメニューに表示されるボタンは次のとおりです。

ボタン

説明



USB機器やディスクからのAVファイルの転送やHDD内のデータの編集などを行います。



画質やタッチ位置などを調整します。



オプション機器の動作を設定します。



本機の動作や車両に関する情報を設定します。



地図の表示方法や案内方法など、ナビの動作を設定します。



DVDのプレイ方法や音楽CDの録音方法などを設定します。

6 002 各種の設定をする

ナビやAVに関する各種の設定を行います。

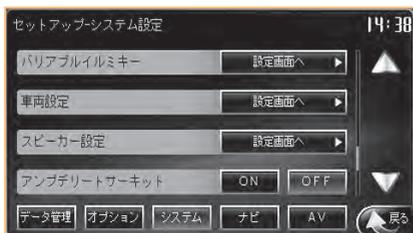


1



設定する項目のカテゴリのボタンにタッチします。

2



各設定項目のボタンにタッチして、設定値を選択します。

目的の設定項目が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。



- 各カテゴリ内の設定項目については **6003** をご覧ください。
- 設定は、ボタンを選択した時点で有効になります。
- 現在の設定状態は、紫色のボタンで表示されます。
- [ナビ]や[AV]などのボタンにタッチすると、設定項目のカテゴリを切り替えることができます。

0

1

2

3

4

5

6

7

セットアップ

セットアップメニューで行う各種の設定は、次のカテゴリに分類されています。

分類	項目	選択肢	説明	
システム	操作音	ON	画面のボタンにタッチしたときにピッと音を出します。	—
		OFF	音を出しません(一部の音は鳴ります)。	—
	リバース時自動音量ダウン	ON	車のシフトをリバースに入れている間、オーディオの音量を小さくします。	—
		OFF	音量を変えません。	—
	オートアンテナ	あり	車両のオートアンテナの有無を設定します。	—
		なし	「あり」に設定すると、ソースメニュー 1010 にアンテナを伸張または格納するボタンが表示されます。	—
	ナビ画面割込	ON	AVソースの画面が表示されているとき、ナビの案内画面を割り込み表示します。	—
		OFF	割り込み表示しません。	—
	音声案内割込	ON	AVソースがプレイされているときでも、ナビのボイスガイドを流します。	—
		OFF	AVソースがプレイされているときには、ナビのボイスガイドを流しません。	—
	AV-IN設定*	設定なし	本機のAV-INに何も接続していないときに選択します。	—
		VIDEO	本機のAV-INにビデオ機器を接続しているときに選択します。	—
		AUX	本機のAV-INにオーディオ機器を接続しているときに選択します。	—
	メニュー表示効果	ON	メニューをアニメーション表示します。	—
		OFF	アニメーション表示しません。	—
	音声案内時のオーディオATT	全スピーカー		
フロントスピーカー		ナビの音声案内を流すときに、音量を下げるスピーカーを設定します。	—	
OFF				
セキュリティコード設定	解除	セキュリティコードが設定されているときに使用可能になり、設定されているセキュリティコードを解除します。	—	
	設定	セキュリティコードが設定されていないときに表示され、新しくセキュリティコードを設定します。セキュリティコードが設定されていると、リセットまたはバッテリーから取り外した後で電源をオンしたときにセキュリティコードの入力が必要になります。	—	
	変更	セキュリティコードが設定されているときに表示され、設定されているセキュリティコードを変更します。	—	
セキュリティインジケータ	ON	電源オフ時にセキュリティインジケータが点滅します。	—	
	OFF	点滅しません。	—	

太字は、お買い上げ時の設定状態を表します。

*は、AVソースをスタンバイに切り替えて設定してください。

分類	項目	選択肢	説明	
システム	サブウーファー・リア出力切替*	サブウーファー	リア/サブウーファー出力にサブウーファーを接続するときに選択します。	—
		リア	リア/サブウーファー出力にリアスピーカーを接続するときに選択します。	—
	バリアブルイルミキー		キーイルミネーションの色などを設定します。	6004
	車両設定		車両のタイプや大きさなどを設定します。 車種の設定は、有料道路(高速道路)の通行料金の計算に使用されます。	6005
	スピーカー設定		スピーカーの数や口径などを設定します。	6007
	アンプデリートサーキット*	ON	外部アンプを接続するときに設定します。 内蔵メインアンプの動作を停止し、フロント/リア・サブウーファーがプリアウトになります。	—
		OFF	通常はこちらに設定しておきます。	—
	デジタルアウト*	※	変更しないでください。	—
		オート	オートボリューム機能は働きません。	—
	オートボリューム設定	MODE1	速度に応じて、自動的に音量を上げます。	—
MODE2		増加量は、MODE1→MODE2→MODE3の順に大きくなります。	—	
MODE3			—	
ナビ	接続確認		各種ケーブルの接続状態やGPS衛星からの電波の受信状態を確認します。	6008
	最適時間考慮	ON	VICS渋滞情報を考慮したルート探索を行います。	—
		OFF	考慮しません。	—
	車速パルス	オート	車速パルスの種類を設定します。	—
		アナログ	通常は「オート」のままで使用してください。 なお、本設定を変更すると、パルスの学習状態がリセットされます。	—
	地図表示	1画面	地図の1画面/2画面表示を設定します。	—
		2画面		—
地図色	自動	車両のライトの消灯時には昼画面、点灯時には夜画面に切り替わります。	—	
	昼固定	車両のライトの状態にかかわらず、常に昼画面で表示します。	—	
	色調設定	昼画面と夜画面の色調を設定します。地図で色調を確認しながら設定できます。 ただし、「地図色」を[昼固定]に設定している場合は、夜画面の色調は設定できません。	—	

太字は、お買い上げ時の設定状態を表します。

*は、AVソースをスタンバイに切り替えて設定してください。



0

1

2

3

4

5

6

7

セッ
トア
ップ

分類	項目	選択肢	説明	
ナビ	地図の角度	2D	電源オン時の現在地図画面の地図を2D表示します。	
		3D	電源オン時の現在地図画面の地図を3D表示します。	
		角度調整	3D地図の俯角を設定します。 ただし、「地図の角度」を[2D]に設定しているときには、俯角は設定できません。	—
	地図の向き	進行方向上	電源オン時の現在地図画面の地図を進行方向上（ヘディングアップ）で表示します。	
		北上	電源オン時の現在地図画面の地図を北上固定（ノースアップ）で表示します。	—
	地図スクロール	自動	スクロール地図画面を、現在地図画面と同じ表示方法（2D/3D）で表示します。	—
		2D	スクロール地図画面は常に2Dで表示します。	
	メモリ地点名称表示	ON	地図画面にメモリ地点名称を表示します。	—
		OFF	表示しません。	
	3Dランドマーク	ON	地図画面に3Dランドマークを表示します。 ただし、バーチャル3Dマップの表示中には表示されません。	—
		OFF	表示しません。	
	バーチャル3Dマップ	ON	3D表示されている市街地図に、立体的な建物を表示します。 バーチャル3Dマップ表示するときには、本項目以外に、地図の角度を「3D」に設定してください。	—
		OFF	バーチャル3Dマップ表示しません。	—
	ランドマーク表示		地図画面に表示するランドマークをジャンルで選択します。 お買い上げ時の状態では、ガソリンスタンドとカー用品店が選択されています。	6010
	走行軌跡表示	ON	軌跡を表示します。	—
		OFF	表示しません。	
	走行軌跡消去		軌跡を消去します。 [消去]を選択すると、確認のメッセージが表示されます。 [はい]を選択すると、記録されているすべての軌跡が消去されます。	—
	ぬけみち表示	ON	抜け道を表示します。	—
		OFF	表示しません。	
	交差点拡大図	3D	交差点拡大図を3D優先で表示します。	—
		2D	2D表示します。	
方面看板	ON	方面看板を表示します。	—	
	OFF	表示しません。		
警告お知らせ	ON	警告やお知らせを、画面表示とともに音声でも案内します。	—	
	OFF	音声では案内しません。		
GOALプレート	ON	目的地に近づいたときに、自動的にGOALプレートを表示します。	—	
	OFF	表示しません。		

太字は、お買い上げ時の設定状態を表します。

*は、AVソースをスタンバイに切り替えて設定してください。

分類	項目	選択肢	説明	
ナビ	料金表示	ON	料金所に近づいたときに、自動的に通行料金を表示します(ルート案内中のみ)。	—
		OFF	表示しません。	
	道路情報表示	ON	次交差点案内、通過交差点案内、道路種別、レーン案内を表示します。	—
		OFF	表示しません。	
	料金所レーン案内	ETC	料金所に近づいたときに、選択した料金ゲートのレーンを画面表示で案内します。	—
		一般	[ETC]に設定しているときには、スマートICも表示されません。なお、スマートICは、ETCでのみ通過できます。	
	ルート学習	する	ユーザーが好んで通る道をルート探索に反映されるように学習させます。	—
		しない	ルート学習させません。	
	学習ルート消去		今までのルート学習の結果を消去します。 [消去]を選択すると、確認のメッセージが表示されます。 [[はい]]を選択すると、ルート学習のすべてのデータが消去されます。	—
	VICS規制情報表示	ON	交通規制情報(レベル3)を表示します。	—
OFF		表示しません。		
VICS駐車場表示	ON	駐車場情報(レベル3)を表示します。	—	
	OFF	表示しません。		
VICS表示	高速	高速道路のみのVICS情報(レベル3)を表示します。	—	
	一般	一般道のみのVICS情報(レベル3)を表示します。		
	両方	高速道路と一般道の両方のVICS情報(レベル3)を表示します。		
VICS渋滞情報表示	渋滞	渋滞(渋滞および混雑)のみのVICS情報(レベル3)を表示します。	—	
	全て	すべて(渋滞、混雑、順調)のVICS渋滞情報(レベル3)を表示します。		
	OFF	すべての渋滞情報を表示しません。		
A V	アルバムアート割込*	ON	プレイ中のアルバムが変わったときに、アルバムアートを割り込み表示します。	—
		OFF	表示しません。	
	CD録音音質*	標準音質	CDから内蔵HDDに録音するときの音質を選択します。 [標準音質]のビットレートは128kbps、[高音質]のビットレートは192kbpsです。	—
		高音質		
DivX登録コード*		DivXの登録コードを表示します。 登録コードが表示されているときに[[はい]]にタッチすると消えます。	—	
iPodワイドスクリーン*	ON	iPodビデオの映像をワイド画面で表示します。	—	
	OFF	通常のサイズで表示します。		

太字は、お買い上げ時の設定状態を表します。

*は、AVソースをスタンバイに切り替えて設定してください。



分類	項目	選択肢	説明	
A V	DVD 音声言語*			
	DVD 字幕言語*		DVDの音声、字幕、およびメニューの優先言語を設定します。	6011
	DVD メニュー言語*			
	DVD アングルマーク*	ON	アングル切り替えが可能なシーンでアングルマークを表示します。	—
		OFF	表示しません。	
5	DVD スクリーン*	16:9	通常、この設定でお使いください。	
		4:3LB	ワイド版の映像をレターボックス(LB)方式で表示します。	—
		4:3PS	ワイド版の映像をパン&スキャン(PS)方式で表示します。	
データ 管理	DVD 視聴制限レベル*		子供に有害なコンテンツの視聴制限を設定/解除します。	6012
	楽曲DB更新*		HDD内の楽曲データベースを更新します。	6013 6015
	USBファイル転送*		USB機器からHDDにAVファイルを転送します。	6016
	DISCファイル転送*		CDやDVDからHDDにAVファイルを転送します。	6016
	HDDデータ編集*		HDD内のAVファイルやプレイリストを管理します。	6017 ~ 6023
画面	画質		ナビの画質とAVソースの画質およびスクリーンモードを調整します。	6024
	タッチパネル		タッチ位置を補正します。 画面の指示に従って、表示されたタッチマークの中央にタッチしてください。	—
オプ シ ョ ン	VICS設定		光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99 (別売品) が接続されているときの、VICSビーコンで受信したVICS情報の表示方法を設定します。	6025
	Bluetooth設定		BluetoothユニットKCA-BT200 (別売品) が接続されているときに、Bluetooth機器(市販品)の接続を設定します。	6026
	カメラ設定	ON OFF	リアビューカメラCCD-2000 (別売品) を接続したときにオンに設定します。	—

太字は、お買い上げ時の設定状態を表します。

*は、AVソースをスタンバイに切り替えて設定してください。



- 設定操作については **6002** をご覧ください。
- 設定は、ボタンを選択した時点で有効になります。
- [ナビ]や[AV]などにタッチすると、設定項目のカテゴリを切り替えることができます。
- アンブレリットサーキットを[ON]に設定すると、操作音が鳴らなくなります。
- CDからの録音中に「CD録音音質」の設定を変更するとはできません。
- iPodワイドスクリーンの設定は、iPodの接続中は変更できません。

6

004

キーイルミネーションの色を設定する

本機のハードキーのイルミネーションの色を設定します。
ユーザー独自の色を作成することもできます。



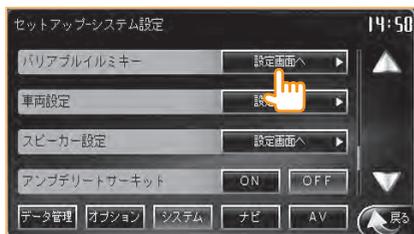
NAVI

MENU

セッティング



1



「バリアブルイルミキー」の[設定画面へ]にタッチします。

設定項目「バリアブルイルミキー」が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。

2



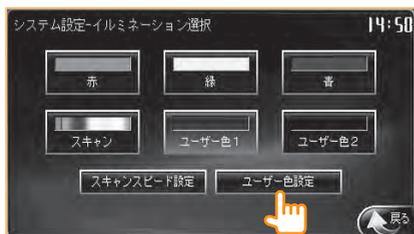
色のボタンにタッチします。

ユーザー独自の色を作成する場合は、[ユーザー色1]または[ユーザー色2]にタッチします。(4へ)

3

[戻る]にタッチします。

4



ユーザー独自の色を作成する場合は、[ユーザー色設定]にタッチします。



0

1

2

3

4

5

6

7

セッティング

0

1

2

3

4

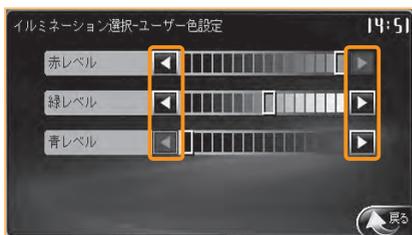
5

6

7

セットアップ

5



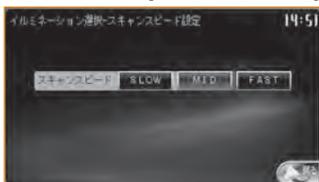
各色のレベルを ◀ または ▶ にタッチして調整します。

6

[戻る]にタッチします。



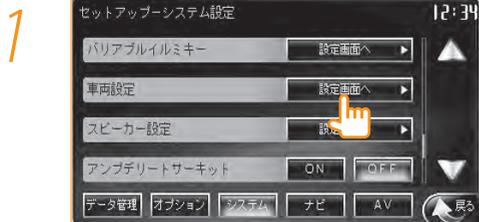
- 2で、[スキャン]を選択すると、イルミネーションの色が連続的に変化します。変化のスピードは、[スキャンスピード設定]にタッチすると3段階で設定できます。



- ユーザー色を使用時は、ボタンにより色のバラツキが発生する場合があります。

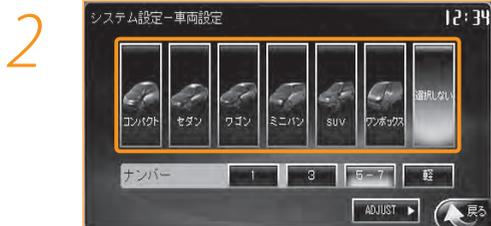
6 005 車両情報を設定する

車両のタイプや大きさを設定します。



「車両設定」の[設定画面へ]にタッチします。

設定項目「車両設定」が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。



車両のタイプのボタンにタッチします。



「ナンバー」の分類番号のボタンにタッチします。



● 車両タイプを選択すると、車室の中央を基準としたDTA (Digital Time Alignment) が設定されます。

● 2 または 3 で、[ADJUST]にタッチすると、車室の中央を基準としたDTAを詳細に設定できます。036 6006

● 車種 (ナンバー) の設定は、有料道路 (高速道路) の通行料金の計算に利用されます。

● 1 ナンバーを選択した場合は、中型車の料金が案内されます。

6

006

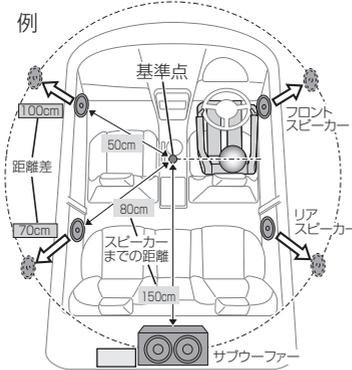
スピーカーの仮想位置を調整する

車室の中央から前後のスピーカーおよびサブウーファーまでの距離が等しくなるように、スピーカーの位置を仮想的に後退させます。



6005 (車両情報の設定)

1



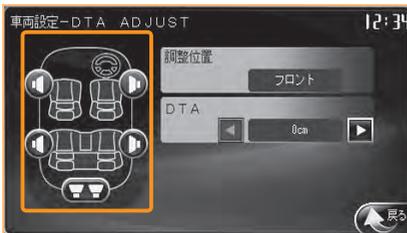
車室の中央から各スピーカーまでの距離を測り、最も遠いスピーカーとの距離差を求めます。

2



[ADJUST]にタッチします。

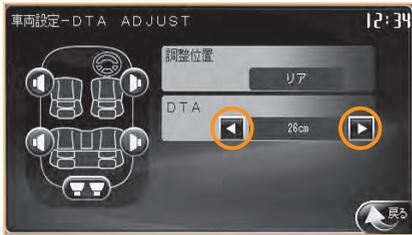
3



調整するスピーカーのボタンにタッチします。



4



◀ または ▶ にタッチして、1 で求めた距離を入力します。

5

3 と 4 を繰り返して、すべてのスピーカーを設定します。



0

1

2

3

4

5

6

7

セットアップ



- ここでは、DTA (Digital Time Alignment) を設定することにより、車室中央から各スピーカーまでの距離が等しくなるように調整しています。
- サブウーファー・リア出力切替 **6003** で「リア」が選択されている場合は、サブウーファースの DTA は調整できません。
- リアスピーカーおよび サブウーファースの口径 **6007** が「None」に設定されている場合は、当該スピーカーの DTA は調整できません。
- ここでの調整を完了してからリスニングポジションの選択 **5002** および DTA の微調整 **5003** を行ってください。

6 007

スピーカー構成を設定する

最適な音場を作り出すために、スピーカーの構成を設定します。



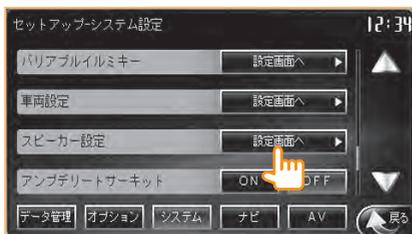
NAVI

MENU

ピットアップ



1



「スピーカー設定」の[設定画面へ]にタッチします。

設定項目「スピーカー設定」が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。

2



設定するスピーカーのボタンにタッチします。

3



「スピーカー位置」の ◀ または ▶ にタッチして、スピーカーの位置を設定します。

4



「スピーカー口径」の ◀ または ▶ にタッチして、スピーカーの口径を設定します。



5



「ツイーター」の[あり]または[なし]にタッチして、ツイーターの有無を選択します。

6



[クロスオーバー]を選択します。

7



クロスオーバー周波数と減衰率(スロープ)を設定します。

8

[戻る]にタッチします。

9

同様に、リアスピーカーおよびサブウーファーについて設定します。



- 画面例はフロントスピーカーの設定です。
- フロントスピーカーおよびリアスピーカーのクロスオーバー設定では、ハイパスフィルタのカットオフ周波数を設定します。また、サブウーファのクロスオーバー設定では、ローパスフィルタのカットオフ周波数を設定します。
- 4で、スピーカーの口径がわからない場合は「16cm」を選択してください。
- リアスピーカーの口径を「None」に設定すると、リアスピーカーのスピーカー位置とクロスオーバーは設定できません。
- サブウーファー・リア出力切替 **6003** を「リア」に設定しているときは、サブウーファーは設定できません。
- サブウーファーの口径を「None」に設定すると、サブウーファーのクロスオーバーは設定できません。

0

1

2

3

4

5

6

7

セットアップ

6 008

接続状態を確認する

本機の各種のケーブルの接続状態を表示します。

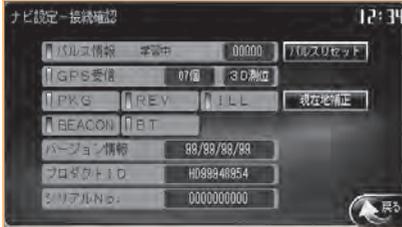


1



「接続確認」の[確認画面へ]にタッチします。

2



接続を確認します。



設定する機能は次のとおりです。

項目	説明
パルス情報	パルス学習の状態が表示されます。 実際に走行すると値が増え、学習が終了すると、橙色のインジケータが点灯します。「学習中」と表示されている場合は、本機取り付け直後、パルスリセット後、またはナビ設定の「車速パルス」の設定を変更したときなど、パルス学習がまだ完了していない状態であることを示します。
GPS受信	受信中のGPS衛星の数と測位レベル(2D/3D)が表示されます。 GPSアンテナが接続されていると、橙色のインジケータが点灯します。「2D測位」と表示されている場合は、受信できるGPS衛星の数が少ないか、GPS衛星の配置が悪いため、「3D測位」ができない状態であることを示します。
PKG、REV、ILL、BEACON、BT	パーキング検出コード、リバース検出コード、イルミネーションの各ケーブル、光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99(別売品)、Bluetooth機器が正しく接続されて動作しているときに、各々の橙色のインジケータが点灯します。
バージョン情報、プロダクトID、シリアルNo.	バージョン情報、プロダクトID、およびシリアル番号が表示されます。



- 「PKG」は、パーキング検出コードが正しく接続されていれば、パーキングブレーキをかけたときに点灯します。
- 「REV」は、リバース検出コードが正しく接続されていれば、車のシフトをリバースに入れたときに点灯します。
- 2で、[パルスリセット]にタッチすると、車速パルスの学習をリセットできます。通常は使用する必要はありませんが、タイヤを交換したときなどに使用してください。
なお、車速パルスの学習をリセットすると、車速パルスの学習が完了するまでの間、自転車位置がずれる場合があります。
- 2で、[現在地補正]にタッチすると、現在地を補正できます。📍 6009
- 接続確認画面に[店頭デモ]が表示される場合があります。このボタンのインジケーターが点灯していると、約5分間何も操作しないと、デモンストレーションが始まります。
[店頭デモ]にタッチして、インジケーターを消灯させてください。

6

009

現在地を補正する

GPS衛星からの電波を受信できないときに、地図上の自転車マークの位置を実際の位置に合わせます。



6008 (接続確認画面を表示)

1



[現在地補正]にタッチします。

2



検索する方法のボタンにタッチして、現在地を地点検索します。

地図検索 ☞ 3012

住所検索 ☞ 3007

番号検索 ☞ 3008 ~ 3010

3



[決定]にタッチします。

4



◀ または ▶ にタッチして、自転車の向きを設定します。



5



[決定]にタッチします。



- 次の場合、[現在地補正]は操作できません。
 - ルートガイド中
 - AVソースのメニュー画面から[セットアップ]タブを選択して接続確認画面を表示した場合
- GPS衛星からの電波を受信して測位できるようになると、ここでの補正は無効になり、GPSでの測位位置が現在地となります。
- マップマッチングによって自車位置が変わることがあります。

6

010

地図に表示するランドマークを設定する

地図に表示するランドマークを設定します。



NAVI

MENU

ピットアップ



1



「ランドマーク表示」の[設定画面へ]にタッチします。

目的の項目が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチします。

2



大分類のジャンルのボタンにタッチします。

3



中分類のジャンルのボタンにタッチします。

目的のジャンルが表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチします。



- 2 と 3 を繰り返して、同時に5ジャンルまで選択できます。
- ここで設定したランドマークが情報表示での対象になります。U30 2005
- ここで設定したランドマークは、200m以下の詳細なスケールの地図上に表示されます。
- 2 または 3 で、[全解除]にタッチすると、現在選択されているジャンルがすべて解除されます。



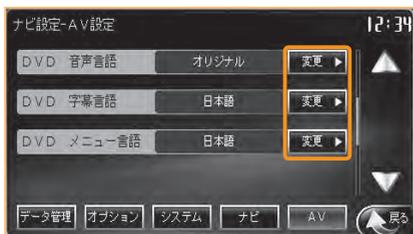
6 011

DVDの優先言語を設定する

DVDの音声、字幕、およびメニューの優先言語を設定します。



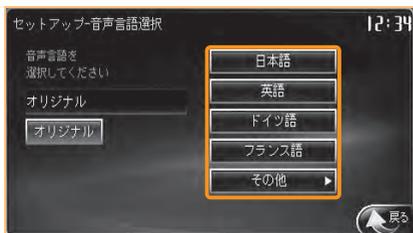
1



「DVD 音声言語」、「DVD 字幕言語」、または「DVD メニュー言語」の[変更]にタッチします。

「DVD 音声言語」、「DVD 字幕言語」、または「DVD メニュー言語」が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。

2



使用する言語のボタンにタッチします。

目的の言語を選択できた場合、3 以降の操作は不要です。

3



目的の言語が表示されていないときは、[その他]にタッチします。

4



使用する言語の言語コード(2文字)を入力します。

言語コードについては **7011** をご覧ください。

セットアップ

0

1

2

3

4

5

6

7



0

1

2

3

4

5

6

7

セ
ッ
ト
ア
ッ
プ

5



[決定]にタッチします。

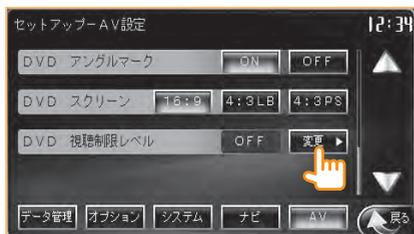


- ここで設定した言語をDVDのプレイ時に変更することもできます。034 4045
- [オリジナル]は、音声言語でのみ選択できます。
- 設定した優先言語がプレイするDVDに収録されていない場合は、DVDに収録されている言語になります。

子供に見せたくないディスクやシーンを視聴制限レベルで制限します。



1



「DVD 視聴制限レベル」の[変更]にタッチします。

「視聴制限レベル」が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。

2



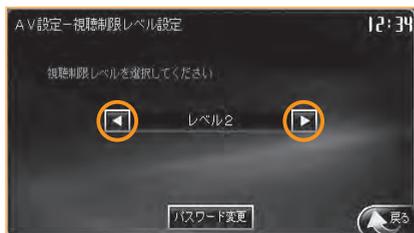
設定するパスワードを入力し、[決定]にタッチします。

3



2と同じパスワードを入力し、[決定]にタッチします。

4



◀ または ▶ にタッチして、レベルを選択します。

0

1

2

3

4

5

6

7

セットアップ



0

1

2

3

4

5

6

セ
ッ
ト
ア
ッ
プ

7



- 4で[パスワード変更]にタッチすると、パスワードを変更できます。
- パスワードは忘れないようにメモしておいてください。
- 本機をリセットすると、設定した視聴制限レベルとパスワードはお買い上げ時の状態に戻ります。
- 視聴制限レベルの変更時には3は不要です。
- 視聴制限レベルは8段階あり、数字が小さいほど、視聴制限レベルが高くなります。[OFF]に設定すると、視聴制限は解除されます。
- ディスクによっては、設定した視聴制限レベルよりも高いレベルのシーンになると、パスワードの入力が要求される場合があります。パスワードを入力すると、プレイが再開されます。

本機内の楽曲データベースを更新します。



- データの更新中には、絶対に本機の電源をオフにしたり、USB機器を取り外したりしないでください。更新を中止するときは、[中止]にタッチしてください。



NAVI



MENU



セッティング



1

楽曲データベースの更新データを保存したUSB機器をセットします。

2



[楽曲DB更新]にタッチします。

3



[楽曲DB差分更新]にタッチします。

4



[更新実行]にタッチします。

データの更新が開始されます。
データ更新が終了すると、「現在のバージョン」と「更新日」が新しいものになります。

0

1

2

3

4

5

6

7

セッティング



0

1

2

3

4

5

6

セットアップ

7



- 更新データは下記のサイトからダウンロードしてください。
<http://www.kenwood.co.jp/faq/amgdb/>
上記サイトでは、ダウンロード方法のほかに、ダウンロード後の必要な処理手順についても説明されていますので注意深くお読みください。
- 4 で、[楽曲DB更新履歴]にタッチすると、直近4回分の更新履歴を確認できます。
- USB機器をセットしたときに、メッセージが表示されます。[キャンセル]にタッチしてメッセージを消してから次の手順に進んでください。
- 本機からUSB機器を取り外すときには  を長押しして取り外し可能な状態にしてください。

楽曲情報を取得または整合させる楽曲データベース管理ソフトウェアKME-EX (PC用)のインストールファイルをダウンロードします。

KENWOOD Music Editor -EXでできること

- PCで楽曲データを管理します。
- 本機の楽曲データベースに整合する形で、PCで管理している楽曲データをUSB機器を介して本機に転送します。
- 本機の楽曲データベースに収録されていない音楽CDを内蔵HDDに録音したときに、その楽曲情報をPCでAMG LASSOにより最新データベースから取得して本機に書き戻します。



NAVI

MENU

セットアップ



1

KME-EXインストールファイルを保存するUSB機器をセットします。

2



[PCアプリケーション書き出し]にタッチします。



- 楽曲データ管理には次の機能があります。
 - 録音したCDの曲の楽曲情報が本機に収録されていなかったとき、PCからAMG LASSOにより最新データベースにアクセスして取得して付与します。
 - PCに保存されている曲を本機に転送するときに、楽曲情報をAMG LASSOにより取得して本機内のデータにそろえます。
- KME-EXをダウンロードするためには、USB機器に20MB以上の空き容量が必要です。
- USB機器を本機にセットしたときにメッセージが表示されます。[キャンセル]にタッチしてメッセージを消してから次の手順に進んでください。
- 本機からUSB機器を取り外すときには **AV** を長押しして取り外し可能な状態にしてください。
- KME-EXのインストールファイルは、次のように書き込まれます。
 - <USB機器のドライブ名>¥APPLI¥KME_setup.exe
- USB機器に書き出されたKME-EXインストールファイルは、PCの適当なフォルダにコピーしてください。
- Windowsのエクスプローラで、保存したKME-EXインストールファイルをダブルクリックするとインストールできます。詳しくは、KME-EXインストールファイルに付属のインストール説明書をご覧ください。
- KME-EXの使いかたは、KME-EXに付属のヘルプをご覧ください。

0

1

2

3

4

5

6

7

セットアップ

6

015

楽曲データベース未収録の情報を取得する

音楽CDからの録音時に本機の楽曲データベースで楽曲情報を取得できなかったアルバムの楽曲情報を、KME-EX 6014 で取得して更新します。



- 車両を離れる際には、イグニッションキーを抜くなどの必要な処置を行ってください。



NAVI



MENU



セットアップ



USB機器をセットします。

1

2



[楽曲DB更新]にタッチします。

3



[楽曲DB都度更新]にタッチします。

4



[未取得アルバム情報の書き出し]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。



5

[はい]にタッチします。

必要な情報がUSB機器に書き出されます。

6

AV を長押しして本機からUSB機器を取り外し、PCにセットします。

7

KME-EX **6014** を使って楽曲情報を取得します。

楽曲情報の取得方法については、KME-EXのヘルプをご覧ください。

8

PCからUSB機器を取り外して本機にセットし、3の画面を表示させます。

9



[取得アルバム情報の読み込み]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

10

[はい]にタッチします。



- USB機器を本機にセットしたときにメッセージが表示されます。[キャンセル]にタッチしてメッセージを消してから次の手順に進んでください。
- PCで取得した楽曲情報は、当該アルバムの楽曲情報に反映されます。本機の楽曲データベースは更新されません。

6 016

USB機器やディスクからAVファイルを転送する

USB機器やディスク内のAVファイルを本機の内蔵HDDに転送します。



1

転送元のディスクまたはUSB機器をセットします。

2



[USBファイル転送]または[DISCファイル転送]にタッチします。

KME-EX **6014** でオーディオファイルを保存したUSB機器を接続している場合は **5** に進みます。

3



転送する曲の[選択]にタッチします。

フォルダ単位で選択することもできます。選択されているファイルまたはフォルダの[選択]にもう一度タッチすると、選択を解除できます。

また、[全解除]にタッチすると、すべての選択を解除できます。

4



[転送開始]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。



5

[[はい]]にタッチします。

転送が開始されます。

6

[[はい]]にタッチします。



0

1

2

3

4

5

6

7

セットアップ



- USB機器を本機にセットしたときにメッセージが表示されます。[[キャンセル]]にタッチしてメッセージを消してから次の手順に進んでください。
または、[[選択転送]]にタッチすると、3 から操作できます。ただし、KME-EX (U3 6014) でオーディオファイルを保存したUSB機器を接続している場合、[[選択転送]]にはタッチできません。
- 上記の画面例は、USB機器からの転送の場合です。
- 同じ曲は転送されませんので、転送元にある曲数と実際に内蔵HDDに転送された曲数が異なる場合があります。選択転送した場合は、同じ曲でも転送されます。
- 転送できるAVファイルのサイズは、1ファイルにつき700MBまでです。
- 内蔵HDDに転送したAVファイルを、内蔵HDDから他のメディアに転送することはできません。
- 3 で、 にタッチすると、1階層上のフォルダの内容が表示されます。
3 で、 にタッチすると、ディスクやUSB機器内のルート(最上位)フォルダの内容が表示されます。
- 3 で、表示されている階層内で複数のファイルを選択することはできますが、階層を移動するとそれらの選択は解除されます。
- KME-EX (U3 6014) で楽曲情報を更新した楽曲を内蔵HDDに転送すると、本機の楽曲データベースも当該データが更新されます。

6

017

内蔵HDD内のデータを編集する

内蔵HDD内のAVデータや管理データを編集します。



NAVI

MENU

ビットアップ



1



[HDDデータ編集]にタッチします。

2



各項目を編集します。



編集する機能は次のとおりです。

項目	説明	
アルバム/曲削除	内蔵HDD内に保存されている曲を削除します。	6018
映像ファイル削除	内蔵HDD内に保存されている動画ファイルを削除します。	6018
画像ファイル削除	内蔵HDD内に保存されている静止画ファイルを削除します。	6018
楽曲プレイリスト編集	プレイリストへの曲の追加/削除や、プレイリストの名前の変更などを行います。	6019 ~ 6023
映像プレイリスト編集	プレイリストへの動画の追加/削除、プレイリストの名前の変更などを行います。	6019 ~ 6023
HDD容量確認	内蔵HDDの空き容量を表示します。 保存されている曲数、静止画および動画のファイル数も表示されます。	-



- ソースがスタンバイ以外るとき、USB機器またはディスクから内蔵HDDに曲を転送しているとき、および内蔵HDDから曲を削除しているときには、内蔵HDD編集は行えません。

内蔵HDDに保存されている曲/アルバムや静止画/動画を削除します。



- 削除した曲などを元に戻すことはできません。間違いないように、慎重に操作してください。
- AVファイルの削除中には、本機の電源を切らないでください。



NAVI

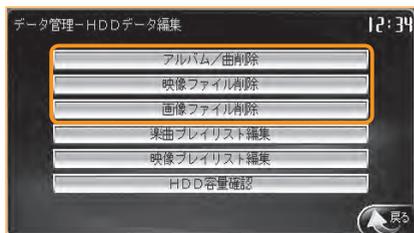
MENU

ピットアップ



HDDデータ編集

1



[アルバム/曲削除]または[画像/映像ファイル削除]にタッチします。

2

各種の方法で、削除する曲などを探します。

曲やアルバムを探す方法については **4068** ~ **4071** をご覧ください。

3



削除する曲などの[選択]にタッチします。

4



[削除]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。



0

1

2

3

4

5

6

7

セ
ッ
ト
ア
ッ
プ

5

[はい]にタッチします。

選択した曲などが削除されます。

6

[はい]にタッチします。



- 3 で、アルバムやフォルダのボタンにタッチすると、そのアルバム内の曲のリストが表示されます。
- 3 で、表示されている階層内で複数のファイルを選択することはできますが、階層を移動するとそれらの選択は解除されます。

6

019

プレイリストの名前を変更する

内蔵HDDに保存されているプレイリストの名前を変えます。

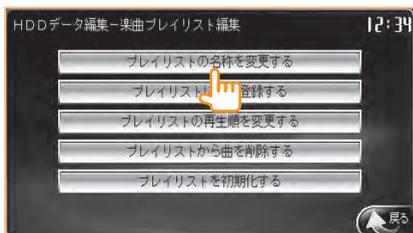


1



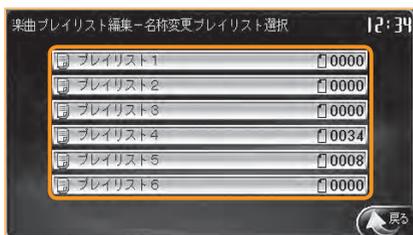
[楽曲プレイリスト編集]または[映像プレイリスト編集]にタッチします。

2



[プレイリストの名称を変更する]にタッチします。

3



名前を変えるプレイリストのボタンにタッチします。



0

1

2

3

4

5

6

7

セットアップ

4



新しい名前を入力し、[決定]にタッチします。

名称が更新され、1の画面に戻ります。

文字の入力方法については [3046](#) をご覧ください。

6

セ
ッ
ト
ア
ッ
プ

- 上記の画面例は、曲のプレイリストの場合です。
- 3で、文字入力画面を表示したときには、現在のプレイリスト名が入力された状態になっています。必要に応じて、[消去]にタッチして文字を消去してください。

6

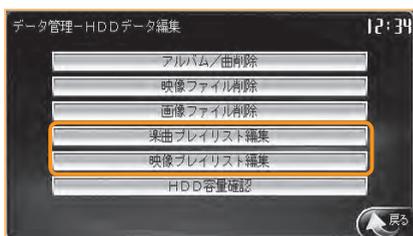
020

プレイリストに曲や動画を追加する

内蔵HDDに保存されているAVファイル(曲または動画)をプレイリストに登録します。



1



[楽曲プレイリスト編集]または[映像プレイリスト編集]にタッチします。

2



[プレイリストに曲を登録する]または[プレイリストにファイルを登録する]にタッチします。

3

追加するAVファイルを探します。

4



登録するAVファイルの[選択]にタッチします。

登録したい曲などがリストに表示されていない場合は、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。



0

1

2

3

4

5

6

7

セットアップ

0

1

2

3

4

5

6

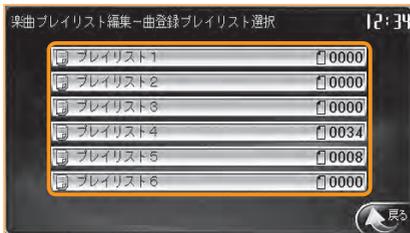
7

5



[登録]にタッチします。

6



登録先のプレイリストのボタンにタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

7

[はい]にタッチします。

4 で選択した曲などがプレイリストに登録され、1 の画面に戻ります。



- 上記の画面例は、曲を追加する場合です。
- 4 で、[選択]にタッチするたびに、選択状態と選択解除状態が交互に切り替わります。
- 複数の曲を選択するときは、必要に応じて、3 ~ 4 を繰り返します。ただし、階層を変えると、それまでの選択が解除されます。
- 曲用と動画用のプレイリストは各々 6 個ずつ用意されています。プレイリスト自体は、追加/削除できません。
- 曲用と動画用のプレイリストは区別されており、同一のプレイリストに曲と静止画/動画を混在させることはできません。

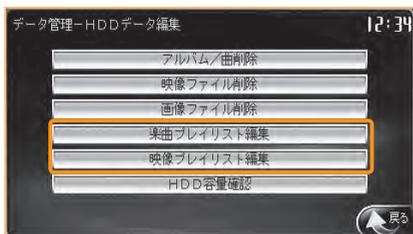
6 021

プレイリスト内の曲や動画の再生順を変更する

内蔵HDDに保存されているプレイリスト内のAVファイル(曲または動画)の再生順を変更します。



1



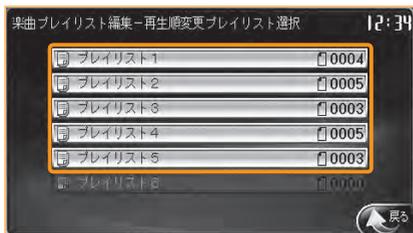
[楽曲プレイリスト編集]または[映像プレイリスト編集]にタッチします。

2



[プレイリストの再生順を変更する]にタッチします。

3



編集するプレイリストのボタンにタッチします。

4



再生順を変更するAVファイルのボタンにタッチします。

目的のAVファイルが表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

セットアップ



0

1

2

3

4

5

6

7

セットアップ

5



移動先の ◀ にタッチします。

6



[決定]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

7

[[はい]]にタッチします。

曲順が変更されます。



- 上記の画面例は、曲の再生順を変更する場合です。
- 複数の曲などの再生順を変えるときは、4～5を繰り返してください。

6

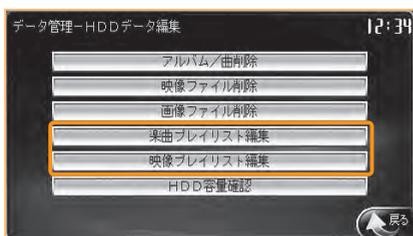
022

プレイリスト内の曲や動画を削除する

プレイリストから、登録されているAVファイル(曲または動画)を削除します。

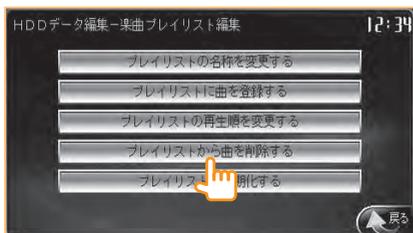


1



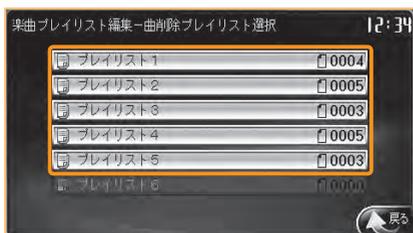
[楽曲プレイリスト編集]または[映像プレイリスト編集]にタッチします。

2



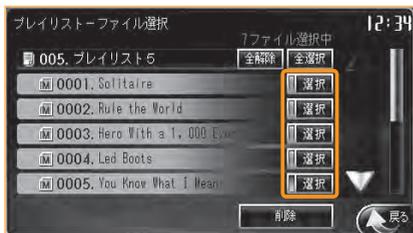
[プレイリストから曲を削除する]または[プレイリストからファイルを削除する]にタッチします。

3



編集するプレイリストのボタンにタッチします。

4



削除するAVファイルの[選択]にタッチします。

目的の曲が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。

0

1

2

3

4

5

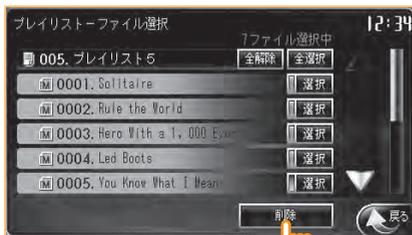
6

7

セットアップ



5



[削除]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

6

セ
ッ
ト
ア
ッ
プ

6

[はい]にタッチします。

選択したAVファイルがプレイリストから削除されます。

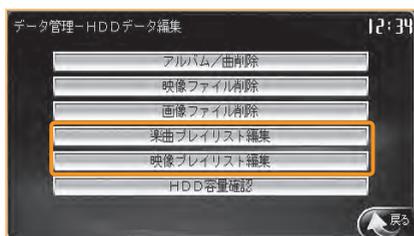


- 上記の画面例は、プレイリストから曲を削除する場合のものです。
- この操作でプレイリスト内の曲などを削除しても、内蔵HDDに保存されているAVファイル自体は削除されません。AVファイル自体を削除するときは、**4074** または **6018** をご覧ください。
- 4 で、[全解除]にタッチすると、すべての選択をワンタッチで解除できます。
- プレイリスト内のすべての曲を削除しても、プレイリスト自体は削除されません。

プレイリストに登録されているすべてのAVファイル(曲または動画)を削除して、プレイリストを空にします。

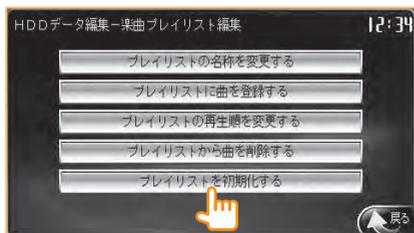


1



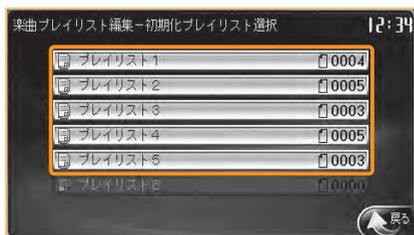
[楽曲プレイリスト編集]または[映像プレイリスト編集]にタッチします。

2



[プレイリストを初期化する]にタッチします。

3



空にするプレイリストのボタンにタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

4

[はい]にタッチします。

選択したプレイリストが空になります。



- 上記の画面例は、曲のプレイリストを初期化する場合のものです。
- プレイリスト内の曲や動画などを削除しても、内蔵HDDに保存されているAVファイル自体は削除されません。AVファイル自体を削除する場合は、**4074** または **6018** をご覧ください。
- プレイリスト内のすべての曲や動画などを削除しても、プレイリスト自体は削除されません。

6

024

画質を調整する

ナビまたは映像ソースの画質と画面モードを設定します。



ナビまたは映像ソースに切り替えます。

MENU

ピットアップ



1



[画質]にタッチします。

2



◀ または ▶ にタッチして、各項目を調整します。

(画面例はiPod-video)

3



[モード]にタッチします。

4



画面モードのボタンにタッチします。

6
セットアップ



設定できる画質は次のとおりです。

項目	説明
明るさ	明るさを調整します。 ◀ にタッチすると暗く、▶ にタッチすると明るくなります。
色の濃さ	色の濃淡を調整します。 ◀ にタッチすると淡く、▶ にタッチすると濃くなります。
色合い	色相を調整します。 ◀ にタッチすると緑が強くなり、▶ にタッチすると赤が強くなります。
コントラスト	コントラストを調整します。 ◀ にタッチするとコントラストが弱くなり、▶ にタッチするとコントラストが強くなります。
黒レベル	黒のレベルを調整します。 ◀ にタッチすると黒が濃くなり、▶ にタッチすると黒が淡くなります。

設定できる画面モードは次のとおりです。

項目	説明
 フル	映像を横方向に一定の比率で拡大して、画面にピッタリと合わせます。 映像ソースによっては横長に見える場合があります。
 ジャスト	画面の中心から映像の横拡大率を徐々に大きくして、画面にピッタリと合わせます。 映像ソースによっては、左右に不自然に伸びて見える場合があります。
 ズーム	映像を縦横ともに一定の比率で拡大して、画面に横方向をピッタリと合わせます。 映像ソースによっては、上下が少し切れる場合があります。
 ノーマル	映像の縦方向を画面にピッタリと合わせます。 映像ソースによっては、左右に空白ができる場合があります。



- ナビ、地デジ/DVD/USB機器/内蔵HDDの映像、およびiPod/AV-INに接続されているビデオ機器の映像で、画質の調整項目が異なります。
- ナビおよび地デジの画面モードは変更できません。

6

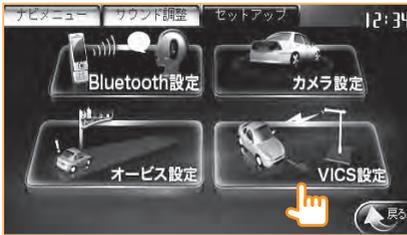
025

VICCSビーコン情報の表示方法を設定する

VICCSビーコン情報のAVソース画面への割り込み表示を設定します。

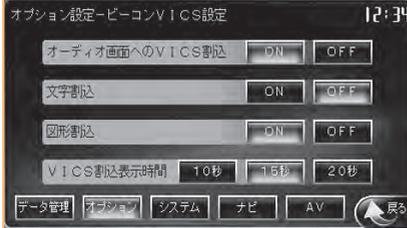


1



[VICCS設定]にタッチします。

2



目的の項目を設定します。

設定する機能は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
オーディオ画面へのVICCS割込	ON	AVソースの画面を表示しているときでも、VICCSビーコンで受信したVICCS情報を割り込み表示します。
	OFF	AVソースの画面を表示しているときには、割り込み表示しません。
文字割込	ON	文字型(レベル1)情報を割り込み表示します。
	OFF	表示しません。
図形割込	ON	簡易図形型(レベル2)情報を割り込み表示します。
	OFF	表示しません。
VICCS割込表示時間	10秒、15秒、20秒	VICCS情報(レベル1およびレベル2)を割り込み表示する時間(秒)を設定します。

太字は、お買い上げ時の設定状態を表します。



- オーディオの画面を表示している場合、「オーディオ画面へのVICCS割込」が[ON]に設定されていないと、「文字割込」～「VICCS割込表示時間」の設定は無効になります。
- 「ナビ画面割込」を[ON]に設定されていないと、「オーディオ画面へのVICCS割込」を[ON]に設定しても割り込み表示されません。
- VICCSの緊急情報は、「文字割込」、「図形割込」、および「VICCS割込表示時間」の設定にかかわらず、常に割り込み表示されます。
- VICCSビーコン情報を受信するためには、光・電波ビーコンユニットVF-M99(別売品)が必要です。

6 026 Bluetoothを設定する

Bluetooth対応の携帯電話等との接続や動作を設定するBluetoothメニューを表示します。



1



[Bluetooth設定]にタッチします。



セットアップ

6



設定する機能は次のとおりです。

項目	説明
	Bluetooth機器を接続します。 6027 、 6028
	Bluetooth対応携帯電話を本機に接続したとき、本機は携帯電話のハンズフリーユニットとして動作します。 ここでは、その動作を設定します。 6029



- Bluetooth機器を利用するためには、BluetoothユニットKCA-BT200（別売品）と変換ケーブルKNA-BT909（別売品）が必要です。
- 本機でショートメッセージを作成/送受信することはできません。



Bluetooth機器の登録について

Bluetooth対応携帯電話（以降、「携帯電話」）やBluetooth対応ポータブルオーディオプレーヤー（以降、「ポータブルオーディオプレーヤー」）などのBluetooth機器を本機と併用するためには、本機にそれらを登録しておく必要があります。

登録方法については **6028** をご覧ください。

携帯電話を本機と併用すると、本機は携帯電話のハンズフリーユニットになります。また、Bluetooth対応ポータブルオーディオプレーヤーを本機と併用すると、ポータブルオーディオプレーヤーはAVソースのひとつ（Bluetoothオーディオ）として本機でプレイできます。

Bluetooth機器の接続について

本機に登録済みのBluetooth機器が通信可能範囲に入ると、自動的に接続されます。

ただし、セキュリティ確保のため、接続時には本機とBluetooth機器間でPINコードが確認され、本機とBluetooth機器に設定されているPINコードが一致しないと接続されません。

本機のPINコードの設定方法については **6027** をご覧ください。また、Bluetooth機器のPINコードの設定については、お使いのBluetooth機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

6 027 PINコードを設定する

Bluetooth機器との接続時のPINコード(暗証番号)を設定します。



1



[Bluetoothセットアップ]にタッチします。

2



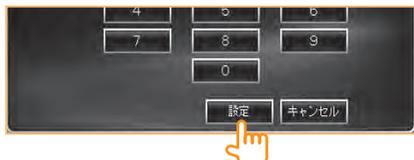
「PINコード」の[登録]にタッチします。

3



テンキーで暗証番号を入力します。
本機では、暗証番号は8桁まで指定できます。

4



[設定]にタッチします。
3の画面に戻ります。

セットアップ

6

- 
- PINコードは、目的のBluetooth対応の携帯電話等との接続にのみ使用されます。他の暗証番号(たとえばセキュリティコード)などとは無関係です。
 - ここで設定したPINコードは、接続時にBluetooth対応機器側でも入力が必要になります。
 - Bluetooth機器によっては、PINコードが固定されているものがあります。それらを使用する場合は、お使いのBluetooth機器の取扱説明書に記載されているPINコードを設定してください。



Bluetooth対応の携帯電話やポータブルオーディオ機器などを本機に登録します。



- 本機にBluetooth機器を接続しているときには、Bluetooth機器側のバッテリーの消費が非接続時よりも早くなります。長時間接続するときなどには、Bluetooth機器のバッテリー残量にご注意ください。



NAVI

MENU

ピットアップ

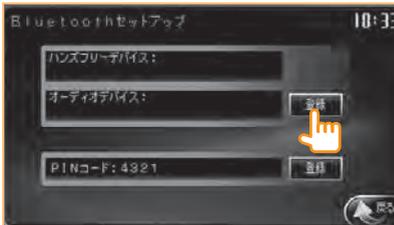


1



[Bluetoothセットアップ]にタッチします。

2



「ハンズフリーデバイス：」 / 「オーディオデバイス：」の[登録]にタッチします。

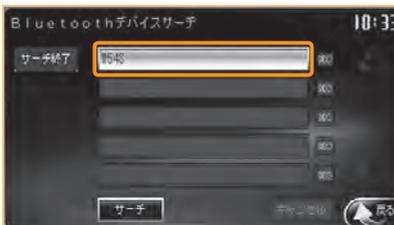
3



[サーチ]にタッチします。

接続可能な携帯電話機のサーチが開始されません。
サーチが完了すると、接続可能な機器のリストが表示されます。

4



接続するBluetooth機器のボタンにタッチします。



5



テンキーにタッチしてPINコードを入力し、[設定]にタッチします。

登録が完了すると 3 の画面に戻ります。



セットアップ



- 登録できる Bluetooth機器は5つまでです。すでに5つ登録されている場合には、不要な登録を削除してから新しい機器を登録してください。
登録を削除する場合には、4 でBluetooth機器のボタンにタッチし、「Bluetoothサービス選択」画面で[接続解除]にタッチします。
- 接続可能な携帯電話の機種については、下記のサイトでご確認ください。
<http://www.kenwood.com/bt/information/>
- Bluetooth機器によっては、デバイスサーチを受け付ける状態に設定しておく必要のあるものもあります。詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機側からのデバイスサーチでお使いのBluetooth機器が表示されない場合でも、Bluetooth機器側からのデバイスサーチで発見される場合もあります。詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- 3 で目的のBluetooth機器が表示されなかった場合、[スペシャルデバイス]にタッチしてください。登録できるBluetooth機器がある場合に、スペシャルデバイスのリストが表示され、その中から目的のBluetoothデバイスを選択した後、再度 3 から操作してください。
- 登録が完了すると、そのBluetooth機器は接続状態になります。
- 登録が完了するまでの間、本機およびBluetooth機器の電源を切らないでください。
- 登録が完了しているBluetooth機器が通信可能範囲に入ると、自動的に接続されます。ただし、複数のハンズフリーデバイス(携帯電話)が登録されている場合には、4 の接続する機器を選択する画面が表示されます。接続する携帯電話を選択してください。オーディオデバイスも同様です。
- すでにBluetooth機器が登録されているとき、4 でBluetooth機器のボタンにタッチすると、接続状態が表示されます。



本機でハンズフリー通話するときは、[ハンズフリー]にタッチしてサービスをオン(インジケータが点灯)にしてください。また、Bluetooth機器をオーディオプレーヤーとして本機でプレイするときには、[オーディオ]にタッチしてサービスをオンにしてください。

[接続解除]にタッチすると、Bluetooth機器の登録を削除できます。

- 4 で、Bluetooth機器の各ボタンの右の  は、機器名称が表示されるときに表示され、タッチするとスクロール表示されます。
- 携帯電話側から登録する場合には、機器は「KCA-BT200」を選択してください。また、PINコードは **6027** で設定したものを使用してください。
- 携帯電話の電話帳は、携帯電話を本機に接続したときにコピー/更新されます。ただし、携帯電話の機種によっては、自動的にコピー/更新されないものもあります。この場合、携帯電話側から電話帳データをBluetooth送信しておく必要があります。
- 電話帳を使う場合には、ハンズフリーセットアップの「携帯電話 電話帳使用」を[ON]に設定しておいてください。  **6029**

6

029

ハンズフリーを設定する

本機と携帯電話がBluetoothで接続されているとき、本機は携帯電話のハンズフリーユニットとして動作します。このときの動作を設定します。

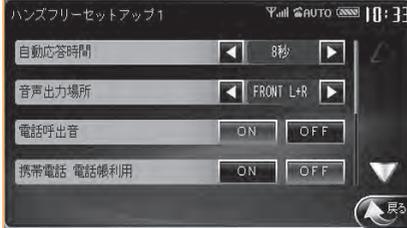


1



[ハンズフリーセットアップ]にタッチします。

2



必要な項目を設定します。

目的の設定項目が表示されていないときは、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。



設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
自動応答時間	OFF、0～99秒 (8秒)	着信後、自動的に電話を取るまでの時間を設定します。 OFFに設定すると、ユーザーがオフフックするまで電話は取られません。 また、0秒に設定すると、着信と同時にオフフックされます。
音声出力場所	FRONT L FRONT R FRONT L+R	通話音声の出力先スピーカーを設定します。
音声呼出音	ON OFF	呼び出し音の出力の有無を設定します。
携帯電話 電話帳利用	ON OFF	携帯電話に登録されている電話帳の本機からの利用の可否を設定します。
バージョン情報		Bluetooth用のソフトウェアのバージョンを表示します。 また、Bluetooth用のソフトウェアをバージョンアップします。
プリセット登録		プリセット電話帳を登録します。☎ 6030 ～ 6031

太字は、お買い上げ時の設定状態を表します。

0

1

2

3

4

5

6

7

セットアップ



- 自動応答時間が「OFF」以外に設定されている(自動応答機能オン)ときには、トーン出力画面に **AUTO** が表示されます。
☎ **4078**
- 携帯電話の電話帳から本機のプリセット電話帳に電話番号を登録する(☎ **6030**) 場合は、「携帯電話 電話帳利用」を [ON]に設定しておいてください。
- 携帯電話の電話帳は、携帯電話を本機に接続したときに、本機に自動的にコピー/更新されます。
ただし、携帯電話の機種によっては、自動的にコピー/更新されないものもあります。この場合、携帯電話側から電話帳データをBluetooth送信しておく必要があります。
- 電話帳を使う場合には、「携帯電話 電話帳使用」を [ON]に設定しておいてください。

6 030

プリセット電話帳に 電話帳から電話番号を登録する

プリセット電話帳に携帯電話からコピーした電話帳から電話番号を登録します。



NAVI

MENU

セットアップ

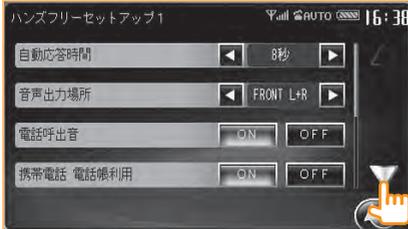


1



[ハンズフリーセットアップ]にタッチします。

2



▽にタッチします。

3



「プリセット登録」の[登録画面へ]にタッチします。

6
7
セットアップ



4



登録先のボタンにタッチします。

5



[電話帳]にタッチします。

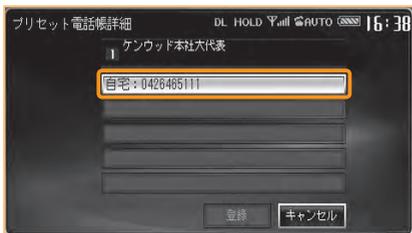
6



登録する相手のボタンにタッチします。

[カタカナ]、[ABC]、[123]にタッチすると、表示順を変えることができます。目的の電話番号が表示されていない場合は、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。

7



登録する電話番号のボタンにタッチします。



0

1

2

3

4

5

6

7

セットアップ

0

1

2

3

4

5

6

7

セ
ッ
ト
ア
ッ
プ

8



[登録]にタッチします。

指定した電話番号がプリセット電話帳に登録され、5の画面に戻ります。



- ハンズフリーセットアップの「携帯電話 電話帳使用」を[ON]に設定しておくと、プリセット電話帳のボタンには電話帳に登録されている相手の名称が表示されます。
- 携帯電話の電話帳は、携帯電話を本機に接続したときにコピー/更新されます。ただし、携帯電話の機種によっては、自動的にコピー/更新されないものもあります。この場合、上記の操作を始める前に、携帯電話を操作して必要な電話帳データを本機にBluetooth送信しておく必要があります。
- 電話帳を使う場合には、ハンズフリーセットアップの「携帯電話 電話帳使用」を[ON]に設定しておいてください。
- リストの上の文字のボタンにタッチすると、当該文字で頭出しできます。

6 031

プリセット電話帳に履歴やテンキーから電話番号を登録する

プリセット電話帳に着信履歴または発信履歴から電話番号を登録します。発着信履歴がない場合は、テンキーで登録することもできます。

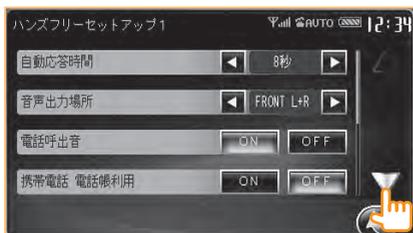


1



[ハンズフリーセットアップ]にタッチします。

2



▼ にタッチします。

3



「プリセット登録」の[登録画面へ]にタッチします。

4



登録先のボタンにタッチします。

セットアップ

0

1

2

3

4

5

6

7

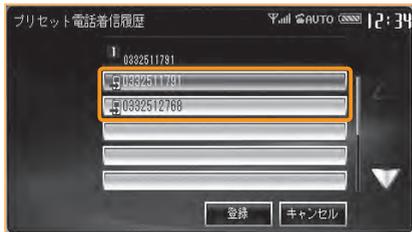


5



[電話着信履歴]または[電話発信履歴]にタッチします。

6



登録する電話番号の履歴のボタンにタッチします。

目的の電話番号が表示されていない場合は、表示されるまで ▲ または ▼ にタッチしてください。

7



[登録]にタッチします。

電話番号が登録され、4 の画面に戻ります。



■ テンキーから登録するときは

4



登録先のボタンにタッチします。

5



[10キー]にタッチします。

6



電話番号を入力します。

7



[登録]にタッチします。

電話番号が登録され、4の画面に戻ります。

0

1

2

3

4

5

6

7

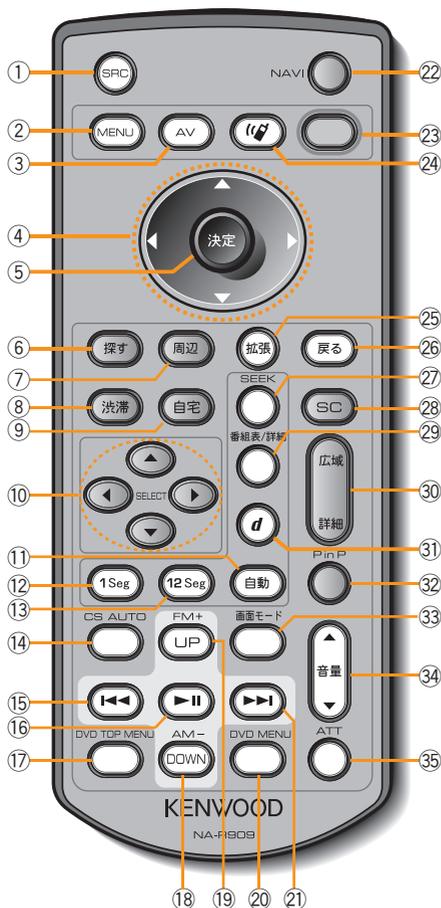
セットアップ



- ハンズフリーセットアップの「携帯電話 電話帳使用」を[ON]に設定しておく、履歴から電話番号を登録すると、プリセット電話帳のボタンには電話帳に登録されている相手の名称が表示されます。ただし、テンキーで電話番号を登録した場合には、プリセット電話帳のボタンには電話番号が表示されます。

リモコンの各部の名称とはたらき

本機で使用できるリモコンNA-R909（別売品）の各キーの名称と機能は次のとおりです。



- ① SRC
ソースメニューを表示します。☞ 1010
- ② MENU
ナビまたは現在のAVソースのメニュー画面を表示します。
地デジの映像画面の表示時には、それぞれのメニューを表示します。
- ③ AV
ナビモードからAVモードに切り替えます。
AVモード時に押すと、現在のAVソースのメニュー画面を表示します。
- ④ ジョイスティック
地図の画面では、動かし方向の地図を表示します。
8方向に動かすことができます。
地デジの映像の表示時には、カーソルを移動します。
- ⑤ 決定
選択されている項目を実行します。
地デジの映像画面の表示時には、カーソル位置の決定を実行します。
- ⑥ 探す
探すメニューを表示します。☞ 3002
- ⑦ 周辺
周辺検索を行います。☞ 3013
- ⑧ 渋滞
ビーコンで最後に受信したVICS情報を表示します。☞ 3035
VICS情報がないときには、情報メニューを表示します。☞ 3036
- ⑨ 自宅
自宅に帰るルートを探索し、ルート案内を開始します。☞ 3023
自宅が登録されていないときは、自宅登録画面が表示されます。☞ 3042
- ⑩ 矢印
項目を選択します。
地デジの映像の表示時には、カーソルを移動します。
- ⑪ 自動
地上デジタルTVの受信モードを「自動」に切り替えます。
ナビモード時には、本機の画面は変化しませんが、受信モードは切り替わります。

0

1

2

3

4

5

6

7

付録

- 12 **1Seg**
地上デジタルTVの受信モードをワンセグに切り替えます。
ナビモード時には、本機の画面は変化しませんが、受信モードは切り替わります。
- 13 **12Seg**
地上デジタルTVの受信モードを12セグに切り替えます。
ナビモード時には、本機の画面は変化しませんが、受信モードは切り替わります。
- 14 **CS AUTO**
サラウンドを設定します。☞ 5006
- 15 **◀◀**
現在のチャプタ/トラック/ファイルの先頭からプレイします。または、1つ前のチャプタ/トラック/ファイルの先頭からプレイします。
地デジでは、ひとつ下のチャンネルに切り替えます。また、長押しすると、チャンネル順にシークダウンします。
- 16 **▶▶**
プレイ/ポーズします。
- 17 **DVD TOP MENU**
DVDのディスクメニューを表示します。
☞ 4043、4048、4049
- 18 **DOWN**
1階層下のフォルダに切り替えます。ラジオの場合は、AM1とAM2を切り替えます。
- 19 **UP**
1階層上のフォルダに切り替えます。ラジオの場合は、FM1とFM2を切り替えます。
- 20 **DVD MENU**
DVDメニューを表示します。☞ 4045
- 21 **▶▶▶**
次のチャプタ/トラック/ファイルをプレイします。
地デジでは、ひとつ上のチャンネルに切り替えます。また、長押しすると、チャンネル順にシークアップします。
- 22 **NAVI**
AVモードからナビモードに切り替え、現在地図画面を表示します。☞ 2001
ナビモード時に押すと、現在地図画面を表示します。
ルート案内中に押すと、音声案内を聞きなおせます。
- 23 **HDD編集確認**
内蔵HDDへの録音/転送中に押すと、録音中/転送中画面を表示します。
内蔵HDDからの削除中に押すと、削除中画面を表示します。
- 24 **☎**
電話を受けます。☞ 4078
長押しすると、電話を切ります。
- 25 **(使用しません)**
- 26 **戻る**
前の画面に戻ります。
地デジで各々のメニュー等を表示している場合は、1階層上に戻るか映像を表示します。
- 27 **SEEK**
現在地を設定します。☞ 4022
- 28 **SC**
ショートカットメニューを表示します。☞ 2006
- 29 **番組表/詳細**
番組表を表示します。☞ 4011
長押しすると、現在の番組の詳細情報を表示します。☞ 4012
- 30 **広域/詳細**
地図を縮小/拡大して、より広域/詳細の地図を表示します。
- 31 **d**
データ放送画面に切り替えます。☞ 4018
- 32 **PinP**
PinPを表示または解除します。
PinP表示時には、子画面の大きさを変えます。
☞ 2008
- 33 **画面モード**
画面モード(フル/ジャスト/ズーム/ノーマル)を切り替えます。
- 34 **音量**
音量を調整します。
- 35 **ATT**
音量を一時的に小さくします。
もう一度押すと、元の音量に戻ります。

0 マップマッチング機能について

1 マップマッチングとは、自車の位置が道路から外れた場合に、道路から外れた自車の位置を論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。

2 GPSや自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所(川や海の上など)に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」と論理的に判断し、現在地近くの道路に自動修正します。

マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合



7 付録

本機は、GPSと自律航法を併用し、精度の高い測位をした上でマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

誤差について

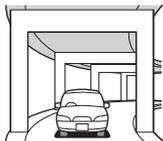
本機は、GPSと自律航法を併用した精度の高い測位を元に、さらにマップマッチング機能を動作させて、最大限誤差を小さくしておりますが、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS測位不可により生じる誤差について

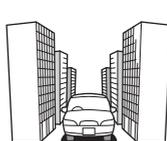
- 1) 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波が遮断され、電波を受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビル内の駐車場



2層構造の
高速道路の下



高層ビルの群衆地帯



密集した樹木の間

- 2) 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなるため、GPSによる測位ができないことがあります。

- GPSアンテナの近くで、自動車電話や携帯電話を使っている場合。

- 3) 2基以下のGPS衛星の電波しか受信できない場合は、GPSによる測位ができないことがあります。

- 4) GPSアンテナに、ペンキや車のワックスを塗った場合は、電波の感度が低下したり、電波を受信できなくなり、GPSによる測位ができないことがあります。

GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。また、アンテナやアンテナ付近に雪が積もっている場合も電波の感度が低下します。雪が積もったときは、雪を取り除いてください。

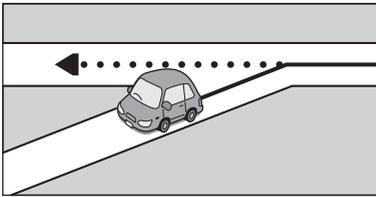
■ GPS衛星自体の原因により生じる誤差について

- 1) 電波を受信しているGPS衛星の配置が悪いとき(衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき)には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 2) GPS衛星による測位の高さ方向に関する精度は、水平方向に対して、誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下(地球の裏側)に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。
- 3) 三次元測位のときは、約10m~100mの誤差で現在地を測位しますが、二次元測位のときは、三次元測位のときよりも誤差がやや大きくなります。

■ その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

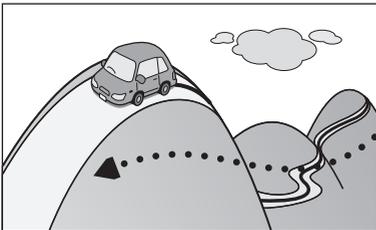
角度の小さいY字路を走行した場合



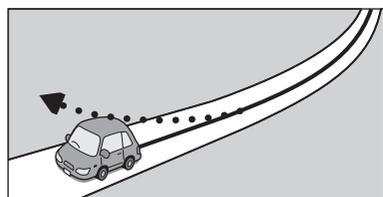
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合



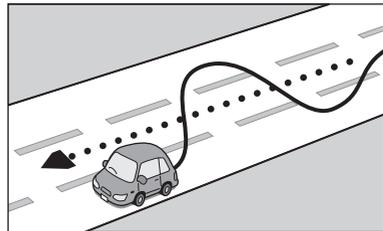
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



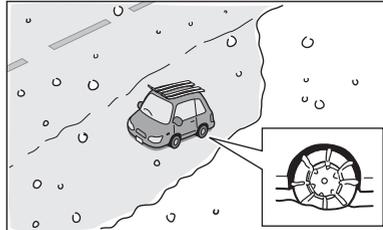
直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後



蛇行運転をした場合



チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合



0

1

2

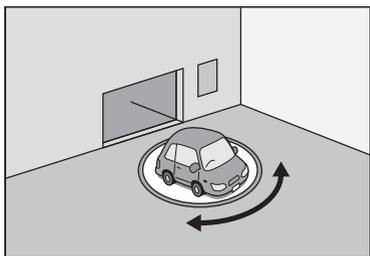
3

4

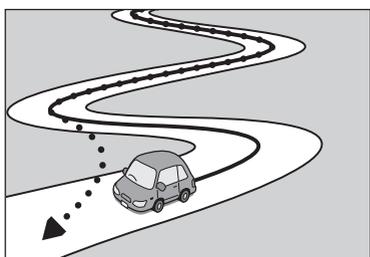
5

6

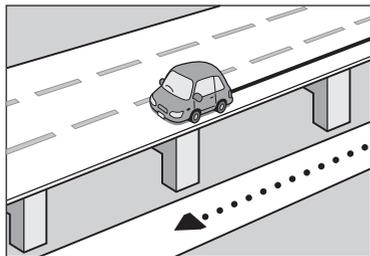
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



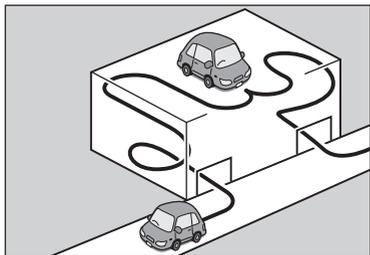
ヘアピンカーブが続いた場合



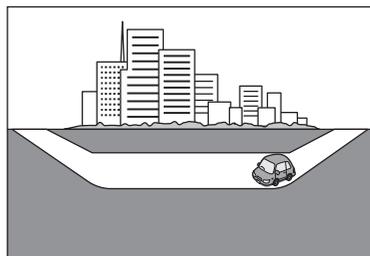
高速道路と側道などが隣接している場合



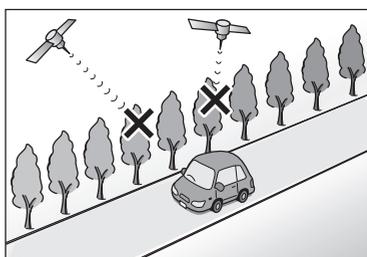
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



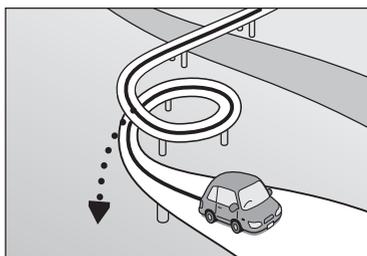
地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位ができない場合



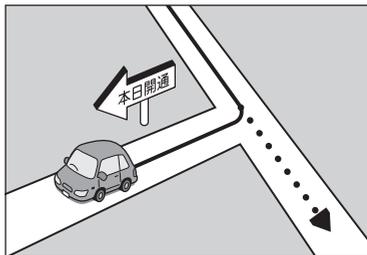
GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合



ループ橋などを走行した場合

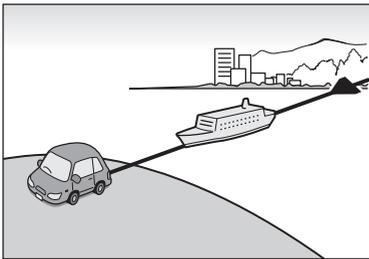


地図データにはない、新設道路を走行した場合

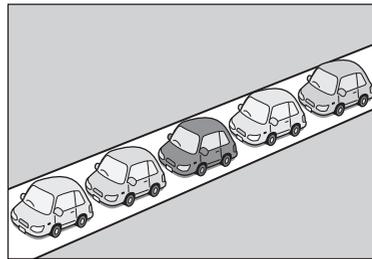


7 付録

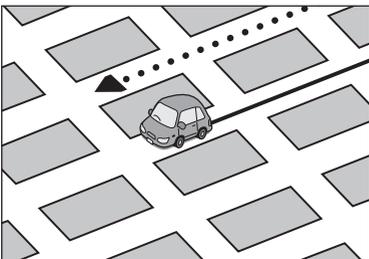
フェリーや車両運搬車などで移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



暮盤の目状の道路を走行した場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合

低速時の測位精度について

車種によっては、時速数km程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数km程度の低速走行が続くと、自転車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称
	山頂		病院		公園
	工場		運動施設		マリーナ
	一方通行記号		サッカースタジアム		史跡・旧跡、観光名所
	交差点		海水浴場・(湖水、池) 水泳場		神社
	サービスエリア		その他目標施設		仏閣、寺
	パーキングエリア		JRA競馬場・ウィンズ		教会
	インターチェンジ		デパート・スーパー・ ショッピング施設		城・城跡
	ジャンクション		ガソリンスタンド		美術館
	料金所		カー用品店		博物館
	ランプ(出入口)		ホテル・旅館・宿泊施設		郵便局
	ランプ(出口専用)		展望タワー		小学校
	駐車場		動物園		中学校
	飛行場・空港		植物園		高等学校
	港		水族館		短大
	フェリーターミナル		ゴルフ場		大学
	墓地		温泉		養護・盲・聾学校
	都道府県庁舎・ 北海道支庁庁舎		スキー場		高等専門学校
	市役所・特別区庁舎		遊園地・テーマパーク		冬季通行止め
	町村役場・ 政令指定都市区役所庁舎		テーマパークゲート		ボトルネック踏切
	官公署・市町村役場支所 (出張所)		キャンプ場		(青) 高速道・都市道・有料道
	消防署 (含む：分署・支署・出張所)		スタジアム		(赤) 国道
	自衛隊		警察署・交番・駐在所		(緑) 都道府県道・主要地方道
	学校		図書館		



- 表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。
また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

株式会社ケンウッド製「HDV-909DT」（「機器」）に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の改訂作業を行うため収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合など、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。



- 本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「弊社」）間の、本ソフトの使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に必ずお読みください。本ソフトを使用した場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

■ 使用規定

- 1) 弊社は、お客様に対し、この取扱説明書（「取説」）に従い、本ソフトを本ソフトが格納されていた機器で使用する権利を許諾します。
- 2) お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - ・ 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
 - ・ 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
- 3) お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - ・ 本ソフトの著作権は弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - ・ 本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、全てが正確かつ完全ではないこと。弊社は、このような場合においても本ソフトの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
 - ・ 本ソフトに関する弊社のお客様に対する損害賠償責任は、弊社の故意または重過失による場合を除き、お客様が直接被った現実かつ通常の損害の賠償に限られ、また、機器の対価としてお客様が株式会社ケンウッドまたはその販売代理店に対して現実支払った金額を限度とすること。なお、この規定は、本ソフトに関する弊社の損害賠償責任の全てを規定したものとすること。
- 4) お客様は以下の行為をしてはならないものとします。
 - ・ 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を、複製、抽出、転記、改変、送信すること。
 - ・ 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。
 - ・ 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - ・ その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。



0
1
2
3
4
5
6
7
付録
地図データベースについて

- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平17総使、第598-314号)
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法に基づき設立された全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、(財)日本交通管理技術協会(TMT)が作成したものを使用したものを使用しています。(承認番号08-3)
- この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認07-173)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、2007年4月現在のもので、本データが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示などにしたがって運転してください。
- 本ソフトに使用している交通規制データの著作権は、(財)日本交通管理技術協会が有し、弊社は二次的著作物作成の使用実施権を取得しています。
- 本ソフトに使用している交通規制データを無断で複写・複製・加工・変更することはできません。
- 「VICIS」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。

<ご注意>

- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2008年8月、国道、都道府県道についてはおおむね2008年5月までに収集した情報に基づき製作しておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難な場合がありますのでご注意ください。現場の状況を優先して運転してください。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制標識・標示にしたがって運転してください。
- 「市街地図」データは弊社発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 電話番号検索データはタウンページ(2008年7月発行)をもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。
なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。
- VICISリンクデータベースの著作権は、(財)日本デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICISレベル3対応データを収録しております。VICISによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

【VICISに関するお問い合わせ】

(財)道路交通情報通信システムセンター

窓口 : サービスサポートセンター
電話番号 : 0570-00-8831 (全国)
電話受付時間 : 9:30 ~ 17:45 (土曜、日曜、祝日を除く)
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※PHSからはご利用できません。
FAX : 03-3592-5494 (全国)
FAX受付時間 : 24時間

【VICISレベル3対応データ収録エリア】

全国47都道府県

※収録エリアには2009年6月時点でVICISサービスが開始されていないエリアも含まれております。
VICISサービスの開始時期については(財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集した情報をもとに製作しています。

- ・ 高速・有料道路 2008年8月
- ・ 国道・都道府県道 2008年5月
- ・ 交通規制※1 2007年4月
- ・ 住所検索 2008年7月
- ・ 電話番号検索 2008年7月
- ・ 個人宅電話 2008年6月
- ・ ジャンル検索 2008年6月
- ・ 高速・有料料金 2008年5月
- ・ 市街地図 2008年3月

※1 : 交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

【本ソフトについてのお問い合わせ先】

株式会社ゼンリン カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル : 0120-210-616

受付時間 : 10:00 ~ 17:00 月~金(祝日・弊社指定休日は除く)

2009年6月発行

製作・発行/株式会社ゼンリン

©2007.TMT

©2007 財団法人日本デジタル道路地図協会

©2008 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

©2008 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

©2009 ZENRIN CO., LTD.

©ジオ技術研究所

0

1

2

3

4

5

6

7

付
録

■ ソフトウェア使用許諾書

- 本ソフトを株式会社ケンウッドに無断で複写、複製、加工、改変または解析することはできません。
- 本ソフトを有償で第三者に譲渡、レンタル、再使用許諾することはできません。
- 本ソフトを使用、または使用できなかったことによる派生的、付随的、間接的損害については何らの責を負いません。
- 本ソフトを業務用として使用することはできません。
- 本ソフト内容は予告なく変更または改変されることがあります。
- 本ソフトの使用許諾条件は、購入者および使用者、無償で譲り受けた転得者にも適用されます。

■ 施設情報及び個人情報（電話番号）について

- 電話番号検索は、タウンページのデータを使用しています。
- これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
- 本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。

なお、個人情報の削除・掲載・修正に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター（裏表紙）にご連絡ください。

VICISサービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICISの仕組みやサービスエリアなどについて
- 文字情報(レベル1)、簡易図形情報(レベル2)の情報表示について

<問い合わせ先>

(財)VICISセンター

サービスサポートセンター

電話受付時間 9:30～17:45 (但し土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く)
電話番号 0570-00-8831 (ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます)
FAX受付時間 24時間
FAX番号(全国) 03-3592-5494

- VICIS関連商品の機能や使用方法について
- サービスエリア内の受信可否について
- 地図表示(レベル3)の情報表示について

<問い合わせ先>

株式会社ケンウッド

カスタマーサポートセンター

ナビダイヤル 0570-010-114
(一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です)
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8960
FAX 045-450-2287
住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00
土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- VICISの最新情報について

VICISの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。

インターネットURL <http://www.vics.or.jp/>

なお、お問い合わせ先の判断に迷う場合は、(株)ケンウッド・カスタマーサポートセンター(またはお買い上げの販売店)までご連絡ください。

VICSセンターでは、レベル3の情報の収集と提供に、VICSLINK（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICSLINKの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しいVICSLINKによる情報の提供が行われると、変更前のVICSLINKでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSLINKに対しても変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。

0

1

2

3

4

5

6

7

付
録

- VICSLINKの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新についてはケンウッド・カスタマーサポートセンターやお買い上げの販売店にご相談ください。

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第52条の4の規定に基づき、このVICIS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICIS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICIS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICISサービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICISサービス契約

当センターからVICISサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICISサービス契約を締結した者

(4) VICISデスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICISサービスの種類)

第4条 VICISサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICISサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICISサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICISデスクランブラー1台毎に1のVICISサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICISサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。

ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の状況によりVICISサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICISサービスは、VICIS対応FM受信機(VICISデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICISサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICISサービスの種類に対応したVICIS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICISサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICISサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICISデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICISデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

- 第12条 1. 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICISサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICISサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2. 第11条又は第12条の規定により、VICISサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICISサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

付 (料金の支払い義務)

- 録 第13条 加入者は、当センターが提供するVICISサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

- 第14条 当センターは、当センターが提供するVICISサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

- 第15条 1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICISサービスの利用を中止することがあります。
2. 当センターは、前項の規定によりVICISサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

- 第16条 加入者は、当センターが提供するVICISサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

- 第17条 1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICISサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICISサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICISサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2. VICISサービスは、F M放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICISサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICISサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 315円(うち消費税15円)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

株式会社ケンウッド(以下、「ライセンサー」)が提供する本体組み込みソフトウェア(以下、「許諾ソフトウェア」)はライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有し、本契約はこの「許諾ソフトウェア」に関するお客様のご使用条件を定めたものです。

お客様は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この「許諾ソフトウェア」をご使用いただくものと致します。お客様(以下、「使用者」)が「許諾ソフトウェア」を搭載した本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

第1条 (総則)

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ譲渡不能な使用权(第3条第1項に定める例外を除く)を使用者に許諾します。

第2条 (使用权)

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアを本製品で使用する権利をいいます。
2. 使用者は許諾ソフトウェア及び関連書類の一部もしくは全部を複製、複写、修正、追加、翻訳等の改変、もしくは貸与することができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的と否とに関わらずいかなる目的でも頒布、ライセンス、もしくはサブライセンスをすることができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。

第3条 (許諾条件)

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア(その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む)の使用权については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条 (許諾ソフトウェアの権利)

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用权と再許諾権を許諾した原権利者(以下、原権利者)に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用权以外の権利を有しないものとします。

第5条 (ライセンサーの免責)

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用权を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条 (第三者に対する責任)

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条 (秘密保持)

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第8条 (契約の解除)

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条 (許諾ソフトウェアの廃棄)

前条の規定により本契約が解除された場合、使用者は、契約が解除された日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。



0

第10条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権およびその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとします。

1

2

3

4

5

6

7

付
録**第11条（輸出規制）**

1. 許諾ソフトウェア及び関連書類等を日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、本ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。

現在地の設定 (OS 4022) を行ったときに各プリセット番号に登録される放送局は下記のとおりです。
 ※他地域(旅行などのおでかけ先)の放送を受信されたときは、下記のようにならない場合があります。
 割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。また放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、非常に小さい出力で放送されるため受信できるエリアが限定されます。

■ 表のみかた

地域 (都道府県)	徳島	お住まいの地域 プリセット番号
プリセット 番号と放送 局名	3 NHK総合・徳島	放送局名
	2 NHK教育・徳島	
	1 四国放送	

(2008年12月現在)

地域 (都道府県)	北海道(北見)	北海道(帯広)	北海道(釧路)	北海道(旭川)	北海道(札幌)	北海道(室蘭)
プリセット 番号と放送 局名	1 HBC北見	1 HBC帯広	1 HBC釧路	1 HBC旭川	1 HBC札幌	1 HBC室蘭
	2 NHK教育・北見	2 NHK教育・帯広	2 NHK教育・釧路	2 NHK教育・旭川	2 NHK教育・札幌	2 NHK教育・室蘭
	3 NHK総合・北見	3 NHK総合・帯広	3 NHK総合・釧路	3 NHK総合・旭川	3 NHK総合・札幌	3 NHK総合・室蘭
	5 STV北見	5 STV帯広	5 STV釧路	5 STV旭川	5 STV札幌	5 STV室蘭
	6 HTB北見	6 HTB帯広	6 HTB釧路	6 HTB旭川	6 HTB札幌	6 HTB室蘭
	7 TVH北見	7 TVH帯広	7 TVH釧路	7 TVH旭川	7 TVH札幌	7 TVH室蘭
	8 UHB北見	8 UHB帯広	8 UHB釧路	8 UHB旭川	8 UHB札幌	8 UHB室蘭

地域 (都道府県)	北海道(函館)	青森	岩手	宮城	秋田	山形
プリセット 番号と放送 局名	1 HBC函館	1 RAB青森放送	1 NHK総合・盛岡	1 TBCテレビ	1 NHK総合・秋田	1 NHK総合・山形
	2 NHK教育・函館	2 NHK教育・青森	2 NHK教育・盛岡	2 NHK教育・仙台	2 NHK教育・秋田	2 NHK教育・山形
	3 NHK総合・函館	3 NHK総合・青森	4 テレビ岩手	3 NHK総合・仙台	4 ABS秋田放送	4 YBC山形放送
	5 STV函館	5 青森朝日放送	5 岩手朝日テレビ	4 ミヤギテレビ	5 AAB秋田朝日放送	5 YTS山形テレビ
	6 HTB函館	6 ATV青森テレビ	6 HBCテレビ	5 KHB東日本放送	8 AKT秋田テレビ	6 テレビユー山形
	7 TVH函館		8 めんこいテレビ	8 仙台放送		8 さくらんぼテレビ
	8 UHB函館					

地域 (都道府県)	福島	栃木	茨城	群馬	埼玉	千葉
プリセット 番号と放送 局名	1 NHK総合・福島	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・水戸	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京
	2 NHK教育・福島	2 NHK教育・東京				
	4 福島中央テレビ	3 とちぎテレビ	4 日本テレビ	3 群馬テレビ	3 テレ玉	3 チバテレビ
	5 KFB福島放送	4 日本テレビ	5 テレビ朝日	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ
	6 テレビユー福島	5 テレビ朝日	6 TBS	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日
	8 福島テレビ	6 TBS	7 テレビ東京	6 TBS	6 TBS	6 TBS
		7 テレビ東京	8 フジテレビジョン	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京
		8 フジテレビジョン	12 放送大学	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン
		12 放送大学		12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学

地域 (都道府県)	東京	神奈川	山梨	長野	新潟	富山
プリセット 番号と放送 局名	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・甲府	1 NHK総合・長野	1 NHK総合・新潟	1 KNB北日本放送
	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・甲府	2 NHK教育・長野	2 NHK教育・新潟	2 NHK教育・富山
	4 日本テレビ	3 tvk	4 YBS山梨放送	6 SBC信越放送	4 TeNYテレビ新潟	3 NHK総合・富山
	5 テレビ朝日	4 日本テレビ	6 UTY	8 NBS長野放送	5 新潟テレビ21	6 チューリップテレビ
	6 TBS	5 テレビ朝日		4 テレビ信州	6 BSN	8 BBT富山テレビ
	7 テレビ東京	6 TBS		5 abn長野朝日放送	8 NST	
	8 フジテレビジョン	7 テレビ東京				
	9 東京MXテレビ	8 フジテレビジョン				
	12 放送大学	12 放送大学				

0
1
2
3
4
5
6
7

付録



チャンネル一覧

0

1

2

3

4

5

6

7

付録

地域 (都道府県)	石川	福井	静岡	愛知	岐阜	三重
プリセット 番号と放送 局名	1 NHK総合・金沢	1 NHK総合・福井	1 NHK総合・静岡	1 東海テレビ	1 東海テレビ	1 東海テレビ
	2 NHK教育・金沢	2 NHK教育・福井	2 NHK教育・静岡	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・名古屋
	4 テレビ金沢	7 FBCテレビ	4 静岡第一テレビ	3 NHK総合・名古屋	3 NHK総合・岐阜	3 NHK総合・津
	5 北陸朝日放送	8 福井テレビ	5 静岡朝日テレビ	4 中京テレビ	4 中京テレビ	4 中京テレビ
	6 MRO		6 SBS	5 CBC	5 CBC	5 CBC
	8 石川テレビ		8 テレビ静岡	6 メ〜テレ	6 メ〜テレ	6 メ〜テレ
			10 テレビ愛知	8 岐阜テレビ	7 三重テレビ	

地域 (都道府県)	滋賀	京都	奈良	大阪	兵庫	和歌山
プリセット 番号と放送 局名	1 NHK総合・大津	1 NHK総合・京都	1 NHK総合・奈良	1 NHK総合・大阪	1 NHK総合・神戸	1 NHK総合・和歌山
	2 NHK教育・大阪					
	3 BBCびわ湖放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	3 サンテレビ	4 MBS毎日放送
	4 MBS毎日放送	5 KBS京都	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	4 MBS毎日放送	5 テレビ和歌山
	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	8 関西テレビ	7 テレビ大阪	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ
	8 関西テレビ	8 関西テレビ	9 奈良テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	

地域 (都道府県)	香川	徳島	愛媛	高知	岡山	鳥取
プリセット 番号と放送 局名	1 NHK総合・高松	1 四国放送	1 NHK総合・松山	1 NHK総合・高知	1 NHK総合・岡山	1 日本海テレビ
	2 NHK教育・高松	2 NHK教育・徳島	2 NHK教育・松山	2 NHK教育・高知	2 NHK教育・岡山	2 NHK教育・鳥取
	4 西日本テレビ	3 NHK総合・徳島	4 南海放送	4 高知放送	4 西日本テレビ	3 NHK総合・鳥取
	5 KSB瀬戸内海放送		5 愛媛朝日	6 テレビ高知	5 KSB瀬戸内海放送	6 BSSテレビ
	7 RSKテレビ		6 あいテレビ	8 さんさんテレビ	6 RSKテレビ	8 山陰中央テレビ
	7 テレビせとうち		8 テレビ愛媛		7 テレビせとうち	
8 OHKテレビ				8 OHKテレビ		

地域 (都道府県)	島根	広島	山口	福岡	佐賀	長崎
プリセット 番号と放送 局名	1 日本海テレビ	1 NHK総合・広島	1 NHK総合・山口	1 KBC九州朝日放送	1 NHK総合・佐賀	1 NHK総合・長崎
	2 NHK教育・松江	2 NHK教育・広島	2 NHK教育・山口	2 NHK教育・福岡	2 NHK教育・佐賀	2 NHK教育・長崎
	3 NHK総合・松江	3 RCCテレビ	3 TYSテレビ山口	2 NHK教育・北九州	3 STSサガテレビ	3 NBC長崎放送
	6 BSSテレビ	4 広島テレビ	4 KRY山口放送	3 NHK総合・福岡		4 NIB長崎国際テレビ
	8 山陰中央テレビ	5 広島ホームテレビ	5 YAB山口朝日	3 NHK総合・北九州		5 NCC長崎文化放送
		8 TSS		4 RKB毎日放送		8 KTNテレビ長崎
			5 FBS福岡放送			
			7 TVQ九州放送			
			8 TNCテレビ西日本			

地域 (都道府県)	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
プリセット 番号と放送 局名	1 NHK総合・熊本	1 NHK総合・大分	1 NHK総合・宮崎	1 MBC南日本放送	1 NHK総合・那覇
	2 NHK教育・熊本	2 NHK教育・大分	2 NHK教育・宮崎	2 NHK教育・鹿児島	2 NHK教育・那覇
	3 RKK熊本放送	3 OBS大分放送	3 UMKテレビ宮崎	3 NHK総合・鹿児島	3 RBCテレビ
	4 KKTくまもと県民	4 TOSテレビ大分	6 MRT宮崎放送	4 KYT鹿児島讀賣TV	5 QAB琉球朝日放送
	5 KAB熊本朝日放送	5 OAB大分朝日放送		5 KKB鹿児島放送	8 沖縄テレビ(O-TV)
	8 TKUテレビ熊本			8 KTS鹿児島テレビ	

コード	言語
aa	アフサル語
ab	アブバジア語
ae	アヴェスタ語
af	アフリカーンス語
ak	アカン語
am	アムハラ語
an	アラゴン語
ar	アラビア語
as	アッサム語
av	アヴァル語
ay	アイマラ語
az	アゼルバイジャン語
ba	バシキール語
be	ベラルーシ語
bg	ブルガリア語
bh	ビハーリー語
bi	ビスラマ語
bm	バンバラ語
bn	ベンガル語、バングラ語
bo	チベット語
br	ブルトン語
bs	ボスニア語
ca	カタロニア語
ce	チェチェン語
ch	チャモロ語
co	コルシカ語
cr	クリー語
cs	チェコ語
cu	教会スラブ語
cv	チュヴァシ語
cy	ウェールズ語
da	デンマーク語
de	ドイツ語
dv	ディベヒ語
dz	ブータン語
ee	エウェ語
el	ギリシャ語
en	英語
eo	エスペラント語
es	スペイン語

コード	言語
et	エストニア語
eu	バスク語
fa	ペルシャ語
ff	フラ語
fi	フィンランド語
fj	フィジー語
fo	フェロー語
fr	フランス語
fy	フリジア語
ga	アイルランド語
gd	スコットランドゲール語
gl	ガルシア語
gn	グアラニ語
gu	グジャラート語
gv	マン島語
ha	ハウサ語
he	ヘブライ語
hi	ヒンディー語
ho	ヒリ・モツ語
hr	クロアチア語
ht	ハイチ語
hu	ハンガリー語
hy	アルメニア語
hz	ヘレロ語
ia	国際語
id	インドネシア語
ie	国際語
ig	イボ語
ii	四川語
ik	イヌピアック語
io	イド語
is	アイスランド語
it	イタリア語
iu	イヌイット語
ja	日本語
jv	ジャワ語
ka	グルジア語
kg	コンゴ語
ki	キクユ語
kj	クワンヤマ語

コード	言語
kk	カザフ語
kl	グリーンランド語
km	カンボジア語
kn	カンナダ語
ko	韓国語
kr	カヌリ語
ks	カシミール語
ku	クルド語
kv	コミ語
kw	コーンウォール語
ky	キルギス語
la	ラテン語
lb	ルクセンブルク語
lg	ガンダ語
li	リグリア語
ln	リンガラ語
lo	ラオス語
lt	リトアニア語
lu	ルバ語
lv	ラトビア語、レット語
mg	マダガスカル語
mh	マーシャル語
mi	マオリ語
mk	マケドニア語
ml	マラヤーラム語
mn	モンゴル語
mo	モルダビア語
mr	マラータ語
ms	マレー語
mt	マルタ語
my	ミャンマー語
na	ナウル語
nb	ブークモール語
nd	北ンデベレ語
ne	ネパール語
ng	ンドンガ語
nl	オランダ語
nn	ニューノルスク語
no	ノルウェー語
nr	南ンデベレ語



0

1

2

3

4

5

6

7

付
録

コード	言語	コード	言語
nv	ナヴァホ語	tk	トゥルクメン語
ny	ニャンジャ語	tl	タガログ語
oc	プロバンス語	tn	セツワナ語
oj	オジブワ語	to	トンガ語
om	(アフアン) オロモ語	tr	トルコ語
or	オリヤー語	ts	ツォンガ語
os	オセト語	tt	タタール語
pa	パンジャブ語	tw	トウィ語
pi	パーリ語	ty	タヒチ語
pl	ポーランド語	ug	ウイグル語
ps	バシュトー語	uk	ウクライナ語
pt	ポルトガル語	ur	ウルドゥー語
qu	ケチュア語	uz	ウズベク語
rm	ラエティ=ロマン語	ve	ベンダ語
rn	キルンディ語	vi	ベトナム語
ro	ルーマニア語	vo	ボラビュク語
ru	ロシア語	wa	ワロン語
rw	キニヤルワンダ語	wo	ウォロフ語
sa	サンスクリット語	xh	コーサ語
sc	サルディニア語	yi	イディッシュ語
sd	シンド語	yo	ヨルバ語
se	北サミ語	za	チワン語
sg	サンゴ語	zh	中国語
si	シンハラ語	zu	ズール語
sk	スロバキア語		
sl	スロベニア語		
sm	サモア語		
sn	ショナ語		
so	ソマリ語		
sq	アルバニア語		
sr	セルビア語		
ss	シスワティ語		
st	セストゥ語		
su	スンダ語		
sv	スウェーデン語		
sw	スワヒリ語		
ta	タミール語		
te	テルグ語		
tg	タジク語		
th	タイ語		
ti	ティグリニャ語		

本機でプレイできるAVファイルに関する注意事項を説明します。

本機でプレイできるAVファイルは次のとおりです。

- MP3ファイル
- WMAファイル
- AACファイル
- MPEGファイル
- DivXファイル
- JPEGファイル
- BMPファイル
- GIFファイル
- PNGファイル

(1) MP3ファイル

本機でプレイできるMP3ファイルは、MPEG 1 Audio Layer 3、MPEG 2 Audio LSF Layer 3規格のもので、

- 拡張子：“mp3”
- サンプル周波数：8、11.025、16、22.05、24、32、44.1、48kHz
ただし、USB機器または内蔵HDD以外では、32、44.1、48kHzのみが使用可能です。
- ビットレート：8～320kbps(可変ビットレート (VBR) 対応)

(2) WMAファイル

本機でプレイできるWMAファイルは、以下のフォーマットのもので、

- 拡張子：“wma”
- Windows Media® Audio 準拠
- サンプル周波数：32、44.1、48 kHz
- ビットレート：48～160 kbps(可変ビットレート (VBR) 対応)

Windows Media® Player 9 以上のProfessional、Lossless、Voiceには対応していません。

(3) AACファイル

本機でプレイできるAACファイルは、以下のフォーマットのもので、

- 拡張子：“m4a”、“aac”
- サンプル周波数：16～48kHz
- ビットレート：32～320kbps(可変ビットレート (VBR) 対応)

(4) MPEGファイル

本機でプレイできるMPEGファイルは、以下のフォーマットのもので、

- 拡張子：“mpeg”、“mpe”
- ビデオフォーマット：MPEG1、MPEG2
- ピクチャサイズ
MPEG1：352×240(NTSC)
MPEG2：720×480(NTSC)
- 音声フォーマット：MPEG1 Audio Layer 2
- 音声サンプリング周波数：32、44.1、48 kHz
- 音声ビットレート：32～384 kbps(固定ビットレート (CBR) のみ)

USBやHDDによるMPEG再生ファイルのビットレートは2Mbpsまでとなります。

(5) DivXファイル

本機でプレイできるDivXファイルは、以下のフォーマットのもので、

- 拡張子：“divx”、“div”、“avi”
- 映像プロファイル：176×144(15fps)～720×480(30fps)
- 音声フォーマット：MP3(MPEG1 Audio Layer 3、MPEG2 Audio Layer 3)、AC3
- ビットレート：USBやHDDによるDivX再生ファイルのビットレートは2Mbpsまでとなります。

(6) JPEGファイル

本機で表示できるJPEGファイルは、以下のフォーマットのもので、

- 拡張子：“jpg”、“jpeg”、“jpe”
- ピクチャサイズ
2,400(W)×1,800(H)ピクセル(最大*)
- 最大ファイル容量：2,048kB

* 最大ピクセル数を超えた画像は表示されません。

(7) BMPファイル

本機で表示できるBMPファイルは、以下のフォーマットのもので、

- 拡張子：“bmp”
- ピクチャサイズ
2,400(W)×1,800(H)ピクセル(最大*)
- 最大ファイル容量：2,048kB

* 最大ピクセル数を超えた画像は表示されません。

0

(8) GIFファイル

本機で表示できるGIFファイルは、以下のフォーマットのものです。

- 拡張子："gif"
- ピクチャサイズ
2,400(W) × 1,800(H) ピクセル (最大*)
- 最大ファイル容量：2,048kB

* 最大ピクセル数を越えた画像は表示されません。

1

2

3

4

5

6

7

付
録

(9) PNGファイル

本機で表示できるPNGファイルは、以下のフォーマットのものです。

- 拡張子："png"
- ピクチャサイズ
2,400(W) × 1,800(H) ピクセル (最大*)
- 最大ファイル容量：2,048kB

* 最大ピクセル数を越えた画像は表示されません。

(10) ご使用上の注意事項

- AVファイルのフォーマットによっては、本機でプレイ/表示できない場合があります。
- CDとオーディオファイルを1枚のディスクに記録した場合、最初に記録された形式のみが再生可能です。
- USB機器または内蔵HDD内のAVファイルは、破損する場合があります。必ずバックアップを作成しておいてください。
ファイルが失われたことによる損害につきましては、当社は一切補償いたしません。

本機で再生するAVファイルを記録するメディアに関する注意事項を説明します。

(1) 使用できるメディア

使用できるディスク

使用できるオーディオファイルやビジュアルファイルを取録するためのメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWです。ただし、MPEG-2ビデオファイルはDVD（R/RWを含む）に限ります。また、DVDは、“Disc at Once”で書き込んでください。

使用できるUSB機器

本機で使用できるUSB機器は、以下のフォーマットです。

- USB1.1/2.0
- MSC(USBマストレージクラス) 対応品
- 最大消費電流が500mA以下

上記を満たしていないUSB機器は接続しないでください。正しくプレイや転送を行えません。

また、上記を満たしているUSB機器でも、機種や状況によって、正しくプレイや転送を行えない場合があります。

なお、さらに詳細な情報については、http://www.kenwood.co.jp/faq/ce_navi/index.html をご覧ください。

(2) 使用できるフォーマット

ディスクフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

- ISO 9660 Level 1
- ISO 9660 Level 2
- Joliet

使用できる文字は、ライティングソフトの説明書および下記「(4)ファイル名とフォルダ名の入力」をご覧ください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数：255
- 最大フォルダ数：254
- 最大ファイルパス：128文字（ただし、データによっては64文字）

前記のフォーマット以外で書き込まれたオーディオファイルやビジュアルファイルは、正常に再生されなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

USB機器のフォーマット

本機で使用できるUSB機器は、以下のフォーマットです。

- FAT32またはFAT16

ただし、本機で再生できるUSB機器には以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数：255
- 最大フォルダ数：512
- 最大ファイル数：15,000
- 最大フォルダ名：64文字
- 最大ファイル名：128文字（ただし、データによっては64文字）
- 最大ファイルパス：255文字（ただし、データによっては64文字）

(3) 圧縮ソフトとライティングソフトの設定

オーディオファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は“128kbps”の“固定”を推奨します。

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

(4) ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数字、カナ文字、または日本語で入力できます。これら以外の文字で入力されたファイル名およびフォルダ名は、正常に表示されません。また、使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

また、オーディオファイルやビジュアルファイルと認識された再生されるファイルは、“mp3”、“wma”、“m4a” (“*.aac”)、“mpg” (“*.mpeg”)、“divx” (“div”、“avi”)、“jpg” (“jpeg”、“*.jpe”)、“bmp”、“gif”、または“png”の拡張子が付いたものだけです。各形式のファイルには、正しく拡張子を付けてください。

なお、本機で表示できる文字数はファイル名によって異なります。



禁止

MP3/WMA/AACファイル以外に“mp3”などの拡張子を付けると、MP3/WMA/AACファイルと誤認識して再生されてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。

MP3/WMA/AACファイル以外に、“mp3”、“wma”、または“m4a”拡張子を付けなくてください。



(5) ID3/WMA Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x、2.2、2.3、または2.4規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字種は英数文字、カタカナ、日本語(シフトJIS)です。

(6) メディアに収録するファイルについて

本機での再生に使用するディスクやUSB機器には、オーディオファイルまたはビジュアルファイル以外のファイルは保存しないでください。

オーディオファイルやビジュアルファイルが収録されているメディアを挿入/接続すると、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。このため、再生するメディアに多くのフォルダやオーディオファイルやビジュアルファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで長時間必要になります。

また、次のオーディオファイルやビジュアルファイルの再生に移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

(7) 著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。

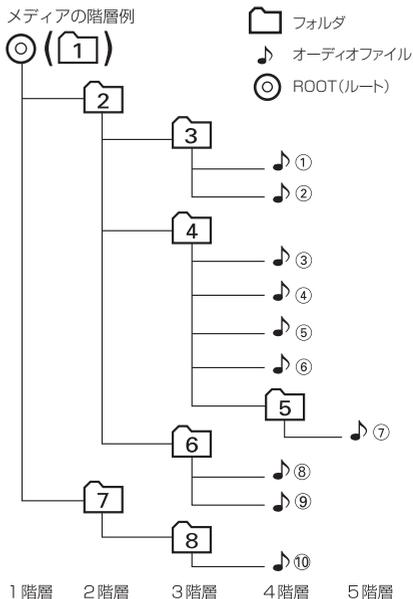
個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権者の許諾を得ずに複製(録音)、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

(8) AVファイルをプレイする順番

プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ディスクではライティングソフトで書き込まれた順番、USB機器ではファイル名の昇順です。このため、再生されると予想していた順番と実際に再生される順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”~“99”などとファイル名の頭に再生する順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、再生する順番を設定することがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は、次のようになります。



♪④再生中にファイルサーチを行うと…

♪④の最初 → ♪③	♪⑤ → ♪⑥

♪④再生中にフォルダサーチを行うと…

⑤ → ⑥ → ⑧ → ③	③ → ⑧ …

(9) ご使用上の注意事項

- 本機にはUSB機器は付属していません。別途、市販品をご購入ください。
- 本機でプレイまたは本機に転送するオーディオデータは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ自体で、データが破壊される場合があります。
- USBケーブルを延長する場合は、CA-U1EX（別売品）をご使用ください。USB規格以外のケーブルを使用したり、総延長が5mを超えると、USB機器が正常に動作しなくなる場合があります。
- USB機器は、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、USB機器の変形や故障の原因になります。
- 使用するUSB機器がUSBマストレージクラス規格に対応しているかは、USB機器の販売メーカーにお問い合わせください。
- USBハブを介してUSB機器を認識させることはできません。
- リセットキーを押す前にUSB機器を取り外してください。USB機器を接続したままリセットキーを押すと、USB機器のデータが破損する場合があります。

0

1

2

3

4

5

6

付
録

7

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。
解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

共通

症状	考えられる原因	対処方法
本機が動作しない。	本機の温度が低い。	冬季などに本機の温度が下がると、保護機能が働いて作動しなくなる場合があります。周囲の温度が上がれば、保護機能が解除され通常動作に戻ります。
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	入力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
	セキュリティコードが設定されている。	設定したセキュリティコードを入力してください。☎ 6003 (セキュリティコード設定)
走行していないのに、急にルート案内が始まった。	店頭デモがオンになっている。	接続確認画面で店頭デモをオフにしてください。☎ 6008
画面にタッチしても反応しない。	タッチ位置がズレている。	タッチ位置の補正をしてください。☎ 6003 (タッチパネル)
モニター画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。☎ 6024
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト、明るさを調整してください。☎ 6024
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。☎ 6024
映像がギザギザに表示される。	—	ワイド画面特有の現象です。故障ではありません。
リアビューカメラに切り替わらない。	リアビューカメラが正しく接続されていない。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
	リアビューカメラの設定が"OFF"になっている。	リアビューカメラの設定を[ON]にしてください。☎ 6003 (カメラ設定)
音が出ない/音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。☎ 5008

症状	考えられる原因	対処方法
操作キーを押しても動作しない。	—	リセットキーを押してください。 ☎ 0003
音質が悪い(音がひずむ)。	音量が大きすぎる。 スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。 スピーカーの配線が間違っている。	音量を適正に調整してください。 スピーカーの配線を確認してください。 スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。
ボタンのイルミネーション色がすべて同じにならない。	ユーザー色設定をした色になっている。	ユーザー色設定した場合、設定した色により、バラツキが発生する場合があります。

ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
地図の向きを変更できない。	3Dの表示中は、地図の向きを変更できません。	2D表示にしてから(2006)、地図の向きを変更してください。☎ 2001
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	表示できる最も詳細なスケールで使用してください。
ルート探索の結果が消去された。	[案内開始]にタッチする前に、[もどる]を選択したり、電源がオフになった。	目的地や通過点は保持されていますので、ルート探索をなおしてください。 ☎ 3027
テナント情報が表示されない。	地図のスケールが不適切。	テナント情報を表示する場合は、50m以下の市街地図に切り替えてください。
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。 ランドマークを6種類以上表示させようとしている。	ランドマーク情報が表示されるのは200m以下(3Dランドマークの場合は800m以下)のスケールです。 表示できるランドマークは5種類までです。
メモリ地点を登録できない。	すでに100か所登録されている。	不要なメモリ地点を消去してください。 ☎ 3044
通過点を設定できない。	すでに5か所が設定されている。	不要な通過点を消去してください。 ☎ 3029
50音検索時に漢字が入力できない。	—	ひらがなで入力してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。
4種類のルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で戸建番号を指定できない。	地域によっては戸建番号を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。



0

1

2

3

4

5

6

7

付
録

症状	考えられる原因	対処方法
ルート探索したが目的地が[過去目的地]に記憶されていない。	目的地に到着していない。 目的地に到着したのが、最近の20か所よりも古い。	到着していない目的地は、過去目的地として[過去目的地]に記憶されません。 過去目的地として記憶されるのは、20か所までです。
緯度経度検索で位置がずれる。	世界測地系(日本測地系2000)に対応した緯度経度を入力した。	日本測地系に対応した緯度経度を入力してください。
自転車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y字路等を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。 GPSの測位誤差。	しばらく走行すると正しい位置に表示されます。 4個以上のGPS衛星からの電波を受信できている状態で、現在地は3D測位(三次元測位)されます。3個のGPS衛星からの電波しか受信できないときは、2D測位(二次元測位)されます。この状態では、3D測位(三次元測位)時よりも誤差は大きくなります。2個以下のGPS衛星からの電波しか受信できないときは測位できません。
自転車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図(50m~10mスケール)を表示している。	市街地図のまま走行すると、地図データ等の誤差により道路外に表示されてしまう場合があります。
自転車マークの方向が実際と異なる。	本機の電源がオフのときに車両の向きが変わった。	しばらく走行すると、正しい方向に表示されます。
VICSの地図表示情報(レベル3)が表示されない。	地図のスケールが不適切。 —	VICSの地図表示情報(レベル3)を表示できるのは、50m(線図)以上800m以下のスケールです。 VICSの受信状態が悪い場合は、表示できません。
車速断線のメッセージが表示される。	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
VICS情報が割込表示されない。	割込表示がオフに設定されている。 ビーコンアンテナが接続されていない。	VICS設定画面で、割込表示を[ON]に設定してください。☞ 6025 光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99(別売品)を接続してください。
VICS情報表示画面にVICS情報を表示できない。	VICS局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください。 ☞ 3039
最適時間考慮をオンに設定しているが、渋滞している道路が回避されない。	他の道路よりも、現在のルート上の道路を通るほうが渋滞していても早い。 ビーコンアンテナが接続されていない。	最適時間考慮は、渋滞道路を回避するのではなく、渋滞を考慮に入れた上で最短時間になるように探索されます。 光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99(別売品)を接続してください。
	現在提供されているVICS情報が少なく、別のルートが探索できない。	—

症状	考えられる原因	対処方法
夜地図色が表示されない。	「昼固定」に設定されている。	「自動」に設定してください。  6003
	イルミネーションコードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、正しく接続してください。
音声ガイドされない。	音量が0に設定されている。	ナビの音量を調整してください。  2001
[メモリ地点]または[メモリ地点編集]を選択できない。	メモリ地点を1件も登録していない。	メモリ地点を登録してください。  3018
[過去目的地編集]を選択できない。	目的地に到着していない。	過去目的地が登録されてから操作してください。
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	NAVI を押してナビモードに切り替えてください。
	画面がオフになっている。	SRG 、 AV 、 MENU 、または NAVI を押してください。
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きが進行方向に設定されている。	進行方向上に設定すると、地図を回転して進行方向を常に上方向に表示します。
自転車マークの位置が実際と異なる。	GPSアンテナの設置場所が悪い。	GPSアンテナの設置場所を確認して、アンテナの設置場所を変更してください。
	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
	ナビゲーション本体がしっかりと固定されていない。	お買い上げの販売店で、ナビ本体をしっかり取り付けをなおしてください。
	タイヤ交換などを行った。	タイヤ交換などを行った場合は、パルスの学習状態をリセットしてください。  6008
自転車位置が移動しても、地図画面が変わらない。	スクロール地図画面を表示している。	スクロール地図画面を表示中は、自転車位置が移動しても、スクロールした地図を表示し続けます。自転車位置を表示させる場合は、 NAVI を押してください。
音声案内をしない。	細街路(幅員5.5m以下の道路)を走行中やルートから外れている。	細街路を走行中やルートから外れている場合は、音声案内を行いません。
実際の道路と案内が違う。ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。また、目印となるランドマークを省略して表示する場合があります。
遠回りなルートを探索する。	細い道や整備されていない道路の近くにいる。	大きな道路や整備されている道路を優先して探索するため、遠回りなルートを探索する場合があります。
入口/出口IC付近で拡大図(3D/2D)表示が表示されない。	高速道路を使うルートがひかれていない。	入口/出口IC付近で拡大図(3D/2D)表示するのは、高速道路を使うルートが探索されている場合です。

0

1

2

3

4

5

6

付
録

7



0

1

2

3

4

5

6

7

付録

症状	考えられる原因	対処方法
交差点名称などの固有名称が聞き取りづらい。	—	交差点名称などの固有名称は素片合成処理を行っているため、聞き取りにくい場合があります。
「メモリ地点」のリストが50音順に並ばない。	メモリ地点の名称に読み仮名を付けていない。	メモリ地点の名称に読み仮名を付けてください。  3045
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状況により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
ランクメニューに何も登録されていない。	—	ランキングショートカットボタンには、よく使われる機能が登録されます。登録したいメニューを何度か使用してください。
自宅ボタンや地図の拡大縮小ボタンが表示されない。	くるくるボタンがナビになっていない。	くるくるボタンでナビを選択してナビの操作ボタンを表示させてください。  2001
地点の詳細情報が表示されない。	市街地図 (50m~10mスケール) 以外を表示している。	詳細情報は市街地図を表示中にのみ表示されます。
ルート案内時にレーン案内が表示されない。	「道路情報表示」を[OFF]に設定している。	「道路情報表示」を[ON]に設定してください。  6003
案内音声が小さい。	—	ナビ音量を大きくしてください。  2001
フェリー航路を走行するシミュレーションが表示されない。	—	デモ走行では、フェリー航路の走行を省略します。
音声案内の割り込みが行われない。	ナビ音声割込を[OFF]に設定している。 ナビ音声時オーディオ音量ダウンを[OFF]に設定している。	「音声案内割込」を[ON]に設定してください。  6003 「音声案内時のオーディオATT」を[全スピーカー]または[フロントスピーカー]に設定してください。  6003
ナビメニューの「ルート確認/編集」が選択できない。	ルートが探索されていない。	ドライブプランはルート探索が行われている場合に選択できます。
車速パルスの学習が完了しない。	車速パルスの設定が正しくない。 車速検出コードが接続されていない。	車速パルスは通常は[オート]に設定してください。ただし、車種により[アナログ]または[デジタル]に設定する場合があります。  6003 (車速パルス) お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。

AV機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	入出力ケーブルなどの接続が間違っている。	お買上げの販売店で、接続を確認してください。
キーを押しても動作しない。	—	リセットキーを押してください。  0003
音質が悪い(音がひずむ)。音量が大きすぎる。	—	音量を適正に調整してください。
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。
映像が乱れる。	コードやケーブルが干渉している。	モニターの配線の時は、コードやケーブルを束ねないようにしてください。
ラジオで自動選局(オートプリセット)ができない。	電波の状況がよくない。	手動で選局してください。
現在地図画面にAVソースの操作ボタンが表示されない。	くるくるボタンがAVソースになっていない。	くるくるボタンで選択したAVソースの操作ボタンを表示させてください。  2004

0

1

2

3

4

5

6

付
録

7



ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクをプレイできない。	ディスクが入っていない。	プレイするディスクを入れてください。
ディスクが入らない。	すでにディスクが入っている。	入っているディスクを取り出してから入れてください。
ディスクのプレイ中に振動で映像や音が切れる。	取り付け角度が±20°を超えている。	±20°以内になるように取り付けしなおしてください。
	取り付けが不安定になっている。	しっかりと取り付けなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合やディスクの同じところで音飛びする場合は、ディスクに原因があります。
ディスクをプレイできない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れなおしてください。
	ディスクが異常に汚れている。	イジェクトキーを押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	イジェクトキーを押してディスクを取り出し、しばらく放置(約1時間)してから使用してください。
	ディスクが内部的に検出されていない。	イジェクトキーを押してディスクを取り出し、再度ディスクを挿入してください。
映像が乱れる。	早送り/早戻ししている。	多少乱れることがありますが、故障ではありません。
音声言語/字幕言語/アングルが切り替わらない/優先言語にならない。	複数の言語/字幕/アングルが記録されていない。	ディスクメニューで切り替えられる場合がありますので、ディスクのマニュアルをご覧ください。
DVDをプレイできない。	視聴制限がされている。	視聴制限を解除、または規制レベルを変更してください。D3 6012
選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない。	ランダムプレイがオンになっている。	ランダムプレイをオフにしてください。
同じ曲を繰り返し再生するだけで、次の曲に進まない。	トラックリピートプレイがオンになっている。	トラックリピートプレイをオフにしてください。
曲の先頭しか再生されない。	スキャンプレイがオンになっている。	スキャンプレイをオフにしてください。
曲が順に再生されない。	ランダムプレイがオンになっている。	ランダムプレイをオフにしてください。
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	ディスクが取り出されるまでイジェクトキーを押し続けてください。

0

1

2

3

4

5

6

7

付録

症状	考えられる原因	対処方法
CD-R、CD-RWが再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーのマニュアルをご覧ください。
VRモードで録画されたDVD-VRが再生できない。	DVD+R/+RWで録画している。	DVD-R、DVD-RWで録画してください。
リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない。	ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。	各機能をボタンでオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。
ディスクを取り出せない。	車両のACCスイッチをオフしてから10分以上経過している。	ACCスイッチをオフしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。
映像が映らない。	走行中、またはナビ画面を表示中。	走行中、またはナビ画面を表示中は映像を見ることはできません。
DVDの視聴制限を解除できない。	パスワードが間違っている。	正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れた場合は、リセットキーを押すと視聴制限とそのパスワードは、お買い上げ時の状態に戻ります。
DVDの禁止マーク“⊗”が画面に表示されて、操作ができない。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されません。禁止マークの表示中は操作はできません。
映像が途中で停止し、操作ができない。	ディスクプレイ中にデータが読み取れなくなった。	イジェクトキーを押してディスクを取り出し、ディスクに傷や汚れがないか確認してください。
画面モードで設定した比率にならない。	ディスクにより比率が固定されています。	比率の変更はできません。
視聴制限を設定しているのに、再生が制限されない。	—	ディスクにより視聴制限をかけられない場合があります。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できません。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。
CDのタイトルが表示されない。	楽曲データベースに情報がありません。	楽曲データベースを更新してください。 U3S 6013

0

1

2

3

4

5

6

付録

7



ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルをプレイできない。	ISO9660 level 1/2またはJolietに準拠して記録されていない。 ファイルに拡張子が付いてない。	ISO9660 level 1/2またはJolietに準拠したディスクを使用してください。 正しい拡張子を付けてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	イジェクトキーを押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ファイルをプレイ中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	イジェクトキーを押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
MP3ファイルをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる。	MP3ファイル以外のファイルに“.mp3”拡張子が付いている。	MP3ファイル以外のファイルに付いている“.mp3”拡張子を消去してください。
WMAファイルをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる。	WMAファイル以外のファイルに“.wma”拡張子が付いている。	WMAファイル以外のファイルに付いている“.wma”拡張子を消去してください。
フォルダ名/ファイル名が正しく表示されない。	ISO9660 level 1/2またはJolietに準拠して記録されていない。 ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。	ISO9660 level 1/2またはJolietに準拠したディスクを使用してください。 ライティングソフトのマニュアルをご覧ください。のうえ、使用できる文字で記録してください。
演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない。	MP3/WMAファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがある。	—
ファイルのプレイが始まるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。
ファイルが順番どおりにプレイされない。	プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかった。	ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”~“99”などと入力してから書き込むことで、順番を設定できる場合もあります。
ID3 Tag情報が正しく表示されない。	対応していないID3 Tagで記録されている。	ID3 Tagをv1.x、2.2、2.3または2.4に準拠して記録してください。
CD-RWに記録したファイルをプレイできない。	CD-RWのフォーマットを簡易フォーマットで行った。	CD-RWをフォーマットするときは、フルフォーマットで行ってください。
ファイルサーチできない。	最初の曲で前の曲へ、最後の曲で先の曲へファイルサーチしようとした。	フォルダリピート中などを除き、最初の曲から最後の曲へ、最後の曲から最初の曲へはファイルサーチできません。

0

1

2

3

4

5

6

7

付録

地デジ

症状	考えられる原因	対処方法
映像も音声も出ない。	取付方法が不適切。	お買い上げの販売店にご相談ください。
音声は出るが、映像が映らない。	走行中。	走行中は地上デジタルテレビ放送の映像は映りません。安全な場所に駐車してお楽しみください。
映像が乱れる。 映像が止まる。 音声が途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	見通しのいい場所に移動してください。 ワンセグに切り替えてください。 P.337 4006
	ワンセグ/12セグを切り替えた。	受信モードの切替時に映像等の乱れが発生する場合がありますが、故障ではありません。
選局操作していないのに、番組が切り替わる。	移動したので、今まで見ていた番組(放送局)を受信できなくなり、同じ物理チャンネルで放送されている番組(放送局)を受信した。	故障ではありません。
何も受信できない。	アンテナが正しく接続されていない。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	スキャンされていない。	かんたんセットアップを行ってください。 P.337 4005
		現在地を設定してください。P.337 4022 スキャンしなおしてください。P.337 4036
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—
	字幕がオフに設定されている。	字幕を表示するように切り替えてください。 P.337 4006
データ放送画面の表示に時間がかかる。	受信環境やデータの受信状況によっては、データ取得のために、データ放送画面の表示に時間がかかる場合があります。	故障ではありません。
操作音が鳴らない。	操作音がオフに設定されている。	オンに変更してください。P.337 4030
ビープ音がオフにならない。	ビープ音が放送局から送出されている。	本機側ではオフにはできません。
地上デジタル放送が受信できない。	車の場所が、地上デジタルテレビ放送の放送エリアではない。 地上デジタルテレビ放送は、現在のアナログテレビ放送との混信を避けるために受信エリアが限られています。また、受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	付属のアンテナを使用していない。	取付説明書を参照して、付属のアンテナを正しく接続してください。
	使用しているチャンネルリストが車の場所のエリアの放送チャンネルと合っていない。	再度、チャンネルをスキャンしてください。P.337 4036



0

iPod

1

2

3

4

5

6

7

付録

症状	考えられる原因	対処方法
iPodが認識されない。	別売品のiPod接続ケーブル (KNA-i909) が正しく接続されていないか、iPodが正しく動作していない。	別売品のiPod接続ケーブル (KNA-i909) を接続してください。それでもiPodが認識されない場合は、iPodをリセットしてください。
	iPodのソフトウェアバージョンが古い。	iPodを最新のソフトウェアにバージョンアップしてください。
iPodをコントロールできない。	iPodにヘッドフォンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPodを本体から取り外し、iPodからすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
レスポンスが悪くなった。	1つのカテゴリ内の曲数が多い。	1つのカテゴリ内の曲数が増えると、レスポンスが悪くなる場合があります。特に、曲数が多くシャッフルをオンにしていると、iPodの動作自体の反応が悪くなる場合があります。
iPodの曲をプレイできない。	コネクタが正しく接続されていない。	カチッと音がするまでしっかり接続してください。
曲再生の音が途切れる。	iPodの取り付けが不安定で、振動により音飛びしている。	走行中にiPodが転がらないよう、車内にしっかりと取り付けしなおしてください。
音が歪む。	iPodのEQ機能 (イコライザー機能) がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPodの再生を停止することをお勧めします。
iPodの充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。
ナビゲーションシステムに接続すると、iPodの操作ができなくなる。	—	本機と接続中は、iPodの操作はナビゲーションシステム側から行ってください。
「すべて」 (例：アーティストのアルバムすべて) がリスト中に表示されない。	本機では「すべて」で再生開始することができない。	アルバムやアーティストの名前の右側にある再生ボタンにて、そのカテゴリに属する曲をすべて再生することができます。

USB

症状	考えられる原因	対処方法
USB機器を認識しない。	USBコネクタが正しく接続されていない。	USB機器やUSBケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB延長ケーブルが長い場合、データの品質が悪くなっている。	USB延長ケーブルを使用しない接続をしてください。
USB機器のオーディオファイルが再生できない。	オーディオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください。  7013

HDD

症状	考えられる原因	対処方法
プレイが始まらない。	楽曲データベースにアクセス中です。	楽曲情報を取得してからプレイされるため、始まるまでに少し時間がかかる場合があります。
曲がディスクやUSBからHDDに転送されない。	HDD内に同一曲があります。	タグ情報を変更して転送してください。または、転送する曲を選択して転送してください。
CDを内蔵HDDに録音できない。	SCMSによるコピー制限がかかっているCDを録音しようとした。	コピー制限がかかっていないCDを使用してください。
内蔵HDDにファイル転送できない。	内蔵HDDが編集集中です。	内蔵HDDの編集処理が終わってから、転送しなおしてください。

付録
7

Bluetoothオーディオ

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetoothオーディオプレーヤーが登録できない。	PINコードが合っていません。	Bluetooth対応オーディオプレーヤーによっては、PINコードが固定されている場合があります。 Bluetooth対応オーディオプレーヤーの取扱説明書にPINコードが記載されている場合は、そのコードを設定してください。 0337 6027 記載されていない場合は“0000”を試してください。
Bluetoothオーディオプレーヤーの音が途切れる。	本機とBluetooth対応オーディオプレーヤーの距離が遠すぎます。 他のBluetooth機器が通信を妨げています。 他のBluetooth機器と通信中です。または、他のプロファイルで通信中です。	Bluetooth対応オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。 他のBluetooth機器の電源をオフにしてください。 または、他のBluetooth機器を遠ざけてください。 たとえば、電話帳のダウンロード中などには、音声途切れる場合があります。

ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
ハンズフリー通話の受話音量が小さい。	音量調整が小さくなっています。	通話中にボリュームキーで調整してください。
リアスピーカーから音が出ない。	ハンズフリー通話中は、リアスピーカーから音は出ません。	ハンズフリー通話が終了すると、もとどおり音が出ます。
着信時に呼び出し音が鳴らない。	携帯電話の機種によっては、着信音がない場合があります。	—



0

1

2

3

4

5

6

7

付
録

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

7

共通

表示	対象ソース	説明	対処方法
本体内部が高温になりました。	—	高温のため装置が動作できません。	本体内部が高温になると、保護回路が働いて再生ができなくなります。車内の温度を下げてしばらくお待ちください。もし、正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ナビ画面のメッセージ

メッセージ	対処
車速パルスの接続を確認してください。 車速パルスの断線が発生しました。	車速パルスの接続を確認してください。確認後、自車の動作がおかしい場合は、パルスリセットを行ってください。
GPSアンテナが外れています。 GPSアンテナがショートしています。	GPSアンテナの接続を確認してください。

AV画面のメッセージ

表示	対象ソース	説明	対処方法
ディスクが読めません。	DVD/CD/ 圧縮ファイル	読み込み不可のディスク、ディスクのアクセスエラーです。	正しいファイルを再生してください。
	DVD/CD	ディスク (DVD、CD) の形式が不明です。	
エラーが発生しました。	DVD/CD/ 圧縮ファイル	装置の異常です。	本機のリセットキーを押してください。☎ 0003 正常な使用で繰り返し発生する場合はお近くのケンウッドサービス窓口にご相談ください。
	DVD/CD/ 圧縮ファイル	その他のエラーが発生しました。	

地デジのメッセージ

メッセージ	考えられる原因	対処方法
地デジ用アンテナでショートが発生しました。 接続を確認してください。	付属のフィルムアンテナが正しく接続されていないか、外れている。 アンテナ不良。	お買い上げの販売店、またはケウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。
地デジ用アンテナに問題が発生しました。 地デジ放送は視聴できません。 サービスにお問い合わせください。	アンテナが破損している。	お買い上げの販売店、またはケウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。
信号が受信できません。 【E202】	信号レベルが低い、または信号がない。	受信状態の良い場所で視聴してください。
ワンセグ放送への切替えはできません。	ワンセグがサービスされていません。	12セグを視聴してください。
12セグ放送への切替えはできません。	12セグがサービスされていません。	ワンセグを視聴してください。
データ表示に失敗しました。 【E402】	信号レベルが低い。	受信状態の良い場所で視聴してください。
臨時サービス用のチャンネルですが放送されていません。	放送時間外。	放送時間を確かめて視聴してください。
B-CASカードが挿入されていません。	B-CASカードがセットされていない。	B-CASカードを正しくセットしなおしてください。📺 1005
B-CASカードが正しく挿入されていることを確認してください。	B-CASカードの向きが間違っている。	
このチャンネルは契約されておりません。 カスタマーセンターへご連絡ください。 コード：A103	B-CASカードに設定されている視聴範囲を越えている。 B-CASカードから必要な情報を読み出せない。 その他、B-CASカードで問題が発生した。	(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターへご連絡してください。 0570-000-250
B-CASカードの交換が必要です。 カスタマーセンターへご連絡してください。		
B-CASカードの交換が必要です。 カスタマーセンターへご連絡してください。 コード：6400/6581		
このB-CASカードは使用できません。 カスタマーセンターへご連絡してください。 コード：A102/A1FF		

0

1

2

3

4

5

6

付
録

7



0

1

2

3

4

5

6

7

付
録

メッセージ	考えられる原因	対処方法
このB-CASカードは使用できません。 カスタマーセンターへ連絡してください。 コード：A106/EC01	B-CASカードに設定されている視聴範囲を越えている。 B-CASカードから必要な情報を読み出せない。 その他、B-CASカードで問題が発生した。	(株)ピーエス・コンディショナル アクセスシステムズ カスタマーセンターへ連絡してください。 0570-000-250
このB-CASカードではご覧いただけません。 カスタマーセンターへ連絡してください。 コード：EC02		
このB-CASカードには必要な情報がありません。 カスタマーセンターへ連絡してください。 コード：A103		
現在、エラーが発生しています。 カスタマーセンターへ連絡してください。 コード：A1FE		

ナビ関係の主な用語を解説します。

ここで解説されていない用語は、巻末のキーワードインデックスから説明ページを探すことができます。

GPS

GPSは、Global Positioning System（グローバル・ポジショニング・システム）の略称です。GPSは、米国国防総省が開発運用しているシステムで、3つ以上のGPS衛星から地上に放射される電波を同時に受信して、現在の位置を知ることができます。

VICS

VICSは、Vehicle Information and Communication System（道路交通情報通信システム）の略称です。事故の情報や渋滞状況、駐車場の空き情報などを表示することができます。

オートリルート

ルート案内中に、ドライブルートから外れてしまったとき、自動的にルートを探す機能です。

車速パルス

自動車から出力される信号で、ナビは走行距離の計測に利用しています。

また、車速パルスと本機に内蔵されているジャイロスコープによって、トンネル等のGPS衛星からの電波を受信できないところでも測位できるようになっています。

自転車

本機を取り付けているお客様のお車のことです。

スマートIC

SA/PAIに設置されたETC専用ゲートです。

測位

GPS衛星からの電波を受信して、自転車の位置を算出することです。

3個のGPS衛星からの電波を受信できれば二次元測位できます。また、4個以上のGPS衛星からの電波を受信できれば三次元測位できます。

ドライブルート

ユーザーが設定した行程（通過点1、通過点2…通過点5、目的地）です。

ドライブルートは、ルート案内開始前でも開始後も自由に編集できます。

ドライブルート

ドライブルートに従って本機が探索した道筋です。

ドライブルートは、ユーザーが編集することはできません。

マップマッチング

測位誤差があっても、自転車位置が道路から外れにくくする処理です。

目的地 / 通過点

本機では、6か所までの行き先を設定して、ルート探索/ルート案内できます。6か所の行き先のうち、最後に行く場所を目的地といいます。

通過点は、設定した順に、通過点1、通過点2…通過点5となり、この順に通るようにルート探索されます。

ランドマーク

お店や施設を、地図上で見やすくするためにマークで表した目印です。

AV関係の主な用語を解説します。

ここで解説されていない用語は、巻末のキーワードインデックスから説明ページを探することができます。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略称で、高圧縮かつ高音質が特長の音声圧縮方式です。

本機では、拡張子 "*.m4a" または "*.aac" の付いた AAC ファイルをプレイできます。

B-CAS カード

地上デジタルテレビ放送を受信するために必要な IC カードです。

さらに詳しい情報は、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのホームページ (<http://www.b-cas.co.jp/>) をご覧ください。

DivX (ディビックス)

米国 DivX 社が開発したビデオの圧縮伸張技術です。圧縮率が高い割には画質の劣化が少ないとされています。

DivX ファイルには、字幕やメニューなども含まれているものもあります。

本機では、拡張子 "*.divx"、".div" または ".avi" の付いた DivX ファイルをプレイできます。

DTA

Digital Time Alignment の略。

距離の異なるスピーカーから出た音がリスナーに同時に届いたように聞こえるようにデジタル処理する技術です。  **5003**、**6006**

DRM

Digital Rights Management (デジタル著作権管理) の略で、音楽や映像等のデジタルデータを正当なユーザー以外がコピーや再生することを制限する技術です。

JPEG (ジェーペグ)

規格を作成した組織「Joint Photographic Experts Group」の略称で、もっともポピュラーな静止画圧縮方法のひとつです。

本機では、拡張子 "*.jpg"、".jpeg"、または "*.jpe" の付いた JPEG ファイルをプレイできます。詳しくは「**7012** AV ファイルについて」をご覧ください。

MIX to Rear (ミックストゥーリア)

リアチャンネルにフロントチャンネルの音を漏らすレベルです。

FM/AM 放送の電波の弱いところでは、ステレオとモノラルが頻繁に切り替わり、音が前後 4ch とフロント 2ch のように変わってしまいます。

「MIX to Rear」を 1~4 にすることで、上記のような不自然な音になることを防ぎます。

通常は「OFF」で使用し、電波が弱い際に使用すると効果があります。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer 3」の略称で、DVD などに使用されている画像圧縮方法のうち、音声部分のみの圧縮規格です。

本機では、拡張子 "*.mp3" の付いた MP3 ファイルをプレイできます。詳しくは「**7012** AV ファイルについて」をご覧ください。

MPEG (エムペグ)

規格を作成した組織「Moving Picture Experts Group」の略称で、ビデオ、オーディオ、およびシステムまで含めた国際規格です。

通常は、動画ファイルを指します。

本機では、拡張子 "*.mpeg" または "*.mpe" の付いた MPEG ファイルをプレイできます。詳しくは「**7012** AV ファイルについて」をご覧ください。

MSC (マストレージクラス)

追加プログラムなしで、パソコンに外部記憶装置として認識される USB 機器の規格です。

SRS Circle Surround II (サークルサラウンドツー)

SRS Circle Surround II は、最大 6.1 ch のサラウンド音場を作り出します。CD、MD、AM/FM ラジオ、TV 音声、圧縮ファイル、DVD 等、すべての音源をマルチチャンネルサラウンドで再生できます。さらに、カーオーディオ用の CS Automotive を搭載し、4 つのスピーカーで 5.1 ch に相当する音場を作り出します。

MUSIC：フロントチャンネルのステレオ感を損なわないように配慮されます。

CINEMA：センター(ダイアログ)チャンネルを有効に活用して、映画素材の再現性が重視されます。

SRS WOW

本機では、米国SRS社のWOW回路により、サウンドに大迫力の重低音を付加したり、立体的な音場にして再生することができます。

SRS WOWの効果は、「5006 SRS CS Automotiveを設定する」および「5007 SRS WOW HDのユーザ設定を作成する」で設定することができます。

SRS 3D SPACE：音場の広がりを作ります。

SRS 3D CENTER：ボーカルなどのセンターの音の定位を調整します。

TruBass：原音に含まれている信号からバランスのとれた重低音を再現することができます。

FOCUS：フロントスピーカーの音像の位置を縦方向（上方向）に移動するとともに音の輪郭を調節します。

SRS 3D：奥行き感のある立体的な音場にすることができます。

Definition：高域の音質を改善して明瞭にします。

Supreme

低いビットレート（128kbps以下（サンプリング周波数 44.1kHzまたは48kHz）でエンコードしたときに欠落してしまった高音域を、独自のアルゴリズムで推定・補完する技術です。補完は、圧縮フォーマット（AAC、MP3、WMA）ごとに最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。

ただし、オーディオファイルのフォーマットやエンコード時の設定によっては、本機能の効果がわかりにくい場合もあります。

WMA (Windows Media™ Audio)

「Windows Media™ Audio」の略称で、米国Microsoft社が開発した音声圧縮符号化方式です。

本機では、拡張子「*.wma」の付いたWMAファイルをプレイできます。詳しくは「7012 AVファイルについて」をご覧ください。

アンブレイトサーキット

すべてのスピーカーを本機に接続した外部アンプで鳴らしているときに、本機の内蔵アンプの動作を停止させる機能です。

イコライザー

本機には、プリセットイコライザーとグラフィックイコライザーの2種類のイコライザーが内蔵されています。

プリセットイコライザーは、下記のジャンルに合わせたトーンカーブを設定します。

NATURAL：自然でフラットなサウンドを再現します。

ROCK：スピーディーで力強いアタック音を再現します。

POPS：中高域をメインにしたリズムカルな音を再現します。

EASY：中低域をベースにした味わいの深いサウンドを再現します。

JAZZ：ウッドベースの音階やボーカルの質感を鮮明に再現します。

USER：ユーザーが設定したイコライザーカーブに設定します。

グラフィックイコライザーは、13バンドで±9dBの範囲できめ細かく調整できます。

オーバーサンプリング

通常の音楽CDでは、44.1kHzのサンプリングレートでデジタル化されています。

本機でアナログ信号に戻す際に、音質改善のために、2倍のサンプリングレートを使用しています。

シークモード (チューニングモード)

放送局の探しかたを設定することができます。

オート：放送局を自動的に見つけ出します。

プリセット：メモリーされている放送局を順番に受信します。

マニュアル：1ステップずつ周波数が変わります。

0

1

2

3

4

5

6

付

7

録



0

1

2

3

4

5

6

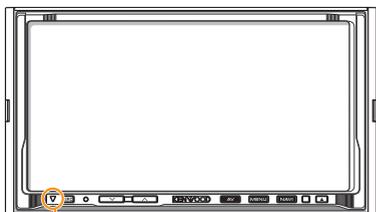
7

付録

セキュリティインジケータ機能

この機能をオンしておくことで、エンジンキーがオフのときにLEDが点滅します。🔊 **6003** (セキュリティインジケータ)

LEDが点滅することにより盗難を抑制する効果があります。



セキュリティインジケータ

タイトル

DVDビデオディスクに記載されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター

DVDビデオディスクにタイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

チャンネル

地デジのチャンネルには、放送周波数と対応する物理チャンネルと、サービスと対応する論理チャンネルがあります。

論理チャンネルは3桁の数字で表され、タッチコントロールまたはリモコンで指定して選局することができます。🔊 **4013**

実際の放送では、ワンセグを除いた12セグメントを使って異なる番組が放送される場合があります。このため、それぞれの領域に論理チャンネルが割り当てられています。

本書では、上記の論理チャンネルを単に「チャンネル」と表記しています。

物理チャンネルは、受信レベルの確認時 **4033** 以外の地デジの操作では意識する必要はありません。

なお、論理チャンネルのチャンネル番号の順番と物理チャンネルのチャンネル番号の順番は対応していません。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラックナンバーと呼びます。

操作音

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように「ピッ」音がする機能です。

押してすぐ離れたときには「ピッ」と鳴ります。うるさく感じたときには、「OFF」に設定することにより消すことができます。🔊 **6003** (操作音)

視聴規制

視聴年齢制限をするためのDVDの機能。DVDにより制限のしかたは異なり、まったく再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生をします。

ナビゲーション部

アンテナ方式	マイクロストリップ平面アンテナ
受信方式	パラレル12チャンネル
受信周波数	1575.42MHz (C/Aコード)
受信感度	-130dBm以下
VICS	3メディア対応 (光・電波：別売、FM多重：内蔵)

モニター部

画面サイズ	7.0V型ワイド 156.2 (幅) × 82.4 (高さ) × 176.6 (対角) mm
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	336,960個 480H×RGB×234V
画素配列	RGBストライプ配列
使用光源 (照明方式)	冷陰極管

オーディオ部

最大出力	50W×4	
定格出力	29W×4 (4Ω、1kHz、10%THD)	
LPF (サブウ ファー出力)	カットオフ周波数	30/40/50/60/70/80/90/100/120/150/180/220/ 250/Through Hz
	スロープ	-12/-18/-24 dB/Oct.
	位相切り替え	Normal、Reverse
HPF (フロント、リア 出力)	カットオフ周波数	30/40/50/60/70/80/90/100/120/150/180/220/ 250/Through Hz
	スロープ	-12/-18/-24 dB/Oct.
グラフィック イコライザー	センター周波数	62.5/100/160/250/400/630/1k/1.6k/2.5k/4k/ 6.3k/10k/16k Hz
	調整幅	±9 dB
プリアウト出力 (フロント RCA×1) (リア/サブウーファー切り替え RCA×1)		
	音量最大入力レベル	2.0Vrms
AV入力端子 (RCA×1)	映像入力レベル	1Vp-p/75Ω
	音声最大入力レベル	2.0Vrms
AV出力端子 (RCA×1)	映像出力レベル	1Vp-p/75Ω
	音声最大出力レベル	1.0Vrms

0 地デジ部

1 受信方式	地上デジタルテレビ放送 (ワンセグ対応)
2 受信チャンネル (UHF)	UHF 13~62ch

3 FMチューナー部

4 受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0MHz~90.0MHz (0.1MHz)
5 実用感度 (S/N : 30dB)	8dBf (0.7 μ V/75 Ω)

6 AMチューナー部

6 受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522kHz~1629kHz (9kHz)
7 実用感度 (S/N : 20dB)	27dB μ V

7 付録

USB I/F部

対応USB	USB1.1/2.0	
ファイルシステム	FAT16/32	
最大供給電流	500mA	
動画フォーマット(MPEG)	MPEG-1、MPEG-2	
動画フォーマット (DivX)	バージョン 最大ビットレート	3.11/4/5 2Mbps
音声フォーマット (MP3)	MPEG-1/-2/-2.5 Audio Layer-3準拠	
音声フォーマット (WMA)	フォーマット バージョン	Windows Media™ Audio準拠 7/8/9
音声フォーマット (AAC)	AAC-LC形式 "m4a" ファイル	

HDD部

転送可能動画フォーマット(MPEG)	MPEG-1、MPEG-2	
転送可能動画 フォーマット (DivX)	バージョン 最大ビットレート	3.11/4/5 2Mbps
転送可能音声フォーマット (MP3)	MPEG-1/-2/2.5 Audio Layer-3準拠	
転送可能音声 フォーマット (WMA)	フォーマット バージョン	Windows Media™ Audio準拠 7/8/9
転送可能音声フォーマット (AAC)	AAC-LC形式 "m4a" ファイル	
転送可能静止画	フォーマット サイズ	JPEG、BMP、GIF、PNG 2400 (W) × 1800 (H) ピクセル以下 / 2MByte以下
転送可能ファイルサイズ	700MByte (700 × 1024 × 1024 Byte)	

DVD/CD部

信号方式	NTSC	
対応ディスク	DVD-VIDEO、DVD-R (VIDEO-MODE/VR-MODE) DVD-RW (VIDEO-MODE/VR-MODE)、 DVD+R,+RW (VIDEO-MODE)、CD-DA、CD-R/RW SACD (CD LAYER ONLY)	
リージョン番号	2	
音声フォーマット	Dolby Digital、DTS、LPCM、CD-DA、DTS-CD MPEG-1/-2/-2.5 Audio Layer 3 (MP3) Windows Media Audio (WMA)、MPEG-2 AAC MPEG-4 AAC	
動画フォーマット (MPEG)	MPEG	MPEG-1、MPEG-2
	DivX	version 3.11/4/5
サンプリング周波数	32kHz/44.1kHz/48kHz	
量子化ビット数	16/20/24bit	
周波数特性	5Hz~44,000Hz (DVD96kHzサンプリング、広帯域モード時)	
S/N比	97dB	
ダイナミックレンジ	95dB	
ステレオセパレーション	90dB	

電源/寸法/重量

電源電圧	14.4V (10.5V~16V)	
最大消費電流	12A	
使用温度範囲	-10~+60℃	
保存温度範囲	-30~+85℃	
本体	外形寸法 (W×H×D)	180mm×100mm×181.5mm
	埋込寸法 (W×H×D)	178mm×100mm×160mm
	重量	2900g
GPSアンテナ	外形寸法 (W×H×D)	30.4mm×11.7mm×35.5mm
	ケーブル長	5m
	重量	110g

TVアンテナ

アンテナ形状	フィルム型
ケーブル長 (アンテナケーブル)	3.5m
アンテナ部 (エレメント外形寸法)	メインアンテナ : 230mm×30mm サブアンテナ : 115mm×35mm
重量 (ケーブル含む)	約135g (メインアンテナ2本+サブアンテナ2本)

0

1

2

3

4

5

6

付
録
7

0

保証について

1

- 保証書 この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より**1年**です。

2

3

4

修理を依頼されるときは

5

「7014 故障かなと思ったら」を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（「7019 ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。）

6

7

付録

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理のために、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。）

技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代：修理に使用した部品代です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

2009年7月末現在

北海道			
札幌サービスセンター	☎004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29	☎(011) 807-3003
東北			
仙台サービスセンター	☎984-0011	仙台市若林区六丁の目西町8-1 (斎喜センタービル1F)	☎(022) 288-3538
関東・信越			
さいたまサービスセンター	☎331-0812	さいたま市北区宮原町1-202	☎(048) 778-8714
千葉サービスセンター	☎277-0081	柏市富里1-2-1	☎(04) 7163-1441
横浜サービスセンター	☎226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
新潟サービスセンター	☎950-0923	新潟市中央区姥ヶ山1-5-37	☎(025) 287-7736
目黒サービスセンター	☎153-0042	目黒区青葉台3-17-9 (ケンウッドビル1F)	
(修理持込専用窓口) 電話でのお問い合わせは、カスタマーサポートセンター(裏表紙をご覧ください)にて承ります。			
中部・甲州			
名古屋サービスセンター	☎481-0041	北名古屋九之坪鴨田121-1	☎(0568) 24-1644
静岡サービスセンター	☎420-0816	静岡市葵区沓谷5-6-1	☎(054) 262-8700
金沢サービスセンター	☎921-8062	金沢市新保本4-65-17	☎(076) 269-2935
近畿・四国			
大阪サービスセンター	☎532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	☎(06) 6390-8005
高松サービスセンター	☎760-0068	高松市松島町3-1	☎(087) 835-2413
中国			
広島サービスセンター	☎731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎(082) 832-2210
九州			
福岡サービスセンター	☎812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 (サンイースト福岡1F)	☎(092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	☎890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10 (パレス鴨池1F)	☎(099) 251-6347
沖縄サービスセンター	☎901-2101	浦添市西原4-36-17 ((株)物流2F)	☎(098) 874-9010

サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間 10:00～18:00 (土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)
(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。)

0

1

2

3

4

5

6

7

付録

ハードキー

AV (AVキー).....	1001
A (イジェクトキー).....	1001
MENU (メニューキー).....	1001
NAVI (ナビキー).....	1001
▲ ▼ (ボリュームキー).....	1001
SRC (ソースキー).....	1001

数字

12セグモード(地デジ).....	4006
1画面表示/2画面表示を切り替える.....	2006、2007、6003
2D/3D表示を切り替える.....	2006、6003
3D表示時の角度を設定する.....	6003
3Dランドマークを表示する.....	6003
50音検索.....	3011

《欧字》

A

AAC.....	7012、7016
AME.....	4002
AREA(ラジオ).....	4002
AV-INへの入力ソースを設定する.....	6003
AVソース.....	1010
AVソースの音声にナビの音声案内を割り込ませる.....	6003
AVソースの音声を切り替える.....	2003
AVソースの音量バランスをそろえる.....	5009
AVソースの音量を調整する.....	1001
AVソースの画面にナビの案内画面を割り込み表示する.....	6003
AVソースの種類.....	1010
AVソースを切り替える.....	1010
AVファイル.....	1006、7012
AVファイルディスク.....	1006
AVファイルの再生順.....	7013
AVファイルを内蔵HDDに転送する.....	4059、6016
AVファイルをプレイする.....	4055
AVモード.....	1009
AVモードに切り替える.....	1009

B

B-CASカード.....	1004、7016
B-CASカード挿入口.....	1001
B-CASカードを入れる/取り出す.....	1005
B-CASカードをテストする.....	4037
BEACON(VICSビーコン).....	6008
Bluetoothオーディオをプレイする.....	4077
Bluetooth機器を登録する.....	6028
Bluetoothの対応プロファイル.....	0003
Bluetoothメニュー.....	6026
BluetoothユニットKCA-BT200(別売品).....	0006、6026
BMP.....	7012
BT(Bluetooth).....	6008

C

CDの録音音質(標準/高音質)を設定する.....	6003
CDメニュー.....	4051
CDを聴く.....	4050
CDを録音する.....	4054

D

Definition.....	5007、7016
DivX.....	7012、7016
DivXの登録コードを表示する.....	6003
DRM.....	7016
DTA(Digital Time Alignment).....	5003、6006、7016
DVD-Video.....	4045
DVD-VR.....	4045
DVD音声の優先言語を設定する.....	6011
DVD拡張操作ボタン.....	4044
DVD基本操作ボタン.....	4043
DVD字幕の優先言語を設定する.....	6011
DVDの言語コード.....	7011
DVDの視聴制限レベルを設定する.....	6012
DVDメニュー.....	4045
DVDメニュー(ディスクメニュー)の優先言語を設定する.....	6011
DVDを観る.....	4042

E

ETCレーン 2010
ETCレーンの表示を設定する 6003

F

FOCUS 5007、7016

G

GIF 7012
GOAL到達度画面 2009
GOALプレート 2009、2013
GOALプレートの表示を設定する 6003
GPS 7015
GPSの受信状態 6008
GPSマーク 2001

H

HDD-musicメニュー 4066
HDD-photoメニュー 4066
HDD-videoメニュー 4066
HDDビデオ操作ボタン 4065
HDDメニュー 4066

I

ILL(イルミネーション) 6008
iPhone 0003
iPod接続ケーブルKNA-i909(別売品) 0006、1008
iPod-musicメニュー 4062
iPod-videoメニュー 4062
iPodのスクリーンサイズ(ワイド/通常)を設定する 6003
iPodビデオ操作ボタン 4061
iPodメニュー 4062
iPodを接続する/取り外す 1008
iPodをプレイする 4060

J

JPEG 7012、7016

K

KENWOOD Music Editor-EX(KME-EX) 6014
KENWOOD Music Editor-EXをダウンロードする 6014

M

MIX to Rear (FRONT) 5006、7016
MP3 7012、7016
MPEG 7012、7016
MSC 7013、7016

P

PinP表示 2006、2008
PinP表示時の子画面の大きさを変える 2008
PinP表示をオン/オフする 2008
PINコードを設定する 6027
PKG(パーキングブレーキ) 6008
PNG 7012
REV(リバース) 6008

S

SA/PAの設備のマーク 2010
SA/PA混雑状況 2010
SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム) 4054
SRS 3D 5007、7016
SRS 3D CENTER 5007
SRS 3D SPACE 5007
SRS Circle Surround II 5006、7016
SRS CS Automotive 5006
SRS WOW 7016
SRS WOW HD 5006
SRS WOW HDのユーザー設定を作成する 5006、5007
Supreme 5010、7016

T

TruBass 5007、7016
TUNERメニュー(FM/AM) 4002

0

1

2

3

4

5

6

7

付
録

U

USB機器.....	1007、	7013
USB機器のフォーマット.....	7013	
USB機器を接続する/取り外す.....	1007	
USBメニュー.....	4057	

V

VICS.....	3034、	7015
VICS FM局の選局方法を切り替える.....	3039	
VICS情報.....	3034	
VICS規制情報(レベル3)の表示の有無を設定する.....	6003	
VICS渋滞情報(レベル3)を表示する 道路種別を設定する.....	6003	
VICS情報の自動表示.....	3035	
VICS情報の種類.....	3034	
VICS情報の提供方法.....	3034	
VICS情報の内容.....	3034	
VICS情報のマーク.....	3035	
VICS情報表示画面.....	3038	
VICS情報ボタン.....	2001	
VICS情報を表示する.....	3037	
VICS駐車場情報(レベル3)の表示の有無を設定する.....	6003	
VICSビーコン情報のAVソースの画面への 割り込み表示を設定する.....	6025	

W

WMA.....	7012、	7016
----------	-------	------

《かな》

あ

圧縮オーディオファイルの音質を補正する.....	5010	
圧縮ファイルメニュー.....	4057	
アルバムアート.....	4066	
アルバムアートの割り込み表示の有無を設定する.....	6003	
アルバムアートを登録する(HDD).....	4075	
アルバム情報を選択しなおす(CD).....	4052	
アルバムランダムプレイ(iPod).....	4062	
アルバムを削除する.....	4074、	6018
アングル(DVD).....	4043	
アングルボタンを表示する(DVD).....	6003	
アンテナを設定する(地デジ).....	4035	
案内開始.....	3017	
案内ポイント.....	2009	
案内ポイント付近での音声案内.....	2012	
案内ポイント付近での画面案内.....	2011	
アンブレリットサーキット.....	7016	
アンブレリットサーキットを設定する.....	6003	

い

行き先の順番を変更する.....	3028
行き先の場所を変更する.....	3027
行き先を削除する.....	3029
イコライザー.....	7016
一般道でのルート案内.....	2009
いろいろな地点検索.....	3003

え

影響を受けたアーティスト.....	4067
映像プロフィール.....	7012
エリア固定モード(VICS FM).....	3039
エリアモード(ラジオ).....	4002

お

オーディオファイル.....	1006
オーディオファイルディスク.....	1006
オーディオブックの読み上げ速度を調整する.....	4062
オートアンテナの有無を設定する.....	6003
オートアンテナをしまう.....	1010

オートアンテナを伸ばす	1010
オートプリセットする(ラジオ).....	4002
オートリルート.....	2014、7015
オーバーサンプリング	5006、7016
親画面	2007
音声案内時にAVソースの音量を下げる	6003
音声案内の読み上げ速度を設定する	6003
音声出力場所	6029
音声の言語(DVD)	4045
音声フォーマット.....	7012
音声呼出音	6029

か

カーソル	2002、3046
外部AVソースをプレイする	4076
拡張子	7012
過去目的地検索.....	3015
過去目的地をメモリ地点に登録する	3043
画質を調整する.....	6024
楽曲情報	6014
楽曲情報で曲を検索する(HDD).....	4069
楽曲データベース.....	4051
楽曲データベース未収録の楽曲情報を取得する	6015
楽曲データベースを更新する	6013
カテゴリで選択する(HDD).....	4068、4070、4071
カテゴリで選択する(iPod)	4063
可変ビットレート(VBR)	7012
画面の位置を調整する(地デジ).....	4029
画面モードを設定する	6024
簡易図形型(レベル2)情報の表示.....	3035
かんたんセットアップ(地デジ).....	4005
関連するアーティストでアルバムを選択する(HDD).....	4067

き

キーイルミネーション	6004
曲情報(HDD-music).....	4066
曲を削除する(HDD)	4074、6018
距離・方向表示	2002
緊急施設検索	3013
緊急放送	4020

く

くくるボタン.....	2004
クロスオーバー周波数	6007

け

経緯度検索	3010
警告の告知方法を設定する	6003
携帯電話 電話帳利用.....	6029
現在地	2001
現在地図画面	2001
現在地図画面でAVソースを操作する.....	2004
現在地で受信できる放送局をプリセットする(地デジ).....	4036
現在地を設定する(地デジ)	4022
現在地を補正する(ナビ)	6009
検索結果画面	3006
言語コード(DVD)	7011

こ

交差点拡大図(2D/3D)を切り替える	6003
交差点付近での画面案内	2011
交差点名称を表示する	6003
高速道路のIC/JCT付近での画面案内	2011
広帯域モード	5006
交通情報を隠く	4002
合流	2010
子画面	2007
固定ビットレート(CBR)	7012
コマ送り/コマ戻し(DVD).....	4044

さ

細街路	2001
再スキャン(地デジ).....	4036
最大ピクセル数.....	7012
最大ファイル容量.....	7012
再探索	2006、2015
最適時間考慮探索.....	2017、6003
サウンド切替ボタン	2003
サウンド調整メニュー	5001
探すメニュー	3002
探すメニューを表示する	3002

0	サブウーファー・リアの出力を切り替える.....	6003
1	サムネイル.....	4066
2	サンプリング周波数.....	7012
3	し	
4	次案内ポイント.....	2009
5	シークモード.....	7016
6	シークモードを切り替える.....	2004、4002
7	市街地図.....	2001
付	次交差点案内(非ルート案内中).....	2001
録	次交差点案内(ルート案内中).....	2009
	次交差点案内の表示を設定する.....	6003
	次施設案内.....	2010
	次施設案内表示.....	2010
	自転車.....	7015
	自転車位置の測位精度.....	7002
	自転車マーク.....	2001
	自宅へ帰る.....	3023
	自宅を登録する.....	3042
	自宅を変更する.....	3042
	視聴規制(DVD).....	7016
	自動応答時間.....	6029
	自動受信モードの動作を設定する(地デジ).....	4034
	自動モード(VICS FM).....	3039
	字幕の言語(AVファイル).....	4056
	字幕の言語(DVD).....	4045
	車速/パルス.....	7015
	車速/パルスの種類を設定する.....	6003
	車向情報を設定する.....	6005
	ジャンル検索.....	3004
	ジャンルの分類.....	3005
	住所検索.....	3007
	住所表示.....	2002
	周辺検索.....	3013
	受信できるチャンネルを確認する(地デジ).....	4033
	受信モード(地デジ).....	4006
	受話音量を調整する.....	4078
	情報メニュー.....	3036
	ショートカットメニュー.....	2006

す

ズーム(DVD).....	4047
スクロール地図画面.....	2002
スクロール地図画面の表示方法を設定する.....	6003
スピーカーの位置.....	6007
スピーカーの仮想位置を調整する(車室中央基準).....	6006
スピーカーの仮想位置を調整する (リスニングポジション基準).....	5003
スピーカーの口径.....	6007
スピーカーの構成を設定する.....	6007
スマートIC.....	2010、7015
スライドショー.....	4066
スロープ.....	6007
スロー戻し/スロー送り(DVD).....	4044

せ

静止画を表示する.....	4070
セキュリティインジケータ.....	1001、7016
セキュリティインジケータを設定する.....	6003
セキュリティコードを設定/変更/解除する.....	6003
接続状態を確認する.....	6008
セットアップメニュー.....	6001

そ

操作音を設定する(地デジ).....	4030
操作音を設定する(ナビ).....	6003
走行軌跡を消去する.....	6003
走行軌跡を表示する.....	6003
ソースメニュー.....	1010
測位.....	7015
ソフトウェアをバージョンアップする(地デジ).....	4039

た

タイトル	7016
タイトルサーチ(DVD)	4046
タイトルサーチ(iPod)	4062
タイトル情報を編集する(HDD)	4072
タイトルランダムプレイ(iPod)	4062
タイトルリストで選択する(iPod)	4062
タイトルリピートプレイ(DVD)	4045
タイトルリピートプレイ(iPod)	4062
タッチゲームで遊ぶ	3040

ち

地図記号	7003
地図検索	3012
地図の色調を設定する	6003
地図の縮尺	2001
地図の昼画面/夜画面の切り替え方法を設定する	6003
地図の向き	2001、6003
地図表示型(レベル3)情報の表示	3035
地デジ操作ボタン	4006
地デジ操作ボタンの表示位置を変える	4006
地デジの受信モードを切り替える	4006
地デジの設定をお買い上げ時の状態に戻す(地デジ)	4041
地デジの設定を初期化する(地デジ)	4040
地デジメニュー	4021
地デジをセットアップしなおす	4032
地デジをセットアップする	4005
地デジを観る	4004
地点検索	3003
地点検索した場所に電話をかける	3006
地点検索した場所の詳細情報を表示する	3019
地点検索した場所付近で周辺検索する	3022
地点検索した場所付近の地図を表示する	3020
チャプター	7016
チャプターサーチ(DVD)	4042、4043、4045
チャプターリピートプレイ(DVD)	4045
チャンネル	7016
チャンネル一覧(地デジ)	7010
チャンネルスキャン(地デジ)	4036
チャンネル順に選局する(地デジ)	4014
チャンネル番号で選局する(地デジ)	4013

チャンネル表示(地デジ)	4015
著作権保護付きファイル	7013

つ

ツイッター	6007
通過点	3002、3016、3026、7015
通過点の順番を変更する	3028
通過点の場所を変更する	3027
通過点を削除する	3029
通過点を設定する	3016
通過点を追加する	3030
通行料金	2010
通過点の詳細	3016

て

提携駐車場を探す	3021
ディスク	7013
ディスク挿入口	1001
ディスクフォーマット	7013
ディスクメニューをダイレクトに操作する(DVD)	4048
ディスクメニューをボタンで操作する(DVD)	4049
ディスクを入れる/取り出す	1006
ディスコグラフィ	4066
データ放送画面(地デジ)	4019
データ放送を観る(地デジ)	4018
データ放送を利用する地域を設定する(地デジ)	4025
テナント情報	3019
電源を入れる/切る	1002
店頭デモ	6008
電波ピーコン	3034
電話番号検索	3008
電話番号検索(個人宅)	3009
電話をうける	4078
電話をかける	4079、4080、4081、4082
電話をかける(テンキー)	4082
電話をかける(電話帳)	4081
電話をかける(発着信履歴)	4080
電話をかける(プリセット電話帳)	4079

0

1

2

3

4

5

6

7

付
録

と

動画を選択する(HDD)	4071
道路種別(非案内中)	2001
道路種別(ルート案内中)	2009
道路種別の表示を設定する	6003
トーンを送出する	4078
時計	2001
都市高速道路の入口	2011
トップメニュー	1011
ドライブプラン	3002、7015
ドライブルート	2009、3017、7015
ドライブルート詳細リスト	3026
ドライブルート全体図	3026
ドライブルートとドライブプランを削除する	3031
ドライブルートの種類	3017
ドライブルートの比較表	3017
ドライブルートのみを削除する	3033
ドライブをシミュレートする	3032
トラック	7016
トラックサーチ(CD)	4051
トラックスキャン(CD)	4051
トラックランダムプレイ(CD)	4051
トラックリストで選曲する(CD)	4053
トラックリピートプレイ(CD)	4051

な

内蔵HDD内のAVファイルを削除する	4074、6018
内蔵HDDの空き容量を確認する	6017
内蔵HDD内のデータを編集する	6017
内蔵HDD内に転送する(AVファイル)	4059、6016
内蔵HDDをプレイする	4064
ナビの音量を調整する	2001
ナビ編集メニュー	3041
ナビメニュー	3001
ナビモード	1009
ナビモードに切り替える	1009
似ているアーティスト	4067

ぬ

ぬけみち	2006
抜け道を表示する	6003

の

ノースアップ	2001
--------------	------

は

バーチャル3Dマップを表示する	6003
ハイウェイモード画面	2010
バックするときにオーディオの音量を下げる	6003
バナー表示(地デジ)	4015、4016
バナー表示の大きさを設定する(地デジ)	4026
早戻し/早送り(AVファイル)	4056、4057
早戻し/早送り(CD)	4051
早戻し/早送り(DVD)	4044、4045
早戻し/早送り(HDD)	4065、4066
早戻し/早送り(iPod)	4062
バランス/フェダー	5008
リアブルイルミネーションの色を設定する	6004
パルス情報	6008
番組の詳細情報を表示する(地デジ)	4012
番組の続きを観る	4017
番組表(地デジ)	4011
番組表で選局する(地デジ)	4010
ハンズフリー通話に切り替える	4078
ハンズフリーを設定する	6029

ひ

光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99(別売品)	0006、3034
光ビーコン	3034
ピクチャサイズ	7012
ビジュアルファイル	1006
ビジュアルファイルディスク	1006
ビットレート	7012
ビデオフォーマット	7012

ふ

ファイルサーチ(AVファイル)	4055、4056、4057
ファイルサーチ(Bluetoothオーディオ)	4077
ファイルサーチ(HDD)	4064、4065、4066
ファイル情報(HDD-photo)	4066
ファイルスキャンプレイ(AVファイル)	4057
ファイルスキャンプレイ(HDD)	4066
ファイル操作ボタン(AVファイル)	4056
ファイルタイプを切り替える(HDD)	4066
ファイル名	7013
ファイルランダムプレイ(AVファイル)	4057
ファイルリストで選択する(AVファイル)	4058
ファイルリストで選択する(HDD)	4066
ファイルリピートプレイ(AVファイル)	4057
ファイルリピートプレイ(HDD)	4066
フォルダサーチ(AVファイル)	4056、4057
フォルダ名	7013
フォルダリピートプレイ(AVファイル)	4057
プライベート通話に切り替える	4078
プリセットイコライザー	5004
プリセット一覧で選局する(地デジ)	4009
プリセットしなおす(地デジ)	4036
プリセット電話帳にテンキーから登録する	6031
プリセット電話帳に電話帳から登録する	6030
プリセット電話帳に発信履歴から登録する	6031
プリセット番号順に選局する(地デジ)	4007
プリセットボタンで選局する(地デジ)	4008
プリセットボタンで選局する(ラジオ)	4002
プリセットボタンを初期化する(地デジ)	4024
プレイリスト内の曲や動画を削除する	6022
プレイリスト内のすべての曲や動画を削除する	6023
プレイリストに曲や動画を追加する(HDD)	4073、6020
プレイリストの再生順を変更する	6021
プレイリストの名前を変更する	6019
プレイリストを再生する(DVD-VR)	4045
フロントパネルの角度を調整する	1003
フロントパネルをフルオープンにする	1003

へ

別候補(CD)	4052
別道路	2006、2016
ヘディングアップ	2001
変換ケーブルKNA-BT909(別売品)	0006、6026

ほ

ポイントスクロール	2002
放送局からの情報を見る(地デジ)	4038
放送事業者の表示を設定する(地デジ)	4031
方面看板	2001
方面看板の表示を設定する	6003
ポジションマップ	3004
保留先の有無を確認する	4078
本機でコントロールできる iPod	0003
本機で再生できるディスク	0003
本機で使用できるディスク	0003
本機の異常にお気づきのときは	0003

ま

マークの情報を表示する	2005
マークボタン	2005
マストレージクラス	7013、7016
マッピング	3004、3013
マップマッチング	7002、7015
マニュアルでプリセットする(ラジオ)	4003

め

メディア	7013
メニューをアニメーションで表示する	6003
メモリ地点	3018
メモリ地点検索	3014
メモリ地点情報を表示する	3044
メモリ地点にサウンドを設定する	3049
メモリ地点に電話番号を設定する	3047
メモリ地点に名前をつける	3045
メモリ地点に読みをつける	3045
メモリ地点のサウンドを鳴らす接近方向を設定する	3050
メモリ地点のマークを変更する	3048
メモリ地点名称を地図に表示する	6003

0	メモリ地点を消去する.....	3043
1	メモリ地点を登録する.....	3018

も

2	目的地.....	3002、3017、3026、7015
3	目的地情報ボタン.....	2009
4	目的地の詳細.....	3017
5	目的地の情報を表示する.....	2013
6	目的地の場所を変更する.....	3027
	目的地の方向.....	2009
	目的地を削除する.....	3029
7	目的地を設定する.....	3017
	モーションイコライザー.....	5005
	文字カーソル.....	3046
	文字型(レベル1)情報の表示.....	3035
	文字スーパーの表示方法を設定する(地デジ).....	4027
	文字の入力.....	3046

ゆ

	ユーザー画面の表示方法を設定する(地デジ).....	4028
--	----------------------------	------

ら

	ラジオのバンド(AUTO/PRESET/MANUAL)を切り替える.....	4002
	ラジオのシークモード(AM/FM)を切り替える.....	4002
	ラジオを聴く.....	4001
	ランキングショートカットメニュー.....	2006
	ランドマーク.....	7015
	ランドマークを設定する.....	6010

り

	リスニングポジションを設定する.....	5002
	リセットされないデータ.....	1001
	リモコンNA-R909(別売品).....	7001
	リモコン受光部.....	1001
	料金案内.....	2010
	料金案内の表示を設定する.....	6003
	料金所レーン.....	2010
	料金所レーン(一般/ETC)の表示を設定する.....	6003

る

	ルート案内(一般道).....	2009
	ルート案内(高速道路).....	2010
	ルート案内を開始する.....	3017
	ルート案内を中止する.....	3033
	ルート学習の有無を設定する.....	6003
	ルート学習の結果を消去する.....	6003
	ルート確認メニュー.....	3024
	ルートから外れたときは.....	2014
	ルート全体を地図表示する.....	3025
	ルート全体をリスト表示する.....	3025
	ルート探索.....	3017
	ルートの種類.....	3017
	ルートを探索しなおす(再探索).....	2015
	ルートを比較する.....	3017

れ

	レジャーム.....	4043、4045、4051、4056、4057、4065、4066
	レベル1(文字型情報).....	3035
	レベル2(簡易図形型情報).....	3035
	レベル3(地図表示型情報).....	3035
	レーン案内.....	2009
	連続スクロール.....	2002

わ

	割込設定(アルバムアート).....	6003
	割込設定(音声案内).....	6003
	割込設定(ナビ画面).....	6003
	割り込み通話.....	4078